

We'll advance for 50 years to the next.

YEARBOOK

2021-2022



NSA SURF TOWN STORIES

世界を視野に活動する若手サーファー家族にインタビュー!

文武両道を実現し、
一流アスリートを育てるために。

NEW FEATURES NSA マイページ

新機能「NSA マイページ」を解説



スポーツ振興くじ助成事業

理事長挨拶

多角的にサーフィンの 普及に努めてまいります

一般社団法人 日本サーフィン連盟
理事長 酒井 厚志

一般社団法人 日本サーフィン連盟理事長。17歳よりサーフィンをはじめ、静岡伊豆支部の活動に永きに渡り尽力。その後、NSA ジャッジ委員会、事業広報委員会、広報委員長を経て、2011年より現職。2018年より、ISA（国際サーフィン連盟）のエグゼクティブ・コミティのメンバーとなり、同年、ASF（アジアサーフィン連盟）を設立させ理事長に就任。



撮影：土屋高弘

二つのメダル獲得を誇りに思います

昨年、一昨年は、新型コロナウイルス感染症予防のため、多くの予定が中止、延期されました。これまでに経験したことのない、難しい2年となりました。

各支部、サーファーの皆様にはサーフィンの自粛や移動制限のお願い、ガイドラインの徹底、サーファーのモラル・マナー向上の為に活動をしていただきました。

その中で良いニュースもありました。オリンピックが開催され二つのメダルを獲得しました。日本選手の活躍は、サーファーの皆さんの応援があつてのことと、日本全国のサーフィンを愛する皆さまに感謝申し上げます。何年も前から世界戦開催、事前イベントなど、オリンピックに向けてサポートしていただいた皆様、準備に尽力された大会組織委員会の皆様に心よりお礼申し上げます。

そして出場した選手、最後の最後に出場を逃した選手、出場を目標に努力してきたすべての選手と、裏方で支えたスタッフ

の皆さん有り難うございました。

便利なマイページの立ち上げなど 新たな体制を構築していきます

この一年は難しい状況の中ではありませんでしたが、マイページの立ち上げやオンライン対応の講習会の実施など、感染対策をとりながら新しい体制を見出すことができました。

主催大会4大会も感染対策をとりながら実施することができました。今期の正会員登録も1万人を超え、前年よりも増加することができました。これも各チーム代表の皆様、支部長の皆様の日頃の努力の賜物と感じております。

スポーツサーフィンの確立と 社会的信頼の向上を目指します

サーフィン連盟ではJSPO日本スポーツ協会の加盟申請をいたしました。サーフィンがオリンピックスポーツとなったことで、いくつかの公立の中学や高校でサーフィン部が設立しています。サーフィンを楽し

む子供たちが、将来のオリンピック選手、地域や都道府県の代表選手として胸を張って大会に参加できるように、日本のサーフィン文化を多くの人に知ってもらい、サーフィンを楽しむ環境を作っていきたいと思います。

同時にサーフィン連盟では公益社団体の準備を進めています。広くサーフィンの普及を目指し、サーフィンの社会的信頼の向上と、健全な連盟運営を目指して参ります。

2011年3月に起きた東日本大震災から11年。私たちは大自然に対し限りなく謙虚でなければならない事を学び、同様にウィルスの脅威から正しく恐れることを経験しました。環境の変化を知り、それに対応していく力が自分を守り、仲間を守ります。

今後も日本サーフィン連盟は、サーフィンを楽しむ環境づくりの活動を進めて参ります。皆様のご協力を、お願い申し上げます。

CONTENTS

NIPPON SURFING ASSOCIATION
YEARBOOK 2021-2022

Cover Photo: Kenyu



INTRODUCTION

理事長挨拶 酒井厚志

005 [新型コロナウイルス感染拡大予防]
サーフィンの大会イベント・ガイドライン

007 ROAD TO TOKYO2020

全てのサーファーの思いを背負い
「チーム」として挑んだ東京オリンピックへの道

012 NSA SURF TOWN STORIES

013 湘南茅ヶ崎 / 長い歴史と共に神奈川県湘南エリアでトップの会員数を有す
014 愛知 / 渥美半島全50kmにわたって数多くの魅力的なサーフポイントが存在
015 佐賀 / 九州サーフィン発祥の地として有名な佐賀県・唐津
016 埼玉南 / 会員数は年々増加傾向。全12チームに集約し、内容充実の支部運営を実践
018 TEAM 会員数上位のチームにはどんな魅力があるのだろうか？

020 サーフィン検定にチャレンジ

024 目指せ日本代表！ 目指せ世界一！
2022年波乗りジャパン強化指定選手一覧

027 GO FOR THE TOP
2020から2024年パリ、2028年ロス五輪へ

030 NSA FOCUS 高井汰朗

033 2020-21年度ポイントランキング結果

045 世界を視野に活動する若手サーファー家族にインタビュー！

文武両道を実現し、一流アスリートを育てるために。

054 PLAY BACK 2021
主催大会を振り返る

062 NEW FEATURES NSAマイページ
新機能「NSAマイページ」を解説

064 NSA SURFERS BEACH CLEAN ACT 2021 -supported by patagonia-



083 2022年度 NSA 主催大会開催予定地
ポイント基本情報&支部からのお願い

090 ウォーターレスキュー

099 日本サーフィン連盟ガイダンス

ABOUT NSA

3rd cover 2022 NSA オフィシャルパートナー一覧



分け合う時間は、
分かり合う時間。

ひとつひとつの家族の味と、
ひとつひとつの時間をつむいでいきたい。
缶詰や冷凍食品など、
今日もあなたのそばにマルハニチロはいます。

家族の物語とともに。



お弁当には、
恋も愛も詰められる。



MARUHA NICHIRO

海といのちの未来をつくる

サーフィン関連の各団体について 確認してみましょう。

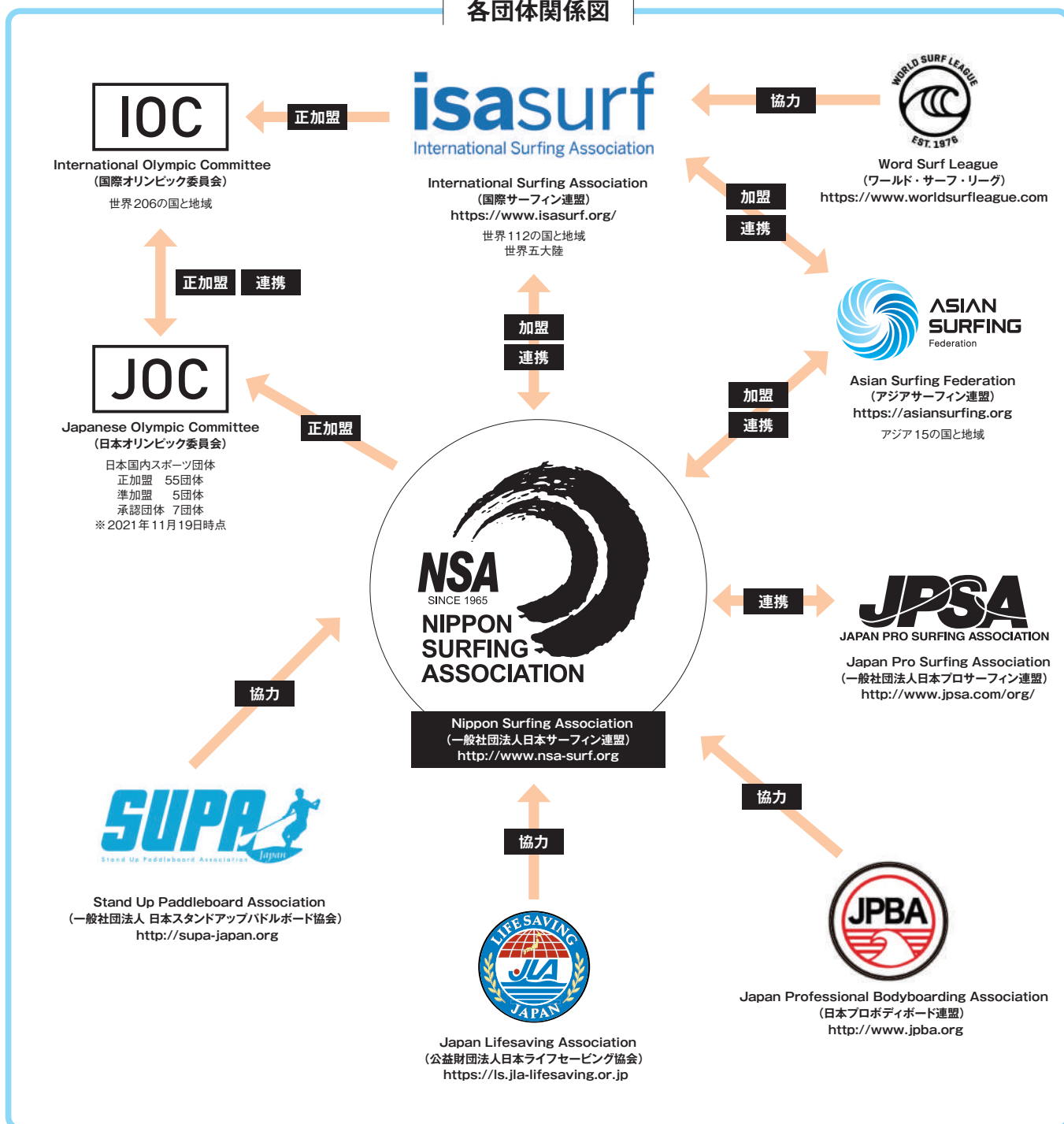
日本サーフィン連盟の会員の皆さんはすでに理解していると思いますが、国内外のサーフィン関連団体について、再度確認してみましょう。国際オリンピック委員会(IOC)が承認する世界規模のサーフィン団体として国際サーフィン連盟(ISA)があります。本連盟は国際サーフィン連盟(ISA)と連携、協力し、ISA主催のサーフ

イン、ロングボード、ボディボード、SUP、パラサーフィンの世界大会への日本代表選手選考及び選手団派遣や、日本国内で開催された世界ジュニア選手権大会や、世界サーフィン選手権大会の運営を担い、成功に導いています。

また国内においては、日本プロサーフィン連盟(JPSA)と連携、世界に通用する選手の育

成、サーフィンの普及に努めています。そのほか、本連盟が派遣する国際大会で、ボディボードは日本プロボディボード連盟(JPBA)と協力。SUP&パドルボードに関しても、日本スタンドアップパドルボード協会(SUPA)、日本ライフセービング協会(JLA)とも協力し、本連盟から国際大会に選手を派遣しています。

各団体関係図



THE BEST QUALITY



NOBU OSAWA
photo:KENYU

INAPOLI TRADING INC.
3-15-8 INAMURAGASAKI KAMAKURA-CITY KANAGAWA JAPAN
PHONE 0467-23-7373 www.rashwetsuits.com @rash_wetsuits

新型コロナウイルス感染の危険を回避していくためには、
感染予防への意識と対策がとても重要です。
ガイドラインをしっかりと守り、感染の脅威を乗り越えていきましょう。



〔新型コロナウイルス感染拡大予防〕

サーフィンの 大会イベント・ガイドライン

一般社団法人日本サーフィン連盟の
「サーフィンの大会イベントにおけるガイドライン」に基づき、
感染防止に向けた取り組みをしています。
参加者の皆様やスタッフ、会場を安全に守るために、ご協力をお願いします。

37.5 度以上



風邪の症状が
ある時は
来場を控える



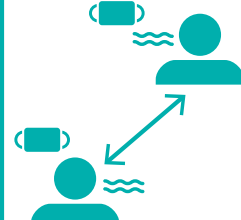
2m 以上



波チェックでも
応援でもソーシャル
ディスタンス



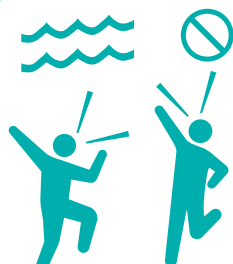
競技・食事以外
会場では
マスクを着用



人との距離が確保
できたらマスクを
外して熱中症予防



こまめに手洗い
消毒



大きな声での会話
応援は控える



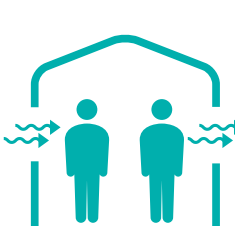
握手・ハグなどは避け
接触は最小限に



ゴミは持ち帰る
ゴミ箱は利用しない



2週間以内に
発症したら
主催者に連絡



室内は密を避け
こまめに換気



検温や問診票など
協力のお願い



リスクある渡航や
接触歴ある方は
参加を見合わせる

※体調のすぐれない方は来場をお断りする場合がございます。



Dane Gudauskas

Photo: Alan van Gysen

MAXIM

CRAFT SUITS

MORE MOST CO.,LTD.

maxim-craft.com

VANS WETSUITS by MAXIM

ROAD TO TOKYO2020

全てのサーファーの想いを背負い

「チーム」として挑んだ東京オリンピックへの道

| Behind Story |

©ISA photo: Ben_Reed



©ISA photo: Ben_Reed



コロナウィルスの脅威に世界が翻弄され、1年の延期を余儀なくされた2021年8月、TOKYO。サーフィンというスポーツがオリンピックという国際的イベントの種目として、その魅力を世界へと伝えるという記念すべき日を迎えた。そして、日本は世界の強豪国を前に五十嵐カノアが銀メダル、都筑有夢路が銅メダルという世界で唯一2つのメダルを獲得するという結果を残し、オリンピック開催国として堂々とその勇姿を世界へと示した。

その結果へと繋がった道は、とても険しく長い道のりだった。オリンピックへ挑戦してきた選手たちはもちろんだが、それ以上にサーフィンというスポーツを愛するたくさんの人たちの思いと努力なくしては、成し得ないことばかりだった。

日本は明らかに「チーム」として、世界へとひたむきにチャレンジを続け、そこで大きな結果を残した。だからこそ、日本のサーフィン界にはさらに大きく前進するきっかけを得たとも言える。東京からパリ、そしてロスへ。新たな可能性へ、日本はすでに動き始めている。

TOKYO2020へ日本チームはどのように挑んできたのか。オリンピックを経てどんな変化が起きているのか。NSA 副理事長・強化本部長でありTOKYO2020で日本代表監督を務めた宗像富次郎氏にお話を伺った。

取材・文：今井秀武 写真：ISA 国際サーフィン連盟



©ISA photo: Pablo Jimenez



©ISA photo: Ben_Reed



©ISA photo: Sean Evans

五十嵐カノア

準決勝では優勝候補のガブリエル(BRA)を抜群の高さのエアリバースで逆転し、決勝へ。惜しくもいい波を捉えられず銀メダル獲得となったが、カノアの熱い戦いはサーファーだけでなく、日本国中、そして世界の多くの人々を感動へと導いた

©ISA photo: Ben_Reed



都筑有夢路

1回戦でルーザーズに回るも、その後自分の実力を見事に発揮していくと共に難しい波にもひるまずに力一杯挑み、3位決定戦ではキャロライン(USA)を圧勝。日本チームとしての勝利を立証するかのうような銅メダル獲得という結果を残した



TEAM JAPAN_2021 Surf City El Salvador ISA World Surfing Games

オリンピックの魔物に 立ち向かうために

オリンピック種目に決まりNSAもJOCの正加盟団体となり、様々なスポーツ団体との横の繋がりも強化されました。我々は幾度となく世界に挑んできましたが、オリンピックという舞台はこれまでの戦いとも違う未知の挑戦であったことは間違いありません。そんな中であちこちから聞こえてきたのは「オリンピックには魔物がいる」、平常心でその舞台に臨むことがいかに難しいことかというエピソードでした。日本はオリンピックに向けて、優れた選手、スタッフを集め、組織をつくり、様々な準備を整えて進んできました。この「魔物」への対処も手探りの中ではありませんでしたが、ベストを尽くしてきました。フィジカル、食事面では計画をたてて進めれば着実に良い方向に向かいますが、メンタルについてが一番難しい。普段の練習の状態のまま大会に入ることがいかに難しいものなのかを真剣に研究しました。

平昌での冬季五輪へ視察に行き、ジャパンハウスの機能の大切さを知りました。選手村から競技会場の間には日本人選手専用の施設があり、日本食が用意され、アイスバスも設置されていてドクターもいる。日本から持ち込んだ練習器具など、いろんなものが揃っている。日本人選手はそこにきてリラックスしてから大会会場に向かっていました。

TOKYO2020でも選手村に日本選手のための施設はつくられましたが、千葉で大会が開催される我々には使いづらいものでした。そこで我々独自で千葉の一宮、会場からも近いところに借家を2棟を借り、サーフィンジャパンハ

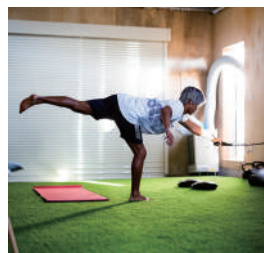
©ISA photo: Ben_Reed



TOKYO2020代表選手の最終選考会となるエルサルバドルでのISA世界戦。TEAMとしても総合2位の成績を残し、ここから選手もスタッフもさらに強い団結力を導きだしていった



オリンピックに向けて最終調整をTEAMジャパン丸となっておこなうために準備されたサーフィンジャパンハウス



サーフィンジャパンハウスの1Fにはトレーニングをおこなえる場もつくられ、本番に向けて選手たちは自らのコンディションを整えていった

ウス(仮称)をつくりました。1Fに簡易なトレーニング場を作り、選手もスタッフも宿泊できるような体制を整え、日用品一式を入れ、生活ができるようにしました。車でビーチまで5分、そこから大会会場に選手を送り出せるように準備をしました。

このサーフィンジャパンハウスはオリンピックの魔物に対するハード面からの対策でした。そして我々はソフト面からの対策にも取り組みました。

日本代表選手の最終選考の場はエルサルバドルの世界選手権だったのですが、そこには選手だけでなく、オリンピックに入るスタッフ8人を連れていきました。監督、コーチ、管理栄養士、PT(フィジカルセラピスト)などと行動を共にし、世界選手権の段階からチームとして、しっかり人間関係を構築していくために「わがままを言える環境」をつくっていきました。世界選手権から帰国すると、コロナの隔離期間を選手と一緒に過ごし、そのままオリンピックの本番へと臨むというスケジュールを組み、さらに大会までは朝晩の食事はジャパンハウスの栄養士さんがつくる食事でコンディションをしっかりを整えていきました。スタッフの役割も明確にし、スベアのフィン、ボードは誰が持っているのか、海から戻ってきたら撮影していた動画がすぐ見えるようにするなど、無駄のない動きができていました。また、大会当日の選手たちの動きのシミュレーションも行い、選手に

イメージを伝えて、初めて経験するオリンピックという大会の現場でも緊張しないでいられるように徹底した準備を行いました。

こうしてスタッフとの良好なコミュニケーション、万全なコンディションの調整、リラックスできる環境、万全なる体制を整えて、選手たちを大会へと送り出すことができたと思います。我々は日本チームとして、メダル獲得に向けて、選手もスタッフも一丸となって向かっていきました。



フィジカル、栄養面は専属のスタッフにより最善のケアが施され、選手はとてもしリラックスできる環境で試合へと集中していくことができた

2つのメダルを得て

五十嵐カノアが銀メダル、都筑有夢路が銅メダルを獲得。金メダルへの期待も大きかったことは確かですが、初めて行われたオリンピックのサーフィン種目で世界の中で唯一2つの



日本サーフィン連盟副理事長・強化本部長
波乗りジャパン監督：宗像富次郎

「チームとしての強さ」をつくる柱となり、たくさんの人たちの力を繋いできた。オリンピックで得た大きな成果を次なる日本のサーフシーンの進化へと繋ぐべく、新たな動きへと組織をリードする

©ISA photo: Sean_Evans



©ISA photo: Ben_Reed



オリンピックに向けて日本チームは大きく前進し、強い絆がカノアの堂々たる結果へと繋がった

©ISA photo: Sean_Evans



最もこの釣ヶ崎ビーチの波を知る大原洋人(中央)。最終的に金メダルを手にしたイタロ(BRA)に準々決勝で敗れた5位。しかし、その後カノアや有夢路に対してのアドバイスでも活躍。日本チーム快進撃への大きな力となった

銅メダル獲得後、「アムロちゃんですよ」と声をかけられることが本当に多かったという。オリンピックでのメダル獲得という成果はとても大きなものだ

メダルを得るという結果を残すことができました。大変な道のりでしたが、とても貴重な経験であり、挑戦でした。最後の解散式の時には別れるのが惜しくて、選手もスタッフも大泣きしていました。それほど繋がりが、一体感ができたということです。感動的なシーンでした。選手も全員が「また、オリンピックに出たい」と言ってくれました。そして目標は全員が今度こそ「金メダル」だと。それだけオリンピックは魅力のあるイベントだったということを実感しました。

この挑戦のスタート当初は日本チームとしてメダルがとれる力を十分持っていたわけではないと思います。選手自身は大会を転戦していて、技術的な部分を指導するというのはなかなか難しい状況にあり、そこは選手自身にかかる部分が多い。でも、チームとして戦うことで、コーチ陣としては、波の入ってくる方向、大きさ、どのくらいで入ってくるという情報を集め、採点に関してはこういう波で、こういう技を使った方がポイントが出ているなど、点数が出る波についてのディスカッションを行ったり、採点競技で勝つための方策を練ることで、今まで以上の選手へのサポートを行うことができたと思います。

また、大原洋人は地元なので、クオーターフ



オリンピックは「特別」な舞台。「魔物」に対処できるように日本チームとして最善の準備を整え、リラックスした雰囲気の中で本番へと

ファイナルで敗退した後、カノア、有夢路に細かく波の位置を指示してくれたり、活躍してくれました。彼は一生懸命チームとして勝つために努力してくれました。とにかく選手はよくやってくれました。オリンピックを目指したすべての選手やスタッフの努力の成果がこの2つのメダルです。

TOKYO2020を機にあらわれた変化

サーフィンが全世界に放送されたことで、サーフィン競技の面白さも伝えられたと思います。今まで全くサーフィンを知らなかった人にも面白いと思っていただけたことは大きな成果になりました。

これまでは競技者の平均年齢が高くなってきていたのですが、最近のジュニアの動きはより活性化し、その世代の競技人口は増加傾向に転じはじめています。カノア、洋人、有夢路の次の世代もサーフィン競技に熱が入りはじめています。これはオリンピックの効果であることは間違いないでしょう。例えば学校にクラブができたりもしています。学校教育という部分でサーフィンというスポーツが認められることで、裾野はもっと広がっていくと思います。その中からトップ選手がどんどん出てくることに、今とても期待しています。

東京でサーフィンがオリンピック種目で追加種目として決定し、NSAもJOCの正加盟団体となった。ただし、それは期限付きの正加盟でした。そもそもはTOKYOが終わった次の年の3月までということでしたが、その後パリでもサーフィンが提案されて実施が決定となったので、パリが終わるまでと期限が延びました。期限が切れると、準加盟、承認団体加盟というレベルに落ちてしまうという状況ではあったもの

の、ロサンゼルスでは正式種目になったため、期限付きではない正加盟団体ということになりました。

NSAという団体自体もより成長していかねばならないということで、現在公益社団化へ向けての準備、スポーツ協会への加盟の準備も進めています。そういった動きが将来的に全国の支部が活動を行う地域とも連携し、より良いサーフィン環境をつくっていくことに繋がっていきだろうと信じ、取り組んでいます。

オリンピックが決まった時に、まずは日本のサーフィン界に世界で実力を発揮できるスター選手を作らなければいけないと思いました。それは世の中にサーフィンというスポーツを知ってもらえる可能性を広げていく力となる。サーフィンが認知され、理解度もあがっていくことによって、支部活動の基盤である各地域にも影響を与え、サーフィンが楽しめるより良い環境づくりを後押しする力へと繋がっていきます。NSAは社会貢献という意味だけでなく、スター選手をつくることで、サーフィンの認知度を上げていくということに大きく関与しています。そしてそういうスター選手の姿を見て、今の子供たちが頑張っていこうというモチベーションへと繋がっていく。そういう明確な目標を持って前進しています。



チーム丸で勝ちにいくという強い想いが、大きな結果を残し、新たな一歩が踏み出された。次はパリ、そしてロスでは正式種目へ。さらに前進は続く

RESULT

MEN

1	Itaro Ferreira (イタロ・フェレイラ)	BRA	5	Hiroto Ohara (大原洋人)	JPN
2	Kanoa Igarashi (五十嵐カノア)	JPN			
3	Owen Wright (オーエン・ライト)	AUS			



©ISA photo: Pablo Jimenez



©ISA photo: Ben_Reed

WOMEN

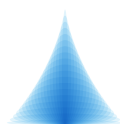
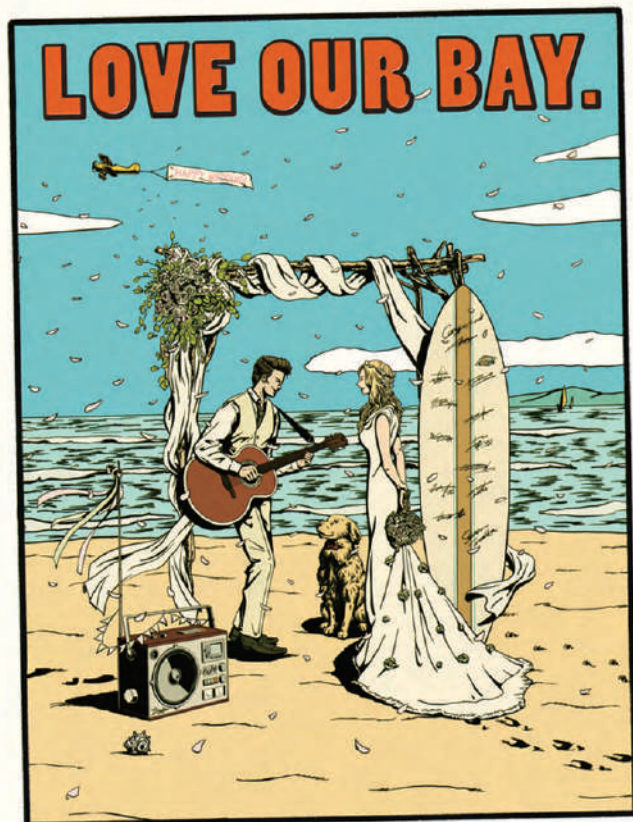
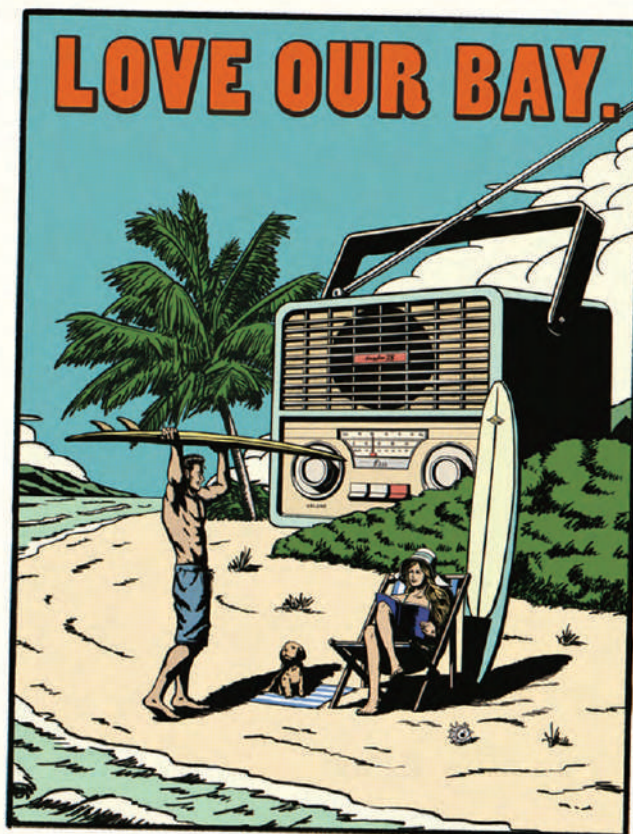
1	Carissa Moore (カリッサ・ムーア)	USA	9	Mahina Maeda (前田マヒナ)	JPN
2	Bianca Buitendijck (ビアンカ・バイテンダグ)	RSA			
3	Amuro Tsuzuki (都筑有夢路)	JAN			



©ISA photo: Pablo Jimenez



©ISA photo: Ben_Reed



NAMINORI
JAPAN

bayfm78

bayfmは、NAMINORI JAPAN を応援しています。

サーフィン日本一の栄冠の先にある、 オリンピックへ続く道



「第3回ジャパンオープンオブサーフィン」が、静波サーフスタジアム PerfectSwell®で開催された。これはサーフィン日本代表選手を決定する日本一のサーフィンの祭典。ウェーブプールの開催されるのは初めての試み。今年度は2022年開催の「ISAワールドサーフィンゲームス」(現時点で日程、場所は未定)の出場権の1枠(男女各1名)を争う選考大会となっている。結果は男子が大原とのエア勝負を制した村上舜が第1回目に関優勝。女子は都筑有夢路が初優勝と今の日本のトップの実力を証明した。

取材・撮影：山本貞彦



1. スタイル全開の村上舜。勝ち上がるごとに、異次元のサーフィンを魅せてくれた。
2. リラックスして楽しめたという都筑有夢路の板はPU。それでもこのパフォーマンス。
3. 海でもプールでも大舞台になればなるほど、大原洋人の演技はより冴え渡る。
4. オフに行った地道なトレーニングで、新たなパワーとスピードを手に入れた松田詩野。

メダル獲得と選手育成が大きな目標

日本にはサーフィンの団体が2つある。それがアマチュアを統括するNSA(日本サーフィン連盟)とプロが参加するJPSS(日本プロサーフィン連盟)だ。オリンピックをはじめ世界で戦う日本代表選手を決めるにあたって、協会の枠を取り払い、すべての日本人選手の中から選ぶとして、始められたのがこのジャパンオープンだ。

まずは選考基準はプロもアマも国内だけでなく、WSL(ワールドサーフリーグ)も含め個人の成績、実績からランク指定を行い、強化指定選手を選抜する。さらに4年後、8年後のことを考えジュニア枠も別に作り、その時に年齢に適したジュニア選手を育成することも選考に付け加えられている。

そして、その選ばれた強化指定選手全員を招集して行われるのが「強化合宿」。ここで各選手のスキルや波への適応力、ヒートでの戦術などの総合力をチェック。そこでの選考会で勝ち上がった者が、このジャパンオープンで戦うことができる。これが日本代表へのまず一歩となるのだ。

日本のトップが静波のプールに集結

千葉鴨川で行われた「強化合宿」で選考された選手は、男子が西 慶司郎、田中大貴、大原洋人、鈴木一歩、新井洋人、脇田泰地、伊東李安琉、金沢呂偉、上山キアス久里朱、鈴木耀竣、岩見天獅、酒井仙太郎、西修司、鳥潟一太の14名。

女子は 松岡亜音、野中美波、脇田紗良、都筑有夢路、中塩佳那、前田マヒナ、都築虹帆、大村奈央、鈴木莉珠、登坂祐妃、西元萌エミリ、上門涼風、川瀬心那、川合美乃里の14名。

これに加えて千葉で行われたWSL「ASIA OPEN」の大会結果で男女上位4名を追加招集。こちらは男子が稲葉玲王、村上舜、鈴木仁、安室文。女子は松永莉奈、松田詩野、黒川日菜子、池田美来が加わり、合計男女各18名(鈴木仁には不参加)で争われることとなった。

同じ波での演技に個性が光る

競技ルールはR-1では18人を2つのグループに分



ファイナリストを囲んで。牧之原市からは杉本市長が駆けつけた。村上舜は怪我の治療の為に欠席。

け、ライトとレフトの波を3本ずつライディング。1人6本のベスト2ウェーブで、上位8名がR-2に進出。続いてR-2の8名がライトとレフトの波を4本ずつ乗って、上位4名がセミファイナルへ。セミファイナルでは6本、ファイナルはマンオンマンで8本の波に乗り、勝敗を決める。

さて、肝心の波ではあるが、このウェーブプールでは多種多様な波を出すことができる。R-1では、まず中級者用(マリブ)の波でトライ。続いてR-2からはエキスパート用(パブリック、ハイボール、プロローワー)というリップだけでなく、エアやチューブができる波が用意された。各々選手が同じ波でのトライを繰り返す中で限界に挑戦。どれだけクリエイティブな演技ができるか、スキルだけでなく個性をアピールする戦いとなった。

ウェーブプールの新しい可能性

ウェーブプールは同じ波を何度も出せることで、自分の苦手な技だったり、新しいテクニックを身につけるために、繰り返し練習ができるという利点がある。また、大会を行う場合でも、波の心配が無い上に、時間通りに試合を進行できるのが最大のメリットだろう。

ただ、今回初めての試みだったことで、試合では選手に対してのポイントコールやライブ放送の見せ方など課題は残った。それでもサーフィンのエンターテインメントという部分では、新しい可能性を十分感じることができた。今後、ウェーブプールは日本のサーフィンの底上げにつながることは間違いないだろう。

「ジャパンオープンオブサーフィン」は、日本代表を選出するだけにとどまらず、プロ、アマの組織の垣根を越えて、すべての日本人選手の育成を担うものだ。海だけでなく、いろんな環境を用意して、適性に合った育成を行うことができれば、日本のサーフィンは世界へ羽ばたけるに違いない。

RESULT

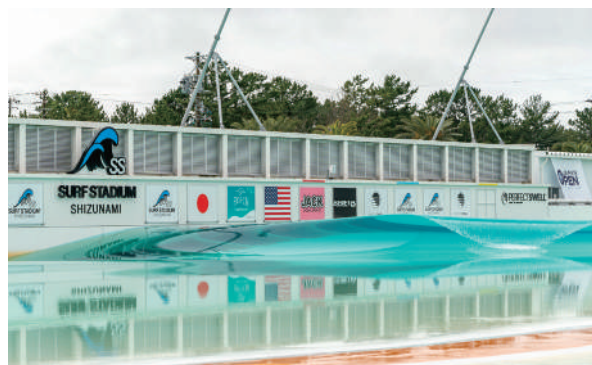
男子

優勝	村上 舜
2位	大原 洋人
3位	新井 洋人
	西 慶司郎

女子

優勝	都筑 有夢路
2位	松田 詩野
3位	川合 美乃里
	脇田 紗良

「2022 ISAワールドサーフィンゲームス」出場権獲得者
男子：村上 舜 女子：都筑 有夢路



プールならではの透明感。ファーストスウェルはガラスのような滑らかな水面を見せる。



5. 選手育成について改革を行う井本副理事長。6. 歴代優勝者の名前が刻まれるトロフィー。



NSA SURF TOWN STORIES

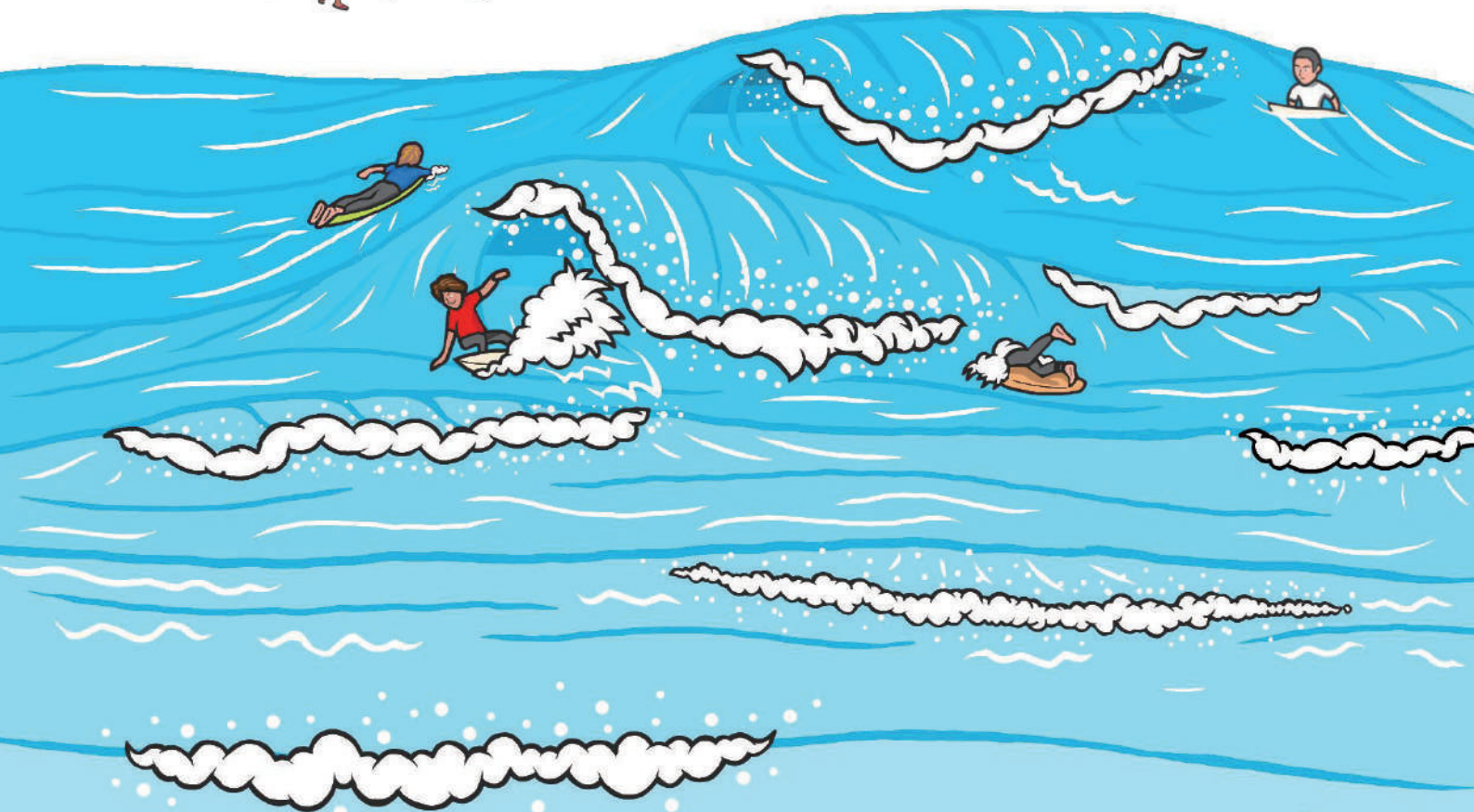
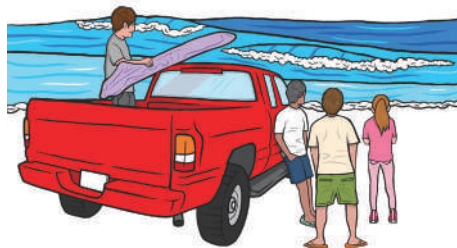


支部の活動ひとつひとつが、
日本のサーフシーンを前進させる力となる



2022年、コロナウィルスの脅威も少しずつおさまりつつ、
やっと全国の支部も動き出せるという期待感の中、
各地での活動はこれからさら盛り上がっていくことだろう。
全国には様々なサーフポイントがあり、楽しみ方のスタイルも少しずつ異なっている。
全日本など大会の現場だけではなかなか見えてこない、
支部やチームの実際の活動の様子をいくつかピックアップして紹介していこう。

取材・文：今井秀武 イラストレーション：直井 徹



長い歴史と共に神奈川県湘南エリアでトップの会員数を有す

SHONAN CHIGASAKI



キッズの育成に向けたプロジェクトを
軸に地域のサーフシーンを盛り上げ、
全日本大会団体優勝2連覇を達成

茅ヶ崎のサーフシーンの 長い歴史を支えてきた各チームを軸に 支部にすべての情報が集まってくる 仕組みができています

支部として50年以上と歴史は長く、茅ヶ崎のサーフシーンのなかで支部の活動はとても重要な役割を果たしてきています。現在470名以上の会員がいて、ショップやローカルチームも古くからずっと活動し続けています。バーバリアンズというローカルチームは1964年、58年前から活動しているんです。自分はそのキャプテンもやっています。歴史のあるチームが軸になっているので、それぞれのチームがエリアにおいて常に地道な活動をしていて、支部に情報がまとまってきているという感じです。コロナ禍では支部ミーティングは50名以上のチームの代表者を集めてのグループLINEで情報交換、連絡をとりあう形で進めていました。やはりそこではいろいろな問題が支部に上がってききましたが、都度連絡を取り合い、迅速に解決してきました。

茅ヶ崎はローカルがきついエリアだと思います。スクールやイベントを勝手にやるということは、茅ヶ崎ではないです。この茅ヶ崎エリアをベースにサーフィンを楽しみたいという人、大会には出ないけれど会員になっているという人も多いです。そして、茅ヶ崎の人たちは「茅ヶ崎愛」が強いという感じでしょうか、ひとつにまとまってやっという意識を持っている人は多いと思います。



サーフィンというスポーツと地域が密接だからこそ、選手の層も厚い。茅ヶ崎市の大きな協力も得ながら、このエリアから優れた選手が次々と現れる(全日本入賞者による市長表敬訪問にて)

ビギナー、ビジターが増えてきて いるなかでトラブルを減らしサーフィン を安全に楽しめる環境づくりへ

最近の悩みは新しい駐車場が増えていることもあり、ビジターの人たちが楽しみやすい環境になってきている面があります。サーフシーンが盛り上がっていくのは良いことですが、サ

ーフィンを始めたばかりでルールやマナーを知らない人が増えることで、トラブルが多くなってきました。

茅ヶ崎のポイントは、パーク前などビジターが集まってくるポイント、西浜、柳島、裏パーク、チサン小屋前などローカルが厳しいポイントと分かれています。そういう情報を知っていれば楽しみやすいポイントであるかと思えます。まずは茅ヶ崎のショップに行くようにしてもらって、ローカルとの繋がりもつくって欲しい。そうすれば情報も得られるし、コミュニケーションもとれる。そこは支部としてもお願いしたいことです。

特にコロナが少しずつ落ち着いてきている中で、サーフィンを始める人が増えてきているのは、茅ヶ崎エリアでも感じられます。そういう状況でコミュニケーションの大事さがより一層クローズアップされてきているようにも思います。

例えば、台風が来ると必ずといっていいほど流されたという通報が来るんですよ。台風前には必ず支部から「自分の技量にあった状態の時に海入る」というメッセージを支部のホームページ、Facebook、インスタで発信していますが、それでもそういうトラブルは多いんです。離岸流が強いところもあり、危険なポイントも多い。ローカルには、危険だと思われる人からは海から上がるように声かけも支部からお願いしているほどです。

キッズ育成に向けた イベント実施と共に 支部はさらなる前進を続ける

当支部ではキッズの育成を中心に活動を考えているといってもいいくらい、力を入れています。茅ヶ崎とホノルルが姉妹都市という関係にあり、キッズのための大会として「ホノルル市長杯 グロメツ」を開催しています。逆にホノルル側では「茅ヶ崎市長杯 グロメツ」が実施されています。この大会はキッズたちの登竜門的なもので、この大会をきっかけに大きく成長していくという感じです。



キッズの育成こそが支部活動主軸。今年はこれまで以上にアクティブな育成に向けた展開もスタートするという

全日本の団体部門で2連覇中。各カテゴリーでトップを競える人材あってこそその結果だ

久米大志、松野陽斗といった茅ヶ崎のプロが立ち上げた「Yellow Peanuts」もキッズのためのサーフイベントです。たくさんのプロが協力して現場にやってきて、地域のキッズたちと触れ合い、サーフィン、海の楽しさをより深めていくきっかけをつくろうと動き出したプロジェクトです。また、今年は、キッズたちのアカデミーとしてスクールをやっているチームが支部に参加することで、支部の会員数が大きく増えました。さらに「茅ヶ崎湘南ロータリークラブ」が主催するキッズ育成のための大会も今年からスタート。よりアクティブに茅ヶ崎のキッズサーファーの育成を進めていきます。

支部の活動は自分と3人の副支部長を中心に進めていますが、茅ヶ崎では「茅ヶ崎サーフィン協会」という組織が動いています。地域ではNSA茅ヶ崎支部の動きと分けて考えることはなく、キッズの育成プロジェクトをはじめとしてすべての活動が連携しています。活動を効果的に展開するために自治体からの様々な資金援助も必要ですから、「茅ヶ崎サーフィン協会」という組織がそこで重要な役割を果たしているんです。こういった仕組みをつくり、しっかりと前進しています。

湘南茅ヶ崎支部は長い歴史がありながらも、実はなかなか団体優勝ができていなかったのです。キッズの育成に力をさらに入れていくことになったのも、選手層を厚くするためです。全日本で団体優勝を果たすには各カテゴリーでトップを競える人材が必要ですからね。2019年の全日本で団体優勝することができて、2021年大会と2連覇ができました。支部の活動がこうして結果にも表れてきています。ここからさらに茅ヶ崎のサーフシーンも熱くなっていくでしょう。



支部として50年以上と歴史は長く、ショップやローカルチームも古くから活動が続いている。「茅ヶ崎愛」とともに団結力が支部の大きな力となっている



湘南茅ヶ崎支部
支部長 三橋 一巳

AICHI



支部をエリアで分けし、円滑に情報をまとめ、活動を展開。ルール、マナーを向上し、より良い環境づくりへ

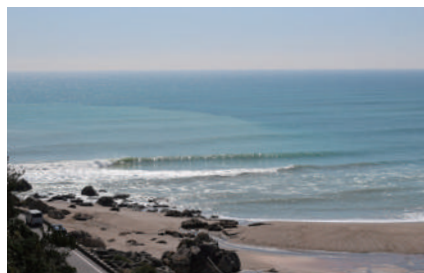
魅力的なサーフポイントを有し たくさんのサーファーでポイントが賑わう

愛知県には、豊橋市から田原市にかけて、長く続く海岸線にたくさんのサーフポイントがあります。なかでも豊橋市には小島ポイントや寺沢ポイント、田原市(通称：伊良湖)にはロングビーチ、ロコポイントといった有名ポイントが点在しています。県内は都市部の名古屋市、豊田市近郊から、県外においては日本の真ん中となるため、多くのサーファーが訪れます。地元コミュニティやローカルがしっかり浸透したポイントなどもあるため、各ポイントを大切にしている方たちがいるのも事実です。

NSA愛知支部には、約40のショップ・チームが集まり、個々の誠意ある活動やショップ運営を続けているため、たくさんの協力のもと現在の会員数になりました。僕は支部長を務めて2年目になりますが、最低条件として『広いエリアをフラットな目線で見て活動を考えるということ』が重要となり、街と沿岸では理解度、温度差も違うわけですから、行政機関、地元コミュニティやローカルの方々とポイントの問題解決を常に調整していく役割も果たしています。

今年度からNSA愛知支部に事務局を設け、本部役員も務めるメンバーが中枢を担い活動し、さらに広報活動や大会運営など、支部役員が軸となって支部内の活動を支えています。愛知支部全体を分けし、組織作りを行うことによってコミュニケーションと情報共有、意見交換、共通の目標、活動計画を調整していくという運営方法をとっており、常にサーフポイントの問題も気を配りながら活動しています。

サーフィン自体、このエリアは盛り上がってきていると思います。競技大会にこだわらず、NSA会員になっている方も多く、会員特典の保険加入やサーフィン検定に一生懸命に取り組んでいるサーファーも見受けられます。サーフィンの向上心は十分あるけど、大会ではなく、検定で自分のレベルを試したいという人は醒



長く続く海岸線にあるたくさんのサーフポイントには週末多くのサーファーが訪れる。愛知支部ではせっかくの良いポイントでトラブルが起きないように地元コミュニティやローカルとの問題も気を配りながら活動している

睡味です。各加盟店でもNSA会員へのメリットを伝えて、会員になってサーフィンを楽しむことを積極的に推奨してきています。

ローカルサーファーと 市街近郊からのサーファー 良きバランスをつくるための支部の役割

支部は各地域のローカルとのバランスも考えながら活動しています。海沿いにかかわらず県内には多くのサーフショップが点在し、情報拠点となる場所は都市部にもあるわけです。そこで各ショップは、お客さんにルールやマナーといった知識を十分に伝え、常にいいサーフィンの環境が保たれるような活動をしています。

以前は、ローカル色が濃く、地元住民への認知度の低さなど多くの困難を極める時期もありました。昨今は、各種大会(主催大会や世界大会)の誘致やサーファーによるサーファーへの啓蒙活動を行っており、少しずつサーファーに対する見方、ローカルサーファーたちとの協力的体制も充実しつつあり、より良い環境を作るといった雰囲気が出てきています。互いにリスペクトし合うということがやはり重要です。

サーフィン協会、サーフィン業組合、安全波乗隊といった他団体との連携もあり、ビーチクリーン、パトロール活動、コロナ禍での海岸利用についてなど、多くの活動にNSA愛知支部も協力させてもらっています。

支部としての今年度の活動は、支部予選、サーフィン検定、支部内コンテストなどがあり、各加盟店の大会も限定して開催予定で、ビーチをより多くの方に利用頂くためにも支部が窓口になって、行政機関や地元コミュニティ、サーフィン協会との協議を行い調整していきます。



事故防止や駐車のマナーなど、支部で地域の警察との合同パトロールも実施

さらにルール、マナーを浸透させるための声かけを常にやっていきます。サーフシーズンには多くのサーファーで、混雑必須となり、海の中でのマナーの悪さ、駐車場のマナーの悪さなどが問題になっています。改善していくために看板の設置やチラシの配布、支部からの声かけに力を入れてきました。県内にとどまらず、県外からのビジターも多く、皆がモラルある行動で、マナー

貴重なビーチ、海を大切に。地元団体と連携してビーチクリーンなど多くの活動に参加している



を守り、楽しめないとトラブルは減りません。

NSA会員にはそれぞれのポイントのルールや情報も伝わっているので認識していますが、何かトラブルがあれば、支部も関わってきます。非会員はもちろん、一般の方への更なる声かけ、周知の必要性を感じています。

ビギナーサーファーの 増加傾向もあり情報発信を より活発におこなっていく

コロナの影響が深刻だった時は、やはり遠方から来ないで欲しいという要望もあったりして、サーフィンをなかなか楽しむことができないという時期もありました。コロナ禍では、大会などイベント制限があることにより、実は会員数は少し減ってしまいました。

現状はコロナ禍が少し落ち着き、オリンピック効果やアウトドアブームにあやかり、新たにサーフィンを始める人が増加傾向にあります。支部の活動の盛り上がりにも繋がると有難いと思っています。そこで今年度から、支部のインスタグラムを立ち上げました。情報発信をよりアクティブにやっというこうと動いています。マナーの問題から大会情報まで、より多くのサーファーに、愛知の海を知っていただけるようにフレキシブルに発信します。

世界大会やプロ大会、全日本選手権など多くの主要大会が開催されてきた愛知のサーフポイントなど、まだまだ巡り合っていない素晴らしいポイントが沢山あります。

良い環境で、安全に気持ちよくサーフィンを楽しんでいるように、愛知支部はルール、マナーについての意識向上、モラルある行動をしっかり呼びかけていきたいと思っています。



コロナ禍では活動に制限があり、大会も行いづらい状況だったが、今年度からNSA愛知支部に事務局を設け、さらに充実した活動へと向かう(写真は2019年の支部予選にて)



愛知支部
支部長 工門 真二郎

九州サーフィン発祥の地として有名な佐賀県・唐津

SAGA

サーファー人口に対して
コンペに興味を持つ人の割合は多い唐津はリーフポイントが多く、
波質も良い
だからこそ、隣県から訪れる
サーファーも多い

佐賀県のサーフポイントといえば唐津なんです。一番いい波が立つメインのシーズンは11月から3月まで。梅雨明けからお盆までの間は波はほとんど無いんです。メインの時期以外でもオンショアが多いものの、少ないながらチャンスはそれなりにありますが、やはり波のパワーや面の状態を考えると冬が一番いいですね。

さらに唐津はビーチブレイクのところもありますが、やはりリーフポイントが多いんです。最も人気があるのは立神です。こちらも以前はビーチブレイクもあったんですが、砂がとられてしまって今はリーフばかりです。砂をとることが規制されていないためにそんな状況が起ってしまっています。元からリーフブレイクに近い感じだったんですが、よりその感じが強くなりました。

ゆえにポイントに入れる人数も限られてくるんです。ひとつのブレイクに20人くらいまで。通常2ヶ所のブレイクがあり、多くても3ヶ所。だから一度に多くの人は入ることができず、大体40人くらい入れれば満杯のポイントなんです。

また、サイズも福岡で胸あたりという時は、唐津ならアタマというように近隣のポイントと比べ1サイズ大きく、特に11月から3月は唐津のポイントは風が合い波質もいいので人気が高く、隣県のサーファーも訪れてきて週末は混雑しますね。そういうポイントなのでやっぱりルールやマナーをしっかり守ることが鉄則になっています。

約30人の会員登録増加は
実は宮崎の全日本への出場を狙った動き

佐賀県のサーファー人口自体はそんなに多く



先輩たちから受け継いできたサーフィンの楽しみ方として、コンテストへの情熱も熱い佐賀のサーファーたち

はないと思いますが、支部会員はコンペに興味を持っている人の割合がとても多いと思います。昨年から今年にかけて会員数が30人ほど増えたのも、今年の全日本が宮崎で開催されることに決まったことが影響しています。全日本の開催場所が遠いと支部予選を勝ち上がっても、なかなか出場するのに仕事の調整や遠征費の負担などいろいろ大変ですが、宮崎なら行きやすい。実力があって、前々から全日本に行きたいと思っていたという人が「宮崎なら挑戦してみよう」と考えて、今回会員登録する人が増えました。

ローカルコンテストでも13年ほど前までは『立神杯』という40回続いてきた大会がありました。その大会は途絶えてしまいましたが、『スリルジャンキー杯』という大会は現在も30回近く開催を続けています。

最近ではコロナの影響を受けてしばらく大会はおこなえない状況でした。そこで昨年と今年の3月にさすがにあまりにも大会が無くて寂しいからということで、支部予選の後に支部でローカル大会をおこないました。ひさびさりの大会だったのでみんな喜んでくれましたよ。宮崎の全日本を想定してビーチブレイクのポイントでやったんですが、唐津のサーファーたちは本来なら3月になるとシーズンオフみたいな感じになってきてるタイミングなので、そこまで

人気の大会になるだろうとは思わなかったんですが、エントリーは予想外に集まりました。

支部のみんなの思いも、コンペが好き人が多いということでもわりとシンプルなので、まとまりやすい方で、横のつながりもいい方ですね。

唐津は田舎なんです。娯楽がないので、サーフィンのコンペにも熱が入るんです。一般的にはコンペ離れなど言われていたりしますが、この地域ではそう感じません。先輩たちから受け継いできたサーフィンの楽しみ方、佐賀のサーフシーンにはコンテストへの情熱が深く根付いているのです。

唐津の人気ポイントが
将来失われるかもという
心配も抱えるなかで

だからこそ、我々にとってサーフィンを楽しむ環境は何よりも大切です。ところが今、佐賀県と唐津市の動きで唐津の沖に洋上風力発電所を開発するという計画があるんです。それが立神ポイントのすぐ沖、1.5kmぐらいの位置ということで、そうすると波が入らなくなるだろうということが心配されているんです。まさにサーフィンを楽しめる場所が失われてしまう。2年くらい前にこの問題が浮上して、困っているんですよ。問題解決のために署名を集めたりと活動しているところです。

しかし、この件をきっかけにいろいろ地域とのつながりもできました。佐賀県のスポーツ協会に入ることもすすめられ、準備を進めており、今年の6月に加盟します。以前はスポーツ協会の話もなかなか進行しなかったのですが、こうして新たに行政とのつながりもできて、支部の活動を支援してもらえる可能性も少し見えてきています。同時に洋上風力発電所の件でも、いろいろ動きやすくなっていけばと期待しています。



洋上風力発電所の開発問題も抱えるが、いい波が楽しめる貴重なポイントを大切にすることにひたむきに活動が続いている



唐津で最もいい波が入ってくことで近隣エリアの中でもひととき人気が高い立神ポイント。砂が採取されてしまい今はリーフばかり

佐賀支部
支部長 小浦 修

SAITAMA MINAMI

経験豊富な支部長を軸にバラエティー豊かな仲間、
 >> 支部オフィシャルスポンサーの協力を得て
 『魅力ある支部 SAITAMA373』へ

35年の実績を持つ ベテラン支部長の存在と 『ONE TEAM』を目指す組織

埼玉県内のNSA組織は1982年頃よりサーフィンブームが背景となり最大で4つの支部まで大きくなりました。私が1区支部長として前支部長より任命されたのが22歳の時になります。埼玉支部が3つの区に分かれて間もない時期でした。当時東京で行っていた全国支部長会議では最年少支部長だったと記憶しております。時代を経てサーフィンの楽しみ方が多様化していく中、コンテスト離れなどもあり年々会員数が減って行く時期がありました。なかなか歯止めも利かず、マンネリ化を解消すべく2009年に旧1区と旧3区が合併して、埼玉南支部が誕生しました。当時1区の数と3区の数合計する事により300名の支部が誕生すると想定しておりましたが、実際は142名という予想を大幅に下回るスタートとなり支部存続も危惧されました。



支部長歴35年、常に前進し続け、今も明確な目標を持って支部活動をリードする。小川支部長のSAITAMA373への想いはとても深い



昨年は全日本へ45名の出場枠を獲得。ひとりでも多く全日本へ出場し、活躍してもらいたいと支部の応援は常に全開

『魅力ある支部づくり』と言う目標のもと試行錯誤を重ねて現在の組織になっています。現在は400名前後での安定した会員数で推移しておりますが、実はチーム数は合併当時と変化なく12チームでの組織で運営しております。これは、1つ1つのショップチームやクラブチームがしっかりとチーム員の編成を構築しており、支部における各チームの役割を十分に果たして頂いていることが頑丈な基盤となっております。新規出店サーフショップ以外の少人数クラブチームの新加入を抑え、現在既存のチームに入ってもらうことで、結束力も固くなり秩序を守れ、全員が同じ方向で活動できる環境を作っています。

今後もSAITAMA373『ONE TEAM』の更なる組織力で邁進していくことがとても楽しみです。

レベルの高い支部予選を実施 そして全日本で好成績 出せる魅力的な支部へ

支部の活動を盛り上げていく上で、やはり支部から全日本チャンピオンやプロとして活躍できるサーファーを送り出すということがとても重要だと思っております。

安井拓海、大音凜太、野中美波、江口彩花、梶原裕太、菊池里騎、汐月麻子、中根玲衣、岩上謙介など当支部出身、各カテゴリーで活躍中のプロも多く、昨年はこのスタートラインとも言えるアマチュア最高峰大会である全日本サーフィン選手権に45名の出場枠を獲得しています。1人でも多くこの全日本選手権に出場し経験して貰うことも重要なポイントです。

支部ではジュニアアスリートへの支援として、高校生以下の選手に対してNSA主催大会や373支部イベントにおいてエントリー費を全額支援という仕組みをつくっています。これには「がんばれ！埼玉南支部」オフィシャルスポンサーの支援を得て、プロジェクトを継続中です。

(右) 支部を盛り上げ、結束の強さもアピールしたいとパドルレースに向けてのスペシャルボードを製作 / (左) SAITAMA373のロゴを統一し、ブランディング化も着々と『ONE TEAM』として団結力進行中



DATA & RANKING

支部別正会員数 TOP30

支部名	正会員数	支部名	正会員数
1 千葉東	719人	16 徳島	237人
2 千葉西	589人	17 福岡	231人
3 東京	511人	18 宮崎	230人
4 湘南茅ヶ崎	468人	19 湘南西	205人
5 湘南藤沢	398人	20 横浜	184人
6 埼玉南	386人	21 三重	183人
6 大阪	386人	22 京都	176人
8 愛知	319人	23 静岡2区	166人
9 千葉南	313人	24 東京多摩	149人
10 千葉銚子	290人	24 鹿児島	149人
11 湘南鎌倉	253人	26 佐賀	134人
11 静岡3区	253人	27 埼玉2区	127人
13 福島	252人	28 静岡伊豆	124人
14 茨城南	251人	29 茨城北	123人
15 宮城仙台	238人	30 新潟1区	116人

※正会員数算出基準＝2022年度全日本枠対象

支部別正会員増加数 TOP10

支部名	増加数
1 千葉東	110人
2 湘南藤沢	75人
3 湘南茅ヶ崎	65人
4 長崎	62人
5 宮崎	57人
6 徳島	56人
7 福島	49人
8 千葉南	40人
9 三重	32人
10 湘南鎌倉	31人
10 佐賀	31人

チーム別正会員数 TOP20

チーム名	支部名	チーム会員数
1 パースサーフ	埼玉南	139人
2 サーフクラブ	千葉西	132人
3 KMSC ストラディ	京都	131人
4 K.I. SURF	千葉銚子	114人
5 MISSION	福岡	112人
6 波崎南風	茨城波崎	91人
7 GAN☆SURF	埼玉南	78人
8 水木サーフチーム	茨城北	75人
9 レイトラップ	千葉東	60人
9 サンタートル	湘南茅ヶ崎	60人
11 The Blue & Nan's Sea	福井	57人
12 RADIX 佐倉	千葉西	56人
13 アンフィビアン	山梨	55人
13 TEAM DEVICE	栃木	55人
15 ゆきのうらビーチストア	長崎	54人
16 USAサーフチーム	徳島	52人
17 UZ	千葉東	51人
17 ローカルエナジー	徳島	51人
19 SEAMILES	千葉東	49人
20 サザンコースト	千葉南	45人

同時に、支部設立当時より全日本選手権やプロ大会等で実際に実務を担当するジャッジを招集し、レベルの高いジャッジチームを構成。クオリティの高いジャッジ力により支部予選のレベルアップをはかり、さらにジャッジからの様々なアドバイスが選手に行き渡るような環境もつくっています。そして現在、プライオリティシステムを支部予選大会の全ヒートに導入し、選手が全日本に出場しても戸惑わないようなスキルを身につけられるよう準備を進めています。こちらは、当支部の伊藤裕一ジャッジ委員長の前、最新ジャッジシステムを常に更新しています。

そして、現在もっとも力を入れ取り組んでいる1つに女性サーファーが活躍できる環境拡大を目指し女性会員増のための活動も事業計画として設定しております。結果、今期会員数は61名。前年度比190%と上振れし益々増加する傾向に期待しております。これは全日本に出場して各カテゴリーに2名以上の出場枠があれば、同じ支部の仲間と参加でき好成績を収めることになるエビデンスとして認識しております。

このように埼玉南支部のサーフィンレベル、コンテストグレードの向上により、支部の活動はさらに活性化していく方向に向かっていきます。

22社のオフィシャル スポンサーの存在が SAITAMA373の魅力を支える

イメージづくりや支部の魅力の拡大も事業計画に入れて進めています。「SAITAMA373」のロゴマークを統一、ブランディング化をはかり、ビーチタオルのデザインを公募して制作。パドルレースに向けての支部パドルボードも製作しました。支部にはアイディアマンも多く、様々な企画が生まれています。それを形にして会員とのコミュニケーションもはかりながら、支部の結束を強めるプロジェクトを進めています。

そして前述したサーフィンレベルの向上なども含め、埼玉南の支部活動を進める上で欠かせないのが、22社のオフィシャルスポンサー

企業様の存在です。

ちなみにその22社のなかにはサーフィンメーカーはひとつもなく、地元の企業や会員さんの繋がりによる連鎖反応です。業種は様々ですが、埼玉南支部の活動内容に賛同いただき、ご支援を頂いております。埼玉南支部の大きな特徴であり、もっとも大きな力だと思えます。



「ONE TEAM」の団結力と支部活動を応援してくれる22社のスポンサーのバックアップでSAITAMA373の活動は全国的にも注目されている

繋がりを深めるビッグイベント 活発な情報発信と コミュニケーション活動

年に1回、支部のビッグイベントとして「フレンドリーカップ」を開催しています。元々3区支部が行っていた由緒ある大会を、南支部となりその歴史を継承している支部イベントです。支部所属の各チームが集合しておこなうイベントですが、必ず他のチームの人と声をかけ友達になることを趣旨とした新たなコミュニケーションのつくりの場としても意味を持たせています。この活動によってコミュニケーションの活性化をはかり、支部内の選手同士の仲を深め、魅力ある支部づくりへと繋がっています。チームの枠を超えて選手同士が仲が良いのには、支部長もびっくりする次第です。

ブッシュクラス、スーパービギナーから、ショップオーナークラス、スポンサークラス、レジェンドクラスまで16ものクラスがあって、本

当にお祭りのような雰囲気です。支部出身のプロたちも参加してエキジビジョンマッチをお披露目し、埼玉南支部に関わる全ての人たちの繋がりを深めるとともに、まだNSA未入会のチーム所属の人がステップアップしていく場としても大きな意味を持つイベントです。

また、Facebookを情報発信の場としてアクティブに活用しています。Facebookを見ていただければ、支部活動の内容がわかるように出来るだけ細かく情報を発信しています。私はFacebookが情報発信のツールとして一番使いやすいと思っています。新しい情報が公開されたことが会員に伝わり、必要な人に適切に伝達できます。ここでも「オフィシャルスポンサー企業の紹介」や「注目サーフファミリー図鑑」「サーフクラブ紹介」といった企画も随時公開しております。



支部のビッグイベント「フレンドリーカップ」は、誰でも気軽参加可能な16ものクラスがあり、子供から大人までが楽しめるイベント

『魅力ある支部 SAITAMA373』という2022年の支部の基本方針のもと、これからもさらに広がる支部の展開をしっかりとまとめていく上で活発な情報発信とコミュニケーション活動をおこなっていききたいと思っています。最後になりますが、埼玉県は海なし県です。大会等を行う場合は、海に隣接した支部のご理解・ご協力が必要不可欠です。何卒今後においても、よろしくお願い申し上げます。



埼玉南支部
支部長 小川 直行

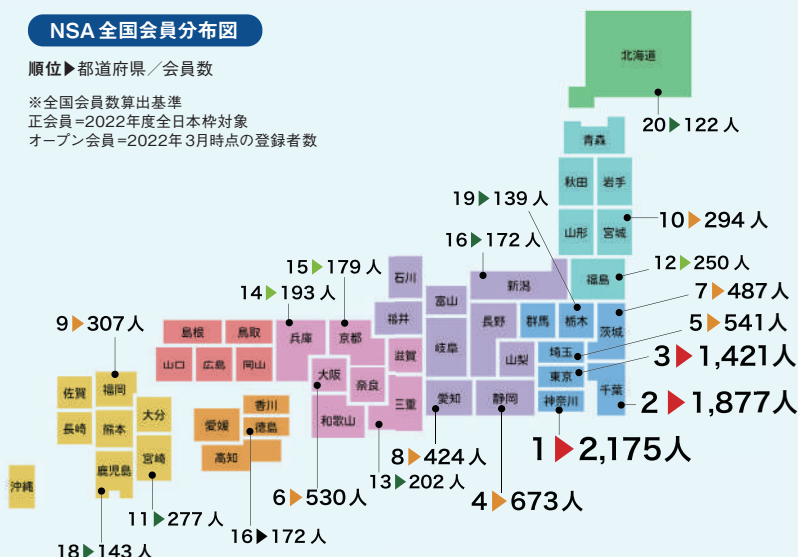
クラス別登録者

競技クラス	登録数
シニア	2,008人
マスター	1,799人
メン	1,248人
Gマスター	1,130人
LBマスター	1,076人
Sウィメン	590人
LBメン	582人
カフナ	531人
LBウィメン	419人
ボーイズ	301人
キッズ	235人
BBウィメン	231人
ウィメン	194人
ガールズ	171人
BBメン	164人
ジュニア	134人
S計	8,341
L計	2,077
B計	395
合計	10,813

NSA全国会員分布図

順位▶都道府県／会員数

※全国会員数算出基準
正会員=2022年度全日本枠対象
オープン会員=2022年3月時点の登録者数



21	長崎県	118人
22	佐賀県	104人
23	熊本県	100人
24	沖縄県	82人
25	長野県	80人
26	奈良県	73人
27	岡山県	70人
28	山梨県	64人
29	和歌山県	62人
30	岩手県	60人
31	福井県	55人
32	鳥取県	52人
33	広島県	49人
34	秋田県	45人
35	石川県	45人
36	滋賀県	38人
37	島根県	37人
38	群馬県	36人
39	青森県	35人
40	高知県	34人
41	富山県	27人
42	岐阜県	23人
43	山形県	22人
44	香川県	18人
45	大分県	18人
46	愛媛県	10人
47	山口県	9人

サーフクラブ(千葉西)

SURF CLUB

ビーチフロントのクラブハウスを拠点に
少しずつチームは大きくなった



様々なニーズに応え、安心して サーフィンを楽しめる環境へ

1999年にリップカールサーフショップのスタッフとお客様によって、当チームはスタートしました。当時は検定や全日本選手権の支部予選に出るため、またそれをモチベーションにして練習に励むためにNSAにチームとして登録。当初から海のそばにチームの活動拠点としてクラブハウスを構え、スクールも展開してきたのですが、その後スクールに参加したお客様の登録が増えていき、現在では150名を超える方がNSA正会員として登録し、練習会、ビーチクリーン、国内合宿、海外サフトリップ、大会参加などの活動をしています。

現在は活動拠点として、千葉県九十九里の豊海海岸のビーチフロントに550坪の敷地に床面積140坪のクラブハウスを構えています。

スクールは「サーフィン虎の巻」等の著者であるオーナーの小林をはじめ、経験豊かなスタッフがそろっていて、また千葉県の西船橋駅から送迎も行なっているので、本当に多くの方に来ていただいています。多い年はスクール申し込みが新規で年間1,500人以上で、メンバーやリピーターの利用を含めるとのべ10,000人を超えるお客様に来ていただいている、そこからサーフィンをさらに続けていくという人が会員になってくれているという感じです。

クラブハウスにはスタッフが常駐していて、それぞれが公認指導員や海上安全指導員、ISA認定コーチ等の有資格者で安全面に対処できるスキルを身につけており、AEDや救急セットも常備しています。なので、施設の目の前のビーチでサーフィンをしていれば、そういった面で安心感、安定感を得られるというの大きなメリットになっていると思います。

やはりこういう施設があることで、チームの中でもメンバー同士がどんどん仲良くなって、いい雰囲気ができています。我々が特に紹介しな



2Fからは波をいつでもチェックできるというベストな環境。目の前のポイントはほとんどクラブメンバー中心で楽しめる

くても自然に繋がりが広がっている感じです。

また最近では家族で来て、子供とカフェやキッズスペースで遊んでいる間に夫婦交代でサーフィンを楽しむ方も増えています。そんな多様なニーズに応えることができるのがサーフクラブの特徴になっていると思います。クラブハウスを利用するには会員登録と月会費が必要で、現在は約350名ほどのメンバー様がいます。NSAの会員登録に関してはあくまで任意としていますが、毎年年末に「サーファーの自覚として登録しましょう」とメンバー様に勧めています。

サーフィンスクールからスタートして NSA会員登録へと繋ぐ

他のチームではサーフィンの上手い方が会員になっていらっしゃるケースが多いと思いますが、うちは中級以上は1/3程度で、それ以外は初心者や初級者となっています。そして、大会に出る目的以外でNSAの会員になっている人が多いんです。当初は検定や大会に参加するためのNSA登録でしたが、スクールが増えるに連れて保険のために登録するケースが増えてきました。サーフィンもほかのスポーツ同様、どうしても事故の可能性がありますが、特に始めたばかりの方は技術が伴わないために、その可能性が高いのでサーフクラブとしては初心者の方にも保険の加入という意味で積極的にNSA登録を勧めています。ただ、NSAの会員になるということが、自分のレベルが高くないという意味がないという風に思っている人も多いのですが、うちのチームでは「サーフィンを始めたら、まずNSA登録しましょう」というような感じで勧めているんです。ですから、初心者に対するNSA会員としてのメリットが今後さらに増えてくるといえると思っています。

施設のメンバー様は公認指導員やISA認定コーチによるコーチングレッスンがいつでも半額で受講できます。またプロサーファーや全日本優勝者による特別レッスンもおこなっています。うちではそのようなレッスンからサーフィン検定に興味を持つメンバー様が多いんです。それにうちでは他のポイントに行ってサーフィンをするのはサーフィン検定の4級をとってからにしましょうというアドバイスもしているんです。4級のスキルがあれば、ルールやマナーを意識し、テイクオフする際にも周囲を見れるようになり、また自分からブルアウトで危険を回避できるようになり、事故やトラブルを避けられますから。

すそ野を広げる活動を続けつつ チーム全体のレベルアップを目指す

緊急事態宣言等で、一時期スクールの受講数が減ったりもしたのですが、その分来ていただいた方に関しては手厚くサポートすることができたので、サーフクラブへの入会やNSA会員登録は増えています。

ただ、多くの検定会や大会が中止になったことで、それを目的としていた人のモチベーションは落ちてしまったように思います。こういう状況下でもモチベーションやNSAの存在意義を維持できるような制度があればと思います。特にうちではサーフィン検定の3級取得を目指している人が多いんです。コロナ禍で支部の検定会に多くの人が集まるというのはリスクもありますし、それに待ち時間が長かったりします。現在はチーム主催の検定で取得できるのは4級までですが、3級までの検定ができればメンバー様はもっと積極的にチャレンジすると思います。また各チームが検定をおこなうことで、チームの存在意義もあがり、NSAの会員登録をする人も増えると思います。

サーフクラブは日本最大級のサーフィンスクールとして、まずはサーフィンのすそ野を広げる動きを継続し、少しでも多くの方にサーフィンを安全に楽しんでもらいたいと思っています。そしてその中からモチベーションが高いメンバーには積極的に検定や大会にチャレンジできる環境を作っていきたいです。実際に今年は過去最大人数が支部予選にチャレンジすることになっているので楽しみです。このような活動を通してチーム全体のレベルアップをしていきたいです。



施設があることで、チームの中でもメンバー同士がどんどん仲良くなって、いい雰囲気ができている



チーム代表
星 あさひ



オーナー
小林 弘幸

全国の支部の活動の軸となり、正会員の入り口という重要な意味を持つ『チーム』というコミュニティ
 実際のチームとして普段どのような活動を行なっているのか？
 多くの人との出会いの中から正会員になっていく人たちは実際に何を求めているのか？
 今回は千葉西のサーフクラブと京都のKMSCストラディーの2チーム取材してみた

KMSCストラディー（京都支部）

KMSC STRADIY

もっともっとサーフィンを楽しんで
 地域のサーフシーンを盛り上げていきたい

日本海、太平洋と共に 程よいアクセス 一年を通していい波を楽しめる

京都のサーファーは冬場は日本海、夏は伊勢、伊良湖、和歌山といった太平洋側のポイントに行くという感じですね。京都市内を基準に考えると日本海も太平洋側のポイントも、どちらのエリアも2時間ほどの距離なんです。ですから市街から色々なポイントを選んで行けるエリアでもあるんです。海まですぐに行けるとい環境ではありませんが、一年を通していい波を楽しめるエリアという感じです。しかし、僕らがメインで考えるのは冬の日本海側のポイントです。ビーチもそれぞれが魅力的で、いい波がありながらも混雑していない。チームのメンバーも冬の日本海をメインで楽しんでいる人はとても多いですよ。寒いのは確かですが、いい波でサーフィンしたいという熱い思いが強いから、京都のサーファーの多くは冬場もアクティブに海へ通ってます。



ショップオープン当初から続けてきたKMSCカップ。これは第1回大会の参加メンバー

オープン当初からNSAの活動と 繋げながら進んできた

チーム活動はショップのオープン当初からNSAの活動を積極的に応援していこうとやってきました。もともと自分が6～7年くらい前まで支部長を8年間ほど務めてきたこともあって、特に力を入れてチーム員を増やしてきたのですが、年々着実に増えてきて今の人数になっています。

チームメンバーの大半は特に大会に出るとい訳では無いけれど、純粋にサーフィンを楽しむためにNSA会員になっています。うちのチームの中でも大会を目標に頑張っている人は1～2割程度だと思います。ですが実は自分が会員になることで、全日本選手権に京都支部



ストラディーではオーナーの北村氏と共に極上の波を求めて、海外遠征も含めて各地へ楽しいツアーを実施

の選手枠がひとつでも多くなることに繋がればという声もたくさんもらっているんです。もちろん自分もそうやっていったら、このエリアのサーフシーンも盛り上がるという思いもあり、チームを引っ張ってきました。

一方、サーフィン検定への興味はレベルを問わず高いかなと思います。NSA会員となることいろいろな意味でサーフィンのスキルアップに繋がると、チームメンバーには理解してもらえていると思います。

とはいえ、実はショップではお客様に積極的にNSA会員になることを推奨しているという事でもないんです。会員になってくれたお客様に対しては付加価値という物ではないですが、トリップに行く計画をつくったり、会員だけの交流会やショップの大会などできることを一緒に提案させて頂いています。サーフィンを始めたいとスクールに来てくれて、その後上達していく中でうちのショップをベースにして、サーフィンを楽しもうという人たちがチームメンバーとなり、NSA会員に登録しています。中には忙しくてサーフィンにあまり行けてはいないけど、会員登録は続けたいという人も沢山います。コロナの影響を受ける前は月1回、様々なチームイベントをやっていました。チームの交流は多い方じゃないでしょうか。

ショップではオープン時から14回ほど、年1回の大会を続けてきています。11月の日本海のポイントでの開催で少し寒い時期ではありますが、水温はジャーフルでもいける程度なので、いつも楽しくやっています。その大会が終わった頃にいつも会員を募集する。それまでは特に募集していないんですよ。チームの大会で楽しんでもらって、さらに会員になって一緒にやっていこうよという流れですかね。そういうタイミングに募集する方がみなさん入ってきやすいかなと思っています。

これからも人との繋がりを 大切にしていきたい

チームではメンバー同士もすごく仲がいいんですよ。だからチームとして雰囲気も良く会員

数も減らずに増え続けて、こうして続けていけているんだと思います。自分もメンバーにもっとサーフィンを楽しんで貰いたいという思いも強いですし、今とてもいい雰囲気ができていることは本当にありがたいと思っています。

支部長を務めていた時には色々な繋がりを作りながら、支部の動きを考えるのは大変なことも多かったですが、だからこそ当時の繋がりに感謝し大切にしながら、今は京都支部を前進させるために協力していきたいと思ってやっています。

ショップの方もコロナの影響が出始めた時は不安でしたが、去年はオリンピックで日本代表選手が活躍してくれたこともあってか、その後スクールの問い合わせも増えたりと盛り上がってきたと感じています。そして以前よりも若い子たちにサーフィンをやりたいという気持ちが高まってきているとも感じます。これからまた期待できますね。

サーフィンを始めた人たちの気持ちが繋がって、少しずつメンバーが増えて、チーム会員数全国一になればいいかなと思います。そのためには新たな取り組みとして、キッズの育成など様々なチャレンジをしていきたいと考えています。



少しずつメンバーが増えて、チーム会員数全国一になればとまだまだチームの勢いは上昇中



チーム代表
 北村 貴彦

全国規模で盛り上がっている

サーフィン検定にチャレンジ

サーフィンのテクニック上達、大会での成績アップに効果大

サーフィンを楽しんでいくなかで、やはり自分の技術がアップすればより楽しさも向上していく。しかし、上達していくうえではいろいろと壁に直面し、伸び悩んでしまうことも多い。そこからさらに前に進めるかどうかは自分次第。乗り越えたいという気持ちがあっても「自分のどこが悪いのかわからない」「問題解決のヒントが見つからない」と悩んでしまう。一方、大会で上位を目指すもなかなか成績も上がらず、目標に向かうモチベーションが維持していけないということも。そんな局面で道をスバッと切り開いてくれるのが『サーフィン検定』だ。現在、NSAの各支部主催でサーフィン検定は実施され、たくさんの人たちが参加して盛り上がっている。ここではサーフィン検定がどのようなものなのか？ まだ、未体験の人のために紹介していきたいと思う。

なぜ、サーフィン検定が上達に役立つのか？

自分のサーフィンがどのレベルにあるのかは、なんとなくは自覚できても、客観的に見てしっかりと判断されるという機会はほとんどない。出来ているのか、いないのか？ それをジャッジの目で判断してもらい、レベルを判定してもらうのがサーフィン検定。持ち時間15分という中で、6本の波に乗るまでトライ出来、それぞれの級で定められた基準で評価され、級の可否が判断される。サーフィン検定はNSA公認ジャッジ3名とマスタージャッジ1名が担当。常に厳正な審査が行われる。

実際に出来ていたと思っていたはずが、ジャッジの目から見ると出来ていないという判断となることも多いかも。サーフィン検定をきっかけに自分の技術を見直すことができるのだ。検定では同じ級を受験する4～5名のメンバーで定められたエリアにゼッケンを付けて入るが、大会ではないので人と競い合うわけでない。しかしながら15分という時間内で集中し、自分の現在の実力をしっかりと出すというチャレン

ジの経験は、サーフィンのスキルアップに確実にプラスの効果となって現われてくるだろう。

自分が受験を希望する会場へ行けばOK

サーフィン検定では事前登録は不要。自分が受験したい級の検定会場に当日直接行って、受付をすれば受験することができる。サーフィン検定はNSAの支部主催で行われるが、支部内の会員しか受けられないということではない。(コロナウィルス感染予防対策で他からの参加を制限する場合はあるので、支部の情報をチェックしよう)

サーフィン検定はNSA会員でなくても誰でも受験可能。NSA正会員であれば5級が免除で、4級からチャレンジできる。用意するものは証明写真(縦4cm×横3cm)と受験料(2,000円)。そして合格後に支払う認定料(3,500円)。

当日の再受験は可能？

1回目が不合格でも、2回目の受験が可能な場合もある。ただし、これは当日の受験希望

検定の詳細はこちらでチェック！



サーフィン検定の資格、申し込み方法、各級の規定演技内容、審査方法まで詳細をよく確認しよう。

全国で開催される
検定のスケジュールをチェック



NSAの級認定検定は年間を通じて各地で実施されているのでスケジュールをチェックしてどんどん挑戦しよう。

者数やコンディションの状況により、主催者が判断するので会場で発表される情報をチェックしよう。

級別サーフィン選手権に挑戦へ！

NSAが主催する大会の中でも最近注目が集まっているのがこの級別サーフィン選手権大会だ。サーフィン検定級の保持者による大会で、ショートボード、ロングボード、ボディボードで級別にクラス分けが行われ、その中で順位を競い合うという大会。通常の大会とは異なり、実力も近い人同士なので楽しみやすい。サーフィン検定で級認定を受けたら、その先のステップとしてぜひチャレンジしてみよう。



レベルが近いからこそ、競い合う面白さを味わえる級別サーフィン選手権。スキルアップにも大いに役立つはずだ。

まずは目指せ！ 3級以上!!

認定級のレベルと課題



正会員登録はこちら



5級 NSA正会員は 免除される入門級

受験資格：誰でも受験可能

海でボード扱う最低限の技量を確認

課題 ある程度の泳力があり、パドルングをしてゲッティングアウトできること。テイクオフしてある程度サーフボードの上に立つ事ができること。ボディボードはキッキングを使ってテイクオフし、ある程度ライディングができること。



テイクオフ

4級 サーフィンの基本を しっかりとマスターする

受験資格：5級保持者またはNSA正会員

波に乗り、向きを変え波から降りる動作を確認

課題 5級の能力に加えてテイクオフから確実なターンをし、ブルアウト(波の後ろに降りる動作)ができること。



ブルアウト

NSA正会員はこちら

実際の検定の流れは？

01 受験申し込み

まず会場に行ったら受験者カードに必要事項を記入し、写真をカードに貼り付ける。そして自分が受験したいクラスの各級の受付で受験の受付を済ませる。



検定会場にてまずは受験者カードに必要事項を記入



受験者カード。NSA正会員は会員番号の記載を

02 マスタージャッジからのガイダンス

決められた時間に集合。検定開始前には受験する級ごとにマスタージャッジから検定クリアのために必要な演技内容、マイナスポイントなどの説明がある。



受たい級の受付へ



受付でヒート番号、ゼッケンカラーが確認、しっかり確認

03 検定開始

指定されたカラーのゼッケンを着用し、海へ。検定開始から持ち時間は15分、または6本の



ヒート開始前にマスタージャッジから合格基準とアドバイスがある



原則1ヒート15分、6本の試技。ヒート途中でも合格判定されればそこで終了

波に乗るまで。ジャッジは受験する級に対しての技量が伴っているかをチェック。緊張せずに普段の実力を出し切ろう。なお、検定実施はコンディションの変化で場所やスケジュールの変更もあるので会場案内に注意しておこう。

04 合格発表

検定が終わり、ゼッケンを返却。ジャッジより受験者カードを受け取り、可否を確認。(なお、可否に関わらず、受付に受験者カードを提示して審査結果を報告すること)



公認ジャッジ3名とマスタージャッジ1名が検定を担当

05 合格したら認定料を納めて終了

合格者は合格印の押されたカードを認定受付に提出して認定料3,500円を納める。検定日から1ヶ月程度で合格認定証、検定認定カードが事務局より届く。

※各検定により、若干手順が異なる場合があります。



合格発表。その後受付に受験者カードを提示して可否を報告

3級

両サイドのレールを使う動作を確認

受験資格：4級保持者

海でボード扱う最低限の技量を確認

課題 テイクオフからレールを使ったターンで加速できる。カットバックもしくはリエントリーができること。ボディボードは上記の技術に加えスピンまたはエルロ口ができること。ロングボードは上記の技術に加え、ウォーキング・ウォーキングバックができること。
★合格判断基準：その日のコンディションに合わせたアベレージスケールに入るターンができること。



カットバック



ドルフィンスルー

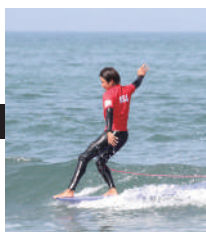
2級

大波にも挑戦できるカッコイイ上級サーファー

受験資格：3級保持者

フリーサーフの中で総合的な技量を確認

課題 フリーライディングで、スピード、パワー、フロー、コントロールなどをジャッジライテリアに沿って審査。
★合格判断基準：その日のコンディションに合わせたグッドスケールに入るライディングができること。



ハングファイブ



スピン

1級

誰もが憧れるトップアマチュアサーファー

受験資格：2級保持者

波の選択やポジションから高度な総合技量を確認

課題 フリーライディングで、スピード、パワー、フロー、コントロールなどをジャッジライテリアに沿って審査。2級以上の積極性、波を見る能力、ポジショニングなども審査の対象となる。
★合格判断基準：その日のコンディションに合わせたエクセレントスケールに入るライディングができること。



リエントリー

日本スポーツ振興センター技術力向上事業

2022年強化指定選手国内強化合宿

2022年3月12日(土)～13日(日) 千葉県 鴨川市 東条海岸(マルキポイント)

日本サーフィンの実力を世界に示した東京2020オリンピック。
2024年はフランス パリ、2028年のアメリカ ロサンゼルスと、
次の戦いはここから始まっている。

取材・撮影：山本貞彦

新たな「波乗りジャパン」を目指して

3月12日から2日間の日程でNSAとJPSA(日本プロサーフィン連盟)によるサーフィン強化指定選手対象の「強化合宿」が、千葉県鴨川東条海岸(マルキポイント)で行われた。2020年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となり、この形態で行われる強化合宿は2019年に開催されて以来の3年ぶりとなる。

この合宿には強化指定選手の男子24名、女子16名、ジュニア強化指定選手が男子16名、女子7名の総勢63名が参加した。この中から男女上位14名が3月30日に静岡県牧之



試合では波へのアプローチに攻める姿勢を見せ続けた野中美波。2年連続でWSL チャレンジャーシリーズの出場権も確保。



1. 昨年はオリンピックで銅メダル獲得。さらにWSLのCTに参戦と日本を牽引する都筑有夢路。2. NSAでは全ての大会で輝かしい記録を打ち立てた中塩佳那は、今年からプロに転向。3. オリンピックでは日本代表。持ち前のスキルで小波の攻略も手に入れた前田マヒナ。

原市で開催される「第3回ジャパンオープンオブサーフィン」への出場権が与えられる。

感染症対策を行いながらの合宿になるため、実技を伴うヒートトレーニングは初日を女子、2日目を男子と完全に分けて招集。また、アスリートとして必要となる「ドーピング講習」「栄養学講習」「強化部講習」は、すべてオンライン(非公開)にて行われた。

この合宿は選考会の一面はあるものの、次のオリンピックのメダル獲得のために選手の技術力、競技力の向上のために行われるもので、まずは現在の日本人選手の実力を把握することも目的の一つとなっている。

個々のスキルと適応力の把握

ヒートトレーニングは試合形式で行われた。まずは全員が参加するR-1。そこから1位がR-3へ。2位、3位はR-2に回る。そのR-2では4名のうち上位2名が最終ヒートとなるR-3へ。そのR-3の結果、上位14名を選出する。

最終順位の決め方は、女子はR-3で4ヒートの各上位3名が確定となり、ベスト2の合計点の高い順位で12名を決める。残りの2枠は4位となった選手のトータルポイントの上位2名とし、残りは補欠となる。

男子はR-3の7ヒート上位2名が出場枠を確保となり、これで14名。順位についてはR-3のトータルポイントの高い順で決定。補欠については3位となった選手の最終ポイントの上位5名となる。

今回の会場の鴨川マルキポイントは2日間を通してサイズは腰腹。ただ、ワイドで厚い波。しかも、ヨレてダラダラとしたつながり気味なブレイク。技を見せるには難しいコンディションとなった。

実力を測るなら、波のある状況でやるのがベストだ。しかし、波があればどんなコンディションでも行われるのが試合。よって、今回はどんな状況でも勝つことを求められた時、選手がどのような対処するのか。スキルはもちろんのこと、個人の波への観察力、判断力、そして適応力なども問うものとなった。



昨年、自分のスタイルを確立したことで、試合での戦い方を覚えた脇田紗良。どんな波でも攻略できるスキルを身につけた。



JPSA プロトライアルから参戦して、そのまま優勝。その年にグランドチャンピオンとルーキーオブザイヤーも獲得した松岡亜音。



JPSAのグランドチャンピオンというタイトルを獲得した西慶司郎。試合では常に冷静沈着。勝つ戦略を即時に立てられる頭脳派。



4.普段からどんな波でも練習している田中大貴。それ故、試合で確実に決めることができる。5.代表を争ったISAの激闘からオリンピック。再び新たなステージへの挑戦が始まった大原洋人。

タフなコンディションで行われた実践練習

潮回りは長潮であり動きが波が張らないブアーな時間帯もあったことで、番狂わせも多く発生する展開となった。女子では黒川日菜子、須田那月、松田詩野がR-2で早々と敗退。男子もR-3で村上舜、稲葉玲王、安室文と実績ある選手が姿を消した。

逆に体格の小さなキッズ、ジュニア選手はテイクオフが早く、すぐにアプローチして技を繰り出す。男子では鈴木一歩、岩見天獅、酒井仙太郎、鳥淵一太ら。女子では上門涼風、鈴木莉珠、登坂祐妃らは攻めの姿勢を見せてラウンドアップと気を吐いた。それでも女子では松岡亜音、野中美波、脇田紗良、都筑有夢路、中塩佳那、前田マヒナ、都築虹帆、大村奈央らは、ここぞという勝負強さも見せてランクイン。やはり、試合経験の豊富さで、タクティクス(戦術)の違いを見せた。

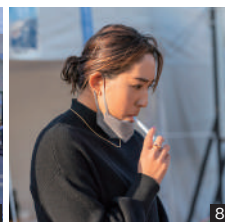
男子は昨年、JPSAでグランドチャンピオンとなった西慶司郎がトータル14.40とトップ。続いて田中大貴、大原洋人、新井洋人、脇田泰地、伊東李安琉、金沢呂偉、上山キアヌ久里朱らもベスト2を揃えて、上位を確保した。

今年度は特定強化選手を追加ジュニア育成にも新しい試みを開始

強化指定選手はNSA、JPSA、そして、ISA、



6.NSAから酒井氏、井本氏、宗像氏にJPSAから細川氏と国内の協会がタッグを組んで選手育成に取り組む。7.感染対策の徹底は動線管理に加え、男女分けての招集と密にならない日程が取られた。8.強化指定選手は検温に加え、抗原検査を行った上での参加となった。



WSL(ワールドサーフリーグ)の前年度の成績やこれまでの実績で毎年、選考が行われる。特に2024年のオリンピックフランス大会については、タヒチのチョーブーが会場になることを受け、NSAでは特定強化指定選手を選考した。

ビッグウェイブを滑ることが条件となるために、ここでは経験者を重視。書類及びビデオによる厳正なる審査の上に、男子が大野修聖、小川直久、黒川楓海都、佐藤魁、鈴木仁、松岡慧斗、松永大輝、三輪紘也の8名。女子は齊藤麗、佐藤李、フィッツジェラルド森愛里、松永莉奈、馬庭彩の5名が基準点を上回り、合計13名を特別枠として追加した。

また、ジュニアに関しては、メダル獲得を目標に2024年、2028年の大会に向け選手育成を行うために選考枠を増やすことも発表されている。それに加え、この強化合宿とは別にジュニア選手対象の強化合宿をも開催していく予定。今後は多方面から選手を分析し、個々の適正にあった育成を進めていく。



会場の鴨川に設置された本部となる2階建コンテナ。上階がジャッジブース。プライオリティは電光掲示板で表示される。

期間：2022年3月12日(土)・13日(日)
会場：千葉県鴨川市 東条海岸(マルキポイント)

●3月12日(土) 女子選手のみ
7:30～13:45 ヒートトレーニング
15:00～18:00 講習会(非公開)全選手
●3月13日(日) 男子選手のみ
6:30～17:15 ヒートトレーニング

強化指定選手国内強化合宿

「第3回 ジャパンオープンオブサーフィン」出場選手

女子	男子
1位 松岡 亜音	1位 西 慶司郎
2位 野中 美波	2位 田中 大貴
3位 脇田 紗良	3位 大原 洋人
4位 都筑 有夢路	4位 鈴木 一歩
5位 中塩 佳那	5位 新井 洋人
6位 前田 マヒナ	6位 脇田 泰地
7位 都築 虹帆	7位 伊東 李安琉
8位 大村 奈央	8位 金沢 呂偉
9位 鈴木 莉珠	9位 上山 キアヌ 久里朱
10位 登坂 祐妃	10位 鈴木 耀竣
11位 西元 萌 エミ	11位 岩見 天獅
12位 上門 涼風	12位 酒井 仙太郎
13位 川瀬 心那	13位 西 修司
14位 川合 美乃里	14位 鳥淵 一太

補欠1 澤田 七奈緒
補欠2 池田 美来

補欠1 長沢 侑磨
補欠2 小濃 来波
補欠3 稲葉 玲王
補欠4 岡野 遼
補欠5 佐藤 利希



9.全日本選手権大会でジュニア日本一となった鈴木一歩。JPSAのプロトライアルにも合格と絶好調。10.世界を舞台に戦ってきた新井洋人が、今年は本格的に国内リーグにも参戦。11.ハワイのパイプなどフリーサーフィンに定評がある脇田泰地。コンペの才能が今、開花。

2022年波乗りジャパン
強化指定選手一覧目指せ日本代表！
目指せ世界一！

NSAでは、世界の強豪と戦う日本を代表する選手を選出するため、一般社団法人日本サーフィン連盟と一般社団法人日本プロサーフィン連盟が協議の上、65名の強化指定選手を選出いたしました。



2021年はサーフィン史上初となるオリンピック競技会において、日本人選手が2つのメダルを獲得するなど、選手の活躍により他国がなし得なかった素晴らしい結果となりました。

今後もこのレガシーを継続するため、2024年、2028年のオリンピックのメダル獲得と育

成を目標に、ISA 世界大会やWSL等、海外で活躍する日本人選手を選出いたしました。また、タヒチ（予定）で行われるパリ五輪大会に向け、特定強化指定選手の選出を行いました。日本代表選手は強化指定選手の中から選抜されます。日本オリンピック

委員会は「人間力なくして競技力向上なし」を掲げており、強化指定選手は強化合宿等を通じてサーフィンの技術向上、日頃の感謝や社会規範の尊重など、日本を代表する選手としての心得を学び、文武両道で日々精進していただいています。

2022強化指定選手、
JUNIOR 強化指定選手選考基準

●シニア枠

- ①NSA メンクラス・ウィメンクラスランキング上位2名
- ②WSL2021 アジア日本人ワールドランキング上位8名(男女)※オリンピックシードを除く
- 但し、日本国籍を有し、NSA 及び JOCの規定に準じるWSL-CT 選手は強化指定選手としていつでも追加し選抜することができる。
- ③JPSA日本ランキング上位4名(男女)
- ④強化部推薦 2024 オリンピック パリ大会(タヒチ)の波に適した選手
- ⑤2020東京オリンピック出場選手

●ジュニア枠・U18B・U18G・U16B・U16G

- ①NSA ジュニアクラスランキング上位8名
- ②NSA ボーイズクラスランキング上位8名
- ③NSA キッズクラスランキング上位8名
- ④NSA ガールズクラスランキング上位8名
- ⑤強化部推薦 2024・28 オリンピック パリフランス大会(タヒチ)・ロス大会の波に適した選手
- ⑥強化部推薦 U16の選手で海外またはプロで活躍する選手を選考することができる。
- ⑦2019世界ジュニア選手権出場選手(コロナにより未開催のため3年更新とする)

●その他

- ・ISA 世界ジュニア選手権代表・補欠選手はナショナルチーム育成期間として登録年(参加年)より2年間を強化指定選手として更新する。(2022年度は3年とする)
- ・各ジュニア以下のクラスで対象年齢者が8名以下の場合、NSA ランキングより翌年のU18・U16対象クラスに分け計8名をランキングより追加選抜する場合がある。
- ・ISA世界選手権代表はナショナルチーム期間として登録年

(参加年)より2年間、強化指定選手として更新することができる。

※ジュニア・ガールズクラスの強化指定選手選考者で、シニア枠に上がる選手はシニア枠の強化指定選手になります。

特定強化指定選手の選考について

オリンピック競技大会(2024/パリ)に向け、ビッグウェーブでの経験が豊かな選手等を、提出いただいたビデオ及び書類、国際大会の実績等を踏まえ厳正に審査し、基準点以上を獲得した特定強化指定選手に選考致しました。

- 男子 8名：大野 修聖 / 小川 直久 / 黒川 楓海都 / 佐藤 魁 / 鈴木 仁 / 松岡 慧斗 / 松永 大輝 / 三輪 紘也
- 女子 5名：齊藤 麗 / 佐藤 李 / フィッツジェラルド 森 愛里 / 松永 莉奈 / 馬庭 彩

今後、2022年は特定強化指定選手として独自のトレーニングを行い、2023年から従来の強化指定選手と共に活動します。パリ大会が終了した時点で登録が終了します。パリ大会については、強化指定選手(特定含む)から選考致しますが、IOC 及びISAの発表を持って、選考方法を検討して参ります。

2022 強化指定選手ランク選考基準

A 指定

下記の成績評価基準のいずれかを満たし、次期世界大会において4位以上の成績を収める可能性が高いと認められる選手。

- ①前年度におけるNSA主催大会で1位の成績を2回以上収めている事。かつ最終ランキング1位以内である選手。
- ②前年度のWSLワールドランキングが下記の範囲内である

こと。

WSL-CS ランキング日本人上位3名またはランキング50位以内

- ③ISA 世界選手権・世界ジュニア決勝進出者(メダル獲得者)
- ④WCT 選手
- ⑤日本で最高位を収める可能性が高いと認められる選手。
- ⑥東京2020オリンピック出場選手

B 指定

下記の成績評価基準のいずれかを満たし、次期世界大会において好成績を収める可能性が高いと認められる選手。

- ①前年度のワールドランキングが下記の範囲内であること。
- WSL ランキング選考者
- ②ISA 世界選手権・世界ジュニア選手権メンバー
- ③JPSA グランドチャンピオン
- ④強化コーチ推薦者(世界大会を基準に活動している選手)
- ⑤日本で最高位を収める可能性が高いと認められる選手。

C 指定

次期世界大会において、好成績を収める可能性が高いと認められる選手。

- ①A、B 指定以外の選手
- ②ISA 世界選手権・世界ジュニア選手権補欠メンバー
- ③NSA ジュニアオープン優勝者(ISA 同年出場時)、JAPAN OPEN 優勝者(ISA 同年出場時)
- ④特定強化指定選手
- ⑤ISA 世界マスター選手権大会の代表選手は、派遣決定後C 指定選手として登録されます。

J 指定

- ジュニア枠・U18B・U18G・U16B・U16G(選考基準参照)



A
指定



五十嵐 カノア*



都筑 有夢路*



稲葉 玲王



大原 洋人



高井 汰朗 J



村上 舜



黒川 日菜子



中塩 佳那 J



野中 美波



前田 マヒナ



松田 詩野



脇田 紗良

B
指定



安室 丈



新井 洋人



岩見 天獅 J



金沢 呂偉



上山 キアヌ 久里朱



西 慶司郎



西 修司



松原 渚生



矢作 紋乃丞



大村 奈央



川合 美乃里



都築 虹帆



西元 萌 エミ



松岡 亜音 J



安室 弦



石川 拳大



伊東 李安琉



小松 凜輝



佐藤 利希 J



鈴木 耀竣



田中 大貴



藤沼 佳太郎



本田 孝義



休場 匠



脇田 泰地



川瀬 心那 J



澤田 七奈緒



須田 那月



芳田 花瑚

JUNIOR
指定



石山 汰一



岡野 漣



小濃 来波



酒井 仙太郎



佐藤 頼斗



菅原 大地



鈴木 一步



鈴木 慈英



強矢 凜太郎



高井 悠二郎



辻岡 堅太郎



寺田 文太



豊田 未空



鳥潟 一太



長沢 侑磨



和氣 堆人



渡邊 壺孔



池田 美来



上門 涼風



清水 心春



鈴木 莉珠



高橋 花音



高橋 結奈



登坂 祐妃

※はオリンピック東京大会メダリスト
J=ジュニア指定兼ねる
■五十音順

We coordinate your rich health.

RiccoHTM

楽トレとは、電極粘着パッドを体に貼り、「複合高周EMS」を用いて、鍛えにくい身体の内側の筋肉「インナーマッスル（深層筋）」をはじめ全身の筋肉をトレーニングすることです。

アスリートの皆様には、目的に応じたモードを選んでいただき、タイマーをセットするだけで、万全なコンディショニングづくりをサポートいたします。



リッコーは
複合高周波EMS（日米特許技術）
でアスリートをサポートします。

インナーマッスルにまで届くEMS

rakutore LITE



<https://rakutore-lite.com/>
<https://i-riccoh.com/>

GO FOR THE TOP

TOKYO2020から
2023年パリ、
2028年ロス五輪へ

日本サーフィン連盟副理事長
井本公文

ISAワールドサーフィンゲームズやISAワールドジュニアサーフィンチャンピオンシップにおいて、日本代表のコーチとして参加。TOKYO2020では、大会組織委員会のサーフィンスポーツマネージャーを務めた。また昨年度のISAの年次総会において、ISA常任理事にも選出された。まさに日本のジュニア育成プロジェクトを支えてきた大黒柱。



Prologue

ジュニアたちが海外でも 実力を発揮するために 大人たちの力で環境を変えていかないと いけないと思いました

サーフィンがオリンピック種目に決まる前のこと、2010年に新井洋人選手がニュージーランドの「世界ジュニアサーフィン選手権」に参戦したんです。当時彼は14歳で、とにかく黙々とひとりで頑張っていました。結果的に4位入賞という成績を収めることができたのですが、試合前にはヘッドフォンをつけて試合に集中して、寡黙に戦っている姿を見て、これはもっと大人がサポートしないとダメだなと思ったんです。

2010年以降、ジュニア育成の基盤づくりを急ピッチで進め、選手をしっかりと強化していくことで日本チームは大きな力をつけた。TOKYO2020の結果は、間違いなくジュニア育成のための様々な動きが繋がって成り得たものだろう。これまでにどのように変化してきたのか、そしてここから2024年パリ、2028年ロスへどう進むのか？ ジュニア育成プロジェクトを力強く導いてきた日本サーフィン連盟副理事長の井本公文氏にお話を伺った。

©ISA photo: Sean Evans



次世代の日本のサーフィン界を盛り上げていく大きな力となるU18、U16のメンバー。大きく成長してきた日本チームという存在感を新たな時代に刻むために挑む(2022 ISA World Junior Surfing Championship)

す。我々がなんとかしていけないとジュニアたちの可能性を無駄にしてしまうという思いを強く感じました。そこが本格的にジュニア育成に向き合うことの始まりだったように思います。

それまで日本代表というのはチームというより、個人で頑張るという場だったんです。もちろんそこで勝ちに行くというのを目的にする人もいましたが、例えばガールズサーファーだと層もまだ薄くて人数も少なかったので、世界戦に行くのが目的で、そこで勝つことよりも楽しむことに重きをおくという雰囲気も強かった。

でも、その時の新井洋人選手の姿を見た時

に、勝ちに行くために日本代表チームの基盤作りの必要性を感じました。

それをきっかけに我々は8年に及ぶプランをつくって世界の舞台で勝てるジュニアの育成プログラムをスタートさせました。当時は世界で10位前後というレベル。そこまでは日本がサーフィンが強いというイメージではなかったと思います。もちろん世界レベルで活躍された大先輩方はいても、それは個人としての力であり、国としての強さは示せていなかったんです。しかもそういった個人の力を日本を強くしていくことに活かせる基盤が何もなかったんです。

2年ぶりに開催された2022年世界ジュニア選手権には45の国と地域から423名の選手が参加。新たな挑戦に向けて本格的スタートの場となった

©ISA photo: Mike Rodriguez





当時14歳でU16クラスに出場し、4位の成績を残した新井洋人選手は「勝ち上がっていく度に海外の選手からも声をかけられ、親しくなっていた」とコメント。しかしながらひとり黙々と集中し、頑張っている姿を見て、井本氏はもっと強力な大人のサポートが必要と感じたという

Challenge

育成システムの

基盤づくりから始めた8年を経て

ジュニアの成長と共に

日本チームは強くなった

目標を掲げ、そこに辿り着くまでのトライ＆エラーで修正を重ねながら、育成プランは動いていきました。まずはチームづくりからスタート。ジュニアから育ててトップチームを強くすることも重要な命題でした。

育成プログラムを進めるにあたっては、今後大きく伸びる可能性がある選手を集めることが必要でした。ですが個別にピックアップするのは基準が曖昧にもなりますし、連盟として公平性は必須です。ランキングをつけるための公認大会を開催し、新たに強化指定選手制度を構築、ランキング上位の選手を世界に連れて行くという基盤づくり、選手のモチベーションもアップさせていくというように着実に日本は前進し始めました。

もうひとつの課題は選手が力を出し切れる環境をつくるということでした。思えばこの8年プランがスタートする前は、日本の選手はチームとしての居場所がしっかりできていなかったから端っこにいたしかなかったのです。選手はもちろんですが、実は大人たちもそういうシャイな感じだったのです。大人でも知らない国に行けばドキドキするし、戸惑いも多い。海外の大会ではそんな状況の中でジュニアの選手たちが、自分の実力を出していかないとけない。だからこそ日本のホームでやるような雰囲気にな近づけ、選手たちが伸び伸びと実力を出せる環境が必要です。ジャッジ陣も含めて、我々日



海から上がって自分たちのライディングをビデオで確認し、効果的にさらなるスキルアップへと導く。ジュニアの選手たち、コーチ、スタッフ一丸となって地道な努力を重ねてきた



2017年の宮崎で行われたISA世界ジュニアでは、U16 Boysで安室 丈が優勝、上山キアヌ久里が3位という成績をおさめ、国別ランキングで参加国41ヶ国において3位という結果を残した

本のスタッフがしっかりとジュニアたちに居場所をつくって、安心感を与えられるような存在になる、いわば役員たちも世界レベルで強くないといけなわけです。そのために日本チームとしての団結力を高め、信頼できる関係を築きながら進んできました。

すると10位から8位、6位とレベルを上げていくことができました。しかし、5位から4位にはなかなか上がっていかない。どうすれば良いのか我々も悩み、試行錯誤を重ね、いろいろ勉強もしました。

そして、ちょうどオリンピック種目に決まったタイミングで4位にあがったんです。「TOKYO2020でメダルを獲得」という具体的な目標が目前に掲げられ、選手のモチベーションが一気に上がってきたのが一番の要因だったと思います。選手たちは「俺たちはTOKYOで勝つんだ」という強い気持ちを持ってくれました。そしてそこに向かって日本チームも一丸となっていくことができました。

さらにこうして育成システムの基盤をつくった上で、オリンピック代表選手を決めるというシステムをその上に重ねる形で作り上げ、NSA、JPSA、WSLと選手たちが活躍する団体が異なっても、ジャパンオープンという場で代表枠を決めるという形に繋げることもできました。各団体それぞれが動いている中で、オリンピック代表選手を選ぶ新たなピラミッドの構図ができて、頂点がひとつにすっきりまとまったこ

とは、選手のモチベーションアップに繋がっていると思います。

Next

TOKYO2020を終えて

さらなる課題へと

8年プランを進めてきて、TOKYO2020で結果が出せたことは日本のサーフシーンにとって本当に良かったと思います。若いジュニア選手がどんどん上がってくることで、トップ選手も現状にとどまることなく、緊張感を常に持ち、上を目指す。そうになっているからこそ強い日本チームへと前進することができたのだと思います。世界の中では今ブラジルの次に勢いがあるのが日本だと言われています。日本の選手がどんどん世界に出てくるだろうと思われるわけです。

とはいえ、まだまだやるべきことは山のようにある。TOKYOは地の利もありました。次のパリはタヒチのチョープーでの試合で、ビッグウェイブの経験値がとても重視されます。それは我々にとってまた別のチャレンジとなるでしょう。そこに向けてのジュニア育成も重要と考えながらも、タヒチのような波に適しているのはベテランも含めて、誰なのかを慎重に見極めていくべきだと思っています。テクニクがあっても、十分な経験値がなければ、あのビッグウェイブで良いパフォーマンスはできないでしょう。TOKYO2020とは大きく異なり、タヒチはそういう場所であると考えています。

そこで我々は2つの軸で方策を考えています。2024のタヒチの強化プランと2028のロスの強化プランです。共にジュニア育成は関わってくるんですが、タヒチは日本の総力をかけてベストな選考をおこなっていく、ベテランも含めて日本のサーフィンスピリッツをタヒチへ向けていくというチャレンジ。ロスは今からジュニアたちの経験値を上げ、どんどん育成して、確実に勝たなくてはいけない。ロスのジュニア合宿は2028までやり続けていきたいですね。大原



力強い日本チームとして団結力と多くの力によるサポートにより、選手たちも自信を持って戦える雰囲気がつくれた。27年ぶりの日本で世界選手権として開催された宮崎でのISA世界ジュニアは、TOKYO2020を見据えた大会としても世界から注目を浴びた

洋人選手、五十嵐カノア選手など、すでにロスのハンティントンビーチで行われている世界最大規模のUSオープンで優勝しているように、ロスは日本人が優勝できる可能性が十二分にある場所だと思っています。

我々はそのためのベースづくりをしなければいけないと思っています。十分な時間をかけて狙っていくべき試合だと思っています。しかし、それでももう6年、時間は刻々と迫っているのでもっとやっとなかなかいけないですね。TOKYO2020の後、すでに強化指定のジュニアたちには世界の頂点を目指すという夢を語って、そこに向けて一丸となって動き出しています。

ただ、やはりこのコロナ禍もあり、我々は危機感を感じています。2019年までチームジャパンで戦い、世界の中で結構上位にいましたが、この2年ほどは世界ジュニア選手権が開催できずにいたわけです。その間いろいろなところで海外のジュニアたちがすごく伸びてきていますが、次のエルサルバドルの世界ジュニア選手権でコロナ期間中にどう世界の国々が動いてきたかが初めて見えてくるわけです。コロナの中で日本はほとんど動いていないという状況もあり、そこで日本は今の位置にいるのか。そこから我々のやるべきこともさらに変化させなければならないとも思っています。



強化合宿は単にライディングの実践的練習だけでなく、競技力向上のための講習など、多彩なメニューのもと実施される

Trial

さらなるメンタルの強さを 身に着けるために

今のジュニアたちはテクニックの部分は結構上手い子も増えてきています。しかし、スピード、パワー、フローという観点から、スピード、パワーはやはり体格から発するものでもあるので、そういった力もつけていかないとけない。そしてメンタルも含めた駆け引きの強さが、サーフィンではとても重要です。試合ではいろいろなことが起きます。ですから経験値は自信に直結し、メンタルの強さへと繋がっていきます。技量はあっても不安を抱えたまま行くと「これだけやったんだから」とやり尽くすぐらいやって試合に臨むのでは、試合の現場では大きな力の差となり、結果も違ってくるのです。

そこで今年からプールでのジュニアトレーニングを実施しています。これは海では出来ない反復練習をすることができる。「こんだけやったんだから」「またこれですか」という声も時に選手からあがりたりもするんですが、反復練習を重ねて「僕はあそこで100%できたから」という自信が得られればどこにいてもそれは力になってくれるはず。まさに自信をつけるためのトレーニングですね。



日本は強い団結力を持って、世界大会ではいつもその中央で存在感を示しながら試合にのぞむ。かつて日本からの大きな変化が選手の方へと繋がっていることは間違いない。(2022 ISA World Junior Surfing Championship)



静岡県牧之原市の人工サーフィン施設「静波サーフスタジアム」で2021年のジュニア強化指定選手を対象とした強化合宿がおこなわれた



「子供たちが夢を見れる舞台をつくる」これまでの強化合宿の経験や実績などを土台に、本部では育成マニュアルづくりに取り組んでいる

Subject

サーフィンの楽しさを しっかり体感することから すべてが始まる

最近では全国の各支部でも積極的にジュニア育成に取り組んでいただいている流れになってきています。支部でどんどん盛り上げてもらって、まずはサーフィンが楽しいということをしかり教えてもらうことで、チャンスは大きく切り開かれていくと思うのです。支部にはとても重要な役割を担ってもらっていると思っています。楽しさを体験できる場をつくって、子供たちにチャンスを与えてもらっているのは有難いことです。上手くなるには厳しいことにも直面します。でもサーフィン自体の楽しさを十分に知っていれば、それを乗り越えて、さらに上にいきたいという思いへと繋がる。チームという環境の中で練習することで、楽しさを知っても

られればさらに伸びる可能性も広がります。

我々ではなかなか全国を回りきれないので、子供たちが夢を見れる舞台をしかりつくっていききたいと思います。各支部からジュニアのスターが出てきて、全国規模で集まって競い合う場があり、また視野が広がって成長に向かうという流れをつくっていく。本部でも今、育成マニュアルづくりに取り組んでおり、それを完成させた上で支部と一緒にジュニア育成の基盤をさらに広げていききたいと思います。

オリンピックが決まった時に、我々はまずサーフィン界に世界の舞台で実力を発揮できるスター選手を作らなければいけないと思いました。それは世の中にサーフィンというスポーツを知ってもらえる可能性を広げていく力に直結します。サーフィンが認知されていくことによって、各支部の地域にも影響を与えていきます。よりサーフィンについての理解度もあがっていくでしょう。それがサーフィンが楽しめる各支部でのいい環境づくりを後押しする力へと繋がっていくのです。

NSAは社会貢献という意味だけでなく、スター選手をつくることで、サーフィンの認知度を上げていくということに大きく関与しています。さらにそういうスター選手の姿を見て、今の子供たちが頑張っていこうというモチベーションへと繋げていきたい。TOKYO2020を経て、今、あらためて日本のサーフシーンの未来に向けて、我々は進み始めています。

©ISA photo: Jersson_Barboza



バリ、そしてロスへ。可能性に溢れる新たな世代がどうこれから伸びていくか、大いに期待していきたい。(2022 ISA World Junior Surfing Championship)



*Keep trying
new things!*

高井汰朗

キッズクラスで、年間ポイントランキング統合メンズオープン
最年少チャンプに輝いた高井汰朗。素顔は本好きで、化学が好き。
「ABC予想」を友達に説明したり、フェルマーの最終定理を数学の
先生に質問に行くなど意外な一面を持つ。そんな彼にフォーカスした。

取材・撮影：山本貞彦

冷静でいるためのメタ認知を学ぶ

サーフィン始めたのは、小学校3年生。スケートボードと両方やっていて「サーフスケーターズ」にも参加するキッズだった。その当時はよく茅ヶ崎のパークで練習していたことで、今はプロの森友二、平原颯馬、小笠原由織らに可愛がってもらい、いつも一緒にサーフィンをしていたと言う。サーフィンの魅力に関してはこう語る。

「サーフィンは自然の中でやることと、同じセクションも同じ波も二度と来ないから、それが好きです。スケートパークでは、逆に繰り返しトライできる面白さもあるんですけど。海では全く逆ですから。同じ波が来ない中で、技を決めることができたりすると嬉しいし、常に新しい感覚でサーフィンできるのが好きなんです。」

試合に目覚めたのは、サーフィンを初めて1年ぐらい経ってから。相手と競うことの楽しさや、自分の技が成功することが嬉しかった。その後、ピラボンジャパンとロックダンスサーフボードやカナロアジャパンから声がかかる。今はロックダンスショールームが平塚にあるということで、湘南西支部に所属している。

コロナ禍で大会が無かった2020年も海でひたすら練習していた。この年はNSAの公認大会が6戦しか開催ができなかった為に、ポイントは2021年度に繰越となる。その2020-2021年度となった統合ポイントランキングでは、キッズながら1位を獲得した。その結果をこう話す。

「その頃は、ほぼ海に毎日、入る感じでした。いつも生コンに入ってます。学校行く前に入って。学校行ってから、夕方また入る感じで、1時間ちょっとです。弟の悠二郎といつも入っていました。」

キッズの中でも早生まれということもあったし、全日本とジュニアを両方優勝できたことが、大きかったと思います。その大会の時は波が良くて、自分のヒートの時は波が続いたんですよね。勝てた理由はそれがあると思います。でも、逆にちょっと緊張もしていました。」

その緊張とは何だったのか。それはキッズの中で一番上だったことから、まわりから勝って当然と思われていたこと。それがプレッシャーとなり、辛い面もあったと言う。試合は勝ちもあれば負けもある。それでも、その負けた時に何を学ぶかが大事だ。試合での心構えは、自分の経験を客観的に見ることから生まれた。「前に試合ですごく焦っちゃって、負けたことがあるんです。最初に乗れないで、相手がどんどん決めていて。それを見ていたら、何か焦っちゃって。結局、変な波に手を出して、そのまま負けたんですね。だから、今は最初の2本を先に決めたいって思っていて。そのためには絶対に冷静になることが大切だと学びました。」

自己実現のためにすべきこと

今年に入ってからNSAでは、ジャパンオープンの選考会において選抜から外れた。その後に行われたWSL「ASIA OPEN」にも出場。1回勝ち上がるものの、R-3で敗退と思うような結果が出せなかった。

「アジアオープンに出たんですけど。R-3で負けちゃって。それは完璧なポジションミスでした。あと、波選びとかも。試合の組み立てが苦手なんです。ヒート中にスコアをどうやって出していくのか、まだ、あんまりわからなくて。なので、今はコーチをカイ（浜瀬海プロ）くんに見てもらっています。」

カイくんが来れない時は、オンラインでライブ配信されるヒートを見もらっています。波はこっちの方がいいよとか。こういう波にこういう点数がついてるから、こう攻めた方がいいよとか。作戦を指示してくれます。」

WSLのCT選手ではジョン・ジョン・フローレンスが好きだと言う。あのパワフルなカービングやレールサーフィンを学びたいと思っている。「憧れはやはりジョン・ジョンですね。自分が好きな波は、バックサイドのホレてる波でやるバックサイドのヒットや、フロントのカービングなんですけど。ジョン・ジョンみたいにオールマイティなサーファーになりたいです。」

逆に嫌いな波は超小さくて、トロイ波です。何をやっていいかわからなくて。あと、でかい波が少し苦手です。頭半ぐらいまでは平気なんですけど。それ以上は苦手です。今はカイくん練習で連れてかれていますね。めちゃくちゃデカくて、トリプルオーバーの時もありました。怖かったけど、自信にはなりますね。

エアーも練習はしています。練習では決まるんですけど、試合ではまだ1回しか決められていないです。自分ではコンプリートしたつもりだったんですけど、3点ぐらいしか出なかったです(笑)。」

2022年は中学生2年生となり、カテゴリーがキッズからボーイズに変わった。渡邊壱孔、長沢侑磨、足立海世らのいるクラスだ。今年度の千倉で行われた「第30回 ジュニアオープンサーフィン選手権大会(2022)」では、順調にR-3まで1位で勝ち続けていたものの、R-4で敗退となった。このクラスで勝つためにどうしたら良いか。足りないところは何なのか。それを考えて、今、自分を変えたいと思っている。「今のままでは、勝つのは難しいなって思っていて。試合して感じたのは、体格差も結構でかか



ったなって。だから、今、トレーニングもやっています。週1回ですけど、瞬発系のトレーニング中心です。まだ背も伸びるから、筋肉つけるウェイトトレーニングはやっていません。それと体幹トレーニングも最近やり始めました。でも、その体格差で負けるんじゃないくて。試合では、それを越えた技術で勝ちたいですね。

博道(添田)さんに言われてるんですけど、『もっと攻めるサーフィンをしる。安全運転すぎる』って、『それじゃ、タクシーの運転手だぞ。F1ドライバーになれ』って。だから、もっと試合でアグレッシブにサーフィンすることと、でかい波でも強くなること。それにエアーの成功率をもっと上げていきたいと思っています。特に試合でエアーが武器となるように、ちゃんとキメられるようにしていきたいです。』

夢に向けて新たな挑戦が始まる

オリンピックにサーフィンが選ばれたことで、コンペティションには二つの夢ができた。オリンピックで金メダルを獲ること。そして、WSL

で世界チャンピオンになること。目指すゴールは同じでも、道のりはそれぞれだ。将来についてはどう考えているのか。アマチュア組織であるNSAやプロである国内のJPSPA。そして、世界のWSLへの参戦について、今後の目標はこう考えている。

「プロについては迷ったこともあります。でも、JPSPAはほとんど平日開催ですよ。今は学校があるし、そう考えると難しいかなって。やはり、学校が休みの土日であれば、NSAなら出ることができるし。それなら、学校とサーフィンが両立できるかなって。

それにプロ相手に戦った時に、やはり今だとレベルの差が全然違いますから。きっとすぐに1コケしちゃうかもしれないし。それはそれで良い経験になると思うんですけど。試合経験を積むことが、今は大事かなって思っています。プロにならずにNSAで試合をやる方が、いろんな大会に多く出ることが出来ますから。

プロになるなら、友二(森)くんみたいになりたいです。JPSPAの最初の試合でトライアルから15回も勝ち上がって優勝なんて、カッコよす

ぎです。もしプロになるなら、あれぐらい強くなってからですね。

まず、近いところの目標は、次の年も強化指定選手に選ばれること。そのためにNSAの大きな大会の全日本選手権や級別選手権を頑張りたいです。あとAAAやAAなどのグレードの高いNSA公認大会にも出たいと思っています。ISAの世界大会やジュニアの大会があると思うんですけど、ここも代表になれるように頑張りたいと思っています。

そして、オリンピック。やはり、出たいですね。そのためにはやはり、強化指定選手に選ばれ続けることが大事です。そこからジャパンオープンに出て、日本代表になること。目標は2028年のアメリカ ロサンゼルス大会です。そこで金メダルを獲りたいです。その先の夢は、世界チャンピオンになりたいと思っています。』

たかいたろう ● 2009年1月2日生、13歳。神奈川県茅ヶ崎市出身。ホームポイントが平塚の生コンポイント。コロナ禍で2020-2021年度となったNSA統合ポイントランキングでキッズながら1位を獲得。2021年は全日本、ジュニアオープンにて2冠制覇し、2022年度の強化指定選手ではA指定に選抜された。



NOBUMASA IMASU
 HIROMICHI SOEDA
 JUNICHI YANAGISAWA
 KAZUYUKI NAKA
 MAME MASUDA
 MISAO TAKO
 FOO WATANABE

ON THE TREE:
 TAKAO KUGA
 DAISUKE NAKAMURA

Team DOVE in North Shore '82-'83



熾烈な戦いを繰り上げた選手たち。

最も活躍した選手は誰？

2020-21年度 ポイントランキング結果

新型コロナウイルス感染症の影響によって、2020年度の多くの大会が中止を余儀なくされた。

そのため、2020年度のランキングは中間発表とし、ポイントは2021年度に継続。

今回は2020-21年度ポイントランキングとなった。

厳しい状況の中、徹底した感染対策をとりながらも活躍した選手の最終結果を発表！

2020-21年度開催試合 全12戦(主催大会4戦・公認大会8戦)

2020-21年度 統合ポイントランキング トップ 100&50

MENS OPEN



1

高井 汰朗

湘南西支部

キッズクラス

41572pt



2

渡邊 孝孔

千葉銚子支部

ボーイズクラス

35100pt



3

鈴木 一歩

湘南藤沢支部

ジュニアクラス

32597pt

レイティング	氏名	支部名	クラス	トータルポイント
4	小濃 来波	湘南茅ヶ崎	ボーイズ	29810
5	石川 孝大	学連	メン	28813
6	友重 達郎	千葉東	マスター	28656
7	岡野 漣	湘南茅ヶ崎	ボーイズ	27157
8	鳥潟 一太	徳島	ジュニア	25817
9	坂本 應尚	千葉南	Gマスター	25000
10	高橋 誠	宮城仙台	カフナ	24400
11	磯部 康典	湘南西	Gマスター	24370
12	休場 匠	湘南茅ヶ崎	ジュニア	23153
13	安室 弦	徳島	ジュニア	21693
14	藤沼 佳太郎	湘南茅ヶ崎	メン	20726
15	中村 義浩	宮崎	Gマスター	19940
16	長沢 侑磨	東京	ボーイズ	19267
17	林 海亜	千葉東	メン	18666
18	酒井 正洋	千葉東	シニア	18600
19	鈴木 輝雄	湘南藤沢	ジュニア	18230
20	石山 汰一	千葉東	キッズ	18060
21	強矢 凛太郎	千葉東	キッズ	17712
22	佐藤 頼斗	湘南藤沢	キッズ	17660
23	久野 孝	徳島	カフナ	17360
24	小野 誠	茨城波崎	シニア	17233
25	和氣 堆人	湘南茅ヶ崎	キッズ	16992
26	伊東 勝彦	宮城北	Gマスター	16980
27	寺田 文太	千葉東	ボーイズ	16643
28	平野 太郎	湘南鎌倉	カフナ	16053
29	辻岡 堅太郎	大阪	ボーイズ	15970
30	小林 建一郎	東京	Gマスター	15740
31	青山 雄一	千葉南	マスター	15000
31	中村 光喜	千葉西	シニア	15000
33	酒井 仙太郎	湘南藤沢	ボーイズ	14960
34	平井 宏輔	愛知	メン	14677
35	菅原 大地	東京	シニア	14650
36	本田 孝義	熊本	ジュニア	14467
37	斎藤 真一	大分	シニア	14020
38	佐藤 利希	湘南藤沢	ボーイズ	13840
39	高井 悠二郎	湘南西	キッズ	13656
40	強矢 典男	群馬	マスター	13477
41	小松 凜輝	横浜	ジュニア	13237
42	浜矢 風	大分	ボーイズ	13070
43	井上 龍一	東京	ジュニア	12960
44	石鎧 太郎	岩手	メン	12867
45	安部 互	茨城南	シニア	12760
46	松本 蓮空	静岡伊豆	ボーイズ	12660
47	西田 陽登	宮崎	ボーイズ	12490
48	三木 正行	宮崎	マスター	12428
49	松倉 円	北海道	シニア	12380
50	志村 仁	千葉西	カフナ	12280
51	谷奥 進	大阪	Gマスター	12060
52	松原 渚生	千葉西	ジュニア	12000

レイティング	氏名	支部名	クラス	トータルポイント
53	三輪 真一	静岡2区	カフナ	11900
53	下田 泰成	三重	シニア	11900
55	齋藤 祐太郎	湘南茅ヶ崎	メン	11840
56	石田 佳央	横浜	マスター	11600
57	大江 良太	茨城北	シニア	11153
58	西大條 府時丸	千葉南	ボーイズ	11124
59	鈴木 慈英	千葉南	キッズ	11092
60	田村 彰	東京	カフナ	10636
61	古川 光彦	千葉東	シニア	10400
62	伊藤 健汰	千葉西	メン	10347
63	木村 美海	茨城南	メン	10130
64	小野澤 正樹	千葉東	Gマスター	9996
65	時田 一央	東京	カフナ	9816
66	野中 深佑	高知	ジュニア	9793
67	福井 滉東	千葉東	メン	9700
68	武知 虎南	徳島	メン	9687
69	豊田 泰史	千葉西	Gマスター	9680
70	笹田 十夢	大阪	メン	9634
71	長島 更	千葉東	メン	9620
72	仲村 一智	三重	シニア	9600
72	小泉 勝	千葉西	マスター	9600
74	豊田 未空	湘南茅ヶ崎	キッズ	9468
75	中野 茂	福岡	Gマスター	9260
76	田中 健跳	千葉東	ジュニア	9080
77	岩瀬 裕哉	愛知	ジュニア	9000
78	木村 圭佑	福島	シニア	8980
79	秋友 澤	大阪	ジュニア	8736
80	田口 祐也	千葉南	メン	8524
81	日高 太郎	学連	カフナ	8316
82	鳥養 快斗	湘南茅ヶ崎	ボーイズ	8288
83	大江 陽一郎	千葉西	マスター	8230
84	小嶋 大地	宮城仙台	シニア	8212
85	森 大斗	静岡3区	ボーイズ	8150
86	新井 央真	千葉東	ボーイズ	8106
87	金沢 太規	徳島	ボーイズ	8101
88	田村 隆之	湘南藤沢	マスター	7800
88	矢作 紋乃丞	湘南藤沢	ジュニア	7800
90	大場 玲遥	湘南藤沢	メン	7770
91	中村 直樹	茨城波崎	マスター	7713
92	軽部 英和	東京	マスター	7650
93	村上 英令	宮城仙台	マスター	7620
94	五来 潤	茨城北	シニア	7513
95	菊田 公雄	宮城仙台	マスター	7452
96	瀧野 岳	大阪	カフナ	7380
97	南出 繁郎	大阪	カフナ	7296
98	木下 波希	宮崎	ジュニア	7212
99	永谷 オダイ	宮崎	ボーイズ	7081
100	三木 望未	宮崎	ボーイズ	7075

WOMENS OPEN



1

中塩 佳那

山形支部
ガールズクラス
51000pt



2

清永 亜希子

湘南茅ヶ崎支部
Sウィメンクラス
49090pt



3

鈴木 莉珠

千葉南支部
ガールズクラス
34500pt

レイティング	氏名	支部名	クラス	トータルポイント
4	澤田 七奈緒	湘南茅ヶ崎	ウィメン	29390
5	大江 なぎさ	千葉西	Sウィメン	23910
6	田上 さくら	愛知	Sウィメン	21040
7	芳田 花瑚	宮崎	ウィメン	20060
8	大庭 風美	福岡	ウィメン	18898
9	高橋 花音	湘南茅ヶ崎	ガールズ	18608
10	石田 真子	千葉西	Sウィメン	17198
11	荻原 浩子	千葉西	Sウィメン	16460
12	登坂 祐妃	湘南藤沢	ガールズ	15656
13	清水 心春	熊本	ガールズ	14668
14	松岡 亜音	千葉南	ガールズ	14280
15	上門 涼風	徳島	ガールズ	14044
16	後藤 夏子	東京	ウィメン	13011
17	高橋 結奈	千葉銚子	ガールズ	12796
18	畑 ハイネ	宮崎	ガールズ	12128
19	馬場 心	静岡伊豆	ガールズ	11972
20	中原 由未	愛知	Sウィメン	11940
21	藤井 真代	東京	Sウィメン	11900
22	浦野 日菜子	静岡2区	ウィメン	11840
23	石井 有沙	千葉南	ガールズ	11596
24	清水 ひなの	横浜	ガールズ	11588
25	浜崎 千佳	大阪	Sウィメン	10728
26	相原 朝香	宮崎	Sウィメン	10633
27	古賀 恵	福岡	Sウィメン	10556

レイティング	氏名	支部名	クラス	トータルポイント
28	飯田 香織	千葉銚子	Sウィメン	10476
29	原田 葵	学連	ウィメン	9990
30	田部井 加菜子	千葉西	Sウィメン	9513
31	清水 ひなた	横浜	ガールズ	9488
32	松野 杏莉	千葉東	ガールズ	9248
33	濱口 菜摘	千葉西	ウィメン	9247
34	松本 望	佐賀	ウィメン	8842
35	飯塚 美空	湘南茅ヶ崎	ガールズ	8732
36	伊東 葵	岩手	ガールズ	8292
37	菅谷 帆那	湘南藤沢	ガールズ	8256
38	山本 優香	愛知	ウィメン	7770
39	田中 順子	京都	Sウィメン	7624
40	庄司 莉花	湘南西	ガールズ	7524
41	太田 純	静岡3区	ガールズ	7436
42	小沢 美良乃	横浜	ガールズ	7340
43	原田 紫	徳島	ガールズ	6884
44	鍛野 杏瑞	千葉西	ガールズ	6504
45	中 沙都美	千葉東	Sウィメン	6300
46	七海 裕子	石川	Sウィメン	6208
47	八尋 彩子	大阪	ウィメン	6167
47	井内 愛理	千葉西	ウィメン	6167
49	中井 美波	愛知	ガールズ	5936
50	五味 雅恵	茨城南	Sウィメン	5920

LONGBOARD MENS OPEN



1

武川 慎

徳島支部
LBメンクラス
44255pt



2

藤原 健

湘南藤沢支部
LBマスタークラス
26637pt



3

北村 健一

千葉銚子支部
LBメンクラス
25053pt

レイティング	氏名	支部名	クラス	トータルポイント
4	小崎 宗大	湘南茅ヶ崎	LB マスター	23297
5	中山 智資	徳島	LB メン	21247
6	小林 寛	東京	LB マスター	21147
7	石田 直樹	千葉銚子	LB メン	21023
8	井口 総一郎	静岡3区	LB マスター	18650
9	堀井 創	湘南藤沢	LB メン	18019
10	野口 泰男	千葉銚子	LB マスター	15457
11	久保 博崇	湘南茅ヶ崎	LB マスター	15000
12	大池 義博	埼玉南	LB マスター	14400
13	釣田 克則	岡山	LB マスター	14380
14	佐野 十志哉	福井	LB マスター	12002
15	尾崎 賢	三重	LB マスター	11665
16	大山 弘晃	湘南茅ヶ崎	LB マスター	11087
17	渡辺 真通	湘南藤沢	LB マスター	10590
18	今井 康平	湘南藤沢	LB メン	10210
19	平田 拓海	学連	LB メン	9806
20	大森 伸信	湘南藤沢	LB マスター	8986
21	塚本 真佐樹	東京	LB マスター	7800
22	小野田 慶太郎	湘南茅ヶ崎	LB メン	7770
22	太田 祐城	京都	LB メン	7770
24	武田 真一	宮城仙台	LB メン	7695
25	田中 勇吉	東京	LB メン	7606
26	林 淳一	横浜	LB マスター	7417
27	池谷 京将	千葉東	LB メン	6810

レイティング	氏名	支部名	クラス	トータルポイント
28	本宮 世雅	湘南藤沢	LB メン	6767
29	多田 輝彦	宮崎	LB マスター	6672
30	柳沢 裕次	湘南藤沢	LB マスター	6300
31	中野 道明	福島	LB メン	6167
32	三浦 史博	福島	LB メン	6070
33	鬼塚 秀之	湘南茅ヶ崎	LB マスター	5993
34	小野 督	川崎	LB マスター	5609
35	伊藤 雅樹	千葉銚子	LB マスター	5477
36	平野 篤史	千葉銚子	LB メン	5460
37	横山 政則	埼玉南	LB マスター	5421
38	佐川 幸男	千葉東	LB マスター	5401
39	村山 聖	湘南藤沢	LB メン	5166
40	杉浦 重喜	鹿児島	LB マスター	5000
41	東坂 亮佑	徳島	LB メン	4915
42	久木山 洋平	和歌山	LB メン	4810
42	松山 輝史	大阪	LB メン	4810
42	大竹 琥太郎	横浜	LB メン	4810
42	宮崎 俊輔	三重	LB メン	4810
46	斎藤 健之輔	湘南藤沢	LB マスター	4663
47	鈴木 悠	千葉東	LB メン	4572
48	山口 勇気	静岡3区	LB メン	4517
49	阿部 龍亮	宮城仙台	LB メン	4407
50	高橋 健治	千葉南	LB マスター	4300

2020-21年度 クラス別ポイントランキング

ショート、ロング、ボディボード、合計16クラスの年間ランキングが決定。

ここでは、2020-21年度の上位30名を発表。世界で活躍することを視野に入れた、成長が著しい将来有望な子供達から経験豊かなベテランサーファーまで、多彩な顔ぶれをチェックしよう。

※アンケートの質問内容 11. サーフィン歴 2. ホームポイントは何？ 3. 好きなサーファーは誰？ 4. 大会に出場し始めたきっかけは？ 5. 得意技は？ 6. 日頃、大切にしていることや今後の目標は？ 7. ポイントランキング(1位・2位・3位)になった感想をお願いします。

KIDS CLASS

1 高井 汰朗



湘南西支部
41572pt

1. 本格的に始めてから4年 2. 平塚 生コン 3. ジョン・ジョン・フロレンス 4. 小学3年生まではスケートボードの大会に出ています。サーフィンの大会にも出てみたら、楽しかったからです 5. ジョン・ジョンのようなカービングとエアリバースが得意技です、と書えるようになりたいです 6. 本を読むこと。今後はサーフィンがもっともっと上手くなるように頑張りたいです 7. 1試合、1試合の結果が出て良かったです。特にジュニアオープンと全日本優勝はとても嬉しかったです。今年はボーイズクラスなので、夏のサーフィンをして、チャレンジしていきたいです。その中でも良い成績を出せるように頑張りたいです

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	佐藤 頼斗	湘南藤沢	17660
5	和氣 堆人	湘南茅ヶ崎	16992
6	高井 悠二郎	湘南西	13656
7	鈴木 慈英	千葉南	11092
8	豊田 未空	湘南茅ヶ崎	9468
9	小西 一粋	千葉銚子	6382
10	小林 浩太郎	宮崎	6300
11	宇野 雅志	大阪	6188
12	藤原 大	湘南藤沢	6036

2 石山 汰一



千葉東支部
18060pt

1. 5年 2. 千葉北・サンライズ 3. 塚本勇太、グリフィン・コラピント 4. お父さんに連れられて気がついたら出場してた 5. レイバック 6. いつもサポート、応援してくださる人に感謝すること。目標、自分のスタイルを追求し注目される選手になること 7. ランキング2位以内を目標にしていたので、とても嬉しい

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	菊地 汰士	宮城仙台	5520
14	内藤 澄海	宮崎	5328
15	松野 太郎	千葉東	4752
16	荒河 伊織	愛知	4596
17	宮本 庵李	鹿児島	4572
18	武田 生央	茨城南	4490
19	友重 リキ	千葉東	4156
20	国重 波音	湘南藤沢	4140
21	原田 颯	徳島	4052

3 強矢 凛太郎



千葉東支部
17712pt

1. 9年 2. 東浪見・志田下 3. 大原洋人 4. 自分サーフィンの実力を確認するため 5. カービング 6. 海では、周りの方に感謝し挨拶をきちんとすることを大切にしています。今後はクラスがあがっても負けないパワーのあるサーフィンを目指します 7. 1位を狙っていたので嬉しいですが、ボーイズでは1位を狙って引き続きがんばります！

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	三瓶 崇行	千葉南	3900
22	湯之前 匠	大阪	3900
24	飯田 翔斗	千葉銚子	3764
25	酒井 颯大	茨城南	3680
25	板橋 賢正	千葉東	3680
27	窪田 海琉	横浜	3380
28	二宮 虎亜	湘南茅ヶ崎	3284
29	吉野 大郎	山梨	3100
30	田中 志門	千葉東	3092

BOYS CLASS

1 渡邊 壱孔



千葉西銚子支部
35100pt

1. 8年 2. 飯岡 3. ジョン・ジョン・フロレンス 4. 優勝者が大きなロープをもらっていて、それを見て自分も欲しくなったので頑張っています 5. エアリバース 6. 試合会場がひっくり返るくらいの歓声があるサーフィンをして、みんなをワクワクさせる選手になりたいです 7. 今回、1番 になれたのは、応援やサポートの力が大きかったです！コロナ禍で満足に練習も出来なくて、腐りそうになって僕を応援してくれる人達がいたから頑張れました。これからも結果で恩返し出来る様に頑張ります!!

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	長沢 侑磨	東京	19267
5	寺田 文太	千葉東	16643
6	辻岡 堅太郎	大阪	15970
7	酒井 仙太郎	湘南藤沢	14960
8	佐藤 利希	湘南藤沢	13840
9	浜矢 風	大分	13070
10	松本 湮空	静岡伊豆	12660
11	西田 陽登	宮崎	12490
12	西大條 府時丸	千葉南	11124

2 小濃 来波



湘南茅ヶ崎支部
29810pt

1. 約7年 2. 茅ヶ崎チサン 3. グリフィン・コラピント 4. 先輩たちが試合に出ていて格好良かったから 5. エアリバース 6. 練習の時、ただやるだけではなく、ひとつずつ考えてやること。今後の目標は、ISAのジュニアに選ばれて出場すること。海外の試合で結果を出したいです 7. 2位だったから悔しかったし、次のクラスは1位取れたらなと思いました

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	鳥養 快斗	湘南茅ヶ崎	8288
14	森 大斗	静岡3区	8150
15	新井 央真	千葉東	8106
16	金沢 太規	徳島	8101
17	永谷 オダイ	宮崎	7081
18	三木 望未	宮崎	7075
19	今福 カレン	横浜	7074
20	秋山 大晴	湘南茅ヶ崎	6839
21	足立 海世	静岡伊豆	6800

3 岡野 隼



湘南茅ヶ崎支部
27157pt

1. 9年 2. 茅ヶ崎 パーク 3. グリフィン・コラピント 4. 初めての大会出場で入賞したことが嬉しかったので 5. エアリバース 6. よく寝ること。CT入りを目指します 7. チャンピオンを取りたいので嬉しい

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	網村 海斗	大阪	5804
23	川畑 永心	宮崎	5668
24	行廣 誠波	千葉銚子	5663
25	丸山 晴風	北海道	5324
26	白井 翔	千葉東	5280
27	荒河 正宗	愛知	5109
28	小野 里弦	静岡伊豆	5088
29	鈴木 亜麻	千葉南	4901
30	菊地 一汰	宮城仙台	4821

POINT RANKING

JUNIOR CLASS

1 鈴木 一步



湘南藤沢支部
32597pt

1. 13、4年 2. 鶴沼、地下道前
3. ガブリエル・メディーナ 4. 応援してくれている家族や友達、スポンサー様達に感動や恩を返したいからです 5. ボトムターン、エア 6. 食事の面やトレーニングです 7. このまま気を抜かず頑張ります

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	安室 弦	徳島	21693
5	鈴木 耀竣	湘南藤沢	18230
6	菅原 大地	東京	14650
7	本田 孝義	熊本	14467
8	小松 濃輝	横浜	13237
9	井上 龍一	東京	12960
10	松原 渚生	千葉西	12000
11	野中 深佑	高知	9793
12	田中 健跳	千葉東	9080

2 鳥潟 一太



徳島支部
25817pt

1. 8年 2. 阿南、生見 3. デーン・レイノルズ 4. 友達に誘われて大会に出たこと 5. 今はまだわかりません 6. たくさん食べて怪我をしないこと 世界戦に出ること 7. 嬉しいです。サポートありがとうございます。今年は1番になれるよう、たくさん練習して頑張ります。

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	岩瀬 裕哉	愛知	9000
14	秋友 澤	大阪	8736
15	矢作 紋乃丞	湘南藤沢	7800
16	木下 波希	宮崎	7212
17	数内 大河	愛知	6921
18	本田 匡世	湘南西	6650
19	荒木 陸叶	千葉東	6449
20	井上 真男	茨城北	5901
21	金網 泰史	湘南茅ヶ崎	5657

3 休場 匠



湘南茅ヶ崎支部
23153pt

1. 10年 2. 茅ヶ崎・チサン 3. ジョン・フローレンス、五十嵐カノ選手 4. THE SURFSKATERS を見て、自分も出場したいと思ったからです 5. バックサイドストリートアップ 6. スポーツと勉強の文武両道です。大学に進学し、プロサーファーと学生の両立を目指します。また、サーフィンだけではなく、ウォーターマンとして日々の鍛錬に励んでいます 7. 3位はとても嬉しい結果でしたが、これからも上位を目指して努力していきたいです

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	松本 健獅朗	佐賀	5541
23	岩本 涼	茨城南	5237
24	河本 遼大	奈良	5073
25	小杉 究	湘南藤沢	5000
26	守城 海	千葉南	4533
27	澤田 海晴	大阪	4457
28	木村 一星	湘南茅ヶ崎	3909
29	荒木 麗慎	長崎	3797
30	木原 一真	千葉西	3753

MEN CLASS

1 石川 拳大



学連支部
28813pt

1. 24年 2. 茅ヶ崎 3. トム・ウエグナー、トレンバーティン、ロブ・マチャド 4. 友人が大会に出ているため 5. ターン 6. 常に楽しむこと 7. とても嬉しいですが、これからも応援よろしくお願いします

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	平井 宏輔	愛知	14677
5	石鎧 太郎	岩手	12867
6	齋藤 祐太郎	湘南茅ヶ崎	11840
7	伊藤 健汰	千葉西	10347
8	木村 美海	茨城南	10130
9	福井 滉東	千葉東	9700
10	武知 虎南	徳島	9687
11	笹田 十夢	大阪	9634
12	長島 更	千葉東	9620

2 藤沼 佳太郎



湘南茅ヶ崎支部
20726pt

1. 12年 2. 茅ヶ崎チサン 3. ミゲル・プロ 4. 兄が出ていたから 5. カービング 6. 良い波に沢山乗ること 7. 頑張ります

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	田口 祐也	千葉南	8524
14	大場 玲遥	湘南藤沢	7770
15	熊谷 航	宮城仙台	6803
16	進士 海理	静岡伊豆	5910
17	末崎 晃太	東京	5555
18	山口 大介	千葉銚子	5524
19	中島 海輝	千葉西	5184
20	河野 留偉	千葉東	4810
20	篠崎 倫太郎	湘南茅ヶ崎	4810

3 林 海亜



千葉東支部
18666pt

1. 10年 2. 大久保 (順正・海老) 3. 高津雄哉さん、戸村孝幸さん、中村光喜さん 4. サーフィンを通じて成長したいから 5. 赤い帽子、レインコートを着て、バックサイドエア 6. 日々進んでいっている方や応援してくれている方から学ぶことが多く、自分も成長したいから 7. 僕の世界でも通用するレベルでできる選手になることです 8. 僕の世界でも通用するレベルでできる選手になることです 9. 僕の世界でも通用するレベルでできる選手になることです 10. 僕の世界でも通用するレベルでできる選手になることです 11. 僕の世界でも通用するレベルでできる選手になることです 12. 僕の世界でも通用するレベルでできる選手になることです

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	市川 弦汰	千葉銚子	4797
23	森 将真	学連	4486
24	藤井 徳大	宮崎	4253
25	柄本 海	湘南藤沢	4066
26	荻本 海	福岡	3840
27	三佐川 武瑠	湘南西	3603
28	築島 拓海	千葉西	3527
29	田邑 星斗	大阪	3494
29	藤本 世音	学連	3494

SENIOR CLASS

1 酒井 正洋



千葉東支部
18600pt

1. 26年位 2. 一宮 3. 早坂さん 4. サーフィンが楽しくなってきたから 5. オフザリップ 6. 限られた練習時間を有効活用し、上位目指して頑張ります 7. とても嬉しいです

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	斎藤 真一	大分	14020
5	安部 亙	茨城南	12760
6	松倉 円	北海道	12380
7	下田 泰成	三重	11900
8	大江 良太	茨城北	11153
9	古川 光彦	千葉東	10400
10	仲村 一智	三重	9600
11	木村 圭佑	福島	8980
12	小嶋 大地	宮城仙台	8212

2 小野 誠



茨城波崎支部
17233pt

1. 22年 2. 波崎 3. 高梨一 4. 何となく 5. バンピング 6. 主催大会での優勝 7. もっと頑張ろうと思います

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	五来 潤	茨城北	7513
14	野村 昌宏	愛知	6840
15	小林 賢和	福島	6833
16	山中 峰喬	静岡伊豆	6468
17	我妻 雅俊	宮城仙台	6396
18	馬嶋 浩文	京都	6300
19	宗 泰裕	福岡	6233
20	伊藤 裕一	宮城仙台	6080
21	鈴木 藍策	福岡	6000

3 中村 光喜



千葉西支部
15000pt

1. 25年 2. 千葉片貝 3. ー 4. 日本一になるため 5. ー 6. 常に努力すること 7. ー

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	前田 淳	福島	5420
23	須山 賢一	大阪	5189
24	東山 聖	兵庫	5104
25	神 一人	愛知	5000
26	宮本 樹	愛知	4980
27	多田 晃治	徳島	4588
28	舟野 認	宮城仙台	4324
29	栗本 和宏	大阪	4300
30	山中 勇海	埼玉南	4245

MASTER CLASS

1 友重 達郎



千葉東支部
28656pt

1. 30年 2. いすみ 3. トム・キャロル 4. 息子と一緒に挑戦してみたいと思ったので 5. チューブが好き 6. 常にハードな波にも乗れるようにKEEPする。冬はハワイノースショアで大きな波に乗る 7. 20年ぶりに出場させて頂いたNSA、ひとつひとつの大会がとても勉強になり楽しかったです。今年もグラチャン取れるように少しだけお酒を控えたいと思います

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	三木 正行	宮崎	12428
5	石田 佳央	横浜	11600
6	小泉 勝	千葉西	9600
7	大江 陽一郎	千葉西	8230
8	田村 隆之	湘南藤沢	7800
9	中村 直樹	茨城波崎	7713
10	軽部 英和	東京	7650
11	村上 英令	宮城仙台	7620
12	菊田 公雄	宮城仙台	7452

2 青山 雄一



千葉南支部
15000pt

1. 35年 2. 平砂浦・千倉 3. ジャック・ロビンソン 4. 通っていたサーフショップの影響 5. オフザリップ 6. 仕事が休みの時はサーフィンをする、もっとサーフィンが上手くなること 7. 運が良かった1ランキング1位になれるよう頑張ります!

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	東峰 正樹	湘南西	6909
14	山崎 三郎	兵庫	6673
15	小林 寛	東京	6300
16	崎村 公彦	宮崎	6000
17	宮脇 雅志	大阪	5861
18	古賀 政信	福岡	5353
19	松澤 光洋	千葉東	5000
19	日暮 成博	千葉東	5000
21	佐藤 弘一朗	宮城仙台	4960

3 強矢 典男



群馬支部
13477pt

1. 28年 2. 東浪見 3. テイラー・ノックス 4. 息子が大会に始めたため、一緒に大会を楽しめればと出場しました 5. カービング 6. 毎日海に入ることとそれを理解してくれる家族を大切にすること 7. 今年は息子3位だったので、背中を見せるためにももっと上を目指したいと思います!

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	金沢 直一	徳島	4909
23	野口 明弘	京都	4888
24	川井 敦史	湘南茅ヶ崎	3900
24	菅原 剛	東京	3900
26	谷口 弘和	湘南西	3521
27	土井 孝	大阪	3357
28	島田 稔也	宮崎	3333
29	猪狩 優樹	福島	3132
30	山口 隆文	福岡	2940

GRAND MASTER CLASS

1 坂本 應尚



千葉南支部
25000pt

1. 40年 2. 鴨川、アラモアナ 3. ケリー・スレーター 4. サーフィンを始めて半年後、友達の誘いで 5. なし、どの技もまだまだです 6. 感謝、健康、向上への情熱。サーフィンの奥深さ、自然の素晴らしさを体感したい 7. 今年度は難局の中、大会を開催いただけたことがあったからです。開催、運営にご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	伊東 勝彦	宮城北	16980
5	小林 建一郎	東京	15740
6	谷奥 進	大阪	12060
7	小野澤 正樹	千葉東	9996
8	豊田 泰史	千葉西	9680
9	中野 茂	福岡	9260
10	堀江 勝	湘南西	6741
11	桑原 芳浩	千葉南	6676
12	新居 徹也	徳島	5941
13	大田 達三	宮崎	5176

2 磯部 康典



湘南西支部
24370pt

1. 36年 2. 平塚水川河口 3. デーン・レイノルズ 4. サーフィンが上手くなりたかった 5. ローリング 6. 波乗りで知り合った仲間達との時間を大切にしている。今後の目標は少しでも波乗りの時間を増やしたい 7. 最終戦のマスターズオープンで優勝して逆転でランキング2位で終わり、ツイていたと思います

レイティング	氏名	支部名	ポイント
14	大久保 孝一	宮城仙台	5000
14	中泉 菊弘	千葉東	5000
16	小谷 和宏	大阪	4968
17	松尾 俊彦	福岡	4832
18	松尾 潤	千葉西	4800
19	市川 義章	千葉銚子	4675
20	小栗 大士	千葉南	4576
21	関根 一男	東京	4356
22	池ノ谷 直樹	静岡3区	3900
22	田所 邦友	茨城北	3900

3 中村 義浩



宮崎支部
19940pt

1. 40年 2. バブリック 3. ケリー・スレーター、ジョーディー・ミス 4. 先輩の勧め 5. カービング 6. ストレッチ、筋トレ、休憩 7. 1位を目指します

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	井門 振一	東京	3900
25	足立 明繁	千葉東	3780
26	齋藤 直人	学連	3581
27	梅津 直貴	湘南西	3053
28	黒川 直之	徳島	3000
29	辻 範也	千葉南	2833
29	皆川 佳範	横浜	2833
29	大塚 泰仁	東京	2833

KAHUNA CLASS

1 高橋 誠



宮城仙台支部
24400pt

1. 46年 2. 仙台新港 3. 岡田修平 4. 友だちに誘われて 5. カットバック 6. ストレッチ 7. 優勝はなかなか出来ないのでも嬉しく思います

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	志村 仁	千葉西	12280
5	三輪 真一	静岡2区	11900
6	田村 彰	東京	10636
7	時田 一央	東京	9816
8	日高 太郎	学連	8316
9	瀧野 岳	大阪	7380
10	南出 繁郎	大阪	7296
11	佐藤 秀男	湘南藤沢	6396
12	榎本 光永	千葉南	5000
13	廣田 明典	新潟1区	4133
14	佐々木 淳一	北海道	3900
14	小野寺 優一	宮城仙台	3900

2 久野 孝



徳島支部
17360pt

1. 44年 2. 小松海岸 3. スタイルッシュなサーファー 4. サーフィンのレベルアップになると思って参加しました 5. 好きなターンはカービング 6. 向上心 7. 1位を目指して頑張ります

レイティング	氏名	支部名	ポイント
16	金子 隆祐	福岡	3213
17	片岡 弘一	宮崎	3080
18	小林 夏樹	東京	2833
18	松本 弘志	東京多摩	2833
18	山田 慎一	川崎	2833
18	大出 晃	茨城南	2833
18	尾崎 篤	湘南西	2833
23	鳥羽 真吾	徳島	2300
23	高梨 一夫	茨城波崎	2300
23	平野 武	石川	2300
23	阿部 勉	宮城仙台	2300
27	佐加 良一	大阪	2204

3 平野 太郎



湘南鎌倉支部
16053pt

1. 46年 2. 鎌倉 峰々原 3. ケリー・スレーター 4. 周囲の友人達の強い勧めで20年のブランクの後に復活 5. オフザリップ 6. 自らのシェイプで今までよりも少しも高いウオリティのサーフィンを目指していきたいので、そのための健康、コンディションにはさらに気を遣っていかないと考えています 7. ライバル達との切磋琢磨が今の原動力、なかなか思うように行かない悔しさをバネに上達につなげられるように頑張ります

レイティング	氏名	支部名	ポイント
28	仙波 幸男	宮崎	1900
29	岩永 禎樹	福岡	1804
30	原田 裕之	静岡3区	1633
30	鈴木 孝史	福島	1633
30	細井 隆	湘南茅ヶ崎	1633
30	山口 健好	湘南茅ヶ崎	1633
30	佐久間 吉行	千葉南	1633
30	三浦 清史	愛知	1633
30	萩原 一利	埼玉南	1633
30	山本 有一	福島	1633
30	千葉 光正	宮城北	1633
30	菊池 傑	湘南茅ヶ崎	1633

POINT RANKING

GIRLS CLASS

1 中塩 佳那



山形支部
51000pt

1. 13年 2. サンライズ、志田下 3. ステファニー・ギルモア 4. 出たいと思っていたら、気づいたら出てました 5. 深いボトムターンからのリップ 6. 大切にしていることは、何事にも全力で楽しむこと、今後の目標は、文武両道・世界ジュニア優勝・オリンピック・WCT入りして優勝すること 7. 5年連続一位になれて嬉しいです。NSAの試合は楽しくていい経験になりました。これからはJPSAでの1位を目指し、文武両道のもと、トップサーファーとして頑張っていきたいです

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	登坂 祐妃	湘南藤沢	15656
5	清水 心春	熊本	14668
6	松岡 亜音	千葉南	14280
7	上門 涼風	徳島	14044
8	高橋 結奈	千葉銚子	12796
9	畑 ハイネ	宮崎	12128
10	馬場 心	静岡伊豆	11972
11	石井 有沙	千葉南	11596
12	清水 ひなの	横浜	11588

2 鈴木 莉珠



千葉南支部
34500pt

1. 5年 2. 鴨川、和田 3. カリッサ・ムーア 4. アノンちゃんに誘ってもらった 5. カービング、リップ 6. しなやかにパワフルな演技ができるように毎日ストレッチをしています。今後の目標はジュニアの世界戦の代表になりたいです 7. 今年も頑張った上に上になれるよう頑張ります

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	清水 ひなた	横浜	9488
14	松野 杏莉	千葉東	9248
15	飯塚 美空	湘南茅ヶ崎	8732
16	伊東 葵	岩手	8292
17	菅谷 帆那	湘南藤沢	8256
18	庄司 莉花	湘南西	7524
19	太田 絢	静岡3区	7436
20	小沢 美良乃	横浜	7340
21	原田 紫	徳島	6884

3 高橋 花音



湘南茅ヶ崎支部
18608pt

1. 4年 2. 茅ヶ崎、パーク 3. ローラー・エネバー 4. 友達が参加しているのを見て面白そうだったので、フジの大会に出たら楽しくて、それから大会が好きになりました 5. カービングのローリン、エアができるようにしたい 6. 周りの人への感謝を忘れず、いつも楽しんでサーフィンすること、目標は、海外の試合などにも参加して経験を積みながら自分のスタイルを作りたいです 7. 自分だけの力ではなく、周りの人と一緒に練習してくれる友達のおかげです。この経験を生かして、楽しみながら色々なことにチャレンジしていきたいです

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	楢野 杏瑞	千葉西	6504
23	中井 美波	愛知	5936
24	高橋 莉衣奈	千葉銚子	5560
25	日比野 リナ	大阪	4848
26	長崎 来海	島根	4296
27	菅田 桃夏	東京多摩	4280
28	高橋 花梨	湘南茅ヶ崎	4276
29	平井 こいまり	湘南鎌倉	4000
30	行廣 唯波	千葉銚子	3652

WOMEN CLASS

1 澤田 七奈緒



湘南茅ヶ崎支部
29390pt

1. 7年 2. 茅ヶ崎、パーク 3. ステファニー・ギルモア、ココ・ホス、イーサン・ユーイング 4. 友達に誘われて地元での試合に出場したのがきっかけ 5. リップ 6. 楽しむことを忘れないこと！プロ公認獲得して、学校で学んでいる心理学も生かしてメンタルトレーニングをすること 7. 目標にしていることなのですごく嬉しいです。今年もこの勢いで2連勝します！

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	後藤 夏子	東京	13011
5	浦野 日菜子	静岡2区	11840
6	原田 葵	学連	9990
7	濱口 菜摘	千葉西	9247
8	松本 望	佐賀	8842
9	山本 優香	愛知	7770
10	八尋 彩子	大阪	6167
10	井内 愛理	千葉西	6167
12	伊東 悠理	千葉銚子	5011
13	田中 魅夢	千葉南	4810
13	古家 宏美	千葉東	4810

2 芳田 花瑚



宮崎支部
20060pt

1. 7年 2. バブリック、木崎浜 3. フィリップ・トレド 4. 楽しそうだったから 5. バックサイド 6. 大切にしていることは、日々の努力の積み重ねや挨拶・楽しむこと、今後の目標は、色々な波に挑戦して誰が見てもカッコいいサーフィンをすること 7. コロナ禍で地方から大会に出ることが困難な状況でしたが、全日本優勝できたことで、ランキングが上位になれて嬉しい。

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	津田 朋映	福井	4810
16	金子 可住子	千葉東	3494
16	井内 青空	徳島	3494
16	波瀬 真里奈	千葉銚子	3494
16	信田 有美	千葉東	3494
16	藍原 渚	千葉東	3494
21	秋山 日菜乃	湘南藤沢	3431
22	飯塚 麻以	千葉銚子	2631
22	大石 歩果	静岡3区	2631
22	池田 梨花	学連	2631
22	板橋 結奈	埼玉南	2631

3 大庭 風美



福岡支部
18898pt

1. 7年 2. 野北 3. ステファニー・ギルモア 4. 自分の実力を知ることができたから 5. フロント 6. 周りの方への感謝を忘れないこと、ポイントランキング1位になること 7. 嬉しいですが、次は1位になれるように頑張ります

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	谷川 琴音	茨城南	2631
22	田中 江梨奈	横浜	2631
28	谷山 花苗	愛知	2467
29	奥山 恵依	湘南藤沢	2152
30	伊藤 仁美	川崎	2014
30	徳川 芽優	千葉西	2014
30	林 沙織	愛知	2014
30	川瀬 侑佳	埼玉南	2014
30	長尾 茜	福島	2014
30	高橋 榛名	茨城北	2014
30	三輪 希望	千葉銚子	2014

SENIOR WOMEN CLASS

1 清永 亜希子



湘南茅ヶ崎支部
49090pt

1. 24年 2. 茅ヶ崎 3. モーグ・シベリク、カリッサ・ムーア 4. 同い年の友人に誘われて 5. 1年に渡り「僕」のはイクオの速さ(笑) 6. 夏休みの肉休でセンターロール、膝っ跳に目が出る事を行う(詳細は秘密です!) 全日本優勝、ランキング1番目指す! USAマスターズ世界戦に出場し前年成績を上回りたい! 7. 2021年度はコロナ禍で大会数が少ない中、主催大会3つ優勝出来、応援していただき、スポンサー様、茅ヶ崎支部の皆様が応援してくださって下さるまで年々、徐々に自分の目標は7年間で達成したいが思ひ、マスターズでは51000ptを目指し、目標に届くまで、感謝の1年で、お礼とさせていただきます

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	石田 真子	千葉西	17198
5	荻原 浩子	千葉西	16460
6	中原 由未	愛知	11940
7	藤井 真代	東京	11900
8	浜崎 千佳	大阪	10728
9	相原 朝香	宮崎	10633
10	古賀 恵	福岡	10556
11	飯田 香織	千葉銚子	10476
12	田部井 加菜子	千葉西	9513

2 大江 なぎさ



千葉西支部
23910pt

1. 20年以上 2. 東浪見周辺 3. 4. 5. バックハンドリップ 6. 今後は子供のサーフィンスポートが優先となりますので、自身自身の競技生活は引退が近い気がします(笑) 7. 全日本でイチコケしたい、まさかポイントランキング上位に入るとは思っていなかったのでもっと嬉しいですよ

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	田中 順子	京都	7624
14	中 沙都美	千葉東	6300
15	七海 裕子	石川	6208
16	五味 雅恵	茨城南	5920
17	大西 利依子	兵庫	5660
18	山田 美貴子	千葉東	5560
19	藤岡 良子	福岡	5546
20	倉持 恵	茨城南	5000
21	菱沼 富美	千葉南	4992

3 田上 さくら



千葉西支部
30950pt

1. 16年 2. 伊良湖新日本 3. ジョーディ・スミス 4. もともと大会に興味があり、出場してみたいからです 5. 6. どんな波でも楽しむことです。今後はレベルアップしてもっとサーフィンを楽しみたいです 7. いつもサポート・応援してくださっている方々に感謝しています。ありがとうございます

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	草深 梨加	三重	4440
23	小林 弥生	東京	3900
23	田中 愛子	千葉西	3900
25	湯川 順子	湘南西	3716
26	齋藤 奈津子	福島	3193
27	田中 亜弥	徳島	3124
28	芦刈 良子	千葉南	3021
29	竹原 由佳	千葉南	3013
30	中泉 亜紀	千葉東	2920

LONGBOARD MEN CLASS

1 武川 慎



徳島支部
44255pt

1. 10年 2. 四国・生見海岸 3. ガブリエラ・メディーナ 4. 友だちから誘われて出場し始めた 5. ハングテン 6. カッコいいサーファーになる! 7. ランキングで1位になりたい大会に出場したので、すごうれいです。

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	石田 直樹	千葉銚子	21023
5	堀井 創	湘南藤沢	18019
6	今井 康平	湘南藤沢	10210
7	平田 拓海	学連	9806
8	小野田 慶太郎	湘南茅ヶ崎	7770
8	太田 祐城	京都	7770
10	武田 真一	宮城仙台	7695
11	田中 勇吉	東京	7606
12	池谷 京将	千葉東	6810
13	本宮 世雅	湘南藤沢	6767

2 北村 健一



千葉銚子支部
25053pt

1. 21年 2. 千葉 旭市 3. 4. 5. 6. 健康管理、全日本優勝 7. 2位で悔しいです

レイティング	氏名	支部名	ポイント
14	中野 道明	福島	6167
15	三浦 史博	福島	6070
16	平野 篤史	千葉銚子	5460
17	村山 聖	湘南藤沢	5166
18	東坂 亮佑	徳島	4915
19	久木山 洋平	和歌山	4810
19	松山 輝史	大阪	4810
19	大竹 琥太郎	横浜	4810
19	宮崎 俊輔	三重	4810
23	鈴木 悠	千葉東	4572

3 中山 智資



徳島支部
21247pt

1. 25年 2. 小松海岸 3. BOBサーフショップオーナー新居昌也 4. BOBサーフショップオーナー新居昌也にすすめられたから 5. 特になし、波にあわせて乗ること 6. 看護師としての仕事とサーフィンの両立。家族サービス。全日本サーフィン選手権で優勝 7. LBMEN最後の年だったので全日本で優勝しなかった。今後はLBマスタークラスで 日本一を目指します。

レイティング	氏名	支部名	ポイント
24	山口 勇気	静岡3区	4517
25	阿部 龍亮	宮城仙台	4407
26	森山 貴幸	栃木	4206
27	佐藤 雄亮	湘南藤沢	4092
28	濱野 貴至	大阪	3900
29	鈴木 頼	湘南茅ヶ崎	3823
29	紙屋 正太郎	宮崎	3823
29	高岡 潤史	福島	3823
29	抱井 暖	湘南鎌倉	3823

LONGBOARD MASTER CLASS

1 藤原 健



湘南藤沢支部
26637pt

1. 25年 2. 江ノ島東浜 3. 山崎市朗さん 4. 地域のサーフコミュニティに参加したかったので 5. パーリングとインターフェア 6. 一本の波を大切にすること。長くサーフィン続けること 7. 身が引き締まる思いです。運が良かったです

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	井口 総一郎	静岡3区	18650
5	野口 泰男	千葉銚子	15457
6	久保 博崇	湘南茅ヶ崎	15000
7	大池 義博	埼玉南	14400
8	釣田 克則	岡山	14380
9	佐野 十志哉	福井	12002
10	尾崎 賢	三重	11665
11	大山 弘晃	湘南茅ヶ崎	11087
12	渡辺 真通	湘南藤沢	10590

2 小崎 宗大



湘南茅ヶ崎支部
23297pt

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	大森 伸悟	湘南藤沢	8986
14	塚本 真佐樹	東京	7800
15	林 淳一	横浜	7417
16	多田 輝彦	宮崎	6672
17	柳沢 裕次	湘南藤沢	6300
18	鬼塚 秀之	湘南茅ヶ崎	5993
19	小野 智	川崎	5609
20	伊藤 雅樹	千葉銚子	5477
21	横山 政則	埼玉南	5421

3 小林 寛



東京支部
21147pt

1. 30年 2. 千葉北 3. ロブ・マチャド 4. 自分のレベルを知りたかったため 5. ビッグマニエーバ 6. 健康と Keep surfing! 7. 目指せチャンピオン!

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	佐川 幸男	千葉東	5401
23	杉浦 重喜	鹿児島	5000
24	斎藤 健之輔	湘南藤沢	4663
25	高橋 健治	千葉南	4300
26	浅井 義則	湘南鎌倉	4213
27	三宅 俊司	湘南鎌倉	4198
28	鳥羽 真吾	徳島	3900
28	吉井 俊二	福岡	3900
30	井上 誠	宮崎	3836

LONGBOARD WOMEN CLASS

1 石井 志延



静岡2区支部
23850pt

1. 16年 2. 静波海岸 3. ケリア・モニーツ、宮内謙至、吉川広夏 4. ガールズコンテストに出場してから 5. ノーズライディング 6. 毎日少しずつ前に進むこと。スタイリッシュなサーファーになりたい 7. サポートしていただいた静岡銀行、同僚、また松坂さんや家族、友達に本当に感謝しています。サーフィンの技術をしっかりと磨いて、もっともっと上達したいです!

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	桃沢 実里	湘南藤沢	15167
5	仲西 華奈子	和歌山	14677
6	叶多 和子	福島	14217
7	大石 梨花	静岡3区	11048
8	鈴木 明子	千葉東	11004
9	小林 理砂	東京	10384
10	飯田 香織	千葉銚子	7945
11	多田 友祈子	湘南鎌倉	7770
11	高村 邦代	千葉銚子	7770

2 北村 亜希子



千葉銚子支部
19764pt

1. 17年 2. 千葉 旭市 3. 4. 勧められたので 5. 6. 朝一海に入ること、家事、育児 7. 今後も夫婦で上位を目指します!!

レイティング	氏名	支部名	ポイント
13	川崎 智子	静岡3区	7334
14	関口 紗稀	千葉東	7233
15	渡邊 久美	茨城南	6817
16	伊藤 真紀子	湘南鎌倉	6635
17	米川 なずな	茨城南	6460
18	田村 聡美	湘南藤沢	6110
19	唐木 麻貴	千葉南	5398
20	河合 妃富美	横浜	5336
21	福田 沙織	湘南藤沢	4646

3 田原 あいり



湘南西支部
18500pt

1. 20年ぐらい 2. 大磯 3. クロエ・カルモン、ケリア・モニーツ、ケリス・カロバ 4. 自然と 5. バックサイドのリップ、カットバック 6. リラックスすること、課題を決めて海に入ること 7. 大磯と新島の海、ローカルに感謝です! もっと上手になれるように頑張ります!

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	山田 智子	湘南茅ヶ崎	4536
23	齋藤 エリ	茨城南	4302
24	古沢 優子	茨城南	4229
25	玉熊 祐美江	湘南藤沢	3701
26	佐藤 絵美	茨城北	3608
27	景山 愛子	湘南藤沢	3593
28	櫻庭 志乃	湘南藤沢	3494
28	瀬下 絵里子	湘南藤沢	3494
28	藤原 加世	高知	3494

BODYBOARD MEN CLASS

1 蛭間 拓斗



千葉東支部
29490pt

1. 2. 3. 4. 5.
6. 7.

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	加藤 優来	湘南茅ヶ崎	15384
5	榎戸 崇人	千葉東	13000
6	高部 英美	静岡伊豆	11824
7	渡辺 康弘	湘南西	11454
8	木下 陸雄	千葉東	10104
9	渡邊 秀憲	横浜	8356
10	佐山 直樹	千葉西	7804
11	加藤 栄樹	湘南茅ヶ崎	7770

2 佐藤 海斗



千葉東支部
23269pt

1. 5年 2. いすみ 3. ビエール
4. どれくらい出来るか挑戦した
かったからです 5. エルロ口 6.
あの人には負けたくないとか、今
度こそは勝つとかの意気込みを大
切にしています。昨年度よりいい
成績を残したい 7. 次1位になり
ます!!!!

レイティング	氏名	支部名	ポイント
12	宇野 誠則	茨城南	7667
13	加藤 修一	湘南茅ヶ崎	7398
14	久保 厚	東京	7110
15	岡 英樹	群馬	6916
16	川嶋 正明	千葉東	6410
17	村主 禎光	宮城仙台	6167
17	西留 裕司	福井	6167
19	穂積 隆昭	徳島	5666

3 杉澤 嘉洋



湘南藤沢支部
17300pt

1. 30年 2. 湘南の空いているところ
3. 90年代の辻堂ボディボーダー達。
刺激を受けました 4. 1992年、雑誌
「Flipper」の記事を見て 5. トップター
ン系のバリエーション 6. 上で待つ落
つこと。世界戦で暴れること 7. 大
阪赴任中お世話になった塚のサーファ
ーの皆さま、全日本応援してくれた支部
の選手達、エポシ激痛事件で救護してく
れた方々に感謝!! 3位には満足していい。
順位もですが、内容ももっと良くします

レイティング	氏名	支部名	ポイント
20	渡邊 大輔	静岡伊豆	5033
21	足立 丈哉	横浜	2837
22	望月 実	静岡伊豆	2522
23	鈴木 康敬	千葉東	936
24	遠藤 伸幸	横浜	744
25	江波戸 靖	千葉東	300

BODYBOARD WOMEN CLASS

1 我孫子 咲良



湘南西支部
30000pt

1. 7年 2. 平塚 (西湘) 3. 4. 波に
乗れるようになってきて、友達と音
で出たのがきっかけです。それが
楽しくて、試合に出るのが楽し
みに変わりました 5. リバース
スピン 6. どんな波でも勝つ技術
やメンタルを持てるのが大切な
かなと思います。1人でも多くの
人に印象に残るようなライディ
ングをする選手になりたいです。
今後はJPBAで優勝目指して頑
張ります。みなさん応援よろしく
お願いします!! 7. 級別と全日本、
得意な波でやれて、結果を残すこ
とができ最高でした!

レイティング	氏名	支部名	ポイント
4	安見 春香	千葉東	16330
5	田中 乃風	千葉西	13301
6	我孫子 牧美	湘南西	12505
7	安井 美紀	愛知	9620
8	今井 かおり	静岡伊豆	9283
9	芳本 みどり	埼玉南	8884
10	阿部 三緒里	福岡	7770
11	下地 ケイト	湘南藤沢	7492
12	西澤 琴野	デフ	7101
13	浅見 若奈	湘南茅ヶ崎	6670

2 大木 咲桜



湘南鎌倉支部
25312pt

1. 6年 2. 鎌倉 3. 4. 大会を観戦し
行った時の選手の姿に憧れて出
場してみたいと 5. フォワード
スピン 6. ボディボードだけでなく、
勉強、学校生活、アルバイト全
部頑張らない切り替えをして文
芸両道頑張ってます! 目標は全
日本で優勝する事です! 7. まさ
か3位以内になれるとは思って
いなかったのが正直な事です
笑コロナウイルスの影響で試合
がない期間、沢山練習してきた
甲斐がありました。そして2位に
なれたからこそもっと上を見
てきたので、これからも頑張
りたいと思うようになりました!

レイティング	氏名	支部名	ポイント
14	國武 寧々花	愛知	6208
15	村主 香織	宮城仙台	6167
16	川島 真紀	湘南茅ヶ崎	6053
17	小口 絵理	茨城南	4953
18	荒井 あぐり	埼玉南	4810
18	原 砂織	愛知	4810
20	松本 恵子	東京	4074
21	松原 玲子	東京	3926
22	川原 弘子	横浜	3823
22	杉岡 裕子	宮城北	3823

3 鈴木 知子



千葉西支部
19273pt

1. 20年 2. 夷隅 3. 大原沙莉
プロ 4. 子育てがひと段落し
たら 5. リバーススピン 6. グラ
ダラと海に入らず、課題を決
めて練習すること 7. 実力以上
の結果で本当に嬉しいです!

レイティング	氏名	支部名	ポイント
22	水澤 京子	福井	3823
25	實方 美知代	千葉東	3570
26	伊藤 愛	北海道	3305
27	伊藤 杏子	千葉東	3233
28	小泉 真佐子	東京多摩	2964
29	鈴木 優美	宮城北	2837
29	田中 綾子	東京	2837
29	宮崎 郁美	湘南茅ヶ崎	2837
29	宮沢 恵美	東京	2837
29	吉田 恵子	千葉南	2837

ポイントランキング制度って何?

年間獲得ポイントの合計でグラチャンが決まる!!

2007年度から導入された「ポイントランキング制度」。これは、NSA主催大会および公認大会を対象としたもので、年間を通して各大会・クラスごとの成績にポイントをつけていくというシステムです。獲得ポイントについてはNSAホームページで大会終了後に発表、年度末に発表の年間ランキング1位(グランドチャンピオン)になれば、名前入りのメダルが授与されます! 2022年度のシステムには多少改定がありますので、下記をご参照ください。

2022年度ポイントランキング概要

①ポイントランキングの基本概要

- NSA主催大会の参加者で大会出場時にNSA正会員、またはNSA公認大会(ポイント対象大会)の参加者で、大会出場時にNSA正会員(級検定4級以上保持者)にポイントが付与し、年間のアマチュアチャンプを決定します。※オープン会員はポイント付与対象外です。
- ポイントの集計は、日本サーフィン連盟が行います。
- ポイントの集計は、日本サーフィン連盟が定める年齢別クラスの「クラス別ポイントランキング」と統合クラスの「統合ポイントランキング」に反映されます。
- 2022年度ランキングカウントの対象試合数は8試合とします。(9試合以上出場した選手は高得点を獲得した

上位8試合で算出する。)

- ポイントランキング対象期間は2021年11月1日からNSA主催の2022年度マスターズオープンサーフィン選手権大会までとし、その期間の集計で年齢別クラス毎の「クラス別ポイントランキング」チャンプを決定します。さらに、統合クラス毎の「統合ポイントランキング」チャンプを決定します。

②NSA主催大会

- 全日本級別サーフィン選手権大会のポイントに関しては、開催クラスに関係なく、参加者の保持級により決定する。

③NSA公認大会

- AAAランク、AAランク、Aランクの大会とし、付与するポイントが相違する(別表参照)
- 参加者(正会員)のサーフィン検定保持級により付与するポイントを決定する。(ただし、5級は対象外)
- ポイント算出対象の保持級は大会開催日の45日前(予備日等は考慮しない)までに取得した級とする。
- 種目別、男女別、年齢別(正会員年齢別クラス)で複数のクラスがある場合は、その最上位クラスのみポイントを付与する。



2022年度 正会員年齢別クラス

登録種目	クラス	生年月日	2022年12月31日時点で該当する年齢
ショートボード	キッズ	平成22年(2010年)1月1日以降生まれの男子	12以下
	ボーイズ	平成18年(2006年)1月1日～平成21年(2009年)12月31日生まれ男子	13-16
	ジュニア	平成16年(2004年)1月1日～平成17年(2005年)12月31日生まれ男子	17-18
	メン	昭和63年(1988年)1月1日～平成15年(2003年)12月31日生まれ男子	19-34
	シニア	昭和53年(1978年)1月1日～昭和62年(1987年)12月31日生まれ男子	35-44
	マスター	昭和46年(1971年)1月1日～昭和52年(1977年)12月31日生まれ男子	45-51
	グランドマスター	昭和39年(1964年)1月1日～昭和45年(1970年)12月31日生まれ男子	52-58
	カフナ	昭和38年(1963年)12月31日以前生まれ男子	59以上
	ガールズ	平成16年(2004年)1月1日以降生まれ女子	18以下
	ウィメン	昭和63年(1988年)1月1日～平成15年(2003年)12月31日生まれ女子	19-34
ロングボード	シニアウィメン	昭和62年(1987年)12月31日以前生まれ女子	35以上
	ロングボードメン	昭和53年(1978年)1月1日以降生まれ男子	44以下
	ロングボードマスター	昭和52年(1977年)12月31日以前生まれ男子	45以上
ボディボード	ロングボードウィメン	NSA正会員の女子	全年齢
	ボディボードメン	NSA正会員の男子	全年齢
	ボディボードウィメン	NSA正会員の女子	全年齢

(クラスの名称について) グランドマスターをGマスター、シニアウィメンをSウィメン、ロングボードをLB、ボディボードをBBと表記する場合があります。

NSAポイントランキングについて

NSA主催大会の参加者で大会出場時にNSA正会員、またはNSA公認大会(ポイント対象大会)の参加者で、大会出場時にNSA正会員(級検定4級以上保持者)にポイントが付与し、年間のアマチュアチャンプを決定します。2022年度ランキングカウントの対象試合は8試合とします。(9試合以上出場した選手は高得点を獲得した上位8試合で算出する)

ポイントランキング対象期間は2021年11月1日から2022年度NSA主催のマスターズオープンサーフィン選手権大会までとし、その期間の集計で年間「クラス別ポイントランキング」さらに「統合ポイントランキング」のチャンプを決定します。

2022年度 NSAポイント表

主催大会

全日本サーフィン選手権大会

順位	全日本 (右記以外のクラス)	全日本(メン・ウィメン・LBメン・LBウィメン・BBメン・BBウィメンクラス)
1位	15000	18500
2位	11900	14677
3位	9600	11840
4位	7800	9620
5位・6位	6300	7770
7位・8位	5000	6167
9位～12位	3900	4810
13位～16位	3100	3823
17位～24位	2300	2837
25位～32位	1800	2220
33位～48位	1300	1603
49位～64位	1000	1233
65位～96位	700	863
97位～128位	500	617
129位～192位	300	370
193位～256位	150	185
257位～	50	62

全日本級別サーフィン選手権大会

(キッズ・ボーイズ・ジュニア・シニア・マスター・グランドマスター・カフナ・ガールズ・シニアウィメン・LBマスタークラス)

順位/クラス(係数)	1st (1)	2nd (0.8)	3rd (0.5)	4th (0.3)	5th (0.1)
1位	12000	9600	6000	3600	1200
2位	9520	7616	4760	2856	952
3位	7680	6144	3840	2304	768
4位	6240	4992	3120	1872	624
5位・6位	5040	4032	2520	1512	504
7位・8位	4000	3200	2000	1200	400
9位～12位	3120	2496	1560	936	312
13位～16位	2480	1984	1240	744	248
17位～24位	1840	1472	920	552	184
25位～32位	1440	1152	720	432	144
33位～48位	1040	832	520	312	104
49位～64位	800	640	400	240	80
65位～96位	560	448	280	168	56
97位～128位	400	320	200	120	40
129位～192位	240	192	120	72	24
193位～256位	120	96	60	36	12
257位～	40	32	20	12	4

(メン・ウィメン・LBメン・LBウィメン・BBメン・BBウィメンクラス)

順位/クラス	1st	2nd	3rd	4th	5th
1位	13000	11500	9700	8200	1300
2位	10313	9123	7695	6505	1031
3位	8320	7360	6208	5248	832
4位	6760	5980	5044	4264	676
5位・6位	5460	4830	4074	3444	546
7位・8位	4333	3833	3233	2733	433
9位～12位	3380	2990	2522	2132	338
13位～16位	2687	2377	2005	1695	269
17位～24位	1993	1763	1487	1257	199
25位～32位	1560	1380	1164	984	156
33位～48位	1127	997	841	711	113
49位～64位	867	767	647	547	87
65位～96位	607	537	453	383	61
97位～128位	433	383	323	273	43
129位～192位	260	230	194	164	26
193位～256位	130	115	97	82	13
257位～	43	38	32	27	4

ジュニアオープンサーフィン選手権大会
マスターズオープンサーフィン選手権大会

順位	ジュニア・マスターズ
1位	9000
2位	7140
3位	5760
4位	4680
5位・6位	3780
7位・8位	3000
9位～12位	2340
13位～16位	1860
17位～24位	1380
25位～32位	1080
33位～48位	780
49位～64位	600
65位～96位	420
97位～128位	300
129位～192位	180
193位～256位	90
257位～	30

公認大会

AAAランク

順位/認定級(係数)	1級(1)	2級(0.8)	3級(0.4)	4級(0.2)
1位	6000	4800	2400	1200
2位	4760	3808	1904	952
3位	3840	3072	1536	768
4位	3120	2496	1248	624
5位・6位	2520	2016	1008	504
7位・8位	2000	1600	800	400
9位～12位	1560	1248	624	312
13位～16位	1240	992	496	248
17位～24位	920	736	368	184
25位～32位	720	576	288	144
33位～48位	520	416	208	104
49位～64位	400	320	160	80
65位～96位	280	224	112	56
97位～128位	200	160	80	40
129位～192位	120	96	48	24
193位～256位	60	48	24	12
257位～	20	16	8	4

AAランク

順位/認定級(係数)	1級(1)	2級(0.8)	3級(0.4)	4級(0.2)
1位	4500	3600	1800	900
2位	3570	2856	1428	714
3位	2880	2304	1152	576
4位	2340	1872	936	468
5位・6位	1890	1512	756	378
7位・8位	1500	1200	600	300
9位～12位	1170	936	468	234
13位～16位	930	744	372	186
17位～24位	690	552	276	138
25位～32位	540	432	216	108
33位～48位	390	312	156	78
49位～64位	300	240	120	60
65位～96位	210	168	84	42
97位～128位	150	120	60	30
129位～192位	90	72	36	18
193位～256位	45	36	18	9
257位～	15	12	6	3

Aランク

順位/認定級(係数)	1級(1)	2級(0.8)	3級(0.4)	4級(0.2)
1位	3000	2400	1200	600
2位	2380	1904	952	476
3位	1920	1536	768	384
4位	1560	1248	624	312
5位・6位	1260	1008	504	252
7位・8位	1000	800	400	200
9位～12位	780	624	312	156
13位～16位	620	496	248	124
17位～24位	460	368	184	92
25位～32位	360	288	144	72
33位～48位	260	208	104	52
49位～64位	200	160	80	40
65位～96位	140	112	56	28
97位～128位	100	80	40	20
129位～192位	60	48	24	12
193位～256位	30	24	12	6
257位～	10	8	4	2

オリンピックを経て大きく進化した ジャッジシステム

サーフィン界にとって、初のオリンピックを経験したことで、ジャッジシステムも大きく前進したという。

最先端のサーフィンをより高精度、明解に判断するためにはシステムの進化と共に

ジャッジのスキルアップが求められている。最先端のジャッジの現場は、今どうなっているのか？

TOKYO2020で実際にジャッジを担当した国際技術役員の加藤将門氏にお話を伺った。



加藤将門 (NSAジャッジ委員会副委員長、国際委員)
TOKYO2020の舞台でジャッジを担当する、
世界中から厳選された11人のメンバー唯一の日本
人ジャッジ

オリンピックに向けて ジャッジスキルも強化されてきた

TOKYO2020開催の2年前(コロナの影響で1年伸びて実質3年ほど前に)、オリンピックの本番で担当するジャッジを選抜していきますという発表がありました。選抜は世界選手権、ワールドサーフィンゲームズでジャッジを行う中で、ジャッジングの精度の成績が基準となり、ワールドサーフリーグのジャッジの経験がある人から選択していくということでした。世界選手権だとポイントを2つに分けて試合をするのですが、オリンピックまでの2年間でメンバーは徐々に絞られていきました。国によっては2人や3人というところもあるのですが、日本は自分ひとりでした。

オリンピック種目としてサーフィンの試合をおこなうことで、ジャッジのシステムは大きく進化してきたと思います。リプレイ映像とスコアがリンクする新たなシステムが開発され、各ジャッジが出したスコアが何%の正解率かということが、細かく判別されるようになったんです。そこで正解率が低ければ、外されていく。評価は明確に数字で表れ、シビアに判断されるのですが、その正解率によりジャッジのスキルが判断されるんですよ。「ダメだと他の部署に回します」とはっきりと書かれているんです。イベントの途中ででも外されることがあるとして、相当シビアなスキルが求められていたと思います。つまり、オリンピックに向けて選手だけでなくジャッジもトライアル状態で、選ばれるために真剣にスキルアップしていかないといけない。まさに強

©ISA photo: Sean_Evans



瞬時にポイントが集計され、ライブで配信される。だからこそスピーディ、かつ正確なジャッジスキルと合理的なシステムが必要とされた。TOKYO2020 PRE EVENT



これまでも数多く開催されてきた国際大会、しかしオリンピックという舞台に向けて、さらに精度を上げていくためのジャッジ自身のスキルアップが求められてきた

化トレーニングをおこなってきたという感じです。

オリンピックという場でサーフィンは、世界中にスコアをライブでリリースしていくので、責任を持ってしっかりした結果を出していくことが必要でしたから、当然ですね。こうしてそれを機にシステムづくりとジャッジの育成、共に大きく前進したというところで。

オリンピックのジャッジングとは？

オリンピックは世界で最高レベルのスキルを競い合う場なので、選手の力にも大きな差があるわけじゃない。ですからポイントを出すにもより細かく分析しなくてはならない。ただし、それは細くなるだけで、難しいということではない。細分化することで判断する要素がたくさんありますが、答えは必ず出るわけです。オリンピックに限定したことでではなく、最先端のサーフィンになればそういう沢山の要素で細かく判断するという僅差のケースは多いわけです。

そして、現在は映像のリプレイのシステムが完璧になっているので、記憶に頼るということもありません。毎回ということではないですが、比較検討する場合なども、すぐにリプレイを見て、その場のジャッジをおこなうことができます。以前は記憶に頼っていましたが、現在のシステムができたことで、よりジャッジの精度も上がったと思います。

このシステムでは1.5ポイント以内に全ジャッジが揃っていればポイントは自動的にリリースされます。しかし、そうでない場合はスコアはそこで止まった状態になります。そこで必ずリプレイしたり、確認作業が入ります。すぐにポイントがリリースされない場合はそういうケースのときだというわけです。

NSAのジャッジシステムも変化している

NSAでも基本的に同じシステムでジャッジを進めようということで、昨年から新たな試み

がスタートしています。まだリプレイの映像とのリンクなど全て準備が整っていないので、現在は進化の途中の段階です。しかし、ISAなど国際的レベルに対応できるジャッジシステムを国内でも構築していくことは日本全体のサーフィンのスキルアップのために急務であると思っています。もちろんそれにはお金がたくさんかかることでもありますから、簡単なことではないですが、前進し始めています。

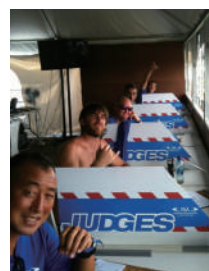
ジャッジシステムの精度が上がることで、ジャッジの人たちは何に對しての点数を重視し、どういう理由でこのポイントなのかというのが、選手側から見ても理解しやすくなります。つまり選手はいいポイントを出すにはどうすべきかを知ることができます。それはより高得点を出すために重要な情報となり、結果的に選手のスキルアップに大きく繋がっていくのです。

ジャッジを目指す人に伝えたいこと

自分は常にイベントに行くときに良いジャッジをしようと思っています。そのためにジャッジの現場では、とにかく集中して臨むことを考えてやってきました。さらに常に最先端のサーフィンに対して評価できる、フレッシュなスコアが出せるように現場にいることを心がけてきました。プロのジャッジとして25年やってきて、オリンピックのジャッジも務め、最新のジャッジシステムにも触れてはいますが、ジャッジに向き合う気持ち「基本」は常に同じであると考えています。

サーフィンは世界各地のポイントで毎日の単位で進化しているのです。それは自分の目の前で起こることだけでない。だからこそ、ジャッジを目指す人にはビーチにいてサーフィンを常に見ているという意識を大事にして欲しい。自分はそれがジャッジを目指す人の基本として、とても大切なことだと思っています。

まだまだ日本、そして世界においても、ジャッジの層が十分ということでもありません。今後、ジャッジを見学できる場などもつくり、興味を持



っている人たちが目指していけるようなチャンスを広げていきたいと思っています。

「ISAなど国際的レベルに対応できるジャッジシステムを国内でも構築していくことは日本全体のサーフィンのスキルアップのために急務」と加藤氏は語る



最新のジャッジスキルを身につけて ISA 国際ジャッジの道へ

サーフィンのジャッジングは国際基準で統一されている。つまり、ISA、WSL、JPBA、NSAとどの大会でも統一ルールでジャッジングが行われているので、NSAの公認ジャッジ資格を得たうえで、ISA 国際ジャッジ資格へステップアップを目指すことができる。ジャッジスキルをより高め、最新のジャッジスキルを習得し、ISA 国際ジャッジのどのレベルにチャレンジできるかは、NSA 公認ジャッジの資格級によって異なってくる。NSAでは国際基準に対応すべく、多角的なカリキュラムを導入し、NSA 公認ジャッジ保持者を対象に年1～2回を目安に講習を行い、世界に通用するジャッジの育成を行なっている。ぜひジャッジスキルを高め、国際ジャッジ資格へとチャレンジして欲しい。

【受験資格】

ISA レベル1受験資格：NSA 公認ジャッジ資格保持者(A～D級資格保持者)
ISA レベル2受験資格：NSA 公認ジャッジ AまたはB 資格保持者であり、ISA レベル1資格保持者の方のみ受講可能

【開講時期】

日本サーフィン連盟公式サイトで告知



ISA 国際
ジャッジの
詳細はこちら



このようなジャッジの方々にお勧めです!

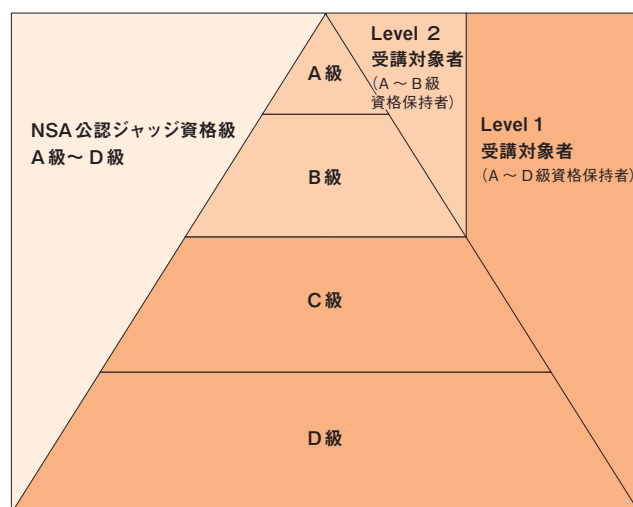
今よりもっと
ジャッジのスキルを
高めたい!

最新の
ジャッジスキルを
吸収したい!

いつか世界の
大会にジャッジとして
参加して活躍したい!

NSA 公認ジャッジ

ISA 国際ジャッジ



※ISAのジャッジ資格を保持されている方は、NSA主催大会のジャッジ実務に応募の際、優先的に選考させていただきます。

国際レベルのサーフィンコーチを目指せ!

ISA コーチング&インストラクティングプログラム

ジャッジの資格も魅力的な世界だが、初心者サーファーや次世代の子供たちを育成するスキルを身につけるのも魅力的だ。NSAではISAが認定する国際指導員認定資格取得プログラムを実施。様々な最新の指導方法や安全対策、コーチの法的管理責任など、実習を交えて学ぶことが可能。合格するとISAが発行するサーフィン・ボディボードなどのコーチ国際免許を取得することができるのだ。NSA公認指導員資格からさらにステップアップして国際レベルのサーフィンコーチを目指してみよう。



詳細は
NSA ホームページで確認



LEVEL 1 (インストラクター)

初心者レッスンを含めた基本的なコーチング技術導入

- 所要時間：講義2日間&コーチ実習(計20時間)
- 参加資格：NSA 公認指導員資格保持者(→100pをチェック)
- 受講料 77,000円(2022年5月現在)
- 合格時の取得資格

ISA レベル1 サーフィン、ボディボードインストラクター国際免許、認定証

LEVEL 2 (コーチ)

初心者レッスンを含めた基本的なコーチング技術導入。中・上級レベルのサーファーとボディボーダーにおける技術の向上と育成を目的とした基本知識、大会、チームの管理知識、個人、アスリートの育成

- 所要時間：講義3日間&コーチ実習(計40時間)
- 参加資格：ISA コーチング&インストラクティングプログラム「レベル1」の資格を有する者
- 受講料 88,000円(2022年5月現在)
- 合格時の取得資格

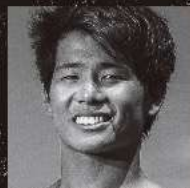
ISA レベル2 サーフィン、ボディボードインストラクター国際免許、認定証

LEVEL 3 (コーチングディレクター)

上級者への技術指導の理論と実技、スポーツ心理学、エリートアスリートの育成、管理

羽ばたけ 世界へ。

TEAM RIDERS



プロサーファー
大原洋人
HIROTO OHHARA

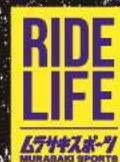


プロスケートボーダー
堀米雄斗
YUTO HORIGOME



プロBMXライダー
中村輪夢
RIM NAKAMURA

ムラサキスポーツは
アクションスポーツを応援しています





早稲田大学

中塩佳那



日本大学

金沢呂偉

世界を視野に活動する若手サーファー家族にインタビュー！

文武両道を実現し、 一流アスリートを育てるために。

サーフィンがオリンピック競技となり、メジャーなスポーツとして多くの人に認知される今。単なるサーフィンの上手さだけではなく、頭を使った試合運びもコンペティションには欠かせないものになった。サーフィンに夢中な子供たちの未来をより明るく照らすためには、文武両道が必須に。コンペティターとして真摯にサーフィンに取り組みながらも、勉学に励むサーファー家に、そのライフスタイルを実現するためのヒントを伺った。

取材・文：菅 明美 撮影：高橋賢勇



青山学院大学

澤田七奈緒



東海大学

休場匠

スポーツ科学として研究し、 コーチングのレベルアップに

**将来を見据えながらも
今しかできないことに挑戦する。**

プロサーファーの兄を持つ中塩佳那は、自然な流れで幼少期からサーフィンを開始。NSAの年間ランキングで5年連続1位、「ISA世界ジュニアサーフィン選手権」には何度も出場するなど、今では日本を代表するトップジュニア選手となった。そんな彼女は、昨年早稲田大学に進学。自宅のある千葉・一宮から片道3時間をかけて電車通学をしている。「恩師に『早稲田にはトップアスリート入試があるよ』と教えてもらって。事前セミナーの後、一次で書類審査、二次は面接とエッセイの試験がありました。正直、受かる自信はなかったけれど、まずは書類を送ってみなければ始まらない! と母と相談をして、JPSAの試合前日まで志願理由書を書いていましたね」と当時を思い出しながら笑顔を見せる。

**学校でしか学べないことを
存分に自分のパワーにする。**

母の周子さんは「我が家は兄の時もそうですが、義務教育の間はサーフィンだけではなく、いろんなことに関わってほしいと思っていました。義務教育の意味って何だろうと考えた時、人との横の繋がりがだと思ったんです。それが終わって社会に出たら縦の繋がりに変わってしまう。そうなるまではもっと広い世界を経験して、多彩なことを学んでほしい」と語る。そのためにも、学生時代の大会出場は常に当日現地入り。終わったらすぐに自宅へと戻り、次の日から普段通り学校に向かわせていたと言う。

プロサーファーを目指し、通信制の高校へ通う人も増えるなか、佳那があえて全日制の高校を選択したのもそのためだ。通信制に行き、後から全日の公立高校に変えるのは難しいが、全日制から通信には簡単に変えられる。それと同じ理由で大学も進学できるなら行きたいと願うようになった。結果、未来はより大きな可能性を持つように。



早稲田大学在籍

中塩佳那／母・周子

“サーフィンの新しい分野を切り開きたい”

なかしおかな ● 2004年、宮城県生まれ。プロサーファーの兄の影響で、2012年よりホームの仙台から、千葉・一宮へ移住。2021年にはJPSAのプロ公認資格を取得。

**プレイヤーであり研究者。
文武両道はそれが叶う。**

「高校を卒業する前、サーフィン競技人生が終わった後のことを少し考えたんです。やはり高卒と大卒では就職できる幅が違う。しかも早稲田大学には、私が興味を持つスポーツコーチング科がありました。今はプロサーファーが

自分たちの経験を活かしてコーチングしていることが多い。逆に、大学で専門分野を学んでコーチングをしている人はおそろくないのでは? だから私がその第一人者になりたいと思っています。試合に出て、研究したことを自分で試すことができるのもメリットです。模索しながらも、サーフィンの新しい可能性を次の世代に示すことができれば嬉しいです」

恵まれた環境だったから 見えなかったもの。

四国を代表するサーフスポット生見海岸の目の前で育ち、幼少期からサーフィンを身近に感じてきた金沢呂偉。当然、両親や兄弟、身近な大人たちもサーファー。多くのことを彼らから学び、小学校低学年ではNSAの大会にも出場するようになっていた。

「最初はショップの大会などに出ていました。もちろん負けることもあって。じゃあ次は勝ちたい、とまた試合に出る。その繰り返しだったような気がします」

2018年には念願のプロトライアルに合格し、晴れてJPSA公認プロの道へ。それからJPSAの大会で精力的に活動。高校卒業後はサーフィンだけと向き合う1年間を過ごした。「自宅前ではいい波がブレイク。いつでもサーフインはできるし、環境的には最高! でも、どこかで怠けてしまっている自分を感じていました。これではダメだ、と」

トッププロが多く暮らす 千葉・一宮に身を置いてみたい。

そう思った呂偉は、以前から憧れていた日本大学のスポーツ科学部を受験することを決意。上京する理由には、トッププロが多く暮らす一宮という町に身を置いてみたいという想いもあった。試合では何度も訪れたことはあるが、波が意外と難しいという印象を持っていたため、それも克服し、レベルアップを図りたかったのだ。

母の真里子さんは「私は将来はプロサーファー1本でもいいと思っていたのですが、本人が大学に行きたいと言うので快諾。以前からNSAの大会で活躍する先輩に会うたび『大学に行っている先輩は考えがしっかりしている。刺激ももらえて楽しい!』などと話していました。彼らの存在が呂偉の視野を広げてくれたのだと思います」と語る。

息子がハワイに遠征へ行っている間に千葉での家探し&引っ越しを済ませた両親。勉強もしっかり両立してほしいため、駅前にマンションを借りた。駅からキャンパスまでは電車で片道2時間強の道のりだ。

文武両道は忙しいけれど、 味わったことのない充実感がある。

「海に行ける時間が限られることで、メリハリのあるトレーニングができるようになりました。朝30分だけでも波があれば入ります。以前はなんとなく海に入っているような状況でしたが、今はその日の課題も決め、実りある時間を過ごせるように」

練習を組み立てることは、試合運びにも良い影響が出るはずだ。課題もあり、毎日追われているけど充実していると話す呂偉はどこか自信にも溢れている。「初めての一人暮らし。そして朝も夜も自炊しているようです。以前より食欲に波に向かうようになったとも話していて、人間としての成長も感じています」と真里子さんも嬉しそうだ。

CSの出場! 世界で活躍するプロを目指します



日本大学在籍

金沢呂偉／母・真里子

“大学に通うことで、メリハリが生まれた”

かなざわ りい ● 2002年、高知県生まれ。2018年にJPSAのプロ公認資格を取得。
両親もサーファーで、生見海岸まで徒歩1分のペンション「サウスショア」を営む。

「今年はJPSAの 公認プロになります！」

**幼馴染とずっと仲良くしたい。
それがサーフィンのきっかけ。**

ジュニア時代からISAやWSLで活躍し、今や日本を代表する女性プロサーファーとなった松田詩野とは幼い頃から仲良し。自宅も近く、家族ぐるみの付き合いだ。澤田家には当時サーファーがいなかったものの、詩野の影響で七奈緒もサーフィンを始め、中学1年生で初めてNSAの大会に出場。翌年は四国・生見海岸まで向かう珍道中も体験した。

「当時、七奈緒は空手を習っていたんです。でも、高校生になると幼馴染の詩野と会える機会も減ってしまう…と寂しそうだったので、『サーフィンを始めてみれば？ それなら海でいつでも会えるよ』と提案したのがきっかけでした」と母の亜紀さんは言う。すでに黒帯を取得していた彼女が空手で次のステップを目指すとしてもまだまだ時間がある。それならサーフィンを。シンプルな親子の発想が新しい夢を繋いだ。

「空手の試合はカッチリしているのですが、サーフィンはまるでお祭りのよう。そのギャップに惹かれたし、波に乗る楽しさにもすぐ夢中になりました」

**サーフィンに出会うことで
将来のビジョンがよりクリアに。**

10代の頃からさまざまな場所に出向き、試合にも出場。多彩な経験をサーフィンで得た彼女は、将来はサーフィンと心理学を結びつけたメンタルトレーニングの分野で活躍したいと思うようになった。そして、高校からの推薦を経て昨年に青山学院大学の心理学科へ入学。茅ヶ崎の自宅から毎日電車で通い、週6日の必須学科をこなし、空き時間を見つけては海へと向かう日々を送っている。

「茅ヶ崎はプロサーファーが多いので、先輩方にアドバイスをもらえる機会も多くて、ありがたいです。日中はとにかくサーフィンができる環境作りに注力。夜は勉強に集中しています」

**夢を実現するためには
数年先と数十年先の目標を考える。**

もちろんプロサーファーになり、JPSAの大会で良い成績を残すことが今の大きな目標。



青山学院大学在籍

澤田七奈緒／母・亜紀

“勉強と波乗り。どちらも好きだから全力投球”

さわだなな●2002年、神奈川県生まれ。湘南茅ヶ崎支部。2020-21 NSAポイントランキング WOMEN クラス1位。2022年NAMINORI JAPANの強化指定選手にも選ばれている。

しかし、プロとして大会を回りながら、自分が活かせる仕事も作り上げていくのが彼女の未来への大きなビジョンだ。そのためには、心理学でも公認の資格が不可欠。プロサーファーとして活動しながらも、勉強にも力を入れていきたいと意気込みを見せる。

「10代や20代の夢多き世代にとって、先輩や友達の行動は刺激や活力になるんだと思いま

す。私は、勉強以外の時間がすべてサーフィンに向けられるように、送り迎えなどでサポートしただけ。確かに時間は使ったかもしれませんが、すべては本人のやる気次第。『勉強もサーフィンも全力投球だよ!』と娘から言われると、この道は間違っていない。と、やはり嬉しい気持ちになりますね」と、母の亜紀さんは喜びの笑顔で答えてくれた。

「ライフセービングサーファーとして、 日本と世界で活動したい」

東海大学在籍

休場匠／母・洋子

“ウォータースポーツ全般で活躍する人に”

やすみばたくみ●2003年、神奈川県生まれ。茅ヶ崎・チサンがホーム。2021年にJPSAのプロ公認資格を取得。ライフセービングの国際ライセンスも持ち、多岐に渡って活動中。



“好き”を両立させることは
贅沢で、充実した人生の始まり。

湘南・茅ヶ崎の海から徒歩5分。恵まれた環境で生まれ育った休場匠は、小学2年生からサーフィンをスタート。きっかけは、地元で毎年開催されていたイベント「THE SURFSKATERS」をたまたま見に行ったことだった。

「見た瞬間に興奮を覚えました。年に一度、地元の茅ヶ崎でしかやらないイベントで、日本中から横乗りを好きな人が集まってくる。これは面白い。来年は絶対出たい!」と思いました」と話す匠は、それからサーフィンとスケートの両立をこなし、中学生で2年連続総合優勝を獲得。その後はサーフィンにさらに磨きをかけたいと思い、NSAやJPSAの大会を目指すようになった。

現代の制度を上手く取り込み
夢をもっと身近に。

文部科学省が取り組む留学支援制度にも合格していた彼は、高校では海外留学をし、さらにサーフィンのレベルアップを図るつもりだったため、通信制の学校を選択。コロナの影響で高校留学は叶わなかったものの、大学在籍中にはと期待を込める。

母の洋子さん曰く「通信制の高校は親が教えないとすぐに遅れが出てしまうので、社会勉強も含め、自分が持つ知識はできるだけ多く伝えました」とのこと。昔からなんでもやりたがる性格の匠さんの頭を整理し、アドバイスやサポートするのが彼女の仕事だ。「今の時代、多様性がある方がいいとは思っています。だからサーフィンだけでなく、本人がやりたいことは全力で応援したい」

日本で唯一の学科を専攻し、
新たな未来に想いを馳せる日々。

現在は東海大学のサーフィン部、ライフセービング部に所属しながら、プライベートではプロサーファーとしての活動や鎌倉界隈のライフセービングを担当。日本で唯一スポーツ&レジャーに特化する学科では、スポーツイベントなどの運営方法などについて学ぶ。朝9時から深夜まで学業や部活で忙しい彼だが、辛いと思ったことはないと言う。

「好きだから努力できる。この時間は今しか持てないものだと思います。将来は、“海で楽しむ”“人の命を守る”、ライフセービングサーファーとして世界を舞台に活躍したいです」

LESS
WASTE,
GOOD
TASTE!

DONT PANIC

BE
L
U
E
P
R
O
J
E
C
T



dontpanic.tokyo

pot12





BODY GLOVE





LIFE'S BETTER IN BOARDSHORTS



ITALO FERREIRA | FIFTY50 AIRLITE PLUS



ALL OF OUR BOARDSHORTS ARE MADE
FROM RECYCLED PET BOTTLES



@Billabong_japan

SERENDIPITY

SURF BOARD



Beginning

We will provide you with excellent Japanese custom boards. Try the best boards created by the best technology and staff. It works fast and well. It has high performance that enables many of those techniques. And the last depends on the sensitivity of the rider. Enjoy world class surfboard manufacturing technology. Thanks!

**HIGH PERFORMANCE
JAPAN CUSTOM BOARD.**



PLAY BACK 2021

世界中でコロナの影響を受けた2021年、日本では東京2020オリンピックが開催されサーフィン界にとっても革新的な年となった。NSAではガイドラインを作成し、普段のサーフィンから徹底した感染対策を推奨。2年ぶりに4大会を開催することができた。

多くの選手が集まるこれらの大会では、まず全ての大会を無観客試合とした。カテゴリごとに日程を調整し、選手を分散して人数を制限。安全安心の大会開催を心掛ける方針をより徹底した。今までにない新しい試みとなった級別、全日本、ジュニア、マスターズの見どころをプレイバックする。

第38回全日本級別サーフィン選手権大会 (2021)

開催場所：福島県いわき市四倉海岸 開催期間：2021年7月9日(金)～11日(日)

「全日本級別サーフィン選手権大会」とは？ NSAサーフィン検定で認定された選手が参加可能なコンテスト。例年約500名の選手がエントリーし、年齢を問わず検定級別のクラス構成のため、幅広い層のサーファーが集う。サーフィン検定級の保持者なら誰でも参戦可能。

取材・撮影：山本貞彦

コロナ禍で延期となったものの 地元福島を理解と協力を得て、 万全な対策で臨んだ級別選手権

2020年は中止となった級別選手権が、福島県いわき市四倉海岸で開催。会場は全てロープで仕切られ、出入りは特設のゲートのみとし外部との接触を制限。カテゴリも各クラスを1日開催とし表彰式まで行うことで、選手同士の接触の機会を減らす対策がなされた。ま



安全安心の大会のため、クラス別でヒート時間ごとに招集し受付。入場ゲートでは検温、問診票の確認後、視認できるように色分けリストバンドを配布。動線を作り、会場内は完全に隔離。



2019年は級別、全日本(ボーイズ)とも準優勝。あと一歩だった松原渚生が今大会で初栄冠。2015年ジュニア(キッズ)以来の優勝。

た、開会式や閉会式は行わず、競技ルール説明などは全てオンライン化。試合のライブやスコアは全て配信して、安全対策をより強化した。

この大会はショートボード、ロングボード、ボディボードのそれぞれの種目で級認定された1～5級の階級に分かれて戦う。トピックスはショートボード/ガールズ 1,2級の中塩佳那(山形)が絶対的な強さを見せて、4連覇の偉業。

ロングボード/メン 1, 2級の石田直樹(千葉銚子)は2連覇。ボディボード/メンの榎戸崇人(千葉東)が3連覇を達成した。

3日間通して波のサイズは腰腹、胸というサイズ。波は速かったもののコンテストには十分なサイズで、それぞれ実力を十分に発揮できた大会となった。



クラス別には無い、級別だからこそ面白さ。ボーイズながら決勝まで勝ち進んだ渡邊孝孔はメン、ジュニア相手に大健闘。



キレイの良いバックサイドが印象的な松岡亜音。深いボトムターンから縦に上がるレールサーフィンで大きくスプレーを飛ばす。



ショートボードガールズウィメン3級クラスは、試合形式のトレーニングを取り入れた千葉銚子の高橋結奈が接戦を制して優勝。



密を避けるために、オンラインをフル活用。選手インタビューやライブ放映のMCは大村奈央プロ、平野海童氏が担当。



2019年の級別ウィメン3級にて準優勝だった福岡支部の大庭風美。今年度は1, 2級クラスに上がり決勝進出。攻めの姿勢を崩さず3位入賞。



前回大会のボディボード/ウィメン3, 4, 5級クラスで優勝した我孫子咲良も今回から1, 2級。際立つテクニックを披露して嬉しい優勝。

MEN 1st 2nd CLASS



優勝 松原 渚生 千葉西
2位 石川 拳大 学連
3位 休場 匠 湘南茅ヶ崎
4位 渡邊 杏孔 千葉銚子

MEN MASTER 1st 2nd CLASS



優勝 酒井 正洋 千葉東
2位 大江 良太 茨城北
3位 木村 圭佑 福島
4位 村上 英令 宮城仙台

MEN MASTER 3rd CLASS



優勝 福井 滉東 千葉東
2位 川畑 永志 宮崎
3位 石館 太郎 岩手
4位 今福 カレン 横浜

MEN MASTER 4th 5th CLASS



優勝 石山 汰一 千葉東
2位 中鉢 心人 湘南茅ヶ崎
3位 島崎 凌 静岡伊豆
4位 菊地 汰士 宮城仙台

GIRLS 1st 2nd CLASS



優勝 中塩 佳那 山形
2位 松岡 亜音 千葉南
3位 鈴木 莉珠 千葉南
4位 清水 心春 熊本

WOMEN 1st 2nd CLASS



優勝 清永 亜希子 湘南茅ヶ崎
2位 飯田 香織 千葉銚子
3位 大庭 風美 福岡
4位 石田 真子 千葉西

GIRLS WOMEN 3rd CLASS



優勝 高橋 結奈 千葉銚子
2位 清水 ひなた 横浜
3位 石井 有沙 千葉南
4位 伊東 葵 岩手

GIRLS WOMEN 4th 5th CLASS



優勝 馬場 心 静岡伊豆
2位 鍛冶 杏瑞 千葉西
3位 行廣 唯波 湘南藤沢
4位 濱口 菜摘 千葉西

LONGBOARD MEN 1st 2nd CLASS



優勝 石田 直樹 千葉銚子
2位 武川 慎 徳島
3位 堀井 創 湘南藤沢
4位 今井 康平 湘南藤沢

LONGBOARD MEN 3rd 4th 5th CLASS



優勝 平田 拓海 学連
2位 武田 真一 宮城仙台
3位 渡邊 岳 北海道
4位 廣田 海人 新潟1区

LONGBOARD WOMEN CLASS



優勝 北村 亜希子 千葉銚子
2位 叶多 和子 福島
3位 石井 志延 静岡2区
4位 川崎 智子 静岡3区

BB MEN CLASS



優勝 榎戸 崇人 千葉東
2位 蛭間 拓斗 千葉東
3位 加藤 優来 湘南茅ヶ崎
4位 岡 英樹 群馬

BB WOMEN 1st 2nd CLASS



優勝 我孫子 咲良 湘南西
2位 大木 咲枝 湘南鎌倉
3位 安見 春香 千葉東
4位 下地 ケイト 湘南藤沢

BB WOMEN 3rd 4th 5th CLASS



優勝 鷗澤 百亜菜 千葉東
2位 我孫子 牧美 湘南西
3位 國武 寧々花 愛知
4位 西澤 琴野 デフ

特別賞

ベストライディング賞
平田 拓海 学連
LONGBOARD MEN 3rd 4th 5th CLASS
敢闘賞
齋藤 奈津子 福島
GIRLS WOMEN 3rd CLASS
いわき市長賞
松原 渚生 千葉西
MEN 1st 2nd CLASS

第55回全日本サーフィン選手権大会 (2021)

presented by MARUHA NICHIRO

開催場所：福島県南相馬市北泉海岸 開催期間：2021年10月9日(土)～10月15日(金)

「全日本サーフィン選手権大会」とは？ 全国70支部の予選を勝ち抜いた選手が集う、半世紀以上に渡って開催されてきた由緒ある国内最大級のサーフィンコンテスト。参加人数は千人規模で、観客を含めると延べ一万人が期間中にビーチに集結する、アマチュアサーフィンの祭典。

取材・撮影：山本貞彦



コロナ禍で大会の在り方も変わった。オンラインの積極的活用やイベントの簡略化など新しいコンテスト様式の試みが実践された。



決勝はリズム良く、メリハリのあるサーフィンを披露。最後まで攻めた続けた東京支部の菅原大地がジュニアクラスで準優勝。

延期となった全日本選手権は、安全安心対策を徹底することで13年ぶりに福島にて開催

収まらないコロナ禍で8月開催が延期となり、10月となった全日本選手権。こちらも福島支部、ローカルの協力を得て、相馬市北泉海岸で開催することができた。この福島での全国大会は2008年以来的の13年ぶりの大会となる。

ショートボード 11 クラス、ロングボード 3 クラス、ボディボード 2 クラスにロイヤルクラス、支部長クラスを加え、全部で18カテゴリー。全国の69支部から約1100人が集まる日本最大の大会だ。今回も無観客試合として、会場内は選手、帯同者、スタッフのみと限定した。

選手は事前に2週間前からの体温値を記入した「健康チェック票」を提出。さらに選手、スタッフともに毎日検温を行い、色分けされたリストバンドの装着を義務付けた。会場内はす

べてロープで仕切られ、その色で動線を分け、密にならない対策も取られた。支部テントの設置は認められたものの、会場内では全員マスク着用で声出しは禁止。応援は拍手などで行うことも徹底された。また、感染対策の一環で支部対抗のパドルリレーは行わないことも伝えられた。

無観客試合ということもあり、その分、情報発信には力を入れた。会場の3バンク全てをライブで放映し、それとは別にライブスコアだけの配信も行った。これで選手が現在進行している試合の経過を随時、確認できるようになったことで、掲示板等に人が密集しないようにすることができた。

団体戦は千葉東と湘南茅ヶ崎が同率で優勝。湘南茅ヶ崎は2019年に続き連覇を達成

大会期間中の天候は台風19号の影響で、晴

れのち曇り時々雨と安定はしなかったものの、波はコンスタントにあって、大会には申し分のないコンディションとなった。14日にはセットでダブルオーバーというサイズまでアップ。普段の大会では見られないスリリングな展開に会場は盛り上がりを見せた。まずは成長著しいキッズから。優勝は高井汰朗(湘南西)が絶好調ぶりを見せて全日本を制覇。ボーイズは岡野漣(湘南茅ヶ崎)、長沢侑磨(東京)、西大條府時丸(千葉南)と混戦模様だった中、攻め続けた渡邊杏孔(千葉銚子)が嬉しいタイトル。ジュニアは鈴木一歩(湘南藤沢)が栄冠。

メンは石川拳大(学連)がタクティクスが一枚上手で、試合巧者ぶりを見せて優勝。それでもメン3位の 齋藤祐太郎(湘南茅ヶ崎)がフローある演技で、ベストライディング賞を獲得した。ガールズは中塩佳那(山形)が級別に続き今期2連勝で、全日本は4連覇。併せて南相馬市長杯も贈られた。

シニアは最後の最後まで僅差の戦いで大逆転優勝の中村光喜(千葉西)。こちらも南相馬市長杯を獲得。マスターは青山雄一(千葉南)。グランドマスターの坂本應尚(千葉南)は連覇達成。カフナは2018年2位、2019年3位だった高橋誠(宮城仙台)が、ついにこのクラスのチャンプとなった。

台風からのうねりがヒット、ダブルオーバーのコンディションで魅せたのがウィメンの芳田花瑚(宮崎)。R-2ではトータル18.84ポイント



選手専用の駐車場から大会会場に続く出入り口も区分け。大会関係者以外は入場禁止として、外部との接触を極力避けた。



事前に発表されている自分のヒート時間に合わせてチェックイン。順番待ちも距離を取り、密にならないよう工夫が施された。



南相馬観光協会では「明日に繋がる地域活性プロジェクト」として、南相馬市産の天のつづを使用したバックごはんを配布。



2017年には全日本大会のキッズクラスで栄冠を手にした千葉銚子支部の渡邊杏孔。次のボーイズクラスでも見事頂点に立つ。



敗戦の反省からヒートでは冷静になること。サーフィンの戦い方は自分の経験から学んだと言う高井汰朗がキッズクラス優勝。



メンの優勝に振り返った学連代表の石川拳大。サーフィンと仕事の両立を掲げて一般企業に就職。後輩へ新しい道筋を示す。

とエクセレントを叩き出し、その勢いのまま優勝。準優勝はバックハンドが冴えた澤田七奈緒（湘南茅ヶ崎）。シニアウィメンは前々、前大会で準優勝だった清永亜希子（湘南茅ヶ崎）が、念願の表彰台のトップに立った。

ロングボードメンは武川慎（徳島）が、際立つテクニックを披露して連覇。その他、各クラスの優勝はロングボードマスターが久保博崇（湘南茅ヶ崎）。ロングボードウィメンは田原ありい（湘南西）。ボディボードメンは佐藤海斗（千葉東）。ボディボードウィメンが我孫子咲良（湘南西）。支部長クラスは田村隆之（湘南藤沢）。ロイヤルが鈴木孝史という結果。

東日本大震災から10年。 福島で主催大会が行われた意義

今回、全日本という日本最大のコンテストを引き受けてくれた福島。大会期間中には東日



華々しい実績を引っ提げて、早稲田大学スポーツ科学部に4月から入学。さらにJPSAでも公認プロとして活動も始める中塩佳那。



本大震災を機に誕生した「トモダチプロジェクト」がステージを披露。「歌やダンスを通じて人と人が繋がり合い、生きてゆく元気を伝え合う」コンセプトをそのままに、その活動を紹介してくれた。

また、コンテストディレクターの室原真二氏は「東日本大震災から10年。この南相馬で開催できることに意義を感じるし、本当に嬉しい



全日本で大注目となるロイヤルクラス。優勝経験者の鈴木正、三口省賢、鈴木康二らを相手にスタイルを出した鈴木孝史が初優勝。



激闘だったシニアクラスは千葉西支部の中村光喜がヒートをコントロール。前回大会は3位だった雪辱を果たして嬉しい優勝。



物怖じせずにサイズアップした波をパワーでリップリングするのは、ウィメン準優勝だった湘南茅ヶ崎支部の澤田七奈緒。

第55回全日本サーフィン選手権大会 (2021)



松田詩野プロの立て看板が目立つマルハニチロのスポンサーテントでは、自社で行っているサステナブル活動の内容を掲示。



感染対策により各支部のテントの設営は、設置するタイミングや場所も細かく指定。マスク着用というルールも徹底された。



大会に併せてステージで歌とダンスを披露してくれた「トモダチプロジェクト」。会場にいる全ての人を笑顔にしてくれた。

思いです。長い間、この地をサーフィンメッカとしてスペシャルな環境を整えてきました。しかし、地震、津波で全てを失いましたが、10年かけて、また新たなサーフィンのステージを作ってこれたかなと思います。四倉で行われた主催大会の級別に続き、この福島で全日本ができたことが明るい話題になれば。そして、福島は波も最高と感じてもらえたら嬉しいです。」と語った。

全日本選手権大会はその名の通り、全国の支部予選を勝ち上がってきた選手たちが一同に集まり、その実力を競う場であり、日本一の称号を手にする場でもある。その全国を代表する選手がこの福島を訪れることができた。

今回は多くのスタッフが必要となるコロナ禍

でもあり、福島の方々の協力が無ければ開催はできなかつただろう。復興を願うだけでなく、実際に福島に来て、今の福島を知ること。安心してサーフィンが楽しめる環境がここにあることを知れたことは、とても意味がある。この福島で全日本が開催できたことは、私たちにとって、いつもに増してとても意義のある大会となった。



台風のウネリはダブルオーバーまでサイズアップ。宮崎支部の芳田花瑚はビッグマニューバーでエクセレント叩き出し優勝。



前大会のシニアウィメンで準優勝だった湘南茅ヶ崎の清永亜希子。残り時間も少なくなる中、起死回生の3発で大逆転優勝。



全日本大会でロングボードメン2連覇を決めた徳島支部の武川慎。スノーボードでもオリンピック候補に入るマルチな才能の選手。



支部からの応援を受けて最も熱くなる支部長クラスは、湘南藤沢支部の田村隆之が制した。2012年に続く二度目の優勝。



45歳・51歳のマスタークラスは千葉南支部の青山雄一が、スタイリッシュなサーフィンで2015年大会以来の栄冠を手に入れた。

KIDS CLASS



優勝 高井 汰朗 湘南西
2位 佐藤 頼斗 湘南藤沢
3位 和氣 堆人 湘南茅ヶ崎
4位 石山 汰一 千葉東

BOYS CLASS



優勝 渡邊 壱孔 千葉銚子
2位 岡野 漣 湘南茅ヶ崎
3位 長沢 侑磨 東京
4位 西大條 府時丸 千葉南

JUNIOR CLASS



優勝 鈴木 一步 湘南藤沢
2位 菅原 大地 東京
3位 鳥潟 一太 徳島
4位 秋友 澤 大阪

MEN CLASS



優勝 石川 拳大 学連
2位 平井 宏輔 愛知
3位 齋藤 祐太郎 湘南茅ヶ崎
4位 長島 更 千葉東

SENIOR CLASS



優勝 中村 光喜 千葉西
2位 下田 泰成 三重
3位 仲村 一智 三重
4位 安部 互 茨城南

MASTER CLASS



優勝 青山 雄一 千葉南
2位 友重 達郎 千葉東
3位 小泉 勝 千葉西
4位 田村 隆之 湘南藤沢

GRAND MASTER CLASS



優勝 坂本 應尚 千葉南
2位 伊藤 勝彦 宮城北
3位 中村 義浩 宮崎
4位 磯部 康典 湘南西

KAHUNA CLASS



優勝 高橋 誠 宮城仙台
2位 三輪 真一 静岡2区
3位 久野 孝 徳島
4位 時田 一央 東京

GIRLS CLASS



優勝 中塩 佳那 山形
2位 鈴木 莉珠 千葉南
3位 上門 涼風 徳島
4位 松野 杏莉 千葉東

WOMEN CLASS



優勝 芳田 花瑚 宮崎
2位 澤田 七奈緒 湘南茅ヶ崎
3位 浦野 日菜子 静岡2区
4位 後藤 夏子 東京

SENIOR WOMEN CLASS



優勝 清永 亜希子 湘南茅ヶ崎
2位 藤井 真代 東京
3位 中原 由未 愛知
4位 荻原 浩子 千葉西

LONGBOARD MEN CLASS



優勝 武川 慎 徳島
2位 中山 智資 徳島
3位 北村 健一 千葉銚子
4位 平田 拓海 学連

LONGBOARD MASTER CLASS



優勝 久保 博崇 湘南茅ヶ崎
2位 小崎 宗大 湘南茅ヶ崎
3位 小林 寛 東京
4位 塚本 真佐樹 東京

LONGBOARD WOMEN CLASS



優勝 田原 あいり 湘南西
2位 仲石 華奈子 和歌山
3位 石井 志延 静岡2区
4位 大石 梨花 静岡3区

BODYBOARD MEN CLASS



優勝 佐藤 海斗 千葉東
2位 蛭間 拓斗 千葉東
3位 杉澤 嘉洋 湘南藤沢
4位 高部 英美 静岡伊豆

BODYBOARD WOMEN CLASS



優勝 我孫子 咲良 湘南西
2位 大木 咲桜 湘南鎌倉
3位 鈴木 知子 千葉西
4位 安井 美紀 愛知

ROYAL CLASS



優勝 鈴木 孝史
2位 鈴木 康二
3位 三口 省賢
4位 鈴木 正
5位 山崎 信男

支部長 CLASS



優勝 田村 隆之 湘南藤沢
2位 松岡 秀雄 千葉南
3位 有賀 裕芳 静岡2区
4位 小池 康之 岩手

団体戦



優勝 千葉東 150ポイント
湘南茅ヶ崎 150ポイント
3位 千葉西 145ポイント
4位 千葉南 135ポイント

特別賞

ベストライディング賞

齋藤 祐太郎 湘南茅ヶ崎 MEN CLASS

敢闘賞

伊藤 義隆 福島 GRAND MASTER CLASS

南相馬市長杯

中塩 佳那 山形 GIRLS CLASS

中村 光喜 千葉西 SENIOR CLASS





第29回ジュニアオープンサーフィン選手権大会 (2021)

presented by MARUHA NICHIRO

開催場所：茨城県日立市河原北浜海岸 開催期間：2021年10月29日(金)～31日(日)

「ジュニアサーフィン選手権大会」とは？ 次世代を担うキッズ、ボーイズ、ジュニアそしてガールズの正会員とU18プロや強化指定選手たちによるハイレベルな戦いが繰り広げられる見応えのある大会。

取材・撮影：山本貞彦



先攻逃げ切り。冷静であることを心掛けるために、ヒート前半で2本揃えることが作戦の高井汰朗。全日本に続きジュニアも制覇。



強化選手であり、今年もプロとして参加した岩見天獅。このクラスではヒートでの戦い方、タクティクスは頭ひとつ抜き出ている。

NSAバブル方式で行われたジュニアオープンには総勢222名が参戦

緊急事態宣言の延長で、予定されていた9月末から10月末に変更されたジュニアオープン。これにより日没時間を考慮し、期間は2日から3日間開催となった。この大会も無観客で、完全に外部と接触を避けるように会場をレイアウト。安全安心の対策を講じて行われた。

今大会では定員制限は無し、プロ選手も参

加可(出場資格は18歳以下)ということで、キッズ61名、ボーイズ83名、ジュニア33名、ガールズ45名の合計222名がエントリー。昨年はコロナ禍で定員制限を行っていたこともあり、今大会の参加選手は大幅な増加となった。

波は台風20号からのウネリが入り、胸から肩サイズとグッドコンディション。ガールズ中

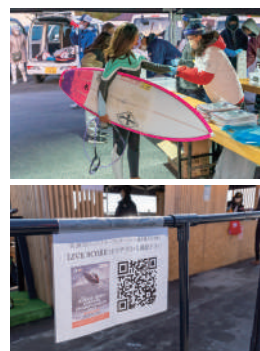
塩佳那(山形)は、このジュニアオープンも制して3連覇。級別、全日本とも4連覇とアマチュアタイトルの連勝記録を更新した。キッズの高井汰朗(湘南西)も全日本に続き、優勝して2冠を達成。ボーイズはプロで参加した岩見天獅が2連覇、ジュニアは岩瀬裕哉(愛知)が栄冠を手に入れた。



プロが混じるジュニアクラスの決勝。愛知田原ロングビーチがホームポイントの岩瀬裕哉が激闘を制し、嬉しい初タイトル。



NSAの大会においてガールズクラスでは常勝の中塩佳那。決勝ではプロ3人を相手に完勝。同年代なら負けなしの記録を更新。



検査後にリストバンドを装着して入場。大会情報はQRコードでアクセス。

KIDS CLASS



優勝 高井 汰朗 湘南西
2位 強矢 凜太郎 千葉東
3位 佐藤 頼斗 湘南藤沢
4位 高井 悠二郎 湘南西

BOYS CLASS



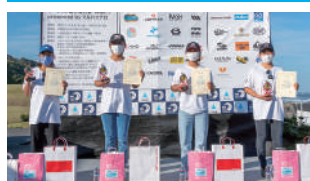
優勝 岩見 天獅 強化PRO
2位 小濃 来波 湘南茅ヶ崎
3位 寺田 文太 千葉東
4位 森 大斗 静岡3区

JUNIOR CLASS



優勝 岩瀬 裕哉 愛知
2位 加藤 翔平 PRO
3位 鈴木 一步 湘南藤沢
4位 矢作 紋乃丞 湘南藤沢

GIRLS CLASS



優勝 中塩 佳那 山形
2位 川瀬 心那 強化PRO
3位 松岡 亜音 強化PRO
4位 都築 虹帆 強化PRO

特別賞

ベストライディング賞

岩見 天獅(強化PRO) BOYS CLASS

敢闘賞

高井 汰朗 湘南西 KIDS CLASS

日立市長杯

中塩 佳那 山形 GIRLS CLASS
岩瀬 裕哉 愛知 JUNIOR CLASS



第17回マスタースオープンサーフィン選手権大会 (2021)

開催場所：高知県東洋町生見サーフィンビーチ 開催期間：2021年11月26日(金)～28日(日)

「マスタースオープンサーフィン選手権大会」とは？ 2019年までは、ジュニアオープンと同時開催で行われていた大会。35歳以上の経験豊富なベテランサーファーによる熱い戦いが見どころ。2020年より単独開催の予定だったが、新型コロナウイルスにより中止となり、今回が初開催となった。

新型コロナウイルス感染症拡大により1年遅れの単独開催となったマスタースオープン

当初、10月末に予定されていた本大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で1ヶ月延期され、11月26日から3日間、高知県東洋町生見サーフィンビーチにて万全の感染予防対策を講じ、開催された。今大会は、ポイントが付与される4クラスとテスト的にポイントが付与されないロングボードシニアマスター、ロングボードグランドマスターカフナ、ロングボードシニアウィメンの3クラス、計7クラスが設けられた。

期間中、あいにくのsmallコンディションで、ウェイトリングを行い、当初2ポイントでの進行を3ポイントに変更するなどし、ヒート

を進めた。波は小さいが、そこは百戦錬磨のベテランコンペティターたち、巧みに技を繰り出し、勝ち上がる様は脱帽だった。smallウェイブの波に対応するべきタクティクスとセクションでのターン、ロングボードならではの流

れと優美さ、今年度の主催大会最終戦に相応しく、素晴らしいライディングで幕を閉じた。



(左)再入場の際に必要なリストバンドを配るスタッフ／(右)密を避けて検温に向かう選手



グランドマスターカフナ優勝の磯部康典



シニアマスタークラス優勝の小野 誠



主催大会3冠を達成した清永亜希子

通常クラス (ポイント付与有り)

SENIOR MASTER CLASS



優勝 小野 誠 茨城波崎
2位 石田 佳央 横浜
3位 松倉 円 北海道
4位 五来 潤 茨城北

GRAND MASTER KAHUNA CLASS



優勝 磯部 康典 湘南西
2位 小野澤 正樹 千葉東
3位 谷奥 進 大阪
4位 坂本 應尚 千葉南

SENIOR WOMEN



優勝 清永 亜希子 湘南茅ヶ崎
2位 大江 なぎさ 千葉西
3位 古賀 恵 福岡
4位 田上 さくら 愛知

LB MASTER CLASS



優勝 釣田 克則 岡山
2位 井口 総一郎 静岡3区
3位 尾崎 賢 三重
4位 小崎 宗大 湘南茅ヶ崎

特別開催クラス (ポイント付与無し)

LB SENIOR MASTER CLASS



優勝 大池 義博 埼玉南
2位 北村 健一 千葉銚子
3位 高橋 立太 新潟1区
4位 松山 輝史 大阪

LB GRAND MASTER KAHUNA CLASS



優勝 佐野 十志哉 福井
2位 藤原 健 湘南藤沢
3位 野口 泰男 千葉銚子
4位 芦苺 勝仁 千葉南

LB SENIOR WOMEN CLASS



優勝 藤原 加世 高知
2位 飯田 恵 湘南藤沢
3位 北村 亜希子 千葉銚子
4位 市川 恵里香 静岡3区

特別賞

ベストライディング賞
藤原 健 湘南藤沢 LB MASTER CLASS
敢闘賞
松倉 円 北海道 SENIOR CLASS

NSAマイページは あなたのサーフィンライフをサポートします

NSAでは自身のさらなるサーフィンのスキルアップ、
そしてサーフィンを楽しみするためのサポートをしています。
マイページはNSAとあなた自身をダイレクトに繋ぎ、
スピーディな情報提供とわかりやすい情報の管理がおこなえると便利なツールです。
まだ、使いこなしていない人はこのページをチェックして、今すぐトライ！

イラストレーション：直井 徹



重要なお知らせ

2023年WEB会員証へ移行を予定しています

海で楽しむサーフィンにとって、自然環境
を大切にすることはとても重要なことだと考
えています。NSAではこれまでのプラスチック
製の会員証を2023年度に廃止し、スマ
ートフォンで簡単に会員証が表示できる便利

なWEB会員証へと移行を予定しています。
そのために会員の皆様にはWEB上での会
員本人認証が必要です。NSAサイトにログ
インして、マイページの確認、写真登録をお
こない、WEB会員証を表示できる状態にペ

ージを完成してください。

登録することで、大会参加履歴、ランキ
ングやポイント、検定、資格など各種情報
を一括で管理でき、さらに随時更新される
サーフスポット情報も閲覧可能です。

まずはLOGINしよう！

マイページを登録済みの方

- 2022年度新規正会員登録された方
- 2022年度WEBで会員登録された方

メールアドレス
例) xxxxx@nsa-surf.org

パスワード
例) xxxxxxxxxx

ログイン

パスワードの発行、忘れた方はこちら>

昨年度会員の方はこちら

- 2021年度から更新して、2022年度会員登録された方で、まだ、本人認証をされていない方。
※本人承認は一度だけです。

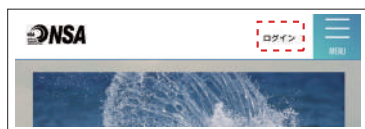
本人認証

マイページ新規登録（昨年度会員の方以外）

- 非会員の方
- これから会員になる方
- 正会員・オープン会員ではなく、NSAの資格保持者・サーフィン検定級保持者（今後、資格会員として登録管理予定です）

新規登録

最初に表示されるログイン画面



NSA ホームページ右上のボタンを押して「ログイン」

NSA ホームページ右上に表示される「ログイン」ボタンを押すと、このページが現れます。すでにNSAの会員になっている人は、ページ半ばにある「昨年度会員の方はこちら」の「本人認証」ボタンを押して会員番号と生年月日を入力して認証を完了しましょう。認証が終わるとメールアドレスとパスワードでログインして、自分のマイページ、会員情報を見ることができるようになります。

本人認証

会員番号、生年月日を入力して、[認証]ボタンを押してください。

本人認証情報

会員番号 必須

生年月日 必須

年 月 日

認証

写真を登録しよう

WEB会員証では顔写真が必要になります。
「写真登録」コーナーから6ヶ月以内に撮影した新しい顔写真を登録。認定証や大会や資格のエントリー用で使用されるものとランキングやイヤーブック掲載用の写真をそれぞれ登録。もちろん別々の写真を登録してもOKです。写真登録は規格に合ったものをアップロード可能です。

- 正面、無背景の顔写真。
- カラーでも白黒でも可
- 鮮明であること（焦点が合っていること）
- 明るさやコントラストが適切であること
- 帽子、サングラス、ゴーグル、マスク不可
- 6か月以内に撮影したもの（顔写真）

不適切な写真例

- 被写体が小さすぎる
- 帽子、サングラス、ゴーグル、マスクを使用している
- 前髪などが目を隠しており顔が確認しにくい
- 写真を加工しているもの

画像1 認定証や大会、資格のエントリー用で使用されます。

ファイル選択

アップロード

画像2 ランキングやイヤーブック掲載用で使用されます。

ファイル選択

アップロード

写真登録は規格に合ったものをアップロード

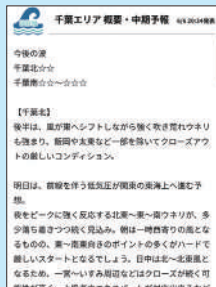


サーフスポット情報

随時更新される全国のエリア別の波のコンディション情報や、各ポイントごとの波情報を閲覧できます。マイポイントに設定しておけば自分の知りたいポイントの波情報をスピーディに確認でき、とても便利。エリア内での2時間以内のベスト5、今日のベスト5が表示され、どこを選べばより良い波をキャッチできるかを素早く判断できます。



サーフスポットTOPではエリアを選択



エリア別の概要・中期予報を表示「もっと見る」から、詳細情報を得ることができます。



エリア概要の下部には各エリアでのベスト5のポイントが表示されます



波の状態を知りたいポイントを選べば詳しく表示。マイポイントに設定すればスピーディに表示することができます。

NSAマイページのメニュー

マイページ

NSA-ID、競技/クラスとランキングを表示。



スケジュール

大会、サーフィン検定、資格試験&講習のスケジュールをカレンダー表示。



必要なカテゴリーの情報のみを表示させることも可能です。

資格情報

NSAで取得できる資格の中で、自分の保有資格が表示されます。



大会参加履歴

過去に自分が参加した大会の履歴が表示されます。



サーフィン検定

サーフィン検定による自分の取得している級が表示されます。



会員情報

WEB会員証を表示。会員番号、所属支部、大会での参加クラス、会員有効期限などの必要情報を確認できます。



スマートフォンがあればすぐに会員証の提示、正会員番号も確認でき、とても便利です。
※マイページの登録や機能についてのさらに詳しい情報は、右上のQRコードから確認できます。

\ 国内最大級 /

サーファーによる全国一斉ビーチクリーン活動

NSA SURFERS BEACH CLEAN ACT 2021

Supported by patagonia

■開催日：2021年9月5日(日)、12日(日) ■開催地：全国のサーフポイント約19カ所 ■参加者数：約900名



ビニールゴミやプラスチックゴミの不法投棄により海洋生物の生態系が崩れるなど、世界の海で深刻な問題が起きています。全国の海岸ではサーフィン愛好者により定期的に「ビーチクリーン」が行われており、日本サーフィン連盟でも2007年から年に一度、各支部が中心となり全国一斉ビーチクリーン「ACT」を行い、ゴミのないビーチ、ゴミを捨てないビーチの働きかけと、私たちにとって大事な海、素晴らしい大自然を再認識する機



横浜 ▶ 千葉 花籠ポイント



湘南鎌倉 ▶ 由比ヶ浜坂の下



湘南鎌倉 ▶ 由比ヶ浜坂の下



湘南鎌倉 ▶ 由比ヶ浜坂の下



湘南西 ▶ 大磯北浜海岸



湘南西 ▶ 馬入ポイント



東京新島 ▶ 羽伏浦海岸・奥磯ポイント



東京新島 ▶ 羽伏浦海岸・奥磯ポイント



静岡伊豆 ▶ 宇佐美海岸



静岡伊豆 ▶ 宇佐美海岸



静岡伊豆 ▶ 宇佐美海岸



静岡伊豆 ▶ 多々戸浜

支部名	実施場所	参加人数
北海道	各自自主参加	
青森	金浜海岸	10
岩手	各自自主参加	
宮城仙台	各自自主参加	
宮城北	各自自主参加	
秋田	各自自主参加	
山形	各自自主参加	
福島	各自自主参加	
茨城南	各自自主参加	
茨城北	各自自主参加	

支部名	実施場所	参加人数
茨城波崎	各自自主参加	
栃木	各自自主参加	
群馬	各自自主参加	
埼玉南	各自自主参加	
埼玉2区	各自自主参加	
千葉鎌子	各自自主参加	
千葉西	各自自主参加	
千葉東	各自自主参加	
千葉南	各自自主参加	
東京	各自自主参加	

支部名	実施場所	参加人数
東京多摩	各自自主参加	
東京大島	各自自主参加	
東京新島	羽伏浦海岸(奥磯ポイント)	40
東京神津島	各自自主参加	
川崎	各自自主参加	
横濱	南房総市花籠ポイント	40
湘南鎌倉	由比ヶ浜坂の下	70
湘南藤沢	各自自主参加	
湘南茅ヶ崎	各自自主参加	
湘南西	大磯北浜海岸ポイント	40

支部名	実施場所	参加人数
湘南西	馬入ポイント	45
相模原	各自自主参加	
山梨	各自自主参加	
長野	新潟県糸魚川市藤崎海岸	30
新潟1区	各自自主参加	
新潟2区	各自自主参加	
富山	各自自主参加	
石川	各自自主参加	
福井	三国サンセットビーチ	200
岐阜	各自自主参加	



会を設けています。海でサーフィンを楽しむ私たちは自然からたくさんの恵を受けています。次の時代を担う、これから生まれてくる子供たちが変わらず豊かな環境を享受できるよう、引き続き精力的に取り組んで参ります。『サーファーはこの海を守る！キレイな海は私たちが守る！』そうした気持ちを込めて私たちサーファーが継続的に行う「NSA SURFERS BEACH CLEAN ACT」。是非、みなさんに積極的に参加していただきたいと考えております。2021年度は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、一斉開催日が全国的にまん延防止等あ

るいは緊急事態宣言期間中だったことから、延期や中止を決断した支部が多数あり、例年になく参加支部の少ない年となりましたが、各支部とも自主参加で清掃活動を行なったとの報告が届いております。また、清掃活動の際は、手指の消毒や距離を保ってのゴミ拾いなど、感染対策を取りながら実施いたしましたことを合わせてご報告いたします。

『ハンディーサイズのごみ袋』

今年度もバタゴニア様のサポートのもと制作した小さなごみ袋は、子供から大人まで手軽に持てて本活動を円滑にさせるアイテムとして好評をいただきました。



NSA SURFERS BEACH CLEAN ACT 2022

■開催日：2022年9月4日(日)、11日(日) ■開催地：日本各地のサーフポイント

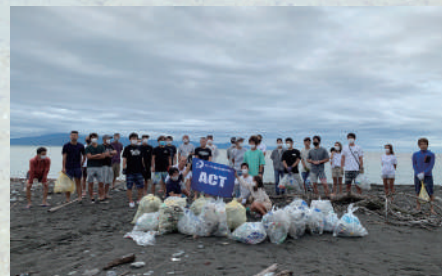
※詳細はNSA オフィシャルサイトをチェック！ <https://www.nsa-surf.org/>



静岡伊豆 ▶ 入田浜



静岡1区 ▶ 興津川河口



静岡1区 ▶ 富士川河口



静岡2区 ▶ 吉田ポイント



静岡2区 ▶ 吉田ポイント



長野 ▶ 新潟 藤崎海岸



福井 ▶ 三国サンセットビーチ



福井 ▶ 三国サンセットビーチ



福井 ▶ 三国サンセットビーチ



福井 ▶ 三国サンセットビーチ



宮崎 ▶ 梅ヶ浜海岸



宮崎 ▶ 木崎浜海岸

支部名	実施場所	参加人数
静岡伊豆	多々戸浜	30
	入田浜	20
	宇佐美海岸	100
静岡1区	興津川河口	50
	富士川河口	45
	吉田ポイント(全域)	40
静岡2区	御前崎ポイント	40
	鹿島ポイント	10
	須々木	10
静岡3区	各自主参加	

支部名	実施場所	参加人数
愛知	各自主参加	
三重	各自主参加	
滋賀	各自主参加	
京都	各自主参加	
大阪	各自主参加	
兵庫	各自主参加	
奈良	各自主参加	
和歌山	各自主参加	
鳥取	各自主参加	
島根	各自主参加	

支部名	実施場所	参加人数
岡山	各自主参加	
広島	各自主参加	
山口	各自主参加	
徳島	各自主参加	
香川	各自主参加	
愛媛	各自主参加	
高知	各自主参加	
福岡	各自主参加	
佐賀	各自主参加	
長崎	各自主参加	

支部名	実施場所	参加人数
熊本	雪浦海岸	
大分	江の浦海岸	
宮崎	梅ヶ浜海岸	15
	木崎浜海岸	30
鹿児島	各自主参加	
沖縄	各自主参加	
徳島	各自主参加	
学連	各自主参加	



足の下の鋭く浅いリーフに目を光らせるケアヒ・デ・アボイトイスの洞察力は、確かに、チューブの裏からこの写真を撮った「チャチ」ことライアン・クレイグのレンズよりも研ぎ澄まされている。タヒチ、エンド・オブ・ザ・ロード Ryan "Chachi" Craig ©2022 Patagonia, Inc.



サーフィンの 動きからの 考察

ハイドロロック・ボードショーツ

躊躇なく、ブルイン。ずり落ちたショーツをずり上げたり、ひもを結びなおしたりするのは止めましょう。フェアトレード・サーティファイドの縫製を採用した新製品ハイドロロック・ボードショーツの特長は、妥協のない安定感。製図版に向かい、ラボで時間をかけ、サーフィンの動きを考察した結果、まったく新しいウエストバンドとロッキング・システムが生まれました。これでショーツのことは忘れて、目前に迫るセクションといった重要事項に集中できます。

patagonia®



©KENYU

This Feels Good

アスリートやスポーツする人だけの存在じゃない。

「体を動かすことが好き」な人のために

わたしたちはある。カラダを動かせば、

ココロが震える。その瞬間を感じてほしい。

汗を流すよろこびを、

もっともっと自由に。みんなのものに。

そしてあたりまえのカルチャーに。

そのきっかけになるのが、オッシュマンズです。



www.oshmans.co.jp

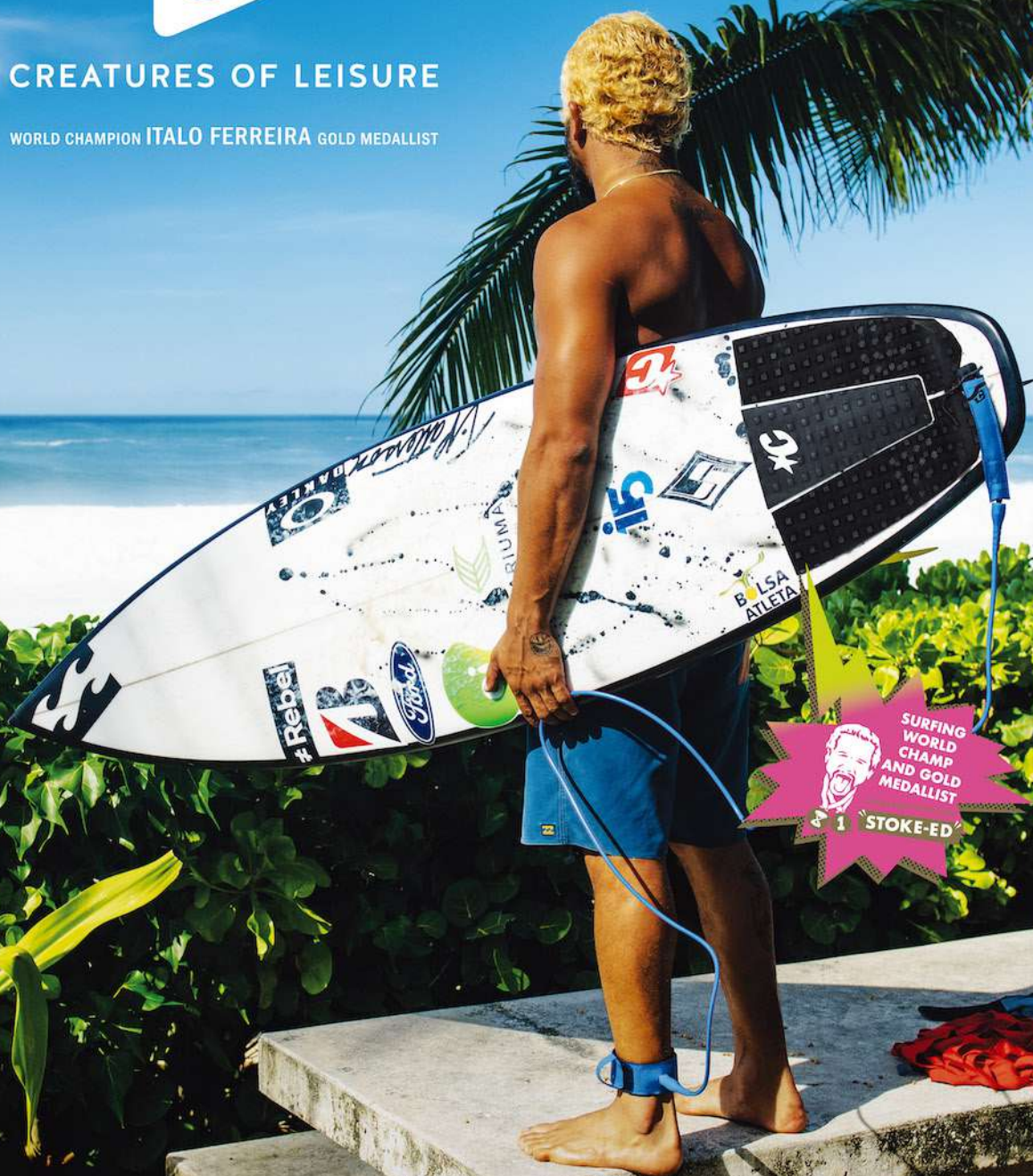
OSHMAN'S®

カラダを動かす。ココロを解き放つ。



CREATURES OF LEISURE

WORLD CHAMPION ITALO FERREIRA GOLD MEDALLIST



SURFING
WORLD
CHAMP
AND GOLD
MEDALLIST

1 "STOKE-ED"





波乗りジャパン

チームジャパン

目指せ世界一!

世界大会ダイジェスト

2020年に引き続き、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、
自粛を余儀なくされたISAの大会も、1年延期された東京2020オリンピック代表選手の最終選考のため、
2021 ISA ワールドサーフィンゲームスが、中央アメリカのエサルパドルで開催され、世界各国の代表選手が決定。
12月初旬には、開催6回目となるISA 世界パラサーフィン選手権が、徹底した新型コロナウイルス感染症予防のもと、
アメリカ、カリフォルニア州にて開催。2021年のISAはこの2大会のみの開催となった。

男女ともに2枠、オリンピック出場枠最大枠である合計4枠を確定させた世界戦

2021 Surf City El Salvador ISA World Surfing Games



日時：2021年5月29日(土)～6月6日(日) 開催国：エルサルバドル共和国 エル・スンザルとラ・ボカナ 参加国：51の国と地域

写真：ISA 国際サーフィン連盟

Photo: Ben Reed

世界の強豪が揃う東京オリンピック 代表を決定する重要な最終予選

東京2020オリンピックに向けた最終予選を兼ねた「2021年サーフシティ・エルサルバドルISAワールドサーフィンゲームス」が中央アメリカのエサルパドルで開催された。今大会には、波乗りジャパン日本代表として、五十嵐カノア、村上舜、大原洋人、松田詩野、前田マヒナ、都筑有夢路の6名が出場、チームキャプテンとして、大野修聖が参加した。5月16日出発の先発組と5月23日出発の後発組の2つに分かれて羽田空港からヒューストンを経由してエルサルバドルの首都サンサルバドルへ。空港から大会会場の一つのエル・スンザルまでは車で約40分程度の道程。先発組は開会式前日の28日まで大会会場で事前練習を行い調整。24日に会場入りした後発組も28日まで大会会場の視察と事前練習を行った。翌日29日は開会式が行われ旗手は村上舜、自国の海岸の砂をボックスに注ぐサンドセレモニーを松田詩野が務めた。開会式を無事に終え、試合がスタート。試合はラ・ボカナとエル・スンザルの2ヶ所で行われた。

大会初日、男子メインラウンド1の24ヒート

Photo: Ben Reed



フランスに僅差で敗れるも、国別団体にシルバメダルを獲得



CT選手の貴族で、リパチャージに回ることなく銀メダルに輝いた五十嵐カノア

までをラ・ボカナで、女子の24ヒートがエル・スンザルで行われた。日本チームは、ヒートが無かった五十嵐カノア以外の男女5名がメインラウンド2へ進んだ。大会2日目、前日にヒートが無かった五十嵐カノアがラウンド1のH25に登場。ラウンド1を勝ち上がり、午後のラウンド2ではエクセレントスコアを叩き出し、ラウンド3へと順当に勝ち上がった。すでにCT枠からオリンピック内定を得ていた彼は今大会に出場したことで、日本代表が確定した。その他、ラウンド2の村上舜、大原洋人、前田マヒナの4名が1位通過でメインラウンド3に駒を進めた。松田詩野、都筑有夢路は3位でリパチャージに回った。

村上舜が逆転で世界チャンプの イタロ・フェレイラを撃破

大会3日目、会場には大きなうねりが入り、メイン会場のラ・ボカナはグッドコンディション。この日のハイライトは、ラウンド3に出場した村上舜が世界チャンプのイタロ・フェレイラを逆転、

Photo: Sean Evans



Photo: Pablo Jimenez



(左)ISA会長による開会宣言(右)サンドセレモニーを行う松田詩野

Photo:Sean Evans



(左) 地元開催のオリンピックで負ける訳にはいかない大原洋人は、意地を見せ出場権を獲得。4位入賞を果たす (右) 条件付きで内定を得ている村上舜は順当に勝ち進むが、最後の最後でチームメイトの大原洋人に敗れ、掴みかけた切符ははりと落ちた

Photo:Pablo Jimenez



ラウンド4に勝ち上がった。大原洋人も高得点を揃えて、ケトゥ・アグスらに圧勝し、ラウンド4に。五十嵐カノアもフリーペ・トレドとミシェル・ボレーズというCT選手らと対戦。ヒートのベストスコアをメイクし、1位でラウンド4に。ラウンド3に出場した女子の前田マヒナはトップを維持したが、最後に逆転され2位でラウンドアップ。大会4日目には敗者復活戦が行われ、女子のリバチャージ、ラウンド2の松田詩野と都筑有夢路は、両者ともに勝ち上がり、ラウンド3、ラウンド4に進んだ。

条件付きでの内定を得ている松田詩野はリバR4で敗退。代表を逃す

大会5日目、五十嵐、村上、大原もラウンド4に勝ち進んだ。女子の敗者復活戦リバR4では都筑有夢路が勝ち上がり、リバR5に駒を進めた。一方の松田詩野は自分のサーフィンが出し切れず、41位で今大会をフィニッシュ。条件付きでの内定を得ている松田詩野だが、この敗退で都筑有夢路と前田マヒナの結果待ちとなる。大会6日目、都筑有夢路はリバR6を勝ち抜きリバR7に。この日ヒートが無かった前田マヒナは大会7日目のメインR5でポルトガルの選手に敗れリバR8に回り、リバR7を勝った都筑有夢路と対戦。前田マヒナが2位、

Photo:Pablo Franco



メイン会場のラ・ボカナはエルサルバドル屈指のサーフリゾート

都筑有夢路は惜しくも3位敗退で最終的に9位でフィニッシュ。これで、前田マヒナと都筑有夢路が日本代表に確定した。

波乗りジャパンは4名の代表枠を確保し、国別団体では銀メダル

本大会は、上位に入った男子5名、女子7名にオリンピックの出場枠が与えられ、すでに11名がファイナルデイ前に決定。残る男子1枠を大原洋人と村上舜の2名のどちらかが手にする。大原洋人はリバR11を勝ち抜き、リバR12で村上舜と対戦。結果は大原洋人が1位、村上舜は4位で敗退。大原洋人のグランドファイナル進出と同時に東京オリンピック出場が決定した。グランドファイナルは、フランス対日本の対決。五十嵐カノア、大原洋人、ジョアン・

ドゥルー、ジェレミー・フローレスの4名。結果は、ジョアン・ドゥルーが優勝、五十嵐カノアは2位の銀メダル、大原洋人は4位で終えた。東京オリンピック日本代表は、五十嵐カノア、大原洋人、前田マヒナ、都筑有夢路の4名が決定した。国別対抗の団体ではフランスが金メダル、僅差で日本が銀メダルという結果となった。

Photo:Sean Evans



Photo:Pablo Jimenez



(上) 都筑有夢路は、リバR7で世界チャンプのステファニー・ギルモアを破り、リバR8では前田マヒナに敗れたが出場権を得た (下) 条件付き内定を得ていた松田詩野は、代表を逃すも、今大会までの1年間はメディアへの露出も多くサーフィンの普及に貢献

Photo:Ben Reed



大会最終日まで勝ち進んだハワイ育ちのビッグウェイブを得意とする前田マヒナは、リバR9に登場。序盤は1位でリードするが、後半に対戦相手のポーリン・アドとサリー・フィッツギボンズに逆転され4位で敗退。8位でフィニッシュしたことで代表権を得た



五十嵐 カノア
OPEN MEN 2位



大原 洋人
OPEN MEN 4位



村上 舜
OPEN MEN 6位



前田 マヒナ
OPEN WOMEN 8位



都筑 有夢路
OPEN WOMEN 9位



松田 詩野
OPEN WOMEN 41位

OPEN MEN

1st	Joan Dulu	(FRA)
2nd	五十嵐 カノア	(JPN)
3rd	Jeremy Flores	(FRA)
4th	大原 洋人	(JPN)
6th	村上 舜	(JPN)

OPEN WOMEN

1st	Sally Fitzgibbons	(AUS)
2nd	Yolanda Sequeira	(POR)
3rd	Tresa Bonvalot	(POR)
4th	Daniella Rosas	(PER)
8th	前田 マヒナ	(JPN)
9th	都筑 有夢路	(JPN)
41st	松田 詩野	(JPN)

国別順位

1st	FRANCE
2nd	JAPAN
3rd	PORTUGAL
4th	PERU
5th	AUSTRALIA

■大会名称

2021 Surf City El Salvador ISA World Surfing Games

サーフシティ エルサルバドル ISA ワールドサーフィンゲームス

■主催: International Surfing Association (国際サーフィン連盟)

■参加選手: 262名 ■日本代表選手: 6名

■参加役員: ウェイド・シャープ (トップコーチ) 大野修聖 (キャプテン) 宗像 富次郎 (マネージャー) 宮部周作 (サブマネージャー) 渡邊 純 (理学療法士) 松本 恵 (栄養士)

2028年ロスパラリンピックへの追加種目に向けて様々な意見交換ができた大会

2021 Pismo Beach ISA WORLD PARA SURFING CHAMPIONSHIP

Hosted by Amp Surf

開催日：2021年12月6日(月)～11日(土) 開催地：アメリカ合衆国 カリフォルニア州 ビズモビーチ 参加国：24の国と地域

リポート：日本サーフィン連盟 強化委員長 井本公文 写真：ISA 国際サーフィン連盟

2年連続で2つのメダルを獲得したチームジャパン

今回で開催6回目となるISAパラサーフィン選手権大会。コロナ感染症の影響もあり、選手とマネージメントチームは現地での合流となり宿舎も別。12月4日会場到着後、既に現地入りしている選手たちとの顔合わせを行い、翌日到着の選手達を待ち、クラシフィケーション(クラス振分け診断)が行われた。このクラシフィケーションは非常に重要であり、クラス分けされた選手の数によって世界のパラ選手の登録者数がカウントされる。パラリンピックに加盟するには最低330名の選手登録が必要。現在は244名の選手登録のため選手登録数の増加が課題となる。また会場本部ではシンポジウムが行われ、2028年ロスパラリンピック追加種目に向けて、次世代パラサーファーへのアプローチ、施設や用具についてディスカッションされた。

2028年ロスパラリンピックへの追加種目は、ISAやパラサーファーの目標でもあり、日本チームも準備を行うべき段階に來たと感じている。日本での大会開催、予選会の実施、クラシフィケーションの実施、強化プランなど、

7年後の開催に向けたNSA内での準備をスタートしたい。

大会初日は比較的良好な形の波で行われ、各選手(各クラス)2回ずつ戦い、1試合ごとのベスト2(2試合でベスト4)のうちのベスト2スコアの合計点の高い上位者が次のラウンドに上がる方式。今大会から1クラスが追加され合計9つのクラスによって競技が開催された。各カテゴリーのライディングはそれぞれ違うが、前回大会より進化したライディングを繰り出し、初出場の選手やベテラン選手まで皆が、体調管理や水温、波質に注視しながら、サポートスタッフと共に戦う姿には、東京パラリンピックを彷彿とさせる競技であった。

日本代表選手の結果は国別では、前回より1つ順位を下げ9位。個人戦では6名参加中2名が4位でメダル獲得。前回同様メダル獲得となるものの、日本チームとしては前回のファイナリストが敗戦するなど悔しい結果となった。この敗戦により、選手たちからは個々に課題を見つけ次に向けての準備をするという強い意気込みが感じられ、様々な貴重な意見が聞けた。昨年と比べてレベルが上がっているし、クラシフィケーションのカテゴリー分けについてやパラ五輪に向けて日本国内での大会開催につい



Photo:Ben Reed

ブローン 2クラス 藤原智樹は前回より3つ順位を上げ4位入賞



Photo:Sean Evans

初出場で4位入賞カップパーメダル獲得の高尾千香子



Photo:Ben Reed

パレードに参加する選手たち

て、パラスポンサーについてなどなど、前向きな意見が多く、今後NSAで対応が必要な項目もあり、委員会内での協議が必要だと感じた。この機会に2028年に向けての体制作り、日本での競技普及、アクセシブルルートや環境体制の周知と整備など、何ができるかを検討していきたい。

国別順位

1st	USA
2nd	SPAIN
3rd	BRAZIL
4th	COSTA RICA
5th	HAWAII
9th	JAPAN

MEN

STAND 1	5位	島川 幹生
STAND 3	7位	勝倉 直道
KNEEL	6位	小林 征都
PRONE 2	4位	藤原 智樹
VI 2	7位	藤崎 滋

WOMEN

STAND 1	4位	高尾 千香子
---------	----	--------

大会名称

2021 Pismo Beach ISA WORLD PARA SURFING CHAMPIONSHIP Hosted by Amp Surf

2021年 ビズモビーチ ISA 世界パラサーフィン選手権

■主催：International Surfing Association (国際サーフィン連盟)

■参加選手：134名 ■日本代表選手：6名

■参加役員：小川文夫(コーチ) 大石純也(通訳兼アシスタント) 井本公文(マネージャー)

■NSAパラサーフィン会員募集

パラリンピックでのサーフィン競技追加に向け、ISAは「国際パラリンピック委員会(IPC)」に申請。フランス大会では追加とならなかったものの、次のロサンゼルス大会に向け世界各国のNFと協力体制をとりながら認可を目指し活動を進めています。

日本国内でNFである当連盟は、「ISAパラスポーツ世界選手権」へ5年連続で日本チームを派遣。今後は世界戦のみならずパラサーフィンの普及発展に向け活動の幅を広げていく所存です。

その第一歩としてNSAは、近々、日本パラリンピック委員会でもある「公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

(JPSA)」への加盟申請をする予定です。加盟後は、国内大会開催をはじめサポート体制強化に向けた活動など、我々も皆様と一緒にパラサーフィンの普及発展に努めていく所存です。

そこで、全国にいらっしゃるパラサーファー皆様のお力添えのお願いです。皆様に当連盟のNSAパラサーフィン会員に登録していただき、全国20以上の都道府県、指定都市での会員登録という条件クリアし、加盟承認へと進めていきたいと考えております。

何卒ご理解いただき、NSAパラサーフィン会員登録にご協力くださいますようお願い申し上げます。

【NSAパラサーフィン会員概要】

◆年会費 5,000円

◆会員特典

- ・ISA世界戦代表選手への選考対象となります。
- ※当連盟の医科学委員会によるクラス分けを行います。
- ・日本サーフィン連盟主催大会への参加資格。
- ※参加可能な大会を現在協議中です。追ってお知らせいたします。
- ・サーフィン賠償責任保険(団体総合生活補償保険個別型)
- ・波情報無料配信、会報誌イヤーブックプレゼント など

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人日本サーフィン連盟 事務局
info@nsa-surf.org

The Original



Iconic for a reason



QUIKSILVER.CO.JP



FBL 043-40 Frame : Matte Clear • Turquoise [Rubber Finish] Lens : Light Blue 偏光



フロンアイウェア GUMP CO.,LTD. 03 3407 0609 www.fullon-rs-g.com info@gump.cc



AIRWALK®



大切な時間を
優しく包み込む香り。



gonesh.jp



Instagram

GONESH®



4/7 • FOUR SEVENTH

サーフィンのルール&マナー 10 か条

楽しく安全に波乗りを楽しむための基礎知識

海の上には独自のルールとマナーがあります。それは自然を相手にするスポーツだから。
特に初心者の方は知らないことも多く不安があるかもしれません。しかし、基本的なルールはシンプルです。
波乗りに関する基本的な10か条、ビギナーの方はもちろん、上級者の方も今一度ご確認を!

1 サーファーは自分自身に責任を

サーフィンの事故が増加しています。そのいくつかは裁判になるほど深刻な事故となっています。しかしほとんどの事故は未然に防げたものや、また相手がいる場合は、どちらか一方に100%過失があると言いたいものが多いようです。自分自身の行動に責任を持って、だれにも迷惑をかけないハッピーサーフィン心がけましょう。



2 ピーク優先

サーフィンには「ピーク優先」というゴールデンルールがあります。これは世界中どのサーフポイントでも共通のルールで、ピーク(*1)に最も近いサーファーが波に乗る優先権があるということです。
*1_ 岸に向かって来たウネリが最初に崩れ始めるところ



3 ドロップインはルール違反

サーファーがすでにライディング(*2)している波に同じ方向へテイクオフしてしまうことを、悪意があるないに関わらずドロップインと呼びます。これはルール違反だけでなく危険な行為です。もしドロップインしてしまったときはすぐに相手に謝るのがマナーです。サーファーはレギュラー(*3)、グーフィー(*4)の波の崩れる方向に合わせてライディングしてきます。あるサーファーがすでにライディングしている場合、そのサーファーの進路上からテイクオフしてはいけません。

*2_ 波に乗っている状態

*3_ 岸から見て左方向に崩れる波

*4_ 岸から見て右方向に崩れる波



4 サーファーの真後ろでパドルしない

パドル(*5)して沖に向かうことをゲッティングアウト(*6_ ※以下ゲット)と言いますが、そのときは同じようにゲットしているサーファーの真後ろについてはいけません。そのサーファーが波に押し戻されてあなたにぶつかり、ケガをする可能性が高いからです。

*5_ 手で漕ぐこと

*6_ 沖へ向かうこと



ルールとマナーを守って安全に楽しくサーフィン!

日本サーフィン連盟では、より多くの方々に安全にサーフィンを楽しんでいただくためにNSA会員の方にはもちろん、一般サーファーの皆さんにも本連盟監修の「サーファーズルール&マナー」ブックを無料配布しています。本連盟の協力店やイベント会場などで見つけたら是非、手に取ってみてください。安全で楽しいサーフィンライフに役立つルールとマナーの情報が詰まっています。



スポーツの
BIG
スポーツ振興&助成事業

事故を防ぐためのヒント
サーフィンの危険な場面は、ボードに乗り込む瞬間です。でもそれだけでなく、波に乗る瞬間にも危険があります。
●波の状況を確認する。波の状況を確認するときは、ボードに乗り込む前に、波の状況を確認してください。
●波の状況を確認するときは、ボードに乗り込む前に、波の状況を確認してください。
●波の状況を確認するときは、ボードに乗り込む前に、波の状況を確認してください。





5 ライディングエリアでは要注意

ゲットしているときはライディングしているサーファーと接近することがよくあります。ライディングエリアはサーフポイントによってさまざまですが、もしライディングエリアをさけてゲットできるならそのルートで沖に向かいましょう。もしそれが無理ならば、よく注意してすみやかにそのエリアを通過し、サーファーの邪魔をしないように沖に出しましょう。



6 テイクオフ優先

ゲットしているときにテイクオフするサーファーとニアミスしそうな場合、そのサーファーの進行方向とは逆方向にパドルするか、早めにダイブ（ドルフィンスルー）し、回避する必要があります。



7 声を出す

ゲット中に、ライディングしているサーファーがあなたに気付かず接近してきたら、“Hey!” など、声を出して注意をうながしましょう。太陽の光などであなたが見えにくいときがあります。



8 いつも予測していよう

小さな波でサーフィンをしようとインサイド(*7)で波を待つと、他のサーファーのライディングを妨害してしまうことがあります。もし波がブレイクしたらサーファーたちがどの方向に進むか、予測をたてて邪魔にならないように心がけましょう。またサーファーが乗ってきたら、そのサーファーよりもアウトサイド(*8)に向かい、そのサーファーの集中をさまたげないようにしましょう。

*7_岸側 *8_沖側

9 プルアウトはお早めに

もしあなたがもう十分にサーフィンができる実力があつたら次のお願いがあります。ビギナーはあなたの邪魔をするつもりなんてないのです。ニアミスしそうなときは早めにプルアウト(*9)して、やさしく指導してあげてください。

*9_ライディングを自分の意志でコントロールしながら終了するテクニック

10 彼女、彼氏がいても両手を振るな

世界のライフセービングには共通のサインがあります。そのひとつは両手を大きく振ること。これは助けを求めるサインです。オーストラリアでは日本人サーファーが、彼女がビデオを撮っているので両手を振ったらライフセーバーがやってきたという笑えないお話があります。

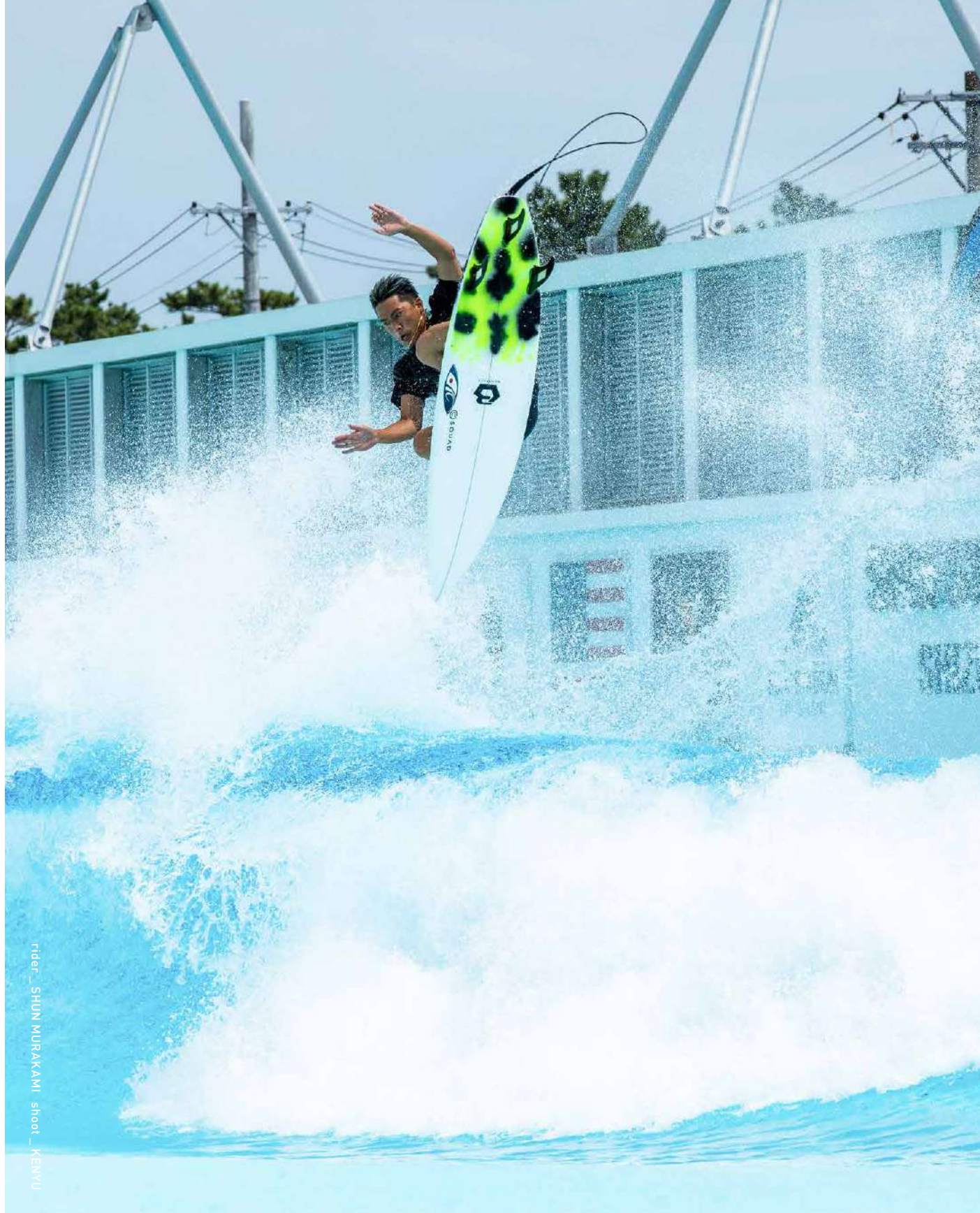


初心者の方へ

- まだサーフィンを始めたばかりの人は、ひとりでサーフィンを絶対にしないでください。ビギナー同士で、サーフィンをするのは危険です。かならず経験者（できればNSAサーフィン検定3級以上）の人と海に入るのがよいでしょう。また、NSA公認スクールを受講するのもよいでしょう。
- 海に入りたくないと感じたときは、無理せずしばらく岸で様子をみてください。無理をすると事故が起こりやすいものです。
- 混雑している海は危険です。波に乗るチャンスも少ないので時間をずらしたり、別の空いているサーフポイントへ移動しましょう。
- カレント（離岸流。波が運んだ海水を再び沖へ出すために生ずる潮の流れ）は波が大きいときほど強く危険になります。もしカレントに流されて危険を感じたときは、その流れに逆らわず横切るようにしましょう。また、スプ（波が崩れた後の白い泡の部分）はあなたを岸に運んでくれます。波のないところは、かえって流れやすく危険だと思ってください。
- ショートボード、ロングボード、ボディボードに限らず、リーシュコード（サーファーの軸足とボード、ボディボードではボードと腕、または脚をつなぐ流れ止め）は必ず付けましょう。
- 多くの海水浴場では時期や時間帯によってサーフィン禁止です。

BEWET3

SURF UTILITY



rider _ SHUN MURAKAMI shoot _ KENYU

TOKYO
PRIDE

www.bpd21.com/bewet/

Check the QR!!
2022 SS BEWET



ONE STOKE ONE BCM



アプリも、Webも、波情報BCM

アプリにも新たなサブスク「年次コース」が加わりお得に！
追加費用ナシで使えるライブストリーミングは続々新規設置予定。

🔍 波情報 BCM 検索

🍏 App Store
からダウンロード

📱 Google Play
で手に入れよう



 **west**

Taj Burrow

www.westsuits-japan.com

**with
OCEAN**

with Ocean Co.,Ltd. 259-1 Shiba Wada-cho Minamiboso City Chiba Pref, 299-2702 Japan

ポイント基本情報 & 各支部からのお願い

2022年 NSA 主催大会が予定されている各開催地のポイント基本情報、ポイント別の攻略法と各開催地の支部からのお願いです。

※このコーナーは2022年4月に取材編集された記事です。

現地の状況や受け入れ態勢は変わる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

感染拡大の要因である「換気の悪い密閉空間」「人が密集」「近距離での密集した会話」の「三つの密」を避けた行動を心がけてください。



千倉

第30回 ジュニアオープンサーフィン選手権大会 (2022)

開催期日：2022年4月16日(土)～4月17日(日) (開催済み)

開催場所：千葉県 南房総市 千倉海岸



北泉

第39回 全日本級別サーフィン選手権大会 (2022)

開催期日：2022年7月14日(木)～7月17日(日)

開催場所：福島県 南相馬市 北泉海岸 予定



Photo:Kenyu

木崎浜

第56回 全日本サーフィン選手権大会 (2022)

開催期日：2022年8月20日(土)～8月26日(金)

開催場所：宮崎県 宮崎市 木崎浜海岸 予定



白浜

第18回 マスターズオープンサーフィン選手権大会 (2022)

開催期日：2022年9月30日(金)～10月2日(日)

開催場所：静岡県 下田市 白浜海岸 予定



*現地状況や受け入れ態勢は変わる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
取材：米地有理子 撮影：佐原健司



波が小さい時は子供からファミリーまで幅広く楽しめる
パブリックな海岸です！
海が青い南房総ならではのサーフィンを味わって！

NSA 千葉南支部
支部長 松岡秀雄

NSA千葉南支部からのお願いとお知らせ

- 南房総地域に訪れるサーファーは皆、節度ある行動のできる方が多いと感じています。引き続き、ゴミの持ち帰りや駐車場でのマナー、駐車禁止場所に車を停めないなどの行動をお願いします。
- 南房総には多くのサーフポイントがあり、それぞれに有料、無料駐車場があります。週末の混雑時など、駐車場に入れない時の路上駐車や、待機場所でないところでの停車はしないようにしましょう。
- 各ポイントで定期的にビーチクリーンを行なっています。見かけた時には積極的に参加して南房総の海岸をきれいにしましょう。
- 海が混雑している時は、時間をずらすなどしてトラブルのないようにしましょう！

INFORMATION

概要 1年を通して南西風が吹く時はクリーンなファンウェイブが楽しめる。台風や低気圧からのウネリが入り、風が合う時は本格的な掘れたパワーブレイクが出現するポイント。癖のあるブレイクなので、よく通って波を知ることがおすすめ！ロングボーダーも多い。

ベストなウネリ 南～北東

オフショア 西～南西

ボトム サンド、場所によりリーフ有り

駐車場 ○(無料)

トイレ ○

シャワー ○(有料)

ベストシーズン 春～秋

千倉攻略法

波が小さいコンディション時はロングボードの多いポイントです。ショートボードの場合は、狙うピークをずらすかテイクオフの速い浮力のあるボードをチョイスするのが良いでしょう。

低気圧や台風時のウネリが入るとパワーのある本格的な波が出現します。海に入る時はコンディションをよく見て、カレントを把握し、道具を選んで事故の無いよう努めましょう。

チューブコンディションの時は、ミドル～ハイラインで掘れたセクションを抜けていくイメージでいくとバレルメイクもあるかも…



*現地状況や受け入れ態勢は変わる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
取材：米地有理子 撮影：緒形 清



NSA 福島支部
支部長 猪狩優樹

北泉ポイントは、海岸整備が進んでおり、
トイレ、シャワー、近くに公園もあります。
家族みんなで楽しめるポイントです！

NSA 福島支部からのお願いとお知らせ

- NSA 福島支部及び福島サーフィン連盟では毎年3月11日を迎える前に県内で一斉ビーチクリーンを開催しています。
- 県内では行政の水質検査も定期的に行われており、安全面にも注意が払われています。検査結果の数値は福島県や各市のホームページをご覧ください。
- 地域の方々の協力や行政との連携により、四倉、北泉ポイントは駐車場やシャワー施設などが整備されています。皆さんに気持ちよく利用して頂けるようにご協力をお願いします。
- 四倉、北泉ポイントはローカルも入るポイントですが、基本的なルール＆マナーを守って頂ける方であればビジター大歓迎です。
- 福島エリアのサーフポイントは、サーフィンがかなり盛り上がっています。行政とサーファーが一体となって、地元に貢献し、より良いサーフタウンを目指しております。是非ハッピーアイランド福島へお越しください。

INFORMATION

- 概要** サイズが上がっても風やウネリの向きによつては、ビーチブレイクでもクローズせず、Aフレームの波がブレイクする。福島でも屈指のポイント。台風のバックスウェルまで敏感に反応。
- ベストなウネリ** 南～北
- オフショア** 北～北西
- ボトム** サンド
- 駐車場** ○(無料)
- トイレ** ○
- シャワー** ○※海水浴シーズンのみ(有料)
- ベストシーズン** 台風の時期から10月の西風の吹くシーズン

北泉攻略法

サイズが上がるとパワーが
強烈なので長めのボードを！

小波の時は少し速めなので
EPSなど反応の良いボードを
使ってテンポの良い
ライディングするのがコツ。

カレントが発生するので
ポジショニングに注意！



*現地状況や受け入れ態勢は変わる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
取材：米地有理子 撮影：緒形 清



NSA 宮崎支部
支部長 緒方申八

コンスタントにサーフィン可能で、シャワー・トイレ等の設備もあり、駐車スペースもかなりあります。初心者から上級者までいつもにぎわうポイントです。

NSA宮崎支部からのお知らせ

- どこのポイントでも同じですが、ルールとマナーをしっかり守ってください。
- 近年、車上荒らしが報告されていますので、施錠を必ずお願いします。
- 「ソラシディアサーフィンセンター木崎浜」は県内外のサーファーの皆さんが快適に利用して頂けるように整備されましたが、サーファーだけでなく一般の方にも来訪して頂き、自然や海にふれあい、大いに利用して頂きたいです。自動販売機は防犯の役割も担っており、緊急時用にAEDを備えています。また、放送設備を利用して津波、地震時には速やかな避難誘導が可能になりました。このセンターをより長く活用できるように私たちサーファーも清掃活動をはじめ、維持管理に努めて参ります。



INFORMATION

概要 コンスタントに波があり、広いビーチで自分に合ったポイントを探して、初心者から上級者まで楽しめる。サンドバーによっては長く乗れるビーチブレイクが出現。サイズが上がるとカレントが強くなるので注意。

ベストなウネリ 南・東・南東

オフショア 西・南西

ボトム サンド

駐車場 ○ (無料)

トイレ ○

シャワー ○無料のほか、有料温水シャワー及びロッカー有り

ソラシディアサーフィンセンター木崎浜

木崎浜で開催された「2019年ISAワールドサーフィンゲームス」

のレガシーとして整備され、2022年4月にオープン!

・3分200円の温水シャワー、施錠可能なロッカー付き更衣室、自動販売機2台、AED・放送設備有り

・外部に設置してある2ヶ所の無料シャワーはオールシーズン利用可能

・施設横に既設の男女トイレ有り

ベストシーズン オールシーズン

木崎浜攻略法

ビーチに向かって、
加江田川方面はロングボード、
清武川方面はショートボードで!

波はメローで癖のない
とても乗りやすい波です。

ビーチも広いので、
自分だけのポイントを
ゲットしてください。

白浜

第18回 マスターズオープンサーフィン選手権大会 (2022)

●開催期日：2022年9月30日(金)～10月2日(日) ●開催場所：静岡県 下田市 白浜海岸 予定



*現地状況や受け入れ態勢は変わる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
取材：米地有理子 撮影：土屋高弘



NSA 静岡伊豆支部
支部長 稲葉進

ロケーションと透明度の高い海が素晴らしいビーチです。
年間を通しコンスタントに波があります。古くから数々の
コンテストが開催されてきた歴史あるポイントです。

NSA伊豆支部からお願いとお知らせ

- 観光協会の駐車場や原田区の駐車場(中央コンビニ裏付近)に駐車する場合は近隣住民への配慮を心掛けてください。
- 行政から委託されている方々が毎日トイレの清掃を行っています。利用方法が悪い等の報告は届いていませんが、清掃を行っている人がいることを認識頂き、キレイに使用するように心掛けてください。
- ビーチ最南端の岩切りポイントは、ピークの水深が浅いため、急激に掘れ上がりテイクオフがハードとなる上、ボトムがリーフですので上級者向けのポイントです。ビジターの方はピークを避けたポジションでサーフィンしてください。
- 毎月第2・第4日曜日の8時からビーチクリーンを行っています。見かけた際は是非ご協力をお願いします。

INFORMATION

概要 北東～南のウネリまで幅広く反応するため、年間を通しコンスタントに波がある。神社前、中央、レステル前と大きく分けて3箇所のポイントがあり、幅広いレベルのサーファーが楽しめる。ロータイドの時はダンパー気味になるのでミドル～ハイトイド狙いがおすすめ。

ベストなウネリ 東

オフショア 西

ボトム ボトムは最南端がリーフ、北側が玉石とサンド、中央はサンド

駐車場 ○(有料)

トイレ ○

シャワー ○(有料)

ベストシーズン 春の低気圧通過後、秋の台風通過後

白浜攻略法

開催予定期間は特有の
オンショアコンディションになる
可能性があるため、サイズのある
オンショアで練習しておきましょう。

ブレイクポイントが
見た目より沖なので、
ゲティングアウトのタイミングや
カレントの見極めも重要です。

小さい波の時のために、
EPSや浮力のあるボードを
用意しておきましょう。



Photo by Kenyu



ROUND NOSE FISH 96



SUP DRIVER



SUB DRIVER 2.0



DRIVER 2.0



NMD
BOARD/CO



ウォーター・レスキュー

サーファーとして知っておきたい海の危険とその対応

「海」の特性からみる危険についてや、もし万が一事故に遭遇した場合の対処法、
また、「レスキュースレッドの乗り方」も確認しておきましょう！

海の「もしも」は118番

海上保安庁は、海上における事件・事故の緊急通報用の電話番号として警察の110番や消防の119番のように
局番なしの「118」番を設定していますので、緊急の場合は、以下の事項を守って対応してください。

要救助者を発見した場合の対応

1

周りの人に声を掛けて協力者を確保してください。

▽

2

まず、1名は118番に通報します。

▽

3

要救助者への対応は、単独では行わない。

【セルフディフェンス・まず、自分自身の安全の確保を】

体調管理をする

- ・風邪気味などの時は、海に入るのをやめてください。
- ・サーフィンハードなスポーツです。十分な体力と万全な体調で臨むのがベスト。
- ・十分な睡眠をとり、前日の深酒やサーフィン前の飲酒は禁物です。
- ・海に入る前に自分の体調を冷静に判断するようにしましょう。
- ・体調がすぐれない時は、サーフィンを見合わせる勇気を持ちましょう。

機材の劣化及び不備をチェックする

海に入る時は、リーシュコードやカップ、カップとリーシュをつなぐヒモを確認し、
新しいコードや波に合ったボードを使用する等の注意が必要です。

危険生物を知っておきましょう

日本でも、アカエイや、カツオノエボシ等の毒を持った海の危険生物によるサーファーの被害が多数発生していますので注意してください。

海のコンディションと海の危険因子を知る

- ・陸上の目標物を定め、流されているかどうか知るのは基本ですが、一緒に来た友人のポジションも常に気をつける必要があります。
- ・切迫した危険な状態以外は、浮力を確保するサーフボードを捨てずに、早めに救助を求めることが重要です。
- ・長時間漂流した時の保温対策として、ウエットスーツの着用はかせません。

!!!重要!!!

要救助者を発見し、その対応をする場合、絶対に一人で行わないでください。1名は通報にまわり、複数で要救助者に対応してください。そして、その対応に直接かわらない観察役の人もつけてください。



【事故発生時の対応・自身の身の安全が絶対条件】

初心者サーファーが流されていたり、溺水の状態等に遭遇した場合、救助は確かに大事ですが、あくまでも、自身が二次災害に巻き込まれないことがなによりも重要です。実務の水難救助は、海上保安官や消防官が行います。我々は、その事故に対する初動対応をできる範囲で行うことを十分に理解してください。

以下に挙げる各種の手法は、基本的には訓練が必要です。知っているとしても大きな違いがありますので、あくまでもできる範囲で対応いただくようお願いいたします。

サーフボードは要救助者の浮力体として利用する

Case 1 意識のある要救助者

まず、要救助者に接近した際パニックで飛び掛られる恐れがないことを確認し、落ち着くように話しかけ安全な方向に誘導してあげましょう。離岸流（沖に流される潮流）を逆行して岸に帰ろうとし、帰れなくなり体力を消耗し流されている場合が多いです。パドルリングの体力が残っていない場合は、自分のリーシュ

をつかませて引っ張ってあげても良いですが、後ろから来た波に押され要救助者が自分に衝突する可能性もありますので、十分に注意しましょう。引っ張って帰るのは、相当な体力を消耗します。やはり、交代も考え監視役と合わせて複数で対応するようにしましょう。

Case 2 意識の無い要救助者

要救助者が意識の無いように見えても、近づいた時に急に飛び掛られることも考えられます。前記のように要救助者に近づくときは、十分に気を付けてください。



要救助者のボードを要救助者の頭の方にノーズがくるように裏返しにします。



レールを要救助者の脇にはさみ、ボードを反転させると簡単にボードの上に乗せることができる。



搬送方法は、岸から近い場合は、そのまま要救助者をボードと一緒に横からかかえる様に保持し、泳いで岸に帰ります。



自身のボードは、足につけているリーシュでそのまま引っ張って帰っても大丈夫ですが要救助者の浮力体として使った要救助者のボードの下に重ね、一緒に抱えて泳いでも結構です。

ロングボード編

要救助者をボードに乗せる方法は同じです。ただ、搬送方法は、自分がボードと一緒に乗り込みパドルリングで移送します。少しテクニックは要りますが、9フ

ートのボードで男性を同方法で搬送した実績はあります。もし、難しいようでしたら、リーシュを利用して牽引してください。



1 要救助者のボードを要救助者の頭の方向にノーズがくるように裏返しにします。

2 レールを要救助者の脇にはさみ、ボードを反転させると簡単にボードの上に 乗せることができます。

3 要救助者をボードの上に 乗せ、落ちないようにバランスをとる。

4 要救助者の後ろに乗りこみパドルリングで移送します。

レスキュー・スレッドへの乗込み方について

選手が競技中に体調の急変悪化(怪我含)、急な気象悪化(波高含)、ボード折れ、リーシュ切れ、危険生物等の様々な要因により救助や非難の必要が発生した場合、海上にて安全管理に就いている水上オートバイがレスキューピックアップを

行います。その際に水上オートバイの後部に装着されている「レスキュー・スレッド」(以下RSと略)に乗込む必要があります。その乗込み方について以下に解説いたします。

Case 1 自力でパドルリングができる場合は、パドルリングの姿勢のままRSに乗込みます。

ショートボード



ロングボード



Case 2 自力でパドルリングが出来ない場合や、波のブレイクポイントでボードと共に乗り込む時間が無く、早急にその場を離れなければいけない時などは、体だけでRSに乗込みます。ボードは、そのまま引きずるようになりますが、ブレイクポイント等の危険な場所から回避出来た後に、ボードを回収します。また、移動時の水圧でリーシュが切れた場合でも別の水上オートバイが回収します。まずは、体の安全を最優先にして下さい。



※レスキューピックアップの際は、波や気象状況、潮流、選手の技術・意識・気力、場所等いつも条件が違います。基本的な乗込み方はご理解いただいたうえで現場においては、水上オートバイのレスキューオペレーターの指示に従ってください。

【心肺蘇生】について

搬送したら次に心肺蘇生を行います。現在、世界的心肺蘇生のガイドラインが5年ごとに変更になっており一般市民向けには人工呼吸を行うよりも胸骨圧迫を優先して行うようになっています。ただ、これは街中(陸上)用の考え方であるこ

と。正確な人工呼吸が難しいのでその人工呼吸に手間取るよりも胸骨圧迫を行った方がよいとの考えからなっています。しかし、溺水の場合は、できれば人工呼吸を行った方がよいとされています。



!!!重要!!! 人工呼吸の場合、画像にあるような感染防止器具が必ず必要です。もし、持っていない場合や人工呼吸法に自信がない場合は、胸骨圧迫のみを行ってください。感染防止器具には、画像のようなものの他にコンパクトな携帯用のものもあります。

1 気道の確保 ※注すでに海上で意識なし及び心肺停止状態の場合



2 胸骨圧迫 ※胸の真ん中 ※真上から垂直に押さえる

- ・強く(胸が少なくとも5センチ沈むまで)
- ・速く(1分間に100～120回のテンポで)
- ※30回 但し、胸骨圧迫だけの場合は、蘇生するまで継続・絶え間なく



3 吹き込み2回

(空気が正確に入っているかは要救助者の胸の動きで判断します)

★上記を繰り返す心肺蘇生は、救急隊に引き継ぐかAEDの指示があるまで、あるいは要救助者が動き出すまで続けます。もちろん、救急車の要請と近くにあるAEDは別の人が手配をしてください。

※AEDはスイッチを入れると自動音声で使い方がガイドされますので、その指示にしたがってください。ただ、溺水の場合は体が濡れているので要救助者も自分もよく水分を拭き取ることを忘れないように注意してください。



ふたりで行う場合の一例

【裂傷等の対応】

直接圧迫止血法

直接圧迫止血法は、一般市民ができる止血法です。間接圧迫止血法等は、一定の知識が必要になります。また、血液に触れる可能性がありますので、感染症を防止するために、手当を実施する人はビニールやゴムの手袋を着用するなどして、直接、血液に触れないようにします。飛び散った血液が、身体に付着しないように注意して行います。止血や出血している創傷の手当を行った時は、速やかに石鹸等を用いて流水により手を洗います。

①出血部位を押さえるために用いるガーゼや布は清潔であり、厚みのあるものであること。出血部位を十分に覆うことのできる大きさがあること。

②圧迫の要領として、片手で圧迫しても止血できない時は、両手で圧迫したり、体重をかけて圧迫し、止血をします。

※注 画像では素手で実施しておりますが、実際には塩ビ手袋等を着用します



**!!!救急箱は常に
積んでおきましょう!!!**



■ご紹介させていただいたのは、頁スペースの都合上、一部になります。さらに詳しいことや実際に練習してみたい方がいらっしゃいましたら、NSA主催大会にて我々、一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会が大会ライフガードに入らせていただいておりますので、お気軽にライフガードテナントにお越しいただければ、各種対応の練習や救急法をお話させていただきます。

■一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会
〒105-6027 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー 27階
TEL: 03-5403-3488
<https://pwcr-wrma.org/>





Jackson Dorian



vertra
PREMIUM SUNCARE

vertra.jp



GIRLS
ANRI
Professional certification



SENIOR 1st
MASAHIRO



JUNIOR 2nd
DAICHI



MEN 3rd
MIA



DO YOU KNOW E-ZUP?



株式会社来夢は、今年も日本サーフィン連盟を応援します!

お問合せ先

イージーアップ・テント日本総輸入元 株式会社 来 夢

〒513-0836 三重県鈴鹿市国府町7669-44 TEL 059-378-6648

<http://www.ezup.co.jp> raimu@ezup.co.jp





RNF 96

SIZES:
5'5", 5'7", 5'9", 5'11", 6'1"



HANDCRAFTED IN THE USA 

LIB TECH

MERWIN MADE
USA • ZERO HAZARDOUS WASTES

advance
www.advanceusa.com Tel 02-628-2000

Instagram :
advancesurfandsnow
Facebook :
Advance Marketing Inc.



BOOK・OFF®×SURF

次の乗り手へ 「受け継ぐ」

ブックオフは、スポーツ用品の取り扱いを始めて20年以上。
中古のサーフボード・ウェットスーツなどの販売・買取を行っております。

「多くの人に楽しく豊かな生活を提供する」
を企業ミッションとして掲げ、
「本」以外にも、様々なモノのリユースに
チャレンジしてきました。

モノを「捨てる」という行為は心苦しいですが
リユースを通じて、「**捨てずにすんだ**」という
気持ちの豊かさを提供したいと考えております。

次の乗り手へ受け継がれることで
**サーフィンをこれから始めようと
している人たちのお手伝い**をしたい。

私たちは、そう願っています。



ABOUT NSA

Nippon Surfing Association

日本サーフィン連盟ガイドンス

サーフィン検定や公認サーフィンスクール、
歴代の優勝者を記したコンテストアーカイブ、競技規定ほか、各種資格の取得方法など。
必ず覚えなければならない情報や知っておきたい
NSAに関する様々な情報が満載！

CONTENTS

100	NSA 会員について
101	NSA オフィシャル・サイト活用術
102	NSA FAQ
103	サーフィン検定とは
104	公認サーフィンスクール
105	目指せ公認指導員・海上安全指導員
106	公認ジャッジを取得するには？
107	公認ジャッジー覧
110	競技規定
114	プライオリティルール 戦略的に試合を運ぶための必須知識
115	コンテスト・アーカイブ



NSA 会員について

メンバーに登録して、安心して波乗りを楽しもう!

日本サーフィン連盟の会員に登録して、より充実したサーフィンライフを送りませんか?

各支部ではビーチクリーンやコンテストをはじめ、様々な活動をしています。

また、『YEARBOOK』やメンバー向けの無料波情報から、さらにサーフィン賠償責任保険まで、特典が満載です。

入会方法

NSA 会員には「正会員」と「オープン会員」の2種類があります。コンペティターとして腕を磨きたいなら正会員、ライフスタイルの一部としてマイペースにサーフィンを楽しみたいならオープン会員というように、スタイルに合わせて選んでください。

1

正会員

■ NSA 主催大会への出場を目的とされる方向け

年会費 一般：5,000円(2006年1月1日以降の生年月日の方：3,000円)

登録種目 ショートボード/ボディボード/ロングボード(各クラス)
※重複登録には1クラスにつき別途1,000円がかかります。

入会方法 1. 全国各地にある NSA チームから登録
※5人集めて新規チームを作ることができます
(その際、支部長の許可が必要)
2. NSA オフィシャルサイトより登録(その際、チームの許可が必要)

正会員の特典

特典 正会員なら各大会に参加出来ます!

①【NSA 主催大会】・級別選手権大会・ジュニアオープン選手権大会・全日本選手権大会
・マスターズオープン選手権大会

②【NSA 支部予選大会】

③【NSA 公認大会】
主催大会は4戦。バリエーション豊かな大会にご参加ください。全日本選手権大会は支部予選を勝ち抜いた精鋭選手が出場する歴史ある大会。(2021年度およそ1100名出場)

※各大会の詳細・出場資格・エントリー方法は大会毎に異なりますので、NSA オフィシャルサイトをご確認ください。

※各大会で獲得したポイントによって、NSA オフィシャルサイトのポイントランキングにお名前が掲載されます。



特典 サーフィン検定が4級から受験可能!

サーフィンの技量をチェックできる、サーフィン検定。1級～5級までのレベル別になっていて、正会員の方は5級免除で4級から受験ができます

2

オープン会員

■ 初心者～ベテランまで、海で安心してサーフィンを楽しみたい方向け

年会費 一般：3,500円

入会方法 1. 協力店の店頭で登録
※協力店は、オフィシャルサイトで確認できます。
2. NSA オフィシャルサイトより登録
※カード決済、コンビニ決済、郵便振込を利用してお申し込み可能

オープン会員の特典

特典 オープン会員なら級別選手権大会に参加出来ます!

①【NSA 主催大会】・級別選手権大会

②【NSA 公認大会】

級別選手権大会は、年齢の枠を超えた保持級別の大会です。サーフィン検定で合格された次に目指すのは「級別選手権大会」! あなたのエントリーをお待ちしています。
※各大会の詳細・出場資格・エントリー方法は大会毎に異なりますので、NSA オフィシャルサイトをご確認ください



会員共通の特典

特典 波情報サイトが無料!

NSA 携帯サイトで波情報を無料配信しています。
北海道～九州までの国内主要サーフポイントの波情報が無料でご覧いただけます。波情報をチェックして、サーフィンに出かけよう! 利用方法は右記QRコード、またはNSA オフィシャルサイト「会員案内」をご確認ください。



波情報利用方法ページ
QRコード

特典 サーフィン賠償責任保険が自動付帯!

(団体総合生活補償保険個胎型)

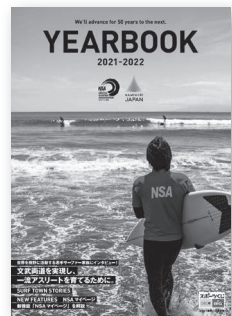
NSA 会員は全員、自動加入です。
補償内容は対人・対物が3,000万円限度



特典 年間誌『YEARBOOK』をお届けします! (年1回発行)

大会情報やトップコンペティターインタビュー、サーフィンに役立つ情報が満載です。

他にも……
・東海汽船 10%割引



いつもところに"one man one wave"で、安全なサーフィンライフを送りましょう!

※ 2022年4月1日現在



NSA オフィシャル・サイト活用術

オフィシャルサイトがリニューアルされて見やすく、使いやすくなりました。

全国のNSAの会員の皆様に向けて、大会&イベント、資格・検定など、サーフィンにまつわる様々なお役立ち情報を発信中です。大会の様子を動画で視聴したり、基礎知識から、競技規定などサーフィンのスキルアップに役立つ情報も充実。

さらに全国の支部、チーム、協力店の確認もできます。

マイページを登録することで、自分の情報を管理、NSAからのお知らせもスピーディにキャッチできます。まだ登録していないという方は、早めに登録を済ませましょう。



サイトマップ

ニュース

大会

スケジュール
ランキング
強化指定選手
各種大会について

資格・検定

スケジュール
サーフィン検定
ジャッジ
指導員
ISA ジャッジ
ISA コーチング
スクール指導員

活動

ビーチクリーン
スクール

会員案内

会員とは
正会員
オープン会員

基礎知識

競技規定
安全対策
ルール&マナー
基本用語
サーフィンの歴史

NSAについて

NSAについて
支部長一覧
チーム一覧
協力店一覧
各種申請
ALOHA STORE

Check !

ニュース

スケジュール変更など特に会員の皆様にお知らせしたい情報を随時発信。ニュースページは「すべて」「大会」「サーフィン検定」「資格」「会員お知らせ」「日本代表」「オリンピック関連」「お知らせ」「ショップ」と9つのカテゴリーに分かれています。カテゴリーを絞ると、必要情報を素早く確認できます。

大会

主催大会、公認大会、派遣大会のスケジュールが確認でき、各大会スケジュールから詳細ページへリンク。大会に出場している選手のポイントランキングや強化指定選手の確認ができます。

資格・検定

サーフィン検定や各種資格の試験・講習会の今後のスケジュール、また詳細情報、取得方法を確認。資格保持者の一覧も。

NSAについて

NSAの団体概要をはじめ、各支部長、チーム、協力店の確認ができます。

各種申請

会員の変更届など各種届出書類、支部予選の結果報告書、チームや協力店の登録内容変更届などがダウンロードできます。また大会開催時に役立つ各種ツールも格納されています。

ALOHA STORE

大会Tシャツ、大会に必要なジャッジペーパー、ホーン、ゼッケンのほか、NAMINORI JAPANグッズ、NSAオリジナルグッズなどが購入できます。

こんなページもあります!

波乗りジャパン オフィシャルサイト

波乗りジャパンサイトにリンクしています。

フォトギャラリー

主催大会やイベントごとの写真が一覧できます

FAQ

わからないこと、気になることがあったら、まずはここをチェック。今後さらに内容を充実させていく予定です。

プライバシーポリシー

個人情報の取り扱いについての詳細を記載しています。

お問い合わせ

FAQを確認してもわからないことがあれば、ここからお問い合わせフォームに記入し、NSA事務局へ送信することができます。

Check! こちらもチェック!



マイページの登録はお早めに!

正会員の方のマイページ機能

- ・大会参加履歴や自分のランキングが分かる
- ・スケジュール管理ができる
- ・波情報が見られる
- ・自身の資格情報が分かる
- ・会員証、資格認定証が見られる
- ・連絡先の変更がいつでも可能
- ・更新、申込や、その支払い状況が確認できる
- ・NSAからのお知らせなどが確認できる

オープン会員、資格、級検定のみお持ちの方もそれぞれのマイページ機能を利用可能



NSA FAQ

会員登録やサーフィン検定、保険など、各種手続き関係のこと、よくある「？」を一挙解説！
疑問を解決して、さらにNSAオフィシャル・サイトにある情報も確認、あなたもNSAマスターに！

会員・チーム登録について

Q 現在、オープン会員です。
途中で正会員に登録できますか？

A できます。全国各地のNSAチームから登録するか、新規チームを作って登録（チーム員を5名以上集め、支部長の許可が必要）することが可能です（会員種別の移行ではなく、新規正会員登録になります）。

Q チームってどんな活動をすればいいの？

A 所属支部の支部活動に参加、正会員の受付、チーム員の取りまとめなどをしていただきます。

Q チームを作るには？

A チーム員を5名以上集めて、チーム代表者（登録する支部エリア内に現住所を置いている必要があります）が、支部長が所有している「新規チーム申請書」に支部長の署名・捺印をもらい、NSA事務局に提出して下さい。また、支部活動に積極的に参加できることが必要です。

Q 現在所属しているチームから他のチームへ移りたいのですが？

A チームを移籍する場合は、移籍前後の両チーム代表者に申し出て「移籍届（※1）」を事務局に提出して下さい（支部変更を伴う場合は、支部長の了承が必要で、移籍時期が限定されます）。

Q チームと協力店の違いは？

A チームは正会員、協力店はオープン会員の窓口です。

保険について

Q 会員になりたいのですが、自宅のある場所と同じ支部でないと登録できませんか？

A ご自宅と所属するチーム（支部）が、異なるエリアでも登録できます。

Q NSAの保険とは？

A NSA正会員、オープン会員に付帯する「サーフィン賠償責任保険（団体総合生活補償保険個賠型）」です。詳細は、オフィシャル・サイトをご参照下さい。

Q サーフィン賠償保険の補償開始はいつからですか？

A サーフィン賠償保険は入金日の翌日から補償開始となります。

サーフィン検定について

Q 現在NSA会員でなくても、サーフィン検定は受験できますか？

A できます。正会員の方は5級受験が免除となり、4級から受験できます。受験方法についてはp.83をご覧ください。

Q 会員登録をやめると、取得した検定の認定級は取り消されてしまうのですか？

A 一度取得された認定級は、退会されても失効することはありません。保持している認定カードや認定証があれば、次級を受験することができます。

Q 事故が起きました。保険を利用する場合はどうすればいいですか？

A NSAオフィシャル・サイトにある「サーフィン事故連絡票（※1）」に事故内容をご記入の上、NSA事務局へFAXして下さい。保険会社より連絡がいきます。

その他のFAQはこちらから
オフィシャルサイトをチェック！



オフィシャルサイトにはよくある質問をカテゴリ別にまとめてあります。お問い合わせの前に、こちらをチェックしてみましょう。

（※1）NSAオフィシャル・サイトの「NSAについて」⇒「各種申請」ページをご確認ください。





サーフィン検定とは？

スキルアップにもつながる！ 技量を試す認定テスト

技術に応じて1～5級までの級を取得できるサーフィン検定。
大会を目指す方はもちろん、今の自分の技量を試してみたい方にもお勧めです。
合格者には、認定証と認定カードを発行します！
今後は、WEBライセンスカードの発行を予定しています。

自分のサーフィンのレベルを試してみよう！

サーフィン検定は、NSA各支部主催で春・秋季を中心に全国で開催されています。正会員、オープン会員、一般の方、どなたでも受験可能です。合格者にはNSAより認定証と認定カードを発行。あなたも挑戦してみませんか？開催場所や日程など詳細については、NSA オフィシャル・サイト サーフィン検定スケジュール ページをご覧ください。



サーフィン検定の流れ

1 受験受付・受験料支払い

会場にある受験者カードに住所、名前、支部名など必要事項を記入し、受験級ごとに受付を済ませます。受験料2,000円と証明写真（タテ4cm×ヨコ3cm）を忘れずに。4級以上を受験する際は、認定カードの提示も必要です（正会員は特典で5級試験免除）。記入した受験者カードと受験料2,000円を受付にお持ちいただき、受験級、ヒート番号、ゼッケンカラーを記入してもらい、それらを受け取り自分のヒートになるまで待機します。

2 テスト開始

初めにマスタージャッジから各級の合格基準の説明を受けます。自分のヒート前に、受験者カードをマスタージャッジに渡し、受験者は各自指示された受験級、ヒート番号、ゼッケンカラーを再確認し、マスタージャッジの指示に従い、いよいよ試験スタート！審査はNSA公認ジャッジ3名とマスタージャッジ1名にて行われます。受験者は1ヒート15分間（原則として）、6本のライディングが与えられ、合格と認められた時点で試験は終了。その後、マスタージャッジの指示で海から上がります。

3 可否の確認&認定手続き

試験終了後、ゼッケンを戻す際にマスタージャッジから可否の記入された受験者カードを受け取ります。その際、可否を問わずマスタージャッジから審査結果や演技の内容についてアドバイスを受けることができます。合格した場合、必ずその日のうちに合格印の押された受験者カードを受付に提出。そして認定料の3,500円（消費税込）（一律）を支払い、合格認定証（兼領収証）を受け取ります。

4 認定証の発行

受験日から約1ヶ月後、合格者には認定証と、認定カードが事務局より自宅に送付されます。合格すると、自分の名前入りの認定証等が送られてきます。（今後は、WEBライセンスカードの発行を予定しています。）



審査基準、合格基準がよりわかりやすく！

サーフィン検定1、2級審査方法の見直し

これからは、1、2級の審査基準、合格基準をわかりやすくするために、その年のジャッジクライテリア（基準）と採点スケールを導入して審査を実施します。審査はフリーライディングを行い、マキシマムウェーブの中で規定科目技量に達するライディングができれば合格とします。

【補足】以前の検定と比べて合格基準に変更はありません。採点スケール、ジャッジクライテリア（基準）はこれまでの合格基準をわかりやすく表現するための指標と考えてください。

■ロングボード、ボディボードについて

これまでロングボードではノーズライディング（ハングファイブ、ハングテン）、ボディボードはエルロロとフェイスでのフォワード、リバーズピンを取り入れることが1級または2級の合格条件となっていました。しかしながら、これらのメジャーマニューバーを取り入れて演技することがグッドスケール（2級）、エクセレントスケール（1級）に入るポイントを出すための“近道”といえます。その日のコンディションで合格するにはどのようなライディングが求められるか？マスタージャッジのアドバイスをよく確認して、検定に臨んで下さい。

サーフィン検定 規定科目技量・受験資格

級	要求される技術	受験資格
5級	・ある程度の泳力があること ・パドルングしてゲティングアウトできること ・テイクオフしてある程度サーフボードの上に立つことができること ・ボディボードはキッキングを使ってテイクオフし、ある程度ライディングができること	どなたでも受験できます
4級	・5級の能力に加えてテイクオフから確実なターンをし、プルアウトできること	5級取得者またはNSA正会員（5級試験免除者）
3級	・その日のコンディションに合わせたアバレージスケールに入るターンができることが合格の判断基準となる。 ・テイクオフからレールを使ったターンで加速できること ・カットバックもしくはリエントリーができること ・ボディボードは、上記の技術に加え、スピニングまたはエルロロができること ・ロングボードは、上記の技術に加え、ウォーキング、ウォーキングバックができること	4級取得者
2級	・その日のコンディションに合わせたグッドスケールに入るライディングができることが合格の判断基準となる。 ・フリーライディングで、スピード、パワー、フロー、コントロールなどをジャッジクライテリアに沿って審査する	3級取得者
1級	・その日のコンディションに合わせたエクセレントスケールに入るライディングができることが合格の判断基準となる。 ・フリーライディングで、スピード、パワー、コントロールなどをジャッジクライテリアに沿って審査する ・2級以上の積極性、波を見る能力、ポジショニングなども審査の対象となる	2級取得者

Check! サーフィンスクールでも検定にチャレンジできます！（4級、5級対象）

スクール審査員が開催するNSA公認スクールでも、サーフィン検定を受験できます。公認スクールで腕を磨いて、どんどん検定に挑戦しましょう。詳しくはNSA オフィシャル・サイト「サーフィンスクール一覧」をご覧ください。
<https://www.nsa-surf.org/school/list/>



公認サーフィンスクール

全国各地で開催。初心者はお勧め!

日本サーフィン連盟の公認スクールは、海の知識と経験が豊富な、公認指導員資格を持ったインストラクターが親切丁寧に指導します。保険も適用されるため、安心して参加することができます。特に初心者の方におすすめです。

資格保持者が指導するから、安全で的確!

日本サーフィン連盟では、より多くの人にサーフィンを安全に楽しんでもらえるように、海におけるルールやマナーの普及に努めています。その一環として、“公認指導員”の講習会を毎年実施し、サーフィンインストラクターを養成、認定しています。インストラクターは、“海上安全指導員”の資格も持ち併せているため、海での安全に対する知識が豊富な点も重要なポイントになります。現在、日本全国に約500名の資格保持者がおり、NSA公認スクールのインストラクターとして活躍しています。なお、スクールの開催日程、場所などの詳細についてはNSA オフィシャルサイト、<https://www.nsa-surf.org/school/>をご覧ください。



公認スクールには、たくさんのメリットがあります!

其の1 “公認指導員”が丁寧に教えてくれる!!

インストラクターは、日本サーフィン連盟が開催する講習会を受けたNSA公認指導員。初めてサーフィンをする方はもちろん初心者の方、さらには中級者、上級者の方に向けたスクールもごございます。わかりやすく丁寧に教えてくれます。



其の2 保険が適用される!!

NSA公認スクールでは、スクール中の万一の事故に備えて、スクール受講者に対し傷害・対人対物の保険に加入しています。万一の事故に備えて保険が付いてくることも、安心して受講できる嬉しいポイントですね。



其の3 “海上安全指導員”の資格を持っている!

(一財)日本海洋レジャー安全振興協会が行う人命救助の方法や、海象、気象に関する講習を受け、海上安全指導員の資格を取得したインストラクターがスクールの指導にあたります。海の知識と経験を備えたインストラクターが指導してくれるので、初めての方でも安全、安心です。



其の4 全国各地で開催!

NSA 公認スクールは日本全国各地、約50か所で行われています。お近くのスクールでお気軽にご参加ください。

其の5 WEBで日時、会場を簡単に検索!

NSA オフィシャルサイト (<https://www.nsa-surf.org/school/list/>) にNSA 公認スクールの開催日を掲載しています。ご都合、開催日時に合わせて検索可能です!

主催サーフィンスクール&プールスクール

子供たちの笑顔あふれるサーフィン体験教室! お気軽にご相談ください!

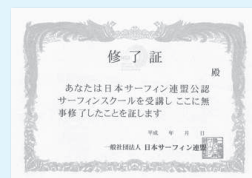
日本サーフィン連盟では、各自治体と協力しながら「主催サーフィンスクール」や、小学校などのプールを利用して授業の一環として「プールでサーフィン体験会」などを開催しています。

NSA 公認指導員や支部の皆さまが中心となり、サーフィンを安全に、そしてプールではより身近に、楽しみながら普及させる注目のプログラムです。支部や自治体の皆さまのご要望がございましたら、お気軽にNSA事務局の企画委員会までお問い合わせください。



其の6 “スクール修了証”がもらえる!

NSA 公認スクールに参加した後は、修了証が授与されます。是非、皆さん参加してみてくださいね!



其の7 “サーフィン検定”にチャレンジできる!

スクール審査員がいる公認スクールでは、サーフィン検定の受験ができます(4級、5級対象)。開催されているスクールや受験条件など、詳しくはNSA オフィシャルサイトのサーフィンスクールページをご覧ください。



目指せ公認指導員・海上安全指導員

“海のエキスパート”を目指してみませんか？

自然をフィールドとするサーフィンにおいては、様々な知識や経験が非常に大きなウェイトを占めます。だからこそ、常に学び続けることが重要です。サーフィンという素晴らしいさをもっと多くの人たちに知ってもらうためにも、“海のエキスパート”を目指してみませんか？

海やサーフィンについての知識を深めよう！

サーフィンを楽しむために、初級者、上級者を問わずにたくさんの方が海に集まります。ひとつの海を皆で共有し、安全にサーフィンを楽しむためにはどうしたらいいのでしょうか……？ 日本サーフィン連盟が毎年行う“海上安全指導員および公認指導員講習会”では、サーフィンの技術、知識、マナーの向上だけではなく、海象、気象や人命救助など、海に関わる様々な知識を習得することができます。サーフィンの知識をいま以上に広げたい、波乗りを楽しむための技術やマナーを正確かつ安全に指導したい、海に関わる様々な知識を習得したい、そんな方にもおすすめです。少しでも興味のある方は、是非とも講習会に参加してみたいはいかがでしょうか。



■公認指導員・サーフィン海上安全指導員 受験要項

	公認指導員	海上安全指導員
試験開催予定期間	年1回実施、おおむね2～3月に開催	※NSA公式サイト等で告知予定
受験資格	25歳以上で、以下のいずれかに該当する者 なお、受講にあたってはサーフィン海上安全指導員講習会の受講・登録を条件とします（既に有効な同資格を所持する方は除きます） ・支部長経験者 ・前年度全日本サーフィン選手権大会出場者 ・NSAサーフィン検定3級以上 ・JPSA・JPBA公認プロ ・支部長もしくは理事の推薦を受けた者（書類審査可） ※サーフィン海上安全指導員とNSA公認指導員は同時に取得可能です	25歳以上で、以下のいずれかに該当する者 ・サーフィン活動経験が3年を超える者 ・一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会が適当と認めた者 ※サーフィン海上安全指導員の認定は、一般財団法人日本海洋レジャー安全・振興協会が行う
必要書類	・公認指導員講習会申込書および海上安全指導員講習会申込書（申込書はWEB入力に変更場合があります。詳細はNSA公式サイトにてご確認ください。） ・写真（タテ4cm×ヨコ3cm）1枚 ※3か月以内の撮影で無帽、本人単身	
学科試験の内容	サーフィンに関する技術知識 サーフィンに関する一般常識 ルール&マナー 初心者への指導および救急法	海上安全指導員の制度、業務、心得について サーフィン事故の実態および原因について 日本付近の気象について 日本沿岸の海象について 救急法
実技講習の内容	救急法、人命救助について	救急法、人命救助について
取得後の活用先	NSA公認スクールの実施 初心者へのサーフィン技術およびマナーの指導	一般サーファーに対する事故防止およびマナーの指導
受験費用	受講料 8,000円＋消費税 認定料 5,000円＋消費税 更新料 3,000円＋消費税（3年間有効）	受講料 2,000円 認定料 3,000円 更新料 5,000円（3年間有効）
申し込み方法	詳細はNSA公式サイトをご確認ください	
問い合わせ先および更新手続き先	一般社団法人 日本サーフィン連盟 事務局 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 10F ☎03-6434-7341 FAX 03-6434-7795 E-mail: info@nsa-surf.org	一般財団法人 日本海洋レジャー安全・振興協会 安全事業部 〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町4-43 A-PLACE 馬車道9F ☎045-228-3066

※従来は学科講習・実技講習・試験を同日に開催していましたが、2021年・22年に実施したVOD（ビデオ・オン・デマンド）講習と、実技講習および試験の人数制限を、今後も継続の方向で検討しています。詳細はNSA公式サイトをご確認ください。

『公認指導員一覧』はNSA公式サイトに掲載しています

こちらをご覧ください ▶▶ NSA TOP > 資格・検定 > 指導員 <https://www.nsa-surf.org/license/instructor/>



公認ジャッジ資格を取得するには？

ジャッジとして大会運営に参加しスキルアップを目指そう！

各支部の大会はもちろん、NSAの主催大会でジャッジを経験することで、選手として、勝つためのスキルを会得するキーポイントをみつけることができます。まずは講習会に参加して、審査基準などジャッジの基礎を学んでみましょう。

ジャッジとして大会で活躍してみよう！

選手たちが日頃の成果を競い合うサーフコンテスト。そんな真剣勝負の舞台で重要な役割を担うのがジャッジ。競技ルールを熟知して、どのサーファーに対しても平等な判定を行うことが求められる立場です。NSA主催の公認ジャッジ講習会では、日々変化するサーフィンの傾向、ヒートでの審査基準、優先権や妨害に関する細かいルールまで、実際の大会現場で撮影された映像を交えながら解説しています。また講習会では、勝敗を左右するキーとなる要素から、ベーシックな質問などにもお答えします。NSAの公認ジャッジ資格はA、B、C、Dの4段階に分かれており、満20歳以上のサーフィン、またはボディボード経験者ならば、どなたでもチャレンジできます。



■公認ジャッジ講習会・資格試験 受験方法

開催日時	秋季講習会 / 資格試験 2022年12月11日(日)会場: 東京、大阪予定(日程、会場含め調整中) 春季講習会(試験なし、秋季に受験・受講できなかった公認ジャッジの方や選手や一般の方の学習のために開催しています)2023年2月～3月予定 ※詳細は決定次第NSA オフィシャル・サイトに掲載します			
受験資格	A 級ジャッジ	B 級ジャッジ	C 級ジャッジ	D 級ジャッジ
	B 級ジャッジ保持者	C 級ジャッジ保持者級	D ジャッジ保持者	受験日までに満20歳以上であるサーフィン及びボディボード経験者
	C 級以上の受験は所属支部長またはNSA ジャッジ委員の推薦が必要			
必要書類	受験／受講申込書(NSA オフィシャル・サイトから入手できます) ※詳細は決定次第 NSA オフィシャル・サイトに掲載します			
学科試験の内容	映像問題、筆記問題、集計問題			
取得後の活用先	NSA 主催大会、NSA 支部大会、NSA 公認大会、サーフィン検定など			
受験費用	受講料(講習のみ)3,000円+消費税／受験料(講習+受験)6,000円+消費税 合格認定料 5,000円+消費税(合格時に納入) ※資格試験のみの参加はできません			
申し込み方法	詳細はNSA オフィシャルサイトに掲載しますのでご確認ください			
問い合わせ先	一般社団法人 日本サーフィン連盟 事務局 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 10F ☎ 03-6434-7341 FAX 03-6434-7795 E-mail: info@nsa-surf.org			
更新について	【更新資格】 ジャッジ資格の維持には、資格を取得または更新後3年間(有効期限内)に下記いずれかを済ませることが必要です。 1. 公認ジャッジ講習会を受講する 2. ジャッジ資格試験を受験する(合否は問いません) 3. NSA 主催大会のジャッジを務める ※次回更新を迎えるのは、資格有効期限が2023年3月31日の方です。 【更新方法】 事務局からお届けするメールもしくは郵便の更新案内に沿ってお手続きください。 ※住所変更された方は事務局にご連絡ください。(お手元にご案内が届いていない場合でも、更新案内はNSA オフィシャル・サイトでご確認ください) 有効期間 / 3年 資格更新料 / 3,000円+消費税			

『資格詳細』『公認ジャッジー覧』はNSA オフィシャルサイトに掲載しています
 こちらをご覧ください ▶▶ NSA TOP > 資格 > ジャッジ <https://www.nsa-surf.org/license/judge/>



公認ジャッジ一覧

豊富な経験に裏打ちされた知識を持ち、コンテストを支えるエキスパート

コンペティションに必要不可欠なジャッジの方々。

実際のコンテストでのジャッジ経験、難しいペーパーテスト、

ビデオ講習を経てNSAが公認するA級からD級までのジャッジ資格を有する方々を紹介。

※ 2022年4月1日現在

A級		岡島 宏盛	熊谷 航	高橋 幸	浜村 昭雄	村松 泰治	有賀 裕芳	風見 一成
あ		尾形 明彦	熊倉 栄一郎	高橋 雄治	林 明弘	室原 真二	伊熊 哲也	柏原 美保子
青木 泰樹	緒方 廣秋	黒木 保	滝川 直人	原 安澄	森岡 浩司	森岡 浩司	伊熊 優美江	加藤 孝紀
青木 優之	岡野 孝親	黒田 健司	竹内 栄治	原川 貴秀	森 照行	森 照行	池内 悟	川内 美和
青山 弘一	岡本 准	軍司 薫	武田 学	春田 勝也	森永 健太郎	森永 健太郎	池田 正一	河邊 伸祥
我妻 雅俊	小川 直行	小口 勝裕	武知 和一	備前 貴晶	森山 貴幸	森山 貴幸	池田 千昌	河村 秀樹
浅井 賢治	小川 文夫	小坂 和史	谷口 絵里菜	平田 輝志	や	や	石尾 将憲	川村 真代
浅野 直哉	小川 喜之	小柴 範彦	谷口 比呂志	平野 篤史			石川 優至	菊地 信次
安部 彩子	奥野 しのぶ	小島 伸之	塚脇 義治	平野 恵之	柳沼 祐一	柳沼 祐一	石川 理恵	貴志 昌生
新井 みゆき	小嶋 大地	小谷 和宏	辻岡 啓行	平本 利明	矢口 隆幸	矢口 隆幸	石田 克浩	北川 奈巳代
有田 卓也	小野 誠	後藤 久美子	津田 俊一	平山 孝継	矢沢 浩一	矢沢 浩一	伊地知 卓也	北川 裕輔
飯尾 進	小野 正徳	琴浦 信敬	土田 高史	廣瀬 雅也	谷田部 由佳	谷田部 由佳	石塚 善博	鬼頭 達也
飯塚 徹	小野 泰司	小西 真弘	土山 英二	廣田 馨	柳瀬 憲治	柳瀬 憲治	板倉 智樹	木村 圭佑
飯野 静夫	小畑 幸毅	小山 東也	都築 裕二	廣田 健志	矢作 広雄	矢作 広雄	井田 さつき	久木山 洋平
飯森 和雅	小浜 明	近藤 弘志	寺内 優佳	福田 晃久	山内 謙治	山内 謙治	市川 博信	草深 梨加
猪狩 優樹	か	さ	寺尾 恵一	福原 宏之	山口 英夫	山口 英夫	一色 剛彦	久手堅 隆
石川 英雄			寺門 剛	福森 智広	山口 泰史	山口 泰史	伊藤 男鹿	工藤 俊勝
石塚 晃一	明松 輝壮	斎藤 学	時田 史人	藤井 聡	山口 正道	山口 正道	伊藤 伸	倉本 哲義
猪塚 弘史	笠原 幹也	齊藤 宏一	徳永 修一	藤井 孝之	山崎 信男	山崎 信男	伊藤 徹弥	郡司 路也
伊藤 和重	榎田 栄行	酒井 厚志	な	藤井 辰緒	山下 明男	山下 明男	伊藤 義隆	光管 敦司
伊藤 裕一	梶 直也	佐久間 正明		藤間 弘樹	山本 晴正	山本 晴正	稲葉 昌義	小枝 友蔵
糸数 守	柏原 亮介	佐佐木 清治	永井 康之	舟瀬 正満	山本 秀行	山本 秀行	井根口 理恵	小城 芳江
井上 政美	加瀬 賢一	貞森 泰明	中川 毅史	星 利成	山本 博	山本 博	猪木 敏子	後藤 英正
井本 公文	片岡 弘一	佐藤 克哉	仲 恵一	細井 隆	山本 昌仁	山本 昌仁	岩田 信彦	小林 賢治
岩井 朋宏	加藤 弘一	佐藤 弘一朗	長崎 寛	細田 壽久	山屋 章	山屋 章	岩本 功史	小林 敏博
岩崎 明	加藤 誠	澤田 整彦	中国 菊乃	細田 智康	吉田 主税	吉田 主税	上野 剛	小林 真由美
岩本 和樹	加藤 政一	澤地 聡一	中西 勉	堀川 彰	吉田 勉	吉田 勉	氏家 隆	小山 哲治
上田 浩史	加藤 昌樹	沢根 伸一	中野 里美	堀川 建裕	吉富 亮介	吉富 亮介	江刺 勝也	紺野 紀義
宇梶 祥弘	加藤 正光	残間 祥夫	長野 徹	ま	わ	わ	逸藤 健一	さ
宇佐美 寿雄	金子 隆祐	穴戸 健太	中村 慎治				大井 七世美	
内田 美智子	金子 博幸	柴野 美穂	中村 義浩	前川 雅典	若林 茂基	若林 茂基	大久保 孝一	青藤 章
内海 義彦	金田 竜	島川 義邦	中村 里香	前田 淳	脇田 久美	脇田 久美	大瀧 忍	斎藤 新一
宇野 真一	鹿岡 雅博	島田 仁史	中目 郁彦	牧 裕亮	涌井 路代	涌井 路代	太田 憲智	斎藤 朋美
宇野山 明	上村 貴志	志村 俊幸	新居 徹也	松川 仁	渡辺 勝幸	渡辺 勝幸	大野 和光	青藤 裕
馬地 憩	亀井 雄矢	白井 純	新納 達也	松田 敦司	渡辺 慶士	渡辺 慶士	大場 賢二郎	酒井 佳苗
梅田 政嘉	河田 透	白土 勝久	新居 昌也	松平 信賴	渡辺 純一	渡辺 純一	大島 崇	坂田 淳司
江川 崇之	川畑 匠平	末政 昭人	西村 純一	松田 享	渡辺 広樹	渡辺 広樹	岡田 年生	坂本 博之
恵利 正	川村 昂史	菅原 和巳	仁平 正彦	松永 哲也	渡辺 学	渡辺 学	岡村 達也	佐川 幸男
及川 伸幸	神田 昌則	鈴木 和幸	能丸 武徳	松橋 正幸	渡辺 優輝	渡辺 優輝	小鴨 範幸	櫻井 亮太
及川 龍寿	菊田 隆一	鈴木 雅彦	野口 明弘	松本 幸三	B級	あ	沖田 直幸	佐藤 公一
大石 正輝	菊田 雪秀	関口 哲央	野口 泰男	松本 多恵子			荻野 克則	佐藤 信行
大川 国博	岸上 哲也	瀬戸 博光	野田 裕美	丸山 聡史	あ	あ	小倉 章弘	佐藤 裕之
大川 浩人	北川 幸	荻澤 豊	登 俊裕	水上 隆晴			小倉 一人	佐藤 満
大崎 壮	北川 俊之	相馬 誠	野村 昌宏	水野 徹	相原 佐斗也	相原 佐斗也	尾崎 篤	佐藤 康成
大下 真一	北村 貴彦	は	は	南野 進	青山 雅哉	青山 雅哉	小山西 鉄夫	佐藤 義美
太田 賢司	清岡 友美			宮崎 郁美	赤崎 聡美	赤崎 聡美	小田中 弘	三中西 聡
大田 達三	木龍 伸尚	た	橋本 直也	宮本 篤	秋山 学	秋山 学	小野寺 智	島田 健斗
大谷 英城	工藤 勇	大海 英一	長谷川 茂	宮本 雅司	浅井 康之	浅井 康之	小野寺 純一	島津 一美
大場 直樹	久野 実	高岡 敦	長谷川 寿郎	三輪 真一	浅野 三枝	浅野 三枝	小野寺 真幸	志村 貴司
大久 穰	熊谷 透	高岡 好信	長谷川 由美	宗像 富次郎	油谷 知幸	油谷 知幸	阿部 昌樹	下田 泰成
大山 和幸	熊谷 英明	高木 剛	畑中 正明	連 祐三	阿部 昌樹	阿部 昌樹	阿由葉 満春	十文字 智恵
	熊谷 素子	高塩 智	濱岡 久雄	村野 博幸				
		高野 舞依子						

進藤 和直	鍋田 慎介	わ	大谷 修史	栗原 一明	鈴木 鮎美	中里 義雄	松本 望希
新屋 明宏	西澤 慎也	若杉 和将	大月 久	栗本 和宏	鈴木 一也	中澤 拓摩	松本 雄一
菅原 勇一	西田 好潔	若松 成樹	大畠 正彦	黒川 豪	鈴木 和由	中島 大吾郎	松本 良洋
杉浦 大輔	西村 明	和田 敏康	大山 弘晃	黒宮 康志	鈴木 敏幸	中島 幸乃	三浦 美友紀
杉村 竜一	野上 悦子	渡邊 改	岡 邦宏	五上 恭資	鈴木 智哉	中新 茂	三浦 勝己
杉本 隆哉	は	渡邊 和也	小笠原 早苗	小袖 伸也	鈴木 直子	中田 大	三浦 史博
鈴木 敦	橋本 淑希	藁科 剛	岡田 浩司	後藤 敏裕	鈴木 寛之	中野 宏己	三木 剛彦
鈴木 一隆	長谷川 章之		岡田 光平	小林 奈美	鈴木 文男	仲野 芳孝	右松 義康
鈴木 康二	長谷山 裕明	C級	岡野 克彦	小林 正樹	鈴木 賢一	中畑 貴博	水谷 浩市
鈴木 孝宏	濱口 伸晃	あ	岡安 淳	小林 渉	瀬川 俊輔	長濱 健治	道倉 昭敏
鈴木 優美	濱野 良	青柳 剛基	小川 武秀	五味 雅恵	関口 治彦	長浜谷 力丸	三石 京
関口 嘉雄	林 春輝	青山 俊一	小川 征男	小宮山 秀行	関根 康丘	中村 彰良	宮阪 晴夫
染川 廣	林 啓美	赤松 隼	沖本 潤	小柳 伸一	関 宏	中村 直樹	宮崎 有一
た	原田 泰三	浅野 豊喜	荻原 弘章	小山 栄	草原 美紀	中森 和美	宮下 賢治
多賀 勝宏	原 雅毅	安達 新一郎	小楠 啓介	さ	染谷 竜一	中谷 康祐	宮島 良太
高瀬 俊明	平岡 佳子	安達 洋平	小黒 操	た	高井 亜矢子	中山 英樹	向井 裕美
高野 利博	平田 栄治	阿部 三緒里	小崎 宗大	齋藤 史朗	高木 亜希子	名波 茜	村上 悠紀
高橋 麻子	廣内 祐介	安部 互	小澤 隆幸	齋藤 智	高杉 秀樹	新谷 信行	村田 和記
高場 大亮	福原 なるみ	荒井 信好	小嶋 啓之	斉藤 房子	高野 和男	野澤 幸太	村田 義篤
瀧川 勝雄	福世 一市	新井 将和	小野 嘉夫	斉藤 麻貴	高野 親一	は	持井 勝
瀧口 孝平	藤江 務	新川 正治	小野 貴史	坂上 善崇	高橋 哲	萩原 かおり	本山 秀樹
滝口 英顕	藤原 奈奈子	荒木 諭	小野田 政宏	坂本 一実	高橋 康国	橋本 元気	森田 光明
滝橋 勝見	船橋 信昭	飯塚 麻以	折居 茂	坂本 久美	高松 登志男	橋本 英宏	森 昌士
瀧澤 圭司	古沢 優子	壹岐 聡美	か	佐久間 由佳	瀧野 岳	畑中 孝昭	森 正利
武田 哲也	ま	池田 弘	香川 聡志	佐々木 憲司	田口 和哉	波多野 耕二	森谷 健一
武田 守弘	牧尾 淳	石井 忠宏	河西 孝	佐々木 健浩	田口 美加	服部 友秀	や
武知 実波	牧野 直	石川 潤一	梶 昭子	佐々木 正人	竹内 弘之	浜崎 千佳	八島 淳
田島 孟	増田 章司	石川 良子	加嶋 裕介	佐々木 美菜子	竹内 洋輔	濱野 義仁	安井 祥哲
多田 憲由	松浦 勝久	和泉 博己	加藤 工	佐々木 律子	武田 晃	林 昭男	山岡 剛久
館上 典寛	松浦 巧樹	井芹 謙勝	加藤 真弓	佐藤 晃子	武知 虎南	林 俊行	山賀 幸一郎
田中 大輔	松岡 英行	板橋 省二	金子 智一	佐藤 亜海	武山 靖	原田 尚一	山岸 邦司
田中 康成	松岡 宏信	市澤 圭一	金子 有一	佐藤 絵美	田代 晃一	原田 義隆	山口 友香
田中 勇樹	松岡 隆司	出井 歩	神谷 真理子	佐藤 修	多々良 剛	比嘉 恵美子	山坂 信尚
種谷 渉	松下 清喜	伊東 勝彦	河合 隆宏	佐藤 幸樹	立石 毅	兵藤 雅也	山崎 邦弘
田原 貞博	松永 直美	伊藤 健一郎	河合 妃富美	佐藤 功二	立山 晃一	平川 義宏	山崎 智恵美
玉手 博之	水野 広二	伊藤 岳志	川口 一樹	佐藤 伸哉	田中 利明	平野 暁	山崎 朋哉
田村 智和	溝上 晋三	伊藤 秀幸	川瀬 文也	佐藤 秀男	田中 直也	平山 直人	山田 悟
塚本 久美子	溝田 幸作	伊藤 正貴	河谷 政信	真田 昌彦	田中 英男	深井 隆史	山田 智子
土屋 治雄	三井 清美	井上 淳	川辺 浩	佐野 十志哉	田辺 絵里葉	福澤 拓磨	山本 重一
釣田 克則	南出 繁郎	井ノ内 浩貴	川村 幸信	座間 浩	谷 健太郎	福田 純也	山元 智博
出川 郁雄	向井 徹	猪股 春樹	菅野 琢弥	志手 貴典	谷 昌樹	福田 昌弘	横田 衛
遠山 智喜	向井 成実	今川 彰	木内 秀明	柴田 学	谷本 国弘	福田 雅博	横山 公洋
遠山 唯	森 匠平	今野 友香子	木内 保夫	渋谷 真紀子	田村 聡美	福田 まゆみ	吉田 勝利
時田 一央	森 珠実	岩本 寛也	菊田 淳一	島田 伸一	地原 誠	藤島 宏幸	吉田 健太郎
年永 賢司	森 泰人	上野 譲二	菊田 雅彦	清水 智子	冨士田 善之	冨田 智貴	吉田 英樹
豊島 博基	や	上野 文二	木下 治	志村 実	藤原 智貴	舟部 賢一	吉田 未来
鳥原 志保	屋敷 信弥	上原 健太郎	岸 俊朗	珠久 真純	地福 達也	平藤 賢治	吉田 幸弘
な	安本 陽一	内田 由紀子	岸野 佐知子	珠久 泰樹	塚本 なおみ	星 智	吉田 芳隆
猶原 拓也	矢吹 和明	宇野山 達也	氣仙 大樹	城戸 英人	槻木 香	細川 博之	芳村 美香
中井 敏也	山口 剛	梅田 永正	木太久 要	白川 眞	辻 範也	本間 格	米田 彰博
永井 恵	山口 靖	梅津 直貴	北村 あき	白岩 智広	弦田 勢	ま	龍 浩史
永江 亨	山崎 雄仁	江口 理絵	木村 尚希	白水 義人	出口 忠生	前原 竜太	わ
中川 晃一	山田 恵輔	江端 幸男	木村 愛美	新川 健二	手登根 恵梨	増岡 政彦	若林 隆幸
中里 耕士	山田 尚子	遠藤 清治	清川 太郎	菅原 俊彦	徳田 孝蔵	益田 和俊	和田 尚記
中里 忠	山中 守	及川 貴史	国広 計年	菅原 利美	富岡 展央	益淵 貴志	渡辺 真通
長嶋 徹	山本 綾子	大石 悟嗣	窪田 成	杉村 涼子	友重 達郎	増淵 貴志	渡辺 陽子
仲宗根 良泰	横山 将明	大角地 一美	熊谷 聡朝	杉本 裕樹	豊田 力	増山 茂一	和田橋 勝
中原 彰二	吉田 昭	大浴 麻友美	工門 真二郎	杉本 浩	な	松浦 美沙	
中溝 朋延	吉田 享代	大沢 一喜	栗田 勝弘	杉本 昌満	長岡 新一郎	松尾 英次	D級
中村 康宏	吉田 憲正	大下 剛	栗田 早苗	杉山 経太	長尾 孝宏	松下 和徳	あ
夏目 崇史	吉田 光砂紀	大集 清司	栗田 成実	杉山 圭子	中里 美和	松本 貴志	相田 伸平
				須郷 武史			

OFFICIAL JUDGE

青木 大幸	内田 亮次	兼松 稔	佐川 美幸	高橋 由美子	中野 貴史	平野 勝也	森 香織
青木 航洋	宇野 誠則	鎌田 出	櫻田 友明	高見 智也	中野 充孝	平林 雄己	森重 輝隆
青木 潤也	浦谷 秀彦	神谷 高志	佐古 高晴	田上 さくら	長浜 聡	平山 栄典	森島 健一
青木 末利	浦野 秀隼	龜山 仁	佐々木 康太	田川 剛	中村 純	廣岡 隆幸	森田 裕幸
青木 保尚	江藤 佐知子	河合 雅人	佐々木 成輝	瀧内 裕	中村 俊幸	深澤 孝博	森 宣仁
青田 秀人	江藤 寿紘	川合 昌司	佐々木 英之	瀧沢 智司	仲本 隆	深澤 智子	や
青柳 和宏	榎戸 崇人	河相 安彦	佐々木 康直	田口 康平	永山 定利	福田 空	矢賀 健一
赤井 道信	江野澤 剛	河野 達也	佐多 澄久	田口 秀樹	中山 隆之	福田 修子	安井 祐介
赤塚 勝己	遠藤 重雄	川畑 衛	佐藤 亜矢子	武石 優子	名取 剛	福田 正樹	安田 誠
赤羽根 正久	遠藤 司	河本 政男	佐藤 英二	武石 泰幸	滑川 織美	藤石 智也	安田 瑞穂
赤堀 温知	遠藤 佳子	菊地 大輔	佐藤 健人	竹内 雅之	縄田 英樹	藤島 俊徳	楊原 勝史
秋田 憲幸	大内 和久	菊地 泰博	佐藤 哲弥	竹内 学	新島 隆	藤田 祥輝	藪野 孝浩
秋山 弘之	大川 浩一	北島 龍秀	佐藤 久展	竹田 暁洋	新館 力	古橋 理	山内 健次
浅井 政吉	大沢 康	北田 宏明	佐藤 秀樹	武田 訓明	新谷 信之介	古屋 俊一	山岸 秀彰
芦澤 崇	大島 希	北田 隆大	佐藤 史謙	武田 まゆみ	西岡 輝浩	祝田 健一	山崎 協
安達 一典	大住 華絵	喜田 裕二	佐藤 正麗穂	竹原 由佳	西川 まな美	星 青児	山崎 大蔵
阿部 徹	大曾根 有美	木内 美和	佐藤 まり子	立花 正憲	西出 紀子	堀井 哲	山崎 秀幸
阿部 博敏	太田 健一	木下 正樹	佐野 泰弘	龍見 奈美	西村 望東	堀川 友恵	山崎 裕二
新井 勇	太田 修	木村 祐介	澤田 陽子	田中 勇吉	西本 裕美	本間 元	山下 剛
荒井 正義	大槻 文彦	楠山 憲道	椎名 秀樹	田中 順子	野上 夏美	ま	山下 智弘
安地 正人	大西 麻美	工藤 誠史	椎名 真己	田中 京子	野坂 寅輝	前島 茂雄	山下 裕紀子
安藤 勝教	大庭 哲浩	久野 孝	椎野 桂	田中 浩司	野末 恭久	榎木 竜二	山田 圭子
安藤 正太郎	大貫 誠一	久保木 克也	椎野 直樹	田中 大介	野林 大祐	眞境名 隼人	山田 健一
飯田 亘	大沼 潤一	久保 憲司	志田 雄也	田中 宏昌	能村 一憲	増川 達也	山中 海翔
五十嵐 浩司	大野 和也	久保田 晃弘	篠木 美徳	田中 政広	は	間杉 沙織	山村 猛
井川 洋平	大橋 真利	久保田 栄	四戸 達訓	田中 美和子	萩本 匡洋	増田 大樹	山本 真来央
井口 晃一	大平 新	久保 英明	柴田 泰代	田中 弥寿雄	階上 猛	松木 祐二	山本 千代
池田 泰平	大淵 義洋	熊倉 一真	柴田 優拓	田辺 祐二	橋本 尚子	松崎 千里	山本 直人
池田 直樹	岡崎 大悟	栗原 崇	清水 裕之	谷井 大文	長谷川 三奈子	松野 真一	山本 友紀
石井 秀明	小笠原 貢	栗本 裕史	下田 秀一	田沼 亮	長谷川 良治	松本 学	山本 陽一
石井 宏志	岡田 馨太郎	黒川 二三子	社本 博行	田村 健二	波名城 優	三島 成夫	横澤 満樹夫
石岡 佳祐	岡田 徹也	黒川 直之	庄司 隆晴	田村 孝司	馬場 直	水口 有	横田 昌之
石川 真利佳	尾形 昌義	黒川 晴美	白井 豪	田村 亮	馬場 春樹	水澤 雅人	横山 泰二郎
石田 昌彦	岡林 良太	小池 康之	白岩 正行	千野 高夫	濱口 玲	水野 恵一	横山 光晴
石田 佳央	岡部 文大	後石原 靖	進士 吉廣	千葉 隆生	濱村 勇一	水元 勇樹	吉岡 奈美
石橋 克弘	奥永 浩仁	小浦 修	菅崎 銅一	千葉 拓磨	早川 美広	三井 輝彦	吉澤 めぐみ
泉谷 幸子	奥 秀太	郡山 馨	杉澤 嘉洋	鎮田 和仁	林 淳一	緑川 正章	吉田 勝幸
磯崎 直子	小椋 浩一郎	狐崎 貴耶	杉山 雅紀	塚本 竹美	林 真司	南 栄雅	吉田 淳也
市川 誠二	尾崎 賢	後藤 毅	鈴木 秀紀	塚本 真佐樹	林 高弘	峯 勝彦	吉留 拓磨
一ノ瀬 さゆり	尾崎 俊昭	五島 牧子	鈴木 国雄	塚本 泰彦	原田 栄一	宮 豊和	吉永 充甫
一案 弘徳	小嶋 翼	後藤 裕一	鈴木 太一	辻郷 忠	原田 和行	宮川 英士	米内山 浩治
伊藤 陽介	小高 洋平	後藤 留美子	鈴木 智諭	土田 純菜	原田 浩二	宮川 勝	与那覇 裕康
糸数 辰徳	小田島 友理江	小林 功	鈴木 久恵	土屋 直子	原田 定宣	宮崎 みき	米田 達司
糸川 友規	小野 公明	小林 章子	鈴木 秀和	鶴島 正明	針谷 裕子	宮沢 恵美	米山 実乗
稲垣 勇	小幡 直矢	小林 徹	鈴木 学	寺嶋 一成	春田 浩司	宮沢 晴久	わ
稲葉 進	か	小林 理砂	鈴木 優子	照島 伸康	春山 朗	宮下 桂	脇阪 義博
今井 宏樹	折笠 暢志	小淵 佳奈	陶山 英治	東坂 亮佑	半澤 孝広	宮地 悟郎	脇園 左執
今川 貴誉	甲斐 公祐	小松 菜美子	瀬川 美枝子	鍋田 祐一	半田 耕一	三好 全	脇園 僚人
井本 勝也	垣田 哲也	小松 洋介	関口 真央	時吉 聡子	坂東 智信	三輪 一孔	脇山 通彦
岩田 隆二	梶岡 博樹	小水内 健	関 大輔	外村 繁行	樋口 一馬	向 勇太	植田 正道
岩本 透	加瀬 真吾	五領田 稔	草原 達也	富田 直	七海 裕子	村上 亜希子	渡瀬 裕基
岩本 雄基	勝連 邦雄	是永 妙香	副田 将希	富田 肇	日比野 泰邦	村川 哲一	渡邊 紳一郎
岩本 龍太	加藤 匠	近藤 賢市	た	友田 裕也	平泉 泰昭	村田 圭藏	渡邊 一洋
呉 佳儒	加藤 昌也	近藤 義忠	高木 良樹	な	平井 由紀子	村田 多加恵	渡辺 大介
植田 志月	加藤 優美	さ	多賀 健司	直井 一郎	平岡 恵利	恵本 真也	渡辺 智行
上田 真司	門谷 秀男	坂上 周一朗	高津 一利	永井 耕介	平尾 哲明	目黒 健一	渡辺 将人
上田 美佳	香取 修一	榎原 史也	高野 峻弘	長澤 恵一	平口 太一	本山 美和	
上西 大輔	金井 敏通	坂田 信之	高橋 郁也	中島 健	平野 海童		
上野 貴雄	金子 顕也	阪田 晴夫	高橋 平	中島 秀彰			
魚谷 忠史	金子 大輔	坂本 彰	高橋 俊雄	中西 進一			
宇田 大地	金田 裕子	坂森 健一	高橋 幸	長沼 智史			

※公認ジャッジの皆様におかれましてはお持ちの資格をご確認ください。
(ジャッジカードに記載されている 氏名・認定No.・有効期限)
ご不明な点等ございましたらNSA事務局までご連絡ください。

競技規定

シーズン直前、サーフィン競技規定をチェックしよう!

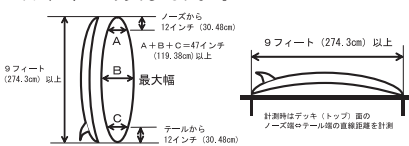
コンテストシーンで活躍するには、ジャッジ基準や優先権、妨害(インターフェア)のルールなど、様々な競技規定を知っておくことが重要です。しっかりと目を通しておくことをおすすめします。

第1条 ジャッジ基準

審査は、ISA・WSLジャッジクライテリア(基準)で行う。
①ショートボードジャッジ基準(NSAではボディボードも同じジャッジ基準で審査する)
サーファが高得点を獲得するためには"ISA(WSL) Judging Key Elements"に従った演技をしなくてはならない。ジャッジは次にあげる主要な要素を考慮し採点する。
a) 積極性および最高難度 b) マニューバーの革新性と進歩性
c) メジャーマニューバーの結合性 d) マニューバーの種類の数
e) スピード、パワーそして流れ(注意)開港地やその日の状況、同様に1日を通して変化するコンディションの中で、これらの要素の何に重点を置くかは極めて重要となる。
②ロングボードジャッジ基準
サーファは波のクリティカルなセクションをコントロールされたマニューバーでボード全体と波を利用した伝統的なロングボードサーフィンをするのが求められる。難易度が高く、スタイル、流れ、優雅さを伴うライディングをしたサーファは高得点を得ることができる。
a) ノーズライディングとレールサーフィン b) 波のクリティカルセクション c) パラエティ d) スピードとパワー e) コミットメント f) コントロール g) フットワーク
③今後ジャッジ基準の改正があった場合は、原則その年の最新の基準で審査を行う。

第2条 ボードの規定

①ボディボード
長さは5フィート(152.4cm)以下。材質は表面の大部分がソフトかつ柔軟性のあるものとする。
②ロングボード
a) ボードの長さはデッキ上で最低9フィート、幅の合計が47インチ以上の大きさでなければならない。幅の合計とは、最大幅とテールから12インチ、ノーズから12インチの各幅の合計である。 b) トライアングルなマリブシェイプのロングボードを使用し、マルチフィンやチャンネルがあっても構わない。



第3条 妨害=インターフェアレンス

妨害は下記ルールに則り判断する。
①ドロップイン・妨害
その波の優先権がある選手に対し、他の選手はその選手と同じ波の前方でテイクオフし、進路を妨げなくてはならない。
②スネーキング
テイクオフできる波のインサイドで、その波の優先権がある選手に対し、他の選手がその選手の後ろでテイクオフすること。
a) テイクオフできる最もインサイドのポジションで、波の優先権を確立した選手にその波でのライディングを続ける権利がある。これは他の選手がより奥から続いてテイクオフした場合でも変わることはない。また、最初に優先権を得た選手が他の選手の前にいる時でも優先権があるため、妨害とはならない。 b) 後からテイクオフした選手が優先権のある選手を妨害せずにライディングした場合は、妨害のペナルティは科さず。両方の選手のライディングについて得点を与える。 c) ジャッジの判断により、後続の選手(スネーキングした選手)が優先権を持つ選手にプルアウトさせたり、その波に乗せなかったりした場合に、たとえペナルティが科せられた時点で優先権を持つ選手の後方にその選手が移動していたとしても、後続の選手に対し妨害がコールされる。
③バドリング妨害
バドリングをしている選手は、同じ波のインサイドにいる選手を妨げなくてはならない。また選手がゲッティングアウト中に他の選手のライディングを妨げた場合、これが故意か否かは大多数のジャッジにより判断される。下記の場合、インサイドの選手のスコアリングポテンシャルを妨げるとジャッジの判断により妨害がコールされる。
a) 物理的接触/インサイドにいる選手がバドリングをしている最中に接触したとき。ただし、波の状況によって接触があってもインターフェアレンスにならない場合もある。(例: イーブンチュエーションで定まったピークのない波の場合) b) バドリングラインの変更/インサイドにいる選手の位置を変えさせたとき。 c) セクションのプレイキックダウン/インサイド側にいる選手の前で波を崩したとき。
d) 前のヒート終了後の選手が競技中の選手の妨げになったとき。
e) 次のヒートの選手が競技中の選手の妨げになったとき。
④ダブルインターフェアレンス
下記の場合、ジャッジはその状況を判断しダブルインターフェアレンスをコールする可能性がある。 a) シングルピークでの同時テイクオフ/互いに積極的に接触を回避しない場合。 b) マルチ・ピークレイアウトの同時テイクオフ/どちらにも優先権がない状況で互いに向き合って進み、積極的に接触を回避しない場合。 c) バドリング時の過度のハスリング。
⑤マキシマムオーバー時に発生した妨害
マキシマムオーバーによる競技スコアの減点ペナルティは科さないが、マキシマムウェーブに達した選手は速やかに競技エリアから離れなければならない。ただし、マキシマムウェーブに達した選手が競技エリアに留まり下記行為を行った場合、ジャッジは妨害をコールする。 a) 明らかに他の選手の乗る波を奪った場合。 b) バドリングやポジショ

ニングなどで他の選手のスコアリングポテンシャルを妨げた場合。

第4条 優先権

優先権は各会場の波の状況により決定され、以下のカテゴリに分類される。また、優先基準の選択は、そのヒートを担当するジャッジの大多数で決定される。基本的にはジャッジがその波をライトウェーブかレフトウェーブなのかを見極め、どの選手がインサイド・ポジションにいるかを判断する。
ジャッジは入ってきた波の形を見て、スコアリングポテンシャルは(得点の可能性が高いのは)ライトまたはレフトのどちらへ向かった方がより高得点を得る可能性があるのかを考慮しブレイクの方向を判断する。また、優先権は波の形とその波に対しての選手のポジションで決定される。
もしテイクオフする時点で波がライトかレフトかはっきりせずピークのない波の場合、最初に明確な進行方向へターンをした選手がその波の優先権を得る。
①ポイントブレイク
波が一方方向にしかブレイクしない場合は、インサイドにいる選手がその波の優先権を得る。
②シングルピークブレイク
a) ライトとレフト両方向にブレイクする完全なピークが1つある場合、テイクオフする選手のポジションにより優先権が決定される。 b) 2人以上の選手が同じ方向にライディングした場合、その波のインサイドポジションにいる選手が優先権を得る。
③マルチ・ピークブレイク
a) 1つの波で互いに十分に離れたところにある2つのピークが、後からどこかのポイントで1つに交わってしまう場合がある。2人の選手が別々のピークの各インサイドポジションにいる時は、最初にテイクオフした選手がその波の優先権を得る。続いてテイクオフした選手は、最初の選手を妨げる前にカットバックやプルアウト等で進路を譲らなければならない。 b) 2人の選手が別々のピークから同時にテイクオフした場合→b1: 双方の選手がライディングをやめた場合は、妨害にはならない。 b2: 互いの進行方向を横切ったり衝突した場合、危険回避を怠った選手に対し妨害をコールする。 b3: 互いにライディングをやめずに危険回避を怠った場合には、双方の選手に対してダブルインターフェアレンスがコールされる場合がある。

第5条 妨害の成立要件

妨害は競技規定に則りそのヒートを担当したジャッジの大多数の判断でコールされる。ここでの大多数とは、そのヒートを担当する過半数のジャッジが妨害をコールしている場合を指す。また、同数で妨害の見解が割れた場合は、ヘッドジャッジを含めた過半数の判断が優先される。

第6条 妨害のペナルティ

①妨害が大多数のジャッジの判断でコールされた場合、妨害をしたライディングのスコアは集計対象ウェーブから除外される。(バドリングインターフェアレンスをしてそのままライドした場合も同様)
②妨害をした選手のヒートの得点は、ベスト2ウェーブから2番目のスコアを減点して集計される。
③同じヒートで妨害を2回した選手は、ヘッドジャッジのコールにより直ちに競技エリアから離れなければならない。

第7条 ジャッジシートでの妨害の表記

ジャッジは妨害があったとみなした時、妨害を犯した選手のライディングは通常通り採点し、そのスコアを△で囲む。そして、矢印でどの選手が妨害をしたかを示す。
①ライディング中に妨害を犯した場合は対象スコアを△で囲み記入する。
②バドリング妨害を犯してそのままライドした場合も対象スコアを△で囲み記入する。
③ライドのないバドリング妨害は、2つのライドのライン上に を記入する。
④次のヒートの選手がゲッティングアウト中、競技中の選手の妨げになった場合、0本目のスペースに△を記入する。
⑤ヒート終了後の選手が競技中の選手の妨げになった場合、余白に△を記入する。

第8条 エクストラウェーブ

マキシマムウェーブを採用したヒートでは、妨害はジャッジにより直ちに判断され、妨害を受けた選手には定められた競技時間内であればエクストラウェーブが与えられる。ただし、ダブルインターフェアレンスの場合を除く。(水中カヌー、その他外部からの妨害にも適用される)

第9条 タクティカルバドリング インターフェアレンス=TP I

本来ヒート順位は選手のライディングの結果で決まるべきであり、ヒートでの波の取り合いなどの激しい駆け引きは選手のパフォーマンスに影響する。明らかに波に乗るための駆け引きは良いが、相手を妨害するために波に乗ろうとする行為については、TPIのペナルティを科す場合がある。
"アンポアリングなバドリング戦略"(=TPI)は以下の状態を指す。「自身がテイクオフの優先権を奪っているにも関わらず、相手にテイクオフをさせないために意図的にテイクオフを途中でやめた場合。」ジャッジはTPI行為を認めた場合、下記の順序でコールする。

①一度目のTPI行為については、ジャッジはその選手の動きやTPIの兆候をチェックする。
②二度目のTPI行為を行った場合は、その選手にアナウンスとその選手のゼッケンカラーを表示して警告する。(この時点で警告のみであり、インターフェアレンスは記録されない)
③三度目のTPI行為を行った場合は、二度のインターフェアレンスとしてコールされる。その選手は直ちに競技エリアから離れなければならない。

第10条 妨害が適用される範囲

①ヒート中は妨害をした場所が他の競技エリアであっても、エリア内と同様に妨害をコールする。
②次のヒートの選手が競技中の選手のライディングを妨げた場合、ジャッジはその選手に妨害をコールする。
③ヒート終了後の選手が競技中の選手のライディングを妨げた場合、ジャッジはその選手に妨害をコールする。

第11条 ヒートの構成人数

ヒートの構成人数は2人から5人とする。また、少なくともヒートに出場した選手の3分の1以上は次のラウンドに進出するものとする。ただし、ノーラッドだった場合は次のラウンドに進出できない。

第12条 ヒート時間

①1ヒートの競技時間は12分以上とする。
②一度ヒートが開始された後はどのような事情があろうともそのヒートの時間が延長されることはない。ヒートの進行が何らかの理由で妨害された場合は、ヘッドジャッジの判断でそのヒートは中断される。その後、すべての選手ができる限りそれまでのポジションにラインナップした状態でヒートは再開され、中断時からの残り時間で競技を進行する。ただし、中断時に残り時間が3分を切っていた場合はこの限りではない。
③ヘッドジャッジが適任者らと話し合い、ヒートが中断された時点でどの選手も順位についておらず、また後の状況が最初に行われたヒートと同基準でジャッジすることが困難だと判断できる場合は、そのヒートは新たに行われる。
④上記3と同様にヒートスタート後、定められた競技時間の半分を経過した時点で選手が誰も波に乗っていない場合は、そのヒートはキャンセルされ、リスタートされる。ただし、その判断はヘッドジャッジが行う。

第13条 競技開始、終了の合図

①ヒートは1回のホーンによって開始され、2回のホーンによって終了とする。
②ヒート中はフラッグで競技の状況を選手に示す。緑が競技中、黄が終了3分前、赤は終了を表すものとする。(何らかの理由でホーンが使用できない場合は、フラッグまたはフラッグの代用品を使用して良い)

第14条 ビーチアナウンス

①競技中は放送で時間の経過を選手に知らせ、カウントダウンによって競技開始/終了を知らせる。
②選手は放送でコールされたボディウムがPCの入力ミスなどで誤りがあった場合、異議を申し立てることはできない。
③選手は、ヒート中に水の中から情報が必要な場合、次にあげるハンドサインを使用する。
a) 残り時間: 頭の上下片方の手をもう一方の手で触る。(腕時計を伝える合図) b) ウェーブカウント: 片腕を水平に出す。(マキシマムウェーブを採用したヒートで選手が必要として伝える合図) c) スコア: 両手を頭上にあげる。(シチュエーションコール、得点などを聞く合図) d) ウェーブカウント: 片腕を水面方向水平に出す。

第15条 レギュレーション

大会レギュレーションは基本的にコンテストディレクターまたはジャッジ委員長によって決定され、大会前の役員ミーティングや放送、掲示などで周知される。

①ベスト2ウェーブ
ベスト2ウェーブとは選手のライディングのスコアから最高点と次点の2本のことを指す。大会特別ルールがある場合を除き、コンテストではベスト2ウェーブで実施される。ベスト2ウェーブの合計がその選手のヒートでの獲得点数となり、点数の高い選手からヒート順位が決定する。
②マキシマムウェーブ
a) マキシマムウェーブはそのヒートでのライディング本数を制限することを指す。通常は波の状況により、8〜10本に設定される。 b) マキシマムウェーブは選手自身が管理するものとする。また、状況が許す限りその時のライディング本数を放送で選手に伝える。 c) マキシマムウェーブによる競技スコアの減点ペナルティは科さないが、マキシマムウェーブに達した選手は競技エリアから速やかに離れなければならない。
③ゲッティングアウト
波の状況により、ウォータースタート(ビーチスタート)が選択される。また、ウォータースタートの場合、次のヒートの選手は競技中の選手の妨げにならないように沖へ向かわなければならない。競技中の選手のライディングを妨げた場合、ジャッジはその選手に妨害をコールする場合がある。



第16条 テイクオフ

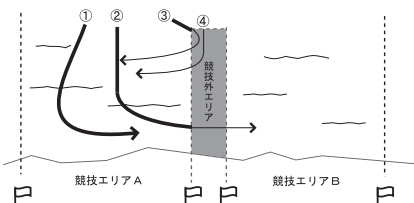
テイクオフの時点は、サーフボード（ショートボード、ロングボード）がその波を追ってライドする意思（ハンドオフ）があるとジャッジが判断した時とする。ボディボードの場合はボードが波より早く進んだ時、ライディングする意思があると判断した時とする。1本の波の中でスタンドオフ、再度スタンドアップしても1本の波とカウントする。

第17条 採点の対象時間

- ① ヒート開始を示すホーンが鳴る前のテイクオフは採点されない。鳴り始めた時点のテイクオフから採点の対象とする。
- ② ヒート終了を示すホーン鳴り始めてからのライディングは採点されない。鳴り始めた時点でのライディングは採点の対象となる。
- ③ ヒート時間外のライディングは採点の対象にはならない。インアーリー、アップアフターについて競技スコアの減点ペナルティは科さないが、ヒート終了後はライディングをせず、腹ばいでビーチに戻ることを要する。
- ④ 上記3についてジャッジ、ビーチマーシャルの警告に従わない場合、競技スコアの減点以外のペナルティが科される場合がある。

第18条 競技エリア

- ① 競技エリアは原則ジャッジスタンド前とし、競技エリアの両サイドにエリア外との境界を示すフラッグを設置して選手に示す。また、大会前の選手ミーティングや掲示で選手に周知する。（可能であればダブルバンク（2ボディム）以上の場合はバンク間に十分な間隔の競技外エリアを設け、ライディングの交差点を防ぐよう努める。また、競技外エリアを設けることが困難な場合は、ビーチに設置するフラッグ、沖に設置するブイ、放送などでエリアの境界線を選手に示す。
- ② 採点の対象となるのは競技エリア内でのライディングとする。（エリア外でのライディングは採点されない。）また、競技エリアの境界線付近のライディングについて、それがエリアに入っているかはジャッジによって判断される。判定が困難な場合はバンク間（ポイント）の境界線にラインズマンを配置し、ライディングの判定に当たる。
- ③ 競技エリア外からテイクオフしたライディングは採点されないが、ライディングしたウェーブの1本としてカウントされる。



《競技エリアに関する判定例》

- ① すべてのライディングが得点対象となります。
- ② 競技エリア内のライディングのみ得点対象になります。
- ③ 上記②に同じ。エリア外から再び競技エリア内に戻ってもその分は得点対象になりません。
- ④ 競技エリア外からのライディングは得点になりません。

- ⑤ 試合開始5分前にそのヒートに出場しない選手は競技エリアから離れるよう放送でアナウンスする。
- ⑥ 1分前に再度注意され、その時点でバドリングを始める努力をしていない選手には、競技スコアの減点以外のペナルティを科す場合がある。
- ⑦ 競技進行中にヒートに出場しない選手が競技エリアに進入した場合、その選手はヘッドジャッジのコールで失格となる。また、当該試合の権利はく奪などのペナルティを科す場合がある。ただし、次のヒートの選手がゲティングアウトする場合を除く。

第19条 ゼッケン

- ① ビーチマーシャルは正しいカラーのゼッケンを選手に渡さなければならない。
- ② ゼッケンの受け取り、返却は選手本人が行わなければならない。（代理人への受け渡しは不可）
- ③ 選手はゼッケンをゼッケンカウンターで着用し、ゼッケンカウンターで返却するまで脱がないこと。（ヒート終了後にビーチなどで脱がない）
- ④ ヒートへのエントリー確認はゼッケンチェックインをもって行う。（チェックイン後、海に入らなくてもヒート結果ではノーライドとして扱う）
- ⑤ 選手がヒートスタートに遅刻した場合も競技時間内であればゼッケンチェックインはできる。
- ⑥ ゼッケンの取り扱いでジャッジ、ビーチマーシャルの警告に従わない場合、競技スコアの減点以外のペナルティを科す場合がある。

第20条 ビーチマーシャル

- ① レギュレーションを把握し、選手、ジャッジに周知する。
- ② ゼッケンカウンターの運営
- ③ ヒート時間、タイムフラッグ、ホーン、エリアフラッグの管理
- ④ ジャッジの回収
- ⑤ プロテストの受付
- ⑥ オフィシャルコールの周知、掲示
- ⑦ ヒート結果の掲示
- ⑧ その他大会運営に関する活動

第21条 プロテスト

ヒート結果はオフィシャルコールで確定したもののについて選手は異議を申し立てることはできない。ただし、インターフェアレンスの判定に関する問い合わせなどについてはプロテストの手続きを取ることでヘッドジャッジに対し説明を求める権利を有する。プロテストの手続きは下記手順によって行うものとする。
＜プロテストの流れ＞
① ビーチマーシャルからプロテストシートを受け取り必要項目を記入する。（口頭でのプロテストは受け付けられない。必ず所定の手続きを取る）

- ② 記入したプロテストシートはビーチマーシャルに渡す。
- ③ ビーチマーシャルはそれをヘッドジャッジに渡し、ヘッドジャッジは選手に対してその日の終わりに30分を限度に話をし（ヘッドジャッジが対応可能な場合はこの限りではない）
- ④ 大会会場以外でプロテストすることはできない。
- ⑤ ヘッドジャッジとの話し合いは当事者のみが参加できる。また、18歳未満の選手の場合は保護者等の立ち会いを認める。

第22条 アン스포ーツマンシップ

- 大会期間中に本連盟の登録選手及び本連盟の事業に関するジャッジ、役員、その他関係者に対し社会通念上スポーツマンとしてあるまじき行為を行った選手に対しては、その行為の内容に応じてペナルティを科す。禁止行為の内容については下記の通りとする。
- ① インアーリー、アップアフター、マキシムオーバー、ゼッケンの不着用、過度なバドリングマークなど競技規定に定められた反則行為をジャッジ、ビーチマーシャルの再三の警告に従わず続けた場合
 - ② 暴力行為、破壊行為、威嚇や侮辱行為、暴言行為
 - ③ 大会やサーフィンのイメージダウンなどに繋がる不適切な行動
 - ④ スポーツ選手として不適切な行為
 - ⑤ 薬物検査を正当な理由なく拒否した場合

第23条 アン스포ーツマンシップ行為に対するペナルティ

- 大会期間中、アン스포ーツマンシップ行為を行った選手にはその行為に応じて下記の処分を科す。
- ① 訓告（厳重注意）
 - ② 1試合出場停止（当該試合の権利はく奪を含む）
 - ③ 年間全試合出場停止
 - ④ その他、その行為に対する処分が上記では適当ではない場合は、日本サーフィン連盟審査会で追加処分を科される。

第24条 異議申し立て

大会期間中に科された処分に対して選手は日本サーフィン連盟審査会に対し異議申し立てをする権利を有する。

第25条 集計時の確認項目

- 集計係は集計作業に入る前に次の事項を確認すること。
- ① 全てのジャッジシートが回収されたか。
 - ② 各ジャッジシートのジャッジサイン、クラス、ヒート番号、ウェーブカウントがあっているか。
 - ③ 妨害が記録されているか。

第26条 集計方法

- ① 集計は専用の集計用紙またはPCのソフトを用いて行う。
- ② 妨害が成立したライディングには横線を引く。（集計対象ウェーブから除外されるため平均点の計算は必要ない）
- ③ 各ライディングの最高点と最低点の点数をカットする。
＜重要＞
最高点と最低点のカットは5人ジャッジ、4人ジャッジの場合に行う。3人ジャッジの場合はカットしない。
- ④ 各ライディングの平均点を算出する。（小数点第二位まで算出し小数点第三位を四捨五入する）
＜平均点の算出方法＞
・5人ジャッジ：最高点と最低点の点数をカットした後、残り3人の点数の合計を3で割る。
・4人ジャッジ：最高点と最低点の点数をカットした後、残り2人の点数の合計を2で割る。
・3人ジャッジ：そのまま3人の点数の合計を3で割る。
- ⑤ 各選手の平均点の点数からベスト2ウェーブ（最高点と次点の2本の点数）を抜き出す。妨害成立の場合、その選手のベスト2ウェーブの2番目の点数は1/2減点される。（ノンプライオリティ）
- ⑥ 各選手のベスト2ウェーブの点数の合計を算出する。
- ⑦ ベスト2ウェーブの合計点の高い順に順位を記入する。（＝ヒート結果となる）
- ⑧ 妨害が成立したライディングがある場合、妨害欄に△を押し、対象ウェーブに矢印を記入する。
＜バドリング妨害の場合＞
・ライディングでは、妨害をしたライディングの妨害欄に△を記入し対象のウェーブに向けて矢印を引く。
・ライディングでは、妨害をしたライディング間のライン上の妨害欄に△を記入し対象ウェーブに向けて矢印を引く。
- ⑨ 集計が終わったら、集計担当者のサインを記入し集計責任者のチェックを受ける。集計チェックで問題がなければ集計責任者のサインを記入する。

第27条 同点の場合の順位決定方法

- ① 同点の選手の最高点（ベスト2ウェーブの高い方の点数）からカウントバック（点数の比較）を行う。1本目が同点の場合は差がつくまで繰り下げ、差がついた時点で高いポイントの選手が上位となる。（比較のポイントに○×を記入する）
- ② 同点のまま比較するライディングが繰り下がり、結果ライディング本数に差が出た場合ライディング本数が多い方が上位となる。
- ③ カウントバック、ライディング本数でも差がつかない場合はそのヒートを担当したジャッジの協議で順位を決定する。
- ④ ノーライドで同点の場合はいくつ順位とし、そのヒートの最下位とする。また、ラウンド2以降の途中棄権も同様とする。（例：4人ヒートで2人がノーライドだった場合は同一4位となる）

第28条 ヒート結果の確定・掲示

ヒート終了後、集計係によって集計された順位は集計責任者の確認を経て放送でコールし確定する。放送後、速やかにヒート結果を掲示する。

第29条 イベント役員の職務と内容

※ ISA RULEBOOK & CONTEST ADMINISTRATION MANUAL (June, 2021) 参照
1. テクニカルディレクター：ISA 技術委員会（NSA ジャッジ委員会）によって任命され、ビーチでのプレゼンテーションやイベントの他の側面を管理します。TDは、ISA (NSA) 事務局長に報告します。

TDは最高のイベントオフィシャルです。TDは、ISA (NSA) イベントでのルールブックまたは状況の不明確な解釈を変更または定義する場合があります。

TDは、コンテストディレクターと緊密に連携して、イベントの配信を毎日管理します。コンテストディレクターと他のすべてのイベント関係者は、テクニカルディレクターに報告します。テクニカルディレクターとコンテストディレクターのポジションは、ISA 技術委員会（NSA ジャッジ委員会）の裁量によりISA (NSA) イベントで組合わせることができます。

2. コンテストディレクター：プロフェッショナル、インターナショナルおよび国内の基準に基づいてISA 技術委員会（NSA ジャッジ委員会）によって選出されます。
a. イベントの運営のあらゆる面でヘッドジャッジと協力すること（ヘッドジャッジの義務とコンテスト管理規則を参照）。
b. セクション2および3（ISA ルールブックP9～P49の全て）に規定されている協議 規則を適用するため。
c. これらの規則に従ってイベントに参加する選手にシードを与えること。
d. 実行委員会によって決定されたコンテスト形式を適用するため。
e. 毎日更新されるチームポイントの合計を維持し、それをすべてのチームマネージャー、ISA 役員、およびメディアに競技の各日の終わりの20:00までに配布するため。

第30条 コンテストディレクター

- ① 海と自然の中で行う競技では、コンテストを開催する上で突風・豪雨・雷等の危険に対して一時中断の判断や、台風、大きな低気圧の接近が予想される場合は事前中止の判断も必要である。競技続行が危険な場合は大会会長、運営委員長、ジャッジ委員長と対応を協議の上、決定する役割を担う。
- ② 大会の現場責任者として各関係団体との調整、スケジュール管理、イベント全体を統括する。

第31条 運営委員長

ビーチマーシャルを統括し、スケジュールがスムーズに進行するよう管理する。また、イベントを円滑に運営する上で、コンテストディレクターの補佐役を担う。

第32条 ジャッジ委員長

- ① 大会前にジャッジミーティングを行い、レギュレーション、競技ルールを選手に周知する。
- ② 各ジャッジの間で判断が違うジャッジや運営に支障があるジャッジを注意し、場合によっては職権で解任することができ。
- ③ 波が少ない場合、競技時間の変更等はコンテストディレクター、運営委員長と協議の上決定することができ。

第33条 ヘッドジャッジ

- ① ヘッドジャッジは各ヒートに必ず1名以上いなければならない。
- ② 競技時間内に著しく採点が違うジャッジには修正を指示することができる。
- ③ ヒート中妨害があったと思われる場合にテイクオフの状況をパネルジャッジが説明し、見解を取りまとめる。妨害が成立した場合はインターフェアレンスを科する。
- ④ 競技中にアン스포ーツマンシップ行為をした選手（2回の妨害をした場合など）に対し、競技エリアからの退場をコールする。
- ⑤ 選手からのプロテストに対応する役割を担う。
- ⑥ 集計の結果、同点の場合や順位が判断できない場合はヘッドジャッジはそのヒートの担当ジャッジと協議の上、総合評価で順位を決定する。

第34条 ジャッジ

- ① 日本サーフィン連盟主催大会は日本サーフィン連盟公認ジャッジの審査で行う。
- ② ヒートの審査は1ヒート3～5名のパネルジャッジとヘッドジャッジ1名で行う。
- ③ ジャッジは全ての選手の全てのライディングを採点しなければならない。
- ④ ライディングの採点には0.1～10.0のスコアを使用する。
- ⑤ ライディングの一部でも見逃した場合はヘッドジャッジの指示を仰ぎ、得点を記入する。
- ⑥ ジャッジは波の状況をみて競技時間の変更をヘッドジャッジに言うことができる。
- ⑦ ヒート終了後ジャッジは速やかにビーチマーシャルに提出する。

第35条 スポッター

選手のテイクオフする前の状況を常にコールしジャッジに対してスコアリングに集中させる重要な役目である。

第36条 異常事態

- ① ヒート進行中に異常事態が発生した場合、ホーンの断続音と放送によってその旨を告げ、同時に旗による指示を行なっている場合は赤旗を掲げる。その際、選手は直ちに競技を中止して陸に戻らなければならない。ただし、試合を中断した時点で、すでにヒート終了3分前（イエローフラッグ）を経過している場合、そのヒートは成立する。
- ② ヒート進行中に異常事態が発生し、選手がウォーターコントロールに救助を要した場合、そこまでのスコアは反映されるが、競技を続行することは出来ない。

第37条 ダブルエントリー

ダブルエントリーされた選手で出場クラスのヒートが重なった場合は、ヒートをウェイトリングする事はない。ただし、決勝ヒートに関しては大会ディレクター（主催者）により、ウェイトリングを設定する事もある。



妨害（インターフェアレンス）について！

波のインサイドポジションを獲得したサーファーはその波を乗り終るまで、絶対的な優先権を得ることになります。この時、対戦相手のサーファーが、優先権を持つサーファーの得点の可能性を妨げたと大多数のジャッジが判断した場合、インターフェアレンス(妨害)がコールされます。

A 妨害を判断するにあたっての基本的な姿勢

①妨害に関するルールは、正当な権利を持つ選手を保護するためにあり、妨害を科すためのルールではありません。

②ジャッジはルールを良く理解し、全ての選手に対して公平な判断をしましょう。

③なんらかの妨害に関わるような行為があった場合、それが成立するか否かを必ず判断しなければなりません。

B 妨害を判定する基準及び順序

①どのような波か？

(ライト、レフト、方向がはっきりせず定まったピークのない波など)

②どの選手に優先権があるのか？（ノンプライオリティ or プライオリティ）

③スコアリングポテンシャルを妨げたか否か？

④どの妨害のルールに当てはまるのか？

※以上の順番で妨害の判断をしてください。

！ 重要！

1. 優先権を決定しているのは、あくまでも選手の波に対するポジションであって、どちらが先にスタンディングしたのかではありません。
2. 基本的にインサイドポジション(波のピーク側)にいる選手にその波の優先権があります。
3. 妨害は状況や物理的接触だけではコールされません。あくまでも優先権がある選手のスコアリングポテンシャルを妨げたどうかで判断します。

C 優先権について

●優先権は各会場の波の状況により決定され、次のカテゴリーに当てはめられます。また、優先基準の選択は、そのヒートを担当するジャッジの大多数で決定されます。基本的にはジャッジがその波をライトウェーブかレフトウェーブなのかを見極め、どの選手がインサイド・ポジションにいるかを判断します。

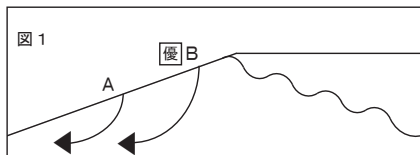
●ジャッジはブレイクの方向を判断するにあたり、入ってきた波の形を見て、スコアリングポテンシャル(得点の可能性があるのは)ライトまたはレフトのどちらへ向かった方がよりハイポイントを得る可能性があるのかで決めます。また、優先権は波の形とその波に対しての選手のポジションで決定されます。

●もしテイクオフする時点で波がライトかレフトかはっきりせず、ピークのない波の場合、最初に明確な進行方向へターンをした選手がその波の優先権を得ます。

【各ブレイクによる基本的な優先権の考え方】

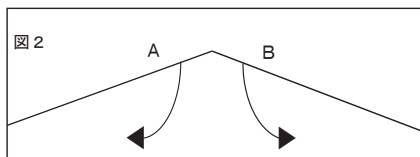
a) ポイントブレイク

波が一方方向にしかブレイクしない場合は、インサイドにいる選手がその波の優先権を得ます。

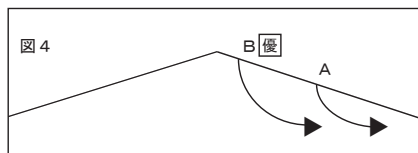
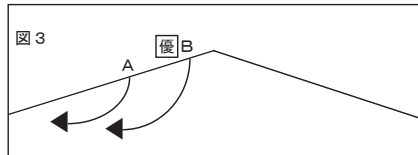


(1) テイクオフやターンをした時点にかかわらず、インサイドにいるB選手が優先権を得ます(図1)。

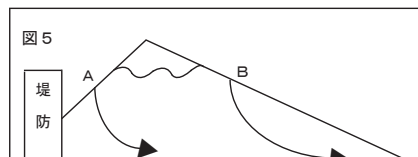
b) シングルピークブレイク



(1) ライトとレフト両方向にブレイクする完全なピークが1つある場合、テイクオフする選手のポジションにより優先権が決定されます(図2)。



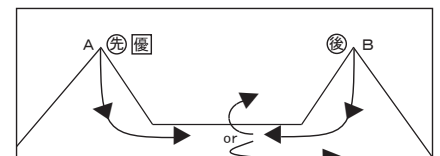
(2) 同じ方向にライディングをした場合、その波のインサイドのポジションにいるB選手が優先権を得ます(図3、図4)。



(3) ライトにスコアリングポテンシャルがない場合、A選手が優先権を得る場合があります(図5)。

c) マルチ・ピークブレイク

ひとつのうねりで互いに十分に離れたところにある2つのピークが、結局はどこかのポイントで1つに交わってしまう場合、2人の選手が別々のピークの各インサイドポジションにいる時は、最初にテイクオフした選手がその波の優先権を得ます。続いてテイクオフした選手は、最初の選手を妨げる前にカットバックやキックアウト等で進路を譲らなければなりません。



2人の選手が別々のピークから同時にテイクオフした場合、双方の選手がライディングをやめた場合は、妨害にはなりません。互いの進行方向を横切ったり、衝突した場合、危険回避を怠った選手に対し妨害をコールします。互いにライディングをやめずに危険回避を怠った場合には、双方の選手に対してダブルインターフェアレンスがコールされることがあります。ライディング中に波が途中で1つになり、2人の選手で追いつける形になった場合、波の方向性によって選手の優先権が決まります。

D プライオリティルール

①優先権を持った選手は、自分が選択しようとするすべての波を得る方法であり無条件でその権利を有することとする。

②プライオリティを持っている選手を妨げない場合のみ、同じヒートの別の選手はパドル、及び、同じ波をキャッチすることができる。

③プライオリティを持った選手は一度、波に乗るまたは、乗る姿勢を取ってパドルして失敗した場合でもプライオリティを失う。また、別の選手が波を捉えた場合、先にテイクオフゾーンに戻った選手がプライオリティを得る事となる。

④そのプライオリティが発生する前は従来のNSAルールが適用される。

⑤ジャッジは、プライオリティが施行されている際に選手が着用しているゼッケンカラーに対応したカラー表示シ

テムを使って海の中にいる選手に優先順位を伝える。

⑥波に乗る、またはテイクオフするためのパドルングをして失敗した場合、直ちに持っている優先権を失う。

⑦プライオリティルールが施行されているヒートでは、選手自身が責任を負ってシステムの表示及び状況を確認すること。

⑧プライオリティルールで生じた誤りによる問題は、ジャッジ委員長、ヘッドジャッジ、プライオリティジャッジの間で協議する。

⑨選手たちが同時にラインアップに到達するように見える場合には、そこにいたるまでに最後の優先順位を持っていなかった選手に与えられる。

⑩ヒートが終了した時点ですべての優先権が消滅する。

⑪ワンオンワンプライオリティルールを採用する試合に

おいては、マキシマムウェーブの上限は10本とする。

○プライオリティインターフェアレンスに関するペナルティ

①プライオリティインターフェアレンスをしたライディングは集計対象ウェーブからカットされます。また、その選手の得点はベスト2ウェーブから2番目のスコアを全てカットして集計されます。

②プライオリティが発生してない場合は従来のルールを適用し、ベスト2ウェーブから2番目のスコアを1/2減点して集計される。

③同じヒートでインターフェアレンスを2回した選手は、ヘッドジャッジのコールにより直ちに競技エリアから離れなければならない。

E 妨害に関するペナルティ

- ① インターフェアレンスの判断は、ヘッドジャッジを含めたそのヒートを担当するジャッジの大多数で決定されます。
- ② インターフェアレンスをしたライディングは集計対象ウェーブからカットされます。また、その選手の得点は、ベスト2ウェーブから2番目のスコアを1/2減点して集計されます。(ノンブライオリティ)

※例外：インターフェアレンスをして、他に1本しかライディングしていない(そのヒートでインターフェアをしたライディングを含めて2本しか乗っていない)場合、その1本(その選手のベストウェーブ)のスコアを1/2減点して集計されます。

③ 妨害を受けた選手は定められた競技時間内であれば、マキシマムウェーブに追加してエクストラウェーブが与えられます。ただし、ダブルインターフェアレンスの場合を除きます。

④ 同じヒートでインターフェアレンスを2回した選手は、ヘッドジャッジのコールにより直ちに競技エリアから離れなければならない。

F 妨害のルール

●ドロップイン妨害

その波の優先権がある選手に対し、他の選手はその選手の同じ波の前方でテイクオフし、進路を妨げてはいけません。

●スネーキング

テイクオフできる波のインサイドで、その波の優先権がある選手に対し、他の選手がその選手の後方でテイクオフすること。

1. テイクオフできる最もインサイドのポジションで、波の優先権を確立した選手にその波でのライディングを継続する権利があります。これは他の選手がより奥から続いてテイクオフした場合も変わることはありません。その場合、最初に優先権を得た選手が他の選手の前にいる時でも優先権があるため、妨害とはなりません。
2. 後からテイクオフした選手が優先権のある選手を妨害せずにライディングした場合は、妨害のペナルティは科さず、両方の選手のライディングについて得点を与えます。

●バドリング妨害

バドリングをしている選手は、同じ波のインサイドにいる選手を妨げてはいけません。また選手がゲッティングアウト中に他の選手のライディングを妨げた場合、これが故意か否かは各ジャッジにより判断されます。

<バドリング妨害の事例>

1. 物理的接触

インサイドにいる選手がバドリングをしている最中に接触したとき。ただし、波の状況によって接触があってもインターフェアレンスにならない場合もあります(イーブンシチュエーションでピークのない波の場合など)。

2. バドリングラインの変更

インサイドにいる選手の位置を変えさせたとき。

3. セクションのブレイキングダウン

インサイド側にいる選手の前で波を崩したとき。

4. 次のヒートの選手がゲッティングアウト時に競技中の選手のライディングを妨げた場合、ジャッジは

その選手に妨害をコールする。

●ダブルインターフェアレンス

下記の場合、ジャッジはその状況を判断しダブルインターフェアレンスをコールする場合があります。

1. シングルピークでの同時テイクオフ

お互いに積極的に接触を回避しない場合。

2. マルチ・ピークブレイクでの同時テイクオフ
どちらにも優先権がない状況で互いに向き合って進み、積極的に接触を回避しない場合。
3. バドリング時の過度のハスリング

●マキシマムオーバー時に起こりうる妨害

マキシマムウェーブに達した選手は速やかに競技エリアから離れなければならない。競技エリアに留まり下記行為を行った場合、ジャッジは妨害をコールします。

1. 明らかに他の選手の乗る波を奪った場合。
2. バドリングやポジショニングなどで他の選手のスコアリングポテンシャルを妨げた場合。

【各ブレイクによる基本的なノンブライオリティ妨害の事例】

a. シングルピーク

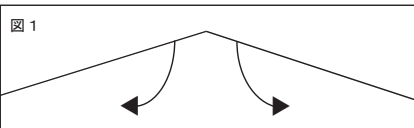


図1
(1) 2人の選手が互いに反対方向へ進んだ場合は妨害とはなりません(図1)。

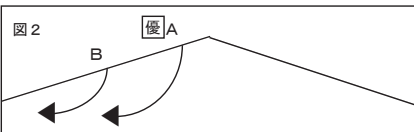


図2
(2) テイクオフの先、後にかかわらず波のインサイド側のA選手に優先権があります。ただしB選手がライディングを中止し、A選手のライディングに支障がなければ妨害とはなりません(図2)。

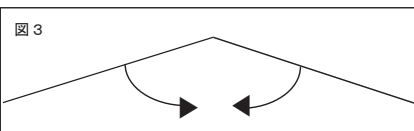


図3
(3) 2人の選手が同時にテイクオフした場合、積極的に接触を避けようとしなかった選手(危険回避行動の義務違反)は妨害となる場合があります(図3)。

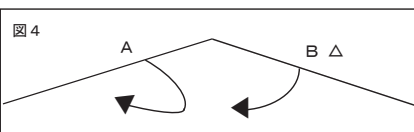


図4
(4) 2人の選手が同時にテイクオフし、A選手はライディングを中止したが、B選手がA選手の方にライディングを続行した場合、B選手は妨害となる場合があります(図4)。

b. ポイントブレイク

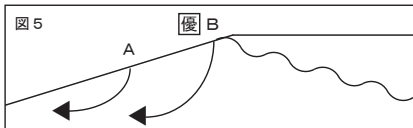
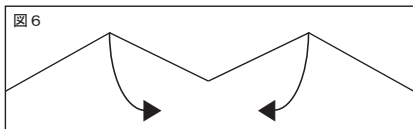


図5
波のインサイド側のB選手に優先権があり、A選手のライディングがB選手のライディングに支障があればA選手は妨害となる場合があります(図5)。

c. マルチ・ピークブレイク



- (1) 2つのピークのある波で、それぞれのピークから2人の選手がテイクオフし、互いの方向に向かって進んだ場合、先にテイクオフした選手が優先権を得ます。ただし、先にテイクオフした選手のライディングに支障がなければ妨害とはなりません(図6)。
- (2) 2人の選手が同時にテイクオフした場合、積極的に接触を避けようとしなかった選手は妨害となる場合があります。ただし、双方の選手が接触を避けるためにライディングを中止した場合、どちらか一方あるいは双方がワイプアウトしても妨害とはなりません。
- (3) 2人の選手が同時にテイクオフした場合、A選手は接触を避けるために真下に入ったのに対し、B選手がそのままライディングを続行した結果、ラインがクロスするかまたは接触があればB選手の妨害となる場合があります。

d. オープンブレイク

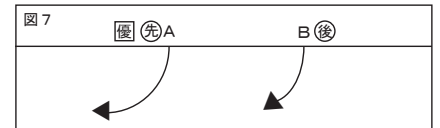


図7
波がライトカレフトかはっきりせずピークのない波の場合、先にテイクオフした選手が明確な進行方向へターンをした時点で優先権を得ます。同一方向へ2人の選手がテイクオフした場合、先に進行方向にターンしたA選手が優先権を得ます。B選手のライディングがA選手のライディングに支障があれば、B選手は妨害となる場合があります。また、2人の選手が同時にテイクオフし、互いに相手に向かって進んで行った場合、積極的に接触を避けようとしなかった選手は妨害となる場合があります(図7)。



戦略的に試合を運ぶための必須知識

プライオリティルールとは？

通常のサーフィンの試合では波の奥側を確保した選手にその波に乗る権利が与えられていますが、これに対して選手のポジションに関係なく順番に波に乗る優先権を与えようというのがこのプライオリティルールです。このルールが適応されることで、選手同士の波の取り合いがなくなり、優先権を手に入れた選手は、自分の好きな波を、好きな場所からテイクオフできるようになります。逆に優先順位を把握していないで波に乗ると高い優先順位を持っている選手に対する妨害とみなされ、ペナルティとしてポイントがカットされることがあるので選手はこのルールをよく理解することが必須となります。



インターフェアレンスが勝敗の分け目になることもある

【プライオリティ妨害】

- 高い優先順位を持っている選手に対して妨害した場合、ベスト2ウェイブの2ndベストウェイブを全てカットされ、ベスト1ウェイブのみのカウントとなる(プライオリティインターフェアレンス)
- プライオリティを持たない選手同士および同等のプライオリティを持った選手同士で妨害が発生した場合、従来通りベスト2ウェイブの2ndベストウェイブが1/2となりカウントされる。(ノンプライオリティインターフェアレンス)
- 妨害された選手はヒート時間内にエクストラウェイブが与えられる。(マキシмумウェイブの設定があるときに限る)
- ダブルインターフェアレンスの場合、エクストラウェイブは与えられない

4メンプライオリティシステムの一例

①ヒートスタート時

まだ誰もプライオリティを持ってないので、通常の4マンヒートと同じように選手は自由にパドルすることができます。この時点でプライオリティパネルは左記のようになっています。

×	×	×	×
1	2	3	4

②最初にレッドの選手が波をつかまえ、ライディングをしたとします。

レッドに4thプライオリティが与えられ、パネルはこのように変わります。(実際にはレッドがライディング後、沖のPTZへ戻った段階でプライオリティが与えられます) ホワイト、イエロー、ブルーの各選手は互いに優先権はありませんが、この3選手はレッドに対してだけ優先権を持っていて、この段階ではその優先権を失うことなく自由にパドルすることができます。

×	×	×	●
1	2	3	4

③次にホワイトの選手がテイクオフしたとします。

ホワイトがライディングしたので、ホワイトの選手に4番目の優先権が与えられ、そしてレッドの優先権は一つ上がり、3rdプライオリティに変わります。レッドはホワイトに対してだけ優先権を持っていますが、もしレッドがパドルして波に乗り損なうとホワイトと優先権が入れ替わり、4番目に落ちてしまうことになります。この段階でもイエロー、ブルーの2選手は波をつかまえるため自由にパドルすることができます。そして2選手間では優先関係はありませんが、レッドとホワイトに対しては優先権を持っています。

×	×	●	
1	2	3	4

④3番目にイエローの選手がテイクオフしたとします。

3番目の選手が波に乗った時点で、最後まで沖に残ったブルーの選手が自動的に1stプライオリティを得ることになります。パネルが左記のようになり、ここから正式な4メンプライオリティがスタートします。

●	●	●	●
1	2	3	4

自分のプライオリティを理解して試合運びを考える

【プライオリティ】

- 1 ヒート開始後、プライマリテイクオフゾーン (PTZ) に到着した時点では、プライオリティは発生しない。
- 2 PTZとは、波がブレイクするテイクオフゾーンであり、プライオリティジャッジが目視で確認し、設定される。一日を通して、潮の干満などにより、波がブレイクする場所が変化する場合は、状況に合わせて、プライオリティジャッジにより、PTZが移動される。
- 3 プライオリティジャッジは、プライオリティが施行されている間に、選手が着用しているゼッケンカラーに対応した、カラー表示システムを使って、海の中に居る選手に優先順位を示すよう、判定を行う。
- 4 ヒート開始後、誰もライディングを行っていない、プライオリティが発生していない状態(ノンプライオリティシチュエーション)の場合、従来のインターフェアレンスルールが適応される。
- 5 プライオリティルールが施行されている状況下では、選手自身が責任を持って、システムの表示、及び状況を確認する義務がある。
- 6 選手がライディング終了後、PTZに戻った順番で高い優先権が得られる。
- 7 プライオリティジャッジは、どの選手が先にPTZに戻ったのかを判断する。
- 8 二人の選手が同時にPTZに戻った場合、先にプライオリティを失った選手に上のプライオリティが与えられる。(先にテイクオフ又はライディングした場合)

※このプライオリティは、ISA RULE BOOK を抜粋して訳したものです。NSAの試合運営上で不足している部分があった場合、オリジナルのISA RULE BOOKを参照し、NSAルールに従い、プライオリティジャッジの見解によって判断されます。どのような状況においても、もしプライオリティシステムが機能していない事によって議論が起きた場合は、NSAルールに従い、ヘッドジャッジ、コンテストディレクターにより仲裁されます。

4メンプライオリティの基本ルール

ヒート開始後、ノンプライオリティシチュエーション時には従来通り波の進行方向に対してインサイドポジション(ピーク寄り)の選手に優先権が与えられる。その優先権を持つ選手がショルダー側にいる選手に対して故意に波に乗せないようにするためにパドルをし、波に乗せなかった場合「ブロック」し、みなされ4thプライオリティとなる。

1st プライオリティを持った選手は
他のすべての選手に対して優先権を持ちます。

2nd プライオリティを持った選手は
3rd、4thプライオリティの選手に対して優先権を持ちます。

3rd プライオリティを持った選手は
4thプライオリティの選手にだけ優先権を持ちます。

すべての選手は波に乗るためにパドルをしたり、
テイクオフした時点で優先権が無くなります。

プライオリティを無くした選手は、沖のPTZに戻った時点で
4thプライオリティを手に入れることができます。

ヒート開始前にテイクオフした選手は
4thプライオリティが与えられます。

ヒート終了と同時にすべての選手は優先権を失います。

コンテスト・アーカイブ

錚々たる名サーファーが名を連ねる、過去の主催大会結果

1966年から半世紀にわたり開催される伝統の全日本サーフィン選手権大会から国際派遣大会まで、日本サーフィン連盟の歴史を語る過去の主催大会の結果。誇り高き勇者たちの軌跡。

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 大会結果(2007～2019年)

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2019	
日時:令和元年11月16日(土)・11月17日(日)	
会場:茨城県日立市河原子北浜海岸	
出場選手合計:268名	
ジュニアオープン	安室弦
メンズオープン	藤沼佳太郎
マスターズオープン	鈴木重紀
ウィメンズオープン	宮城有沙
ロングボードオープン	富永祥太
ロングボードウィメン	唐木麻貴
ボディボードメン	榎戸崇人
ボディボードウィメン	田村則子

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2016	
日時:平成28年10月29日(土)～10月30日(日)	
会場:静岡県下田市白浜海岸	
出場選手合計:262名	
ジュニアオープン	大音凛太
メンズオープン	山本竜平
マスターズオープン	澤井章
ウィメンズオープン	加藤里菜
ロングボードオープン	北村健一
ロングボードウィメン	前田沙紀
ボディボードメン	蛭間拓斗
ボディボードウィメン	岡田吹羽子

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2013	
日時:平成25年11月9日(土)～11月10日(日)	
会場:千葉県南房総市千倉海岸	
出場選手合計:207名	
ジュニアオープン	西修司
メンズオープン	松野陽斗
マスターズオープン	石田佳央
ウィメンズオープン	田代風沙
ロングボードオープン	松浦秀人
ロングボードウィメン	岡澤紫穂
ボディボードメン	森川勝彦
ボディボードウィメン	相田桃

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2010	
日時:平成22年10月10日(日)～10月11日(月)	
会場:宮城県仙台市仙台新港	
出場選手合計:134名	
キッズ	大原洋人
メンズオープン	村松爽香
ウィメンズオープン	岡崎生水
ロングボードオープン	糸総一郎
ボディボードメン	佐藤亜矢子
ボディボードウィメン	

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2007	
日時:平成19年11月17日(土)～11月18日(日)	
会場:福島県南相馬市北東海岸	
出場選手合計:135名	
キッズ	大原洋人
メンズオープン	井上達貴
ウィメンズオープン	平野武
ロングボードオープン	金子藍
ボディボードメン	辻嶋司
ボディボードウィメン	広沢幸子
ボディボードメン	榎戸崇人
ボディボードウィメン	栗間康子

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2018	
日時:平成30年10月27日(土)～10月28日(日)	
会場:宮城県宮崎市木崎浜海岸	
出場選手合計:220名	
ジュニアオープン	原田空雅
メンズオープン	武知虎南
マスターズオープン	井出牧雄
ウィメンズオープン	加藤里菜
ロングボードオープン	市川貴大
ロングボードウィメン	川崎智子
ボディボードメン	榎戸崇人
ボディボードウィメン	山下海果

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2015	
日時:平成27年10月24日(土)～10月26日(日)	
会場:宮城県日南市お倉が浜海岸	
出場選手合計:226名	
ジュニアオープン	森友二
メンズオープン	山本竜平
マスターズオープン	猪又洋
ウィメンズオープン	鈴木姫七
ロングボードオープン	上木達也
ロングボードウィメン	叶多和子
ボディボードメン	小松貴史
ボディボードウィメン	杉野胡桃

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2012	
日時:平成24年10月27日(土)～10月28日(日)	
会場:石川県羽咋市柴垣海岸	
出場選手合計:130名	
メンズオープン	村上舜
ウィメンズオープン	黒川日葉子
ロングボードオープン	西崎公彦
ロングボードウィメン	叶多和子
ボディボードメン	秋山篤志
ボディボードウィメン	若林友恵

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2009	
日時:平成21年10月17日(土)～10月18日(日)	
会場:静岡県下田市白浜海岸	
出場選手合計:120名	
メンズオープン	新井洋人
ウィメンズオープン	大村奈央
ロングボードオープン	中山祐樹
ボディボードメン	榎戸崇人
ボディボードウィメン	鈴木彩加

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2008	
日時:平成20年11月15日(土)～11月16日(日)	
会場:静岡県下田市白浜海岸	
出場選手合計:122名	
メンズオープン	小嶋海生
ウィメンズオープン	大村奈央
ロングボードオープン	岡崎生水
ボディボードメン	榎戸崇人
ボディボードウィメン	永井那旺

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2017	
日時:平成29年10月28日(土)～11月23日(祝)	
会場:高知県東洋町生見サーフィンビーチ	
出場選手合計:251名	
ジュニアオープン	小笠原由織
メンズオープン	古田龍之介
マスターズオープン	矢野健太
ウィメンズオープン	中塩佳那
ロングボードオープン	権守賢治
ロングボードウィメン	叶多和子
ボディボードメン	蛭間拓斗
ボディボードウィメン	山下海果

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2014	
日時:平成26年10月25日(土)～10月26日(日)	
会場:宮城県仙台市仙台新港	
出場選手合計:189名	
ジュニアオープン	堀越力
メンズオープン	栗田海
マスターズオープン	菅谷洋
ウィメンズオープン	鈴木姫七
ロングボードオープン	塚本将也
ロングボードウィメン	橋本梨花
ボディボードメン	多田憲由
ボディボードウィメン	相田桃

ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2011	
日時:平成23年10月29日(土)～10月30日(日)	
会場:千葉県館山市平砂浦	
出場選手合計:137名	
メンズオープン	村上舜
ウィメンズオープン	岡本愛菜
ロングボードオープン	渡辺真通
ボディボードメン	糸総一郎
ボディボードウィメン	相田桃

全日本サーフィン選手権大会結果(1966～2019年)

※2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大により未開催

2019年度 第54回全日本サーフィン選手権大会	
日時:令和元年8月19日(月)～8月24日(土) 予備日25日(日)	
会場:高知県東洋町生見サーフィンビーチ	出場選手合計:1156名
キッズ	足立海世
ボーイズ	堀越類
ジュニア	大場玲遥
メン	藤沼佳太郎
シニア	鈴木貴
マスター	磯部康典
グランドマスター	坂本應尚
カフナ	久野孝
ガールズ	中塩佳那
ウィメン	小林麻衣子
シニアウィメン	大江なぎさ
ロングボードメン	武川慎
ロングボードマスター	柳沢裕次
ロングボードウィメン	木太久重子
ボディボードメン	榎戸崇人
ボディボードウィメン	原小春
支部長クラス	高橋雄治
カフナ	武知和一
ハドルリラー	湘南藤沢支部
団体戦	湘南茅ヶ崎支部

2016年度 第51回全日本サーフィン選手権大会	
日時:平成28年8月23日(火)～8月28日(日)	
会場:愛知県田原市赤羽根町大石海岸	その他 出場選手合計:921名
キッズ	加藤翔平
ボーイズ	大音凛太
ジュニア	加藤優典
メン	加藤大道
シニア	馬嶋浩文
マスター	澤井章
グランドマスター	坂本應尚
カフナ	高梨一夫
ガールズ	松田詩野
ウィメン	加藤志穂里
シニアウィメン	北川幸
ロングボードメン	山本誠悠
ロングボードマスター	塚本真佑樹
ボディボードメン	堀越優樹
ボディボードウィメン	森川勝彦
ボディボードウィメン	山下海果
支部長クラス	小野誠
カフナ	三股信夫
ハドルリラー	千葉東支部
団体戦	千葉東支部

2013年度 第48回全日本サーフィン選手権大会	
日時:平成25年8月21日(水)～8月25日(日)	
会場:高知県東洋町生見ビーチ	出場選手合計:938名
キッズ	安室丈
ボーイズ	西修司
ジュニア	河谷佐助
メン	塚本勇太
シニア	宗政利夫
マスター	坂本應尚
グランドマスター	三輪真一
カフナ	三股敬一
ガールズ	黒川日葉子
ウィメン	玉木アイ
シニアウィメン	清水亜希子
ロングボードメン	西崎公彦
ロングボードマスター	鈴木弘章
ボディボードメン	岡澤紫穂
ボディボードウィメン	滝元良太
支部長クラス	渡邊友輝
ハドルリラー	湘南藤沢支部
団体戦	千葉東

2018年度 第53回全日本サーフィン選手権大会	
日時:平成30年8月20日(月)～8月25日(土) 予備日26日(日)	
会場:三重県志摩市国府の浜海岸	出場選手合計:1030名
キッズ	松永健新
ボーイズ	金沢昌偉
ジュニア	岡村晃久
メン	石川拳大
シニア	佐野由騎
マスター	崎村公彦
グランドマスター	豊田泰史
カフナ	市川聡
ガールズ	中塩佳那
ウィメン	伊藤ななみ
シニアウィメン	前田きみか
ロングボードメン	下田泰成
ロングボードマスター	山崎市朗
ロングボードウィメン	松下歩
ボディボードメン	榎戸崇人
ボディボードウィメン	山下海果
支部長クラス	森重仁
カフナ	三股賢賢
ハドルリラー	湘南藤沢支部
団体戦	三重支部

2015年度 第50回全日本サーフィン選手権大会	
日時:平成27年8月25日(火)～8月30日(日)	
会場:千葉県いすみ市～長生郡一宮町 釣ヶ崎海岸(志田下)	出場選手合計:982名
キッズ	小崎歩夢
ボーイズ	藤沼佳太郎
ジュニア	田中大貴
メン	石川拳大
シニア	戸村孝幸
マスター	青山雄一
グランドマスター	高橋正人
カフナ	高梨一夫
ガールズ	鈴木姫七
ウィメン	葉花つばさ
シニアウィメン	金井すみえ
ロングボードメン	西崎公彦
ロングボードマスター	塚本真佑樹
ボディボードメン	高橋友子
ボディボードウィメン	森川勝彦
ボディボードウィメン	相田桃
支部長クラス	渡邊友輝
カフナ	岡野孝親
ハドルリラー	湘南茅ヶ崎支部
団体戦	宮崎支部

2012年度 第47回全日本サーフィン選手権大会	
日時:平成24年8月22日(水)～8月26日(日)	
会場:三重県志摩市国府の浜海岸	出場選手合計:894名
キッズ	西修司
ボーイズ	村上舜
ジュニア	塚本勇太
メン	仲村一智
シニア	宗政利夫
マスター	中田嘉直
グランドマスター	高橋誠
カフナ	三股敬一
ガールズ	田代風沙
ウィメン	森敬恵
シニアウィメン	清水亜希子
ロングボードメン	齋藤久元
ロングボードマスター	鳥羽真吾
ボディボードメン	柳瀬憲治
ボディボードウィメン	谷口美樹
支部長クラス	田村隆之
カフナ	中井正文
ハドルリラー	湘南西支部
団体戦	湘南西支部

2017年度 第52回全日本サーフィン選手権大会	
日時:平成29年8月23日(火)～8月28日(日)	
会場:静岡県豊田市豊浜海岸	出場選手合計:929名
キッズ	渡邊幸孔
ボーイズ	長谷川 翼汰
ジュニア	三輪結也
メン	小川葉良
シニア	渡邊圭
マスター	宗政利夫
グランドマスター	坂本應尚
カフナ	広原一樹
ガールズ	中塩佳那
ウィメン	山田麻由美
シニアウィメン	北川幸
ロングボードメン	神田瞬
ロングボードマスター	伊藤雅樹
ボディボードメン	石井志延
ボディボードウィメン	加藤優典
ボディボードウィメン	山下海果
支部長クラス	高橋雄治
カフナ	鈴木正
ハドルリラー	千葉東支部
団体戦	湘南藤沢支部

2014年度 第49回全日本サーフィン選手権大会	
日時:平成26年8月26日(火)～8月30日(日)	
会場:宮城県宮崎市木崎浜海岸	出場選手合計:896名
キッズ	平原颯馬
ボーイズ	田中大貴
ジュニア	西口京佑
メン	塚本勇太
シニア	石川貴一朗
マスター	和田英明
グランドマスター	三輪真一
カフナ	三股敬一
ガールズ	黒川日葉子
ウィメン	北郷夕翔
シニアウィメン	清水亜希子
ロングボードメン	米本好希
ロングボードマスター	中田嘉直
ボディボードメン	橋本梨花
ボディボードウィメン	柳瀬憲治
ボディボードウィメン	岡澤紫穂
支部長クラス	小野誠
カフナ	三股賢賢
ハドルリラー	湘南藤沢支部
団体戦	千葉東

2011年度 第46回全日本サーフィン選手権大会	
日時:平成23年8月24日(水)～8月28日(日)	
会場:宮城県日南市お倉が浜海岸	出場選手合計:888名
キッズ	野呂海利
ボーイズ	小林直海
ジュニア	山中京輝
メン	大江良太
シニア	田村隆之
マスター	坂本應尚
グランドマスター	小島正司
カフナ	三股敬一
ガールズ	須田那月
ウィメン	並木今日子
シニアウィメン	清水亜希子
ロングボードメン	齋藤久元
ロングボードマスター	鳥羽真吾
ボディボードメン	吉川広夏
ボディボードウィメン	糸総一郎
支部長クラス	相田桃
カフナ	小野誠
ハドルリラー	湘南藤沢支部
団体戦	湘南藤沢支部

2010年度 第45回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成22年8月25日(水)～8月29日(日)			
会場：茨城県日立市河原子北浜海岸 出場選手合計：939名			
キッズ	村上蓮	シニア	山本友紀
ボーイズ	大原洋人	ロングボードメン	中山祐樹
ジュニア	金尾玲生	ロングボードマスター	山崎市朗
メン	井上達貴	ロングボードウィメン	吉川広夏
シニア	加藤孝紀	ボディボードメン	糸総一郎
マスター	坂本應尚	ボディボードウィメン	大原沙莉
グランドマスター	高梨一夫	支部長クラス	磯部康典
カフナ	内藤直樹	ロイヤル	三口省賢
ガールズ	野呂玲花	バドルリレー	湘南藤沢支部
ウィメン	清水亜希子	団体戦	湘南藤沢支部

2009年度 第44回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成21年8月26日(水)～8月30日(日)			
会場：三重県志摩市国府の浜海岸 出場選手合計：884名			
キッズ	安井拓海	ロングボードメン	岡崎生水
ボーイズ	新井洋人	ロングボードマスター	山崎市朗
ジュニア	田中海周	ロングボードウィメン	吉川広夏
メン	井上達貴	ボディボードメン	横戸崇人
シニア	鈴木貴	ボディボードウィメン	島山美南海
マスター	高森康博	支部長クラス	磯部康典
グランドマスター	伊熊哲也	ロイヤル	三口省賢
ガールズ	大村奈央	バドルリレー	湘南藤沢支部
ウィメン	田中祥子	団体戦	千葉東支部

2008年度 第43回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成20年8月27日(水)～8月31日(日)			
会場：福島県南相馬市北東海岸 出場選手合計：876名			
キッズ	仲村拓久未	ロングボードメン	辻崎司
ボーイズ	加藤隆	ロングボードマスター	野間栄治
ジュニア	大橋海人	ロングボードウィメン	廣澤幸子
メン	沼田将人	ボディボードメン	横戸崇人
シニア	白土勝久	ボディボードウィメン	島山美南海
マスター	高森康博	支部長クラス	堀越弘修
グランドマスター	小林健一郎	ロイヤル	鈴木康二
ガールズ	大村奈央	バドルリレー	宮崎支部
ウィメン	清水亜希子	団体戦	湘南藤沢支部

2007年度 第42回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成19年8月22日(水)～8月26日(日)			
会場：東京都新島村シーブレイクポイント 出場選手合計：892名			
キッズ	仲村拓久未	ロングボードマスター	野田雅生
ボーイズ	小椋晴人	ロングボードウィメン	広沢幸子
ジュニア	葉花卓也	ボディボードメン	横戸崇人
メン	宇野将史	ボディボードウィメン	岸里美
シニア	田村誠治	支部長クラス	富田桂介
マスター	宗政利夫	ロイヤル	三口省賢
グランドマスター	中田嘉直	バドルリレー	湘南藤沢支部
ガールズ	橋本小百合	団体戦	千葉東支部
ウィメン	小柳江梨	ベストジャッジ	牧裕亮
ロングボードメン	森大騎		

2006年度 第41回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成18年9月28日(木)～10月1日(日)			
会場：宮崎県日向市お倉ヶ浜海岸 出場選手合計：405名			
キッズ	仲村拓久未	ロングボードマスター	中野宏昭
ボーイズ	和光大	ロングボードウィメン	丸山良子
ジュニア	高貴佑麻	ボディボードメン	横戸崇人
メン	高津敏幸	ボディボードウィメン	岡田康子
シニア	寺村智紀	支部長クラス	高梨一夫
マスター	徳松陽己	ロイヤル	三股信夫
グランドマスター	坂本應尚	バドルリレー	湘南藤沢支部
ウィメン	橋本小百合	団体戦	宮崎支部
ロングボードメン	森大騎	ベストジャッジ	奈須信夫

2005年度 第40回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成17年9月28日(水)～10月1日(土)			
会場：神奈川県藤沢市鶴沼海岸 出場選手合計：388名			
ボーイズ	松岡慧斗	ロングボードウィメン	鈴木由貴
ジュニア	福島竜也	ボディボードメン	横戸輝
メン	樋口賢	ボディボードウィメン	森谷佳奈
シニア	戸村孝幸	支部長クラス	舟部賢一
マスター	中村哲也	ロイヤル	鈴木正
グランドマスター	坂本應尚	バドルリレー	湘南藤沢支部
ウィメン	小柳江梨	団体戦	宮崎支部
ロングボードメン	森智史	ベストジャッジ	斉藤学

2004年度 第39回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成16年10月13日(金)～10月16日(土)			
会場：福島県原町市北東海岸 出場選手合計：391名			
ボーイズ	間屋口崎英	ロングボードウィメン	内藤薫
ジュニア	中村昭太	ボディボードメン	横戸輝
メン	切詰英利	ボディボードウィメン	猪股明子
シニア	八木秀樹	支部長クラス	森宣仁
マスター	渡辺知	ロイヤル	越後一雄
グランドマスター	石館賢一	支部対抗/バドルス	東京支部
ウィメン	小池美紀子	団体戦	千葉東支部
ロングボードメン	阿隅寛典	ベストジャッジ	小野泰司

2003年度 第38回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成15年10月31日(金)～11月4日(火)			
会場：鳥根県浜田市国府海岸 出場選手合計：361名			
ボーイズ	山田泰平	ボディボードメン	八子顕一
ジュニア	切詰英利	ボディボードウィメン	二宮千津
メン	清水慈	支部対抗/バドルス	宮崎支部
シニア	黒木雄一	団体戦	千葉東支部
マスター	中田嘉直	ベストジャッジ	江川崇之
グランドマスター	平野武		
ウィメン	上田純子		
ロングボード	阿隅寛典		

2002年度 第37回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成14年10月17日(木)～10月20日(日)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸			
ボーイズ	中村昭太	ロングボード	鈴木剛
ジュニア	酒井正海	ボディボードメン	京谷雄策
メン	高梨直人	ボディボードウィメン	西村優花
シニア	和田英明	支部長クラス	植松成実
マスター	中田嘉直	支部対抗/バドルス	千葉東支部
グランドマスター	細井隆	団体優勝	千葉東支部
ウィメン	萩原水紀	ベストジャッジ	水野徹

2001年度 第36回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成13年10月5日(金)～10月8日(月)			
会場：静岡県榛原町静波海岸			
ボーイズ	深川達哉	ニーボード	今井久
ジュニア	林健太	ボディボードメン	川上忍
メン	伊藤勝則	ボディボードウィメン	小沢しのぶ
シニア	田村誠	ロイヤル	岡野孝親
マスター	志村仁	支部長クラス	渡辺知
グランドマスター	藤井辰雄	支部対抗/バドルス	湘南茅ヶ崎支部
ウィメン	間屋口香	団体優勝	千葉東支部
ロングボード	藤井辰雄	ベストジャッジ	熊谷透

2000年度 第35回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成12年8月23日(水)～8月27日(日)			
会場：千葉県長生郡一宮町東浪見海岸			
ボーイズ	酒井正海	ボディボードメン	柴田英人
ジュニア	田中樹	ボディボードレディース	角田恵
メン	佐藤正一郎	ロイヤル	長嶋徹
シニア	加藤孝紀	支部長クラス	中島豪
マスター	田村誠	タムデム	山口英夫
グランドマスター	高橋誠	ロイヤル	山口奈々
レディース	萩原水紀	支部対抗/バドルス	千葉東支部
ロングボード	尾頭信弘	団体優勝	千葉東支部
ニーボード	飯野秀文	ベストジャッジ	岡野功

1999年度 第34回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成11年8月25日(水)～8月29日(日)			
会場：高知県東洋町生見海岸			
ボーイズ	林健太	ボディボードメン	柴田英人
ジュニア	渡辺将人	ボディボードレディース	高橋しのぶ
メン	山田桂司	ロイヤル	工藤俊勝
シニア	須部交星	支部長クラス	石館賢一
マスター	上谷直樹	タムデム	田中秀樹
グランドマスター	猪塚弘史	支部対抗/バドルス	鹿児島支部
レディース	杉浦麻里衣	ロイヤル	鹿見島支部
ロングボード	尾頭信弘	団体優勝	千葉東支部
ニーボード	飯野秀文	ベストジャッジ	馬地勉

1998年度 第33回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成10年8月26日(水)～8月30日(日)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸			
ボーイズ	渡辺将人	ロングボード	山崎市朗
ジュニア	進士剛光	ボディボードメン	山田幸
メン	大木新次	ボディボードレディース	石澤亜由美
シニア	石川秀樹	ニーボード	長谷川文浩
マスター	石丸義孝	団体優勝	千葉東支部
グランドマスター	高田賢子	ベストジャッジ	北代俊児
レディース	福谷周子		

1997年度 第32回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成9年8月27日(水)～8月31日(日)			
会場：静岡県榛原町静波海岸			
ボーイズ	進士剛光	ボディボードレディース	関和枝
ジュニア	杉山終太	ロイヤル	小島二郎
メン	牧野優介	支部長クラス	佐藤仁
シニア	田村誠	タムデム	堀野珍
マスター	小島正樹	奥田みゆき	
グランドマスター	内藤直樹	支部対抗/バドルス	静岡2区支部
レディース	佐々木権由美	団体優勝	東京支部・愛知支部
ロングボード	土屋昌子	ベストジャッジ	内海義彦
ニーボード	飯野秀文		
ボディボードメン	酒井勇次		

1996年度 第31回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成8年8月22日(木)～8月25日(日)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸			
ボーイズ	渡辺将人	ボディボードメン	山田亮一
ジュニア	大野仙雅	ボディボードレディース	小池葵
メン	小野嘉夫	支部長クラス	植松成実
シニア	田村誠	タムデム	内田一雄
マスター	小島正樹	支部対抗/バドルス	内田梨奈
グランドマスター	内藤直樹	団体優勝	東京支部
レディース	高橋すみえ	ベストジャッジ	平本利明
ロングボード	真木蔵人		
ニーボード	前川純		

1995年度 第30回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成7年8月21日(月)～8月27日(日)			
会場：千葉県一宮町一宮海岸			
ボーイズ	大野仙雅	ボディボードメン	松田真稔
ジュニア	北岡光太郎	ボディボードレディース	小池葵
メン	小野嘉夫	ロイヤル	岡野孝親
シニア	佐藤一徳	支部長クラス	藤井辰雄
マスター	高梨一夫	タムデム	山口英夫
グランドマスター	吉田和幸	支部対抗/バドルス	湘南茅ヶ崎支部
レディース	藤沼由紀	団体優勝	東京支部
ロングボード	真木蔵人	ベストジャッジ	酒井厚志
ニーボード	前川純		

1994年度 第29回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成6年8月24日(水)～8月28日(日)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸			
ボーイズ	大野修聖	ボディボードメン	桜井直
ジュニア	牧野優介	ボディボードレディース	瀧沢和弥
メン	西田弘人	ロイヤル	長嶋徹
シニア	田村誠	支部長クラス	高岡好信
マスター	本多一博	タムデム	田中啓三
グランドマスター	吉田和幸	支部対抗/バドルス	小池葵
レディース	谷口絵里菜	団体優勝	千葉南支部
ロングボード	畑田男	ベストジャッジ	平山孝継
ニーボード	前川純		

1993年度 第28回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成5年8月25日(水)～8月29日(日)			
会場：千葉県一宮町一宮海岸			
ボーイズ	佐藤和也	ボディボードメン	加藤勝典
ジュニア	樋口高之	ボディボードレディース	小池葵
メン	佐藤一徳	ロイヤル	長嶋徹
シニア	久田友彦	支部長クラス	鈴木秀哉
マスター	高梨一夫	タムデム	田中啓三
グランドマスター	内藤直樹	支部対抗/バドルス	東京支部
レディース	外園あき	団体優勝	東京支部
ロングボード	宮内謙至	ベストジャッジ	武知和一
ニーボード	前川純		

1992年度 第27回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成4年8月26日(水)～8月30日(日)			
会場：静岡県榛原町静波海岸			
ボーイズ	鶴沢好敬	ボディボードメン	大石桂三
ジュニア	小川啓	ボディボードレディース	竹谷真由美
メン	安藤憲太	ロイヤル	進藤英司
シニア	瀬尾和成	支部長クラス	石館賢一
マスター	高梨一夫	タムデム	田中啓三
グランドマスター	保坂好久	支部対抗/バドルス	静岡伊豆支部
レディース	藤沼由紀	団体優勝	静岡伊豆支部
ロングボード	山崎市朗	ベストジャッジ	矢野英雄
ニーボード	前川純		

1991年度 第26回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成3年8月21日(水)～8月25日(日)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸			
ボーイズ	小野嘉夫	ニーボード	前川純
ジュニア	上條将美	ボディボードメン	新井徹
メン	辻浩二	ボディボードレディース	小池葵
シニア	鈴木弘章	タムデム	山口英夫
マスター	高梨一夫	支部対抗/バドルス	湘南茅ヶ崎支部
ウィメン	藤沼由紀	団体優勝	湘南茅ヶ崎支部
ロングボード	山崎市朗	ベストジャッジ	相馬誠
支部長クラス	岡田修平		

1990年度 第25回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成2年8月22日(水)～8月25日(土)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸			
ボーイズ	黒沢貞実	レディース	蓮田泰子
ジュニア	小川啓	ニーボード	佐久間等
ジュニアメン	小野一将	ロイヤル	池田勝男
メン	塩坂信康	ボディボードメン	加藤勝典
シニアメン	三輪真一	ボディボードレディース	岡島美佐江
シニア	高梨一夫	タムデム	山崎市朗
マスター	内藤直樹	支部対抗/バドルス	千葉東支部
グランドマスター	照間道廣	団体優勝	湘南藤沢支部
ロングボード	佐久間等	支部長クラス	酒井厚志
支部長クラス	酒井厚志	増田陽美	
ガールズ	増田陽美		

1989年度 第24回全日本サーフィン選手権大会			
日時：平成元年8月23日(水)～8月26日(土)			
会場：宮崎県宮崎市木崎浜海岸			
ボーイズ	小川啓	レディース	上滝泰子
ジュニア	出頭孝高	ニーボード	前川純
ジュニアメン	新野剛	ロイヤル	長嶋徹
メン	船木三秀	ボディボードメン	作道雅明
シニアメン	三輪真一	ボディボードレディース	内田美智子
シニア	佐藤伸夫	タムデム	山崎市朗
マスター	内藤直樹	支部対抗/バドルス	静岡伊豆支部
グランドマスター	保坂好久	団体優勝	大阪支部
ロングボード	谷内太郎	ベストジャッジ	黒木保
支部長クラス	矢作広雄		
ガールズ	平林真樹子		

1988年度 第23回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和63年8月24日(水)～8月27日(土)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸			
ボーイズ	渡辺広樹	レディース	松永三枝
ジュニア	小野寺裕幸	ニーボード	前川純
ジュニアメン	小畑智昭	ロイヤル	長嶋徹
メン	早川聡	ボディボードメン	小野厚史
シニアメン	佐藤伸夫	ボディボードレディース	内田美智子
シニア	平山孝継		山崎市朗
マスター	小畑裕	タンデム	脇田礼子
グランドマスター	佐藤信雄	支部対抗/バドルス	湘南茅ヶ崎支部
ロングボード	佐久間等	団体優勝	湘南茅ヶ崎支部
支部長クラス	田中敏之	ベストジャッジ	小柴範彦
ホムパ	山本敬之		宮本達

1987年度 第22回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和62年8月26日(水)～8月30日(日)			
会場：静岡県浜松市舞阪海岸			
ボーイズ	小川直久	レディース	細谷照美
ジュニア	河野正和	ニーボード	前川純
ジュニアメン	西井浩治	ロイヤル	坂田道
メン	会沢勝彦	ボディボードメン	小野尾厚史
シニアメン	岡田伸一	ボディボードレディース	矢口智英子
シニア	高梨一夫	タンデム	大竹麻友美
マスター	小畑裕		本多勝巳
グランドマスター	鈴木捷吾	支部対抗バドルレス	藤沢支部
ロングボード	佐久間等	団体優勝	東京支部
支部長クラス	小野秀佳	ベストジャッジ	柳原正雄
ガールズ	宮田妙子		鈴木篤二

1986年度 第21回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和61年8月20日(水)～8月24日(日)			
会場：福島県鹿島町右田浜海岸			
ボーイズ	山本四郎	ニーボード	川南正
ジュニア	鈴木秀哉	ロイヤル	鈴木捷吾
ジュニアメン	松本照男	タンデム	山口英夫
メン	河野友和		白岩鉄郎
シニア	吉野富寿	支部対抗バドルレス	藤沢支部
マスター	関野和男	団体優勝	湘南西支部
支部長クラス	大沼弘一	ベストジャッジ	竹本和正
レディース	山本孝子		清水聡
ロングボード	佐久間等		

1985年度 第20回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和60年8月21日(水)～8月25日(日)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸			
ボーイズ	宮城義幸	ロングボード・アマ	佐久間等
ジュニア	鈴木秀哉	ロングボード・プロ	川井幹雄
ジュニアメン	遠藤隆久	ニーボード	青藤雅章
メン	藤田昌弘	ロイヤル	大沼登良夫
シニア	内藤直樹	タンデム	越後一雄
マスター	武藤恒志		越後将平
レディース	角田和代	支部対抗バドルレス	平塚支部
支部長クラス	大沼弘一	団体優勝	茅ヶ崎支部

1984年度 第19回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和59年8月23日(木)～8月26日(日)			
会場：高知県東洋町生見海岸			
ボーイズ	鈴木秀哉	ロングボード・プロ	川井幹雄
ジュニア	遠藤隆久	ニーボード	川南正
ジュニアメン	森孝也	ロイヤル	佐賀紀允
メン	大谷博宣	タンデム	越後一雄
シニア	内藤直樹		越後将平
1stクラス	勝又正彦	団体優勝	藤沢支部
レディース	山崎宏美		佐山吉広
ロングボード・アマ	柳原正雄	ベストジャッジ	山崎市朗

1983年度 第18回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和58年8月25日(木)～8月28日(日)			
会場：茨城県那珂湊市阿字ヶ浦海岸			
ボーイズ	鈴木秀哉	レディース	平野彩子
ジュニア	鈴木直人	ロングボード	川井幹雄
ジュニアメン	守昭男	タンデム	田中啓三
メン	池谷真一	団体優勝	鈴木秀哉
シニア	内藤直樹		千葉支部
1stクラス	鈴木康弘		

全日本級別サーフィン選手権大会結果(1983～2019年)

2019年度 第37回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成31年4月19日(金)～4月21日(日)			
会場：千葉県鴨川市東条海岸 (マルキポイント) 出場選手合計：523名			
メン 1st/2nd	藤沼佳太郎	ロングボードウィメン	戸田成美
メンマスター 1st/2nd	小林健一郎	ボディボードメン 1st/2nd	榎戸崇人
メンマスター 3rd	山田豊	ボディボードメン 3rd/4th/5th	佐藤海斗
メンマスター 4th/5th	砂川圭貴	ボディボードメン 1st/2nd	藤田佳奈
ガールズ 1st/2nd	中塩佳那	ボディボードメン 3rd/4th/5th	我孫子咲良
ウィメン 1st/2nd	大江なぎさ	ベストライディング賞	藤沼佳太郎
ガールズ 3rd	鈴木莉珠	(メン 1st/2nd/3rd/4th)	
ガールズウィメン 4th/5th	伊藤菜	敢闘賞	鈴木莉珠
ロングボードメン 1st/2nd	石田直樹		(ガールズウィメン 3rd/4th)
ロングボードメン 3rd/4th/5th	川幸男		

2018年度 第36回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成30年5月11日(金)～5月13日(日)			
会場：愛知県田原市赤羽根町大石海岸 他 出場選手合計：402名			
1st	石川孝大	ボディボードメン 1st/2nd	榎戸崇人
2nd	大場裕通	ボディボードメン 3rd/4th	鎌福亮
3rd	浜村有留波	ボディボードメン 1st/2nd	山下海果
4th	鈴木一歩	ボディボードメン 3rd/4th	杉山雅代
ウィメン	中塩佳那	ベストライディング賞	鈴木一歩 (メン 4th)
ロングボードメン	北村健一	敢闘賞	杉山雅代 (ガールズ 3rd/4th)
ロングボードウィメン	松沢美里		

2017年度 第35回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成29年5月12日(金)～5月14日(日)			
会場：千葉県いすみ市 太東海岸 出場選手合計：504名			
1st	山・475・久美	ボディボードメン 1st/2nd	蛭間拓斗
2nd	古田龍之介	ボディボードメン 3rd/4th	伊藤孝行
3rd	柳原 泰	ボディボードメン 1st/2nd	山下海果
4th	菅原大地	ボディボードメン 3rd/4th	大木幸子
ウィメン	中塩佳那	ベストライディング賞	柳原 泰 (3rd)
ロングボードメン	中井晴	敢闘賞	小笠原由緒 (メン 4th)
ロングボードウィメン	戸田成美		

1982年度 第17回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和57年8月26日(水)～8月29日(日)			
会場：千葉県鴨川市鴨川海岸			
ボーイズ	八木智彦	ロングボード	山崎市朗
ジュニア	遠藤隆久	ロイヤル	池田藤男
ジュニアメン	熊野勝慶	タンデム	山本シエン
メン	檀谷雄二		山本四郎
シニア	小畑裕	団体優勝	千葉支部
レディース	毛利留美		

1981年度 第16回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和56年9月12日(土)～9月15日(火)			
会場：三重県阿児町国府ノ浜海岸			
ボーイズ	鈴木康弘	ロングボード	清水文雄
ジュニア	福田義昭	ロイヤル	佐賀聖光
メン	金子一則	タンデム	田中啓三
シニア	石田達良		鈴木秀哉
レディース	平野彩子		

1980年度 第15回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和55年9月12日(金)～9月15日(月)			
会場：静岡県下田市白浜海岸			
ボーイズ	鈴木康弘	レディース	平野彩子
ジュニア	関野聡	ロイヤル	田沼進三
メン	金子一則	タンデム	田中啓三
シニア	小畑裕		大胡由美

1979年度 第14回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和54年8月17日(金)～8月19日(日)			
会場：静岡県相良町相良海岸			
ボーイズ	関野聡	シニア	片岡国松
ジュニア	久我孝男	レディース	平野彩子
メン	江沢隆		

1978年度 第13回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和53年9月15日(金)～9月17日(日)			
会場：千葉県勝浦市部原海岸			
ボーイズ	久我孝男	レディース	田中淳子
ジュニア	小尾淳介	タンデム	田中啓三
メン	清水勝則		金沢ひろみ
シニア	深沢三郎		

1977年度 第12回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和52年9月2日(金)～9月4日(日)			
会場：神奈川県小田原市酒匂川海岸			
ジュニア	松野達也	レディース	加村昌子
メン	渡辺文好	タンデム	安
シニアA	進士里司		樋口
シニアB	片岡国松		

1976年度 第11回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和51年9月3日(金)～9月5日(日)			
会場：千葉県勝浦市部原海岸			
ジュニア	増田昌章	シニアB	片岡国松
メン	三股信夫	レディース	田中淳子
シニアA	小沢敏明		

1975年度 第10回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和50年8月22日(金)～8月23日(土)/予選、9月6日(土)/決勝			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸			
ジュニア	三股信夫	シニアA	清水文雄
メン	植田義則	レディース	小室真理子

2016年度 第34回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成28年5月20日(金)～5月22日(日)			
会場：静岡県磐田市豊浜海岸 (ロングビーチ) 出場選手合計：404名			
1st	小笠原由緒	ボディボードメン 1st/2nd	小松貴史
2nd	石井乃彦	ボディボードメン 3rd/4th	蛭間拓斗
3rd	小川葉良	ボディボードメン 1st/2nd	山下海果
4th	鳥淵一太	ボディボードメン 3rd/4th	小泉真佐子
ウィメン	松田詩野	ベストライディング賞	蛭間拓斗 (3rd/4th)
ロングボードメン	山本誠悠	敢闘賞	神田 潤 (ボディボード)
ロングボードウィメン	鈴木美和子		

2015年度 第33回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成27年5月15日(金)～5月17日(日)			
会場：愛知県田原市赤羽根町大石海岸 (ロングビーチ) 出場選手合計：505名			
1st	伊東李安琉	ボディボードメン 1st/2nd	高橋広俊
2nd	高橋秀平	ボディボードメン 3rd/4th	加藤秀顕
3rd	金沢昌偉	ボディボードメン 1st/2nd	岡澤紫織
4th	鎌崎倫太郎	ボディボードメン 3rd/4th	藤田佳奈
ウィメン	鈴木姫七	ベストライディング賞	安藤弘之進 (2nd)
ロングボードメン	山本誠悠	敢闘賞	藤田 頌成 (1st)
ロングボードウィメン	前田沙紀		田原市長賞 伊東李安琉 (1st)

2014年度 第32回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成26年5月9日(金)～5月11日(日)			
会場：静岡県下田市白浜海岸 出場選手合計：479名			
1st	堀越力	ボディボードメン 1st/2nd	相田桃
2nd	斎藤真吾	ボディボードメン 3rd/4th	川島真紀
3rd	安藤弘之進	下市長賞	堀越力 (1st)
4th	小松達輝		松田詩野 (ボディボード)
ウィメン	松田詩野	権守賢治 (ボディボード)	
ロングボードメン	権守賢治	伊豆白浜観光協会賞	安藤弘之進 (3rd)
ロングボードウィメン	矢野このみ	ベストライディング賞	塚本 哲也 (ボディボード)
ボディボードメン 1st/2nd	柳瀬憲治	敢闘賞	進士 祝也 (3rd)
ボディボードメン 3rd/4th	富岡健次		

1974年度 第9回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和49年9月15日(日)～9月16日(月)			
会場：静岡県御前崎町御前崎海岸			
ジュニア	添田博道	レディース	小室真理子
メン	小林正明	タンデム	山崎市朗
シニアA	井坂啓美		月削小百合
シニアB	鈴木三平		

1973年度 第8回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和48年8月15日(水)～8月19日(日)			
会場：千葉県銚子市君ヶ浜海岸			
ジュニア	抱井保徳	レディース	小室真理子
メン	青田琢二	タンデム	山崎市朗
シニアA	岡根隆夫		月削小百合
シニアB	鈴木三平		

1972年度 第7回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和47年8月13日(日)～8月15日(火)			
会場：茨城県日立市河原市海岸			
ジュニア	伊藤満	シニアA	小川秀之
メン	川井幹雄	シニアB	島田勝
レディース	小室真理子		

1971年度 第6回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和46年8月15日(日)～8月16日(月)			
会場：愛知県豊美郡赤羽根海岸			
ジュニア	岡野教彦	シニアA	小川秀之
メン	出川三千男	シニアB	坂田道
レディース	細川真理子		

1970年度 第5回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和45年8月22日(土)～8月23日(日)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸			
ジュニア	青田琢二	シニアA	鈴木三平
メン	小川秀之	シニアB	中村一己
レディース	細川真理子		

1969年度 第4回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和44年8月23日(土)～8月24日(日)			
会場：千葉県鴨川市サーフィンビーチ			
ジュニア	長沼一仁	レディース	細川真理子
メン	井坂啓美		

1968年度 第3回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和43年9月22日(日)			
会場：神奈川県鎌倉市七里ヶ浜海岸			
ジュニア	小室正則	メン	川井幹雄
シニア	鈴木正	レディース	高橋真理

1967年度 第2回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和42年10月22日(日)			
会場：千葉県勝浦市部原海岸			
ジュニア	川井幹雄	シニア	鈴木三平

1966年度 第1回全日本サーフィン選手権大会			
日時：昭和41年7月10日(日)			
会場：千葉県鴨川市サーフィンビーチ			
ジュニア	川井幹雄	一般の部	勝野訓年
シニア	佐賀光三		

※ 2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大により未開催

2013年度 第31回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成25年5月24日(金)～5月26日(日)			
会場：千葉県長生郡一宮町釣ヶ崎海岸(志田下) 出場選手合計：617名			
1st	野呂海利	ボディボードメン 1st/2nd	柳瀬憲治
2nd	中川雅宗	ボディボードメン 3rd/4th	鍵和川福司
3rd	山本秀哉	ボディボードウイム 1st/2nd	岡澤繁樹
4th	竹内寛斗	ボディボードウイム 3rd/4th	長沢依子
ウイム	田代晃斗	ベストフティング賞	田代浩斗(ウイム)
ロングボード	中山祐樹	敢闘賞	古川智也(2nd)
ロングボードウイム	岡澤繁樹		

2009年度 第27回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成21年4月24日(金)～4月27日(月)			
会場：宮崎県宮崎市木崎浜海岸 出場選手合計：227名			
1st/2nd	加藤嵐	ロングボードウイメン	大塚純
3rd	早川広起	ボディボードメン	横戸崇人
4th	河田樹	ボディボードウイメン	相田桃
ウイメン	水野亜彩子	ベストライディング	加藤嵐
ロングボードメン	藤原和将	敢闘賞	岩切楓華

2008年度 第26回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成20年4月25日(金)～4月28日(月)			
会場：宮崎県宮崎市木崎浜海岸 出場選手合計：291名			
1st/2nd	井上達貴	ロングボードメン	中野宏昭
3rd	石田銀二	ロングボードウイメン	宮野梢
4th	山本浩由	ボディボードメン	横戸崇人
ウイメン	大村奈央	ボディボードウイメン	山崎美穂

2007年度 第25回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成19年4月19日(木)～4月22日(日)			
会場：静岡県下田市白浜海岸 出場選手合計：311名			
1st	山田通明	ボディボードメン3rd	堀川彰
2nd	小嶋翼	ボディボードメン1st/2nd	茨間康子
3rd	増山裕亮	ボディボードウイメン3rd	畠山美南海
4th	高田湧太	ウイメン	大村奈央
ロングボードメン	辻嶋司	ベストライディング	熊倉 真
ロングボードウイメン	吉田こみ	ベストジャッジ	大山和幸
ボディボードメン1st/2nd	加治賢和	敢闘賞	高田湧太

2006年度 第24回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成18年4月21日(金)～4月23日(日)			
会場：鹿児島県南種子町竹崎海岸 出場選手合計：175名			
1st	井出牧雄	ボディボードメン3rd	川名祐介
2nd	大田友貴	ボディボードメン1st/2nd	高村幸江
3rd	外岡慎吾	ボディボードウイメン3rd	川友里
4th	川崎如洋	ウイメン	清水亜希子
ロングボードメン	小島勝弘	ベストライディング	水口朋香
ロングボードウイメン	水口朋香	ベストジャッジ	吉富亮介
ボディボードメン1st/2nd	横戸崇人	敢闘賞	川崎如洋

2005年度 第23回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成17年5月19日(木)～5月21日(土)			
会場：宮崎県宮崎市木崎浜海岸 出場選手合計：271名			
1st	川越章吾	ボディボードメン3rd	横戸崇人
2nd	山田通明	ボディボードメン1st/2nd	坂理智子
3rd	井上達貴	ボディボードウイメン3rd	田祐祐子
4th	手塚邦晃	ウイメン	小柳江梨
ロングボードメン	秋本祥平	ベストライディング	碓山勇生
ロングボードウイメン	古市陽子	ベストジャッジ	長野徹
ボディボードメン1st/2nd	横戸輝	敢闘賞	安田裕音

2004年度 第22回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成16年4月30日(金)～5月2日(日)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：262名			
1st	寺村智紀	ボディボードメン3rd	田中慎信
2nd	鈴木卓浩	ボディボードメン1st/2nd	猪股明子
3rd	岩田隆二	ボディボードウイメン3rd	伊藤晃子
4th	井上達貴	ウイメン	中村恵子
ロングボードメン	松井雄樹	ベストライディング	鈴木卓浩
ロングボードウイメン	古市陽子	敢闘賞	富田桂介
ボディボードメン1st/2nd	小林経史	ベストジャッジ賞	室原真二

2003年度 第21回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成15年5月23日(金)～5月25日(日)			
会場：宮城県七ヶ浜町蒲田浜海岸 出場選手合計：435名			
1st	椎葉順	ボディボードメン3rd	横戸輝
2nd	山本陽一	ボディボードメン1st/2nd	西村優花
3rd	善家尚史	ボディボードウイメン3rd	京谷佳奈
ウイメン	小池美紀子	ベストライディング賞	善家尚史
ロングボード	鈴木剛	敢闘賞	佐々木清治
ボディボードメン1st/2nd	斉藤健太	ベストジャッジ賞	矢作広雄

2002年度 第20回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成14年4月26日(金)～4月29日(月)			
会場：静岡県下田市白浜海岸・多々戸海岸 出場選手合計：609名			
1st	林健太	ボディボードメン3rd	相原達央
2nd	酒井正海	ボディボードメン1st/2nd	西村優花
3rd	中浦一	ボディボードウイメン3rd	井上美郷
ウイメン	間屋口香	ベストライディング賞	門井大吾
ロングボード	鈴木康弘	敢闘賞	井出牧雄
ボディボードメン1st/2nd	大森拓	ベストジャッジ賞	室原真二

2001年度 第19回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成13年4月27日(金)～4月29日(日)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：413名			
1st	加藤孝紀	ボディボードメン3rd	名高佑樹
2nd	鳥井伸一	ボディボードメン1st/2nd	満島朋子
3rd	林健太	ボディボードウイメン3rd	松村美果
ウイメン	一ノ瀬さゆり	ベストライディング賞	藤井辰緒
ロングボード	藤井辰緒	敢闘賞	富田裕也
ボディボードメン1st/2nd	山本雅春	ベストジャッジ賞	高木洋二

2000年度 第18回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成12年4月28日(金)～4月30日(日)			
会場：鹿児島県南種子町竹崎海岸・欽浜海岸 出場選手合計：281名			
1st	田嶋鉄兵	ボディボードメン3rd	京谷雄策
2nd	渡辺将人	ボディボードメン1st/2nd	角田恵
3rd	吉岡温三	ボディボードウイメン3rd	西村優花
レディース	長嶋美奈	ベストライディング賞	山畑匠平
ロングボード	頭領信弘	敢闘賞	後藤久美子
ボディボードメン1st/2nd	山田亨	ベストジャッジ賞	東島善寿

1999年度 第17回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成11年5月1日(土)～5月3日(月)			
会場：福島県鹿島町島浜海岸 出場選手合計：531名			
1st	石川秀樹	ボディボードメン3rd	近藤義忠
2nd	飛田剛	ボディボードメン1st/2nd	川野恵
3rd	杉山経太	ボディボードウイメン3rd	大田原未都
レディース	福谷周子	ベストライディング賞	石川秀樹
ロングボード	頭領信弘	敢闘賞	井上直与
ボディボードメン1st/2nd	大川哲弘	ベストジャッジ賞	前田隆一

1998年度 第16回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成10年4月25日(土)～4月27日(月)			
会場：静岡県下田市白浜海岸 出場選手合計：604名			
1st	佐々木宏	ボディボードメン3rd	滝沢典史
2nd	田中樹	ボディボードメン1st/2nd	川野恵
3rd	都築佑介	ボディボードウイメン3rd	古山みゆき
レディース	谷口絵里菜	ベストライディング賞	佐々木宏
ロングボード	牧野祐哉	敢闘賞	山田真弓
ボディボードメン1st/2nd	久根崎修	ベストジャッジ賞	松田亨

1997年度 第15回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成9年4月26日(土)～4月28日(月)			
会場：秋田県西目町西目海岸 出場選手合計：262名			
1st	石川秀樹	ボディボードメン3rd	黒田啓一
2nd	安藤隆之	ボディボードメン1st/2nd	高橋直美
3rd	坂本真敦	ボディボードウイメン3rd	中野葉子
レディース	福谷周子	ベストライディング賞	高橋仁
ロングボード	赤井得士	敢闘賞	熊谷泰子
ボディボードメン1st/2nd	高橋仁	ベストジャッジ賞	菊地雪秀

1996年度 第14回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成8年4月27日(土)～4月29日(月)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：258名			
1st	大野仙雅	ボディボードメン1st/2nd	高木聖岳
2nd	三浦太郎	ボディボード3rd	山口幸平
3rd	田村俊明	ベストライディング賞	小野嘉夫
レディース	高橋すみえ	敢闘賞	広瀬可奈
ロングボード	真木藏人	ベストジャッジ賞	岡野功

1995年度 第13回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成7年5月5日(金)～5月6日(土)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：319名			
1st	大野修聖	ボディボード3rd	利川雅人
2nd	金指清尚	レディース	杉田悦子
3rd	堀越弘信	ベストライディング賞	大野仙雅
ロングボード	畑国男	敢闘賞	渡辺知
ボディボード2nd	奥村唯臣	ベストジャッジ賞	熊倉雅義

1994年度 第12回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成6年4月29日(金)～5月1日(日)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：270名			
1st	加藤孝紀	ロングボード	上谷直樹
2nd	山崎裕二	ボディボード3rd	嶋沢和弥
3rd	吉岡健	ボディボード4th	松田真穂
レディース	吉田直子		

1993年度 第11回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成5年5月1日(土)～5月3日(月)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸			
1st	小畑智明	ボディボード3rd	嶋沢和弥
1stベストライディング賞	小畑智明	ボディボード3rd	嶋沢和弥
2nd	小野嘉夫	ボディボード4th	諏訪博之
2ndベストライディング賞	小野嘉夫	ボディボード4th	諏訪博之
3rd	中島洋平	ボディボード4th	諏訪博之
3rdベストライディング賞	星道明	ボディボードレディース	福原なるみ
レディース	杉山知世	ボディボードレディース	福原なるみ
レディースベストライディング賞	広瀬可奈	ボディボードレディース	福原なるみ
ロングボード	宮内謙至	ボディボードレディース	福原なるみ
ロングボードベストライディング賞	宮内謙至		

1992年度 第10回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成4年5月3日(日)～5月5日(火)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸			
1st	小川啓	レディース	蓮田泰子
1stベストライディング賞	渡辺広樹	レディースベストライディング賞	広瀬可奈
2nd	須部英明	ロングボード	河村正美
2ndベストライディング賞	村上拓也	ベストジャッジ賞	永井貴美
3rd	佐々木宏		

1991年度 第9回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成3年5月18日(土)～5月19日(日)			
会場：茨城県波崎町波崎海岸			
1st	小川啓	ベストライディング賞	安藤恵太
2nd	石関太郎	敢闘賞	高梨一夫
3rd	大坂敏一	ベストジャッジ賞	佐藤正行
レディース	山本孝子		

1990年度 第8回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成2年4月28日(土)～4月30日(月)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸			
1st	塩坂信康	4th	松下泰紀
2nd	小川啓	レディース	山本孝子
3rd	千葉一幸	ベストジャッジ賞	大川浩人

1989年度 第7回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：平成元年5月3日(水)～5月5日(金)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：360名			
1st	進藤晃	ベストライディング賞	橋村寿生
2nd	吉田新一	ベストライディング賞	星山道明
3rd	原田泰三	ベストライディング賞	谷内太郎
4th	星山道明	ベストライディング賞	渡辺広樹
レディース	広瀬可奈	ベストライディング賞	信太一史
ロングボード	佐渡代正	ベストライディング賞	細谷照美
ニード	前川純	ベストライディング賞	前川純

1988年度 第6回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：昭和63年5月1日(日)～5月3日(火)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：450名			
1st	小畑智昭	ボディボードAクラス	杉野聖明
2nd	進藤晃	ボディボードBクラス	加藤勝典
3rd	上條将美	ニード	前川純
4th	磯崎陽道	ロングボード	小川勝幸
レディース	橘高旬子	ベストライディング賞	進藤晃
ベストジャッジ賞	片岡成吉	敢闘賞	平山孝継

1987年度 第5回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：昭和62年5月3日(日)～5月5日(火)			
会場：東京都新島村 羽伏浦海岸 出場選手合計：356名			
1st	河野正和	4th	河村正美
1stベストライディング賞	河野正和	4thベストライディング賞	植村順一
2nd	安藤義正	レディース	永井貴美
2ndベストライディング賞	進藤晃	レディースベストライディング賞	上藤泰子
3rd	大河成好	ニード	前川純
3rdベストライディング賞	福島唯博	ベストジャッジ賞	米川宏一

1986年度 第4回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：昭和61年4月26日(土)～4月28日(月)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：255名			
1st	工藤吉尚	3rd敢闘賞	渡辺正広
1stベストライディング賞	工藤吉尚	4th	坂本広尚
1st敢闘賞	久田友彦	4thベストライディング賞	坂本広尚
2nd	河野正和	4th敢闘賞	山田清幸
2ndベストライディング賞	川畑邦宏	レディース	佐久間三枝
2nd敢闘賞	江田秀臣	レディースベストライディング賞	中軽米弥生
3rd	飯田道広	レディース敢闘賞	道道生
3rdベストライディング賞	松本照男	ニード	川南正

1985年度 第3回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：昭和60年5月3日(金)～5月5日(日)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：306名			
1st	遠藤隆久	3rd敢闘賞	渡辺正広
2nd	植松成実	4th	平沢直也
3rd	沼尻和則	レディース	細谷照美

1984年度 第2回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：昭和59年5月4日(金)～5月5日(土)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸			
Aクラス	遠藤隆久	Aクラスベストライディング賞	平野彰
Bクラス	和田竜二	Bクラスベストライディング賞	根本和彦
レディース	山田絵里	レディースベストライディング賞	山下光
ニード	川南正		

1983年度 第1回全日本級別サーフィン選手権大会			
日時：昭和58年5月3日(火)～5月4日(水)			
会場：東京都新島村羽伏浦海岸 出場選手合計：約230名			
Aクラス	鈴木康弘	レディース	平野彰子
Bクラス	宮川浩一		

ジュニアオープンサーフィン選手権大会結果(1993～2020年)

2020年度 第28回ジュニアオープンサーフィン選手権大会			
日時：令和2年11月14日(土)～11月15日(日)			
会場：千葉県南房総市千倉海岸 出場選手合計：112名			
キッズ	岡野達	ジュニア	村田嵐
ボーイズ	石見天獅	ガールズ	中塩佳那

2019年度 第27回ジュニアオープンサーフィン選手権大会			
日時：令和元年6月14日(金)～6月16日(日)、22日(土)			
会場：静岡県磐田市豊浜海岸		出場選手合計：174名	
キッズ	山本来夢	ベストライディング賞 上山キアヌ里朱 (ジュニア)	
ボーイズ	矢作紋乃丞		
ジュニア	上山キアヌ里朱		
ガールズ	中塩佳那		

2017年度 第25回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成29年6月16日(金)～6月18日(日)		
会場：宮崎県宮崎市木崎浜海岸 出場選手合計：142名		
キッズ	原田祥吾	ベストライディング賞 村田風(ボーイズ)
ボーイズ	村田風	
ジュニア	西條司	
ガールズ	野中美波	

2016年度 第24回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成28年6月17日(金)～6月19日(日)		
会場：千葉県長生郡一宮町 釣ヶ崎海岸 出場選手合計：138名		
キッズ	岩見天獅	ベストライディング賞 森友二(ボーイズ)
ボーイズ	森友二	
ジュニア	西條司郎	
ガールズ	野中美波	

2015年度 第23回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成27年6月19日(金)～6月22日(日)		
会場：静岡県磐田市 豊浜海岸 出場選手合計：154名		
キッズ	松原清生	ベストライディング賞 森友二(ボーイズ)
ボーイズ	都筑百斗	磐田市市長賞 西條司郎(ジュニア)
ジュニア	西條司郎	鈴木姫七(ガールズ)
ガールズ	鈴木姫七	磐田市体育協会会長賞 各クラス優勝選手

2014年度 第22回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成26年6月21日(土)～6月22日(日)		
会場：静岡県磐田市 豊浜海岸 出場選手合計：153名		
キッズ	伊東李安琉	ベストライディング賞 野呂海利(ボーイズ)
ボーイズ	野呂海利	磐田市市長賞 松下諒太(ジュニア)
ジュニア	松下諒太	鈴木姫七(ガールズ)
ガールズ	鈴木姫七	磐田市体育協会会長賞 各クラス優勝選手

2013年度 第21回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成25年6月22日(土)～6月22日(日)		
会場：静岡県磐田市 豊浜海岸 出場選手合計：140名		
キッズ	安室丈	ベストライディング賞 野呂海利(ボーイズ)
ボーイズ	野呂海利	松下諒太(ジュニア)
ジュニア	松下諒太	鈴木姫七(ガールズ)
ガールズ	鈴木姫七	磐田市体育協会会長賞 各クラス優勝選手

2012年度 第20回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成24年6月23日(土)～6月24日(日)		
会場：静岡県磐田市 豊浜海岸 出場選手合計：124名		
キッズ	森友二	ベストライディング賞 黒川日菜子(ガールズ)
ボーイズ	村上舜	鈴木姫七(ガールズ)
ジュニア	笹子夏輝	磐田市体育協会会長賞 各クラス優勝選手

2011年度 第19回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成23年6月25日(土)～6月26日(日)		
会場：静岡県磐田市 豊浜海岸 出場選手合計：121名		
キッズ	野呂海利	ベストライディング賞 黒川日菜子(ガールズ)
ボーイズ	安井拓海	鈴木姫七(ガールズ)
ジュニア	大森海夏人	磐田市体育協会会長賞 各クラス優勝選手

2010年度 第18回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成22年7月18日(日)～7月19日(月)		
会場：宮城県気仙沼市小泉海岸 出場選手合計：111名		
キッズ	西條司郎	ベストライディング賞 野呂玲花(ガールズ)
ボーイズ	新井洋人	鈴木姫七(ガールズ)
ジュニア	渡邊藍	磐田市体育協会会長賞 各クラス優勝選手

マスタースオープンサーフィン選手権大会(2004～2019)

2019年度 第16回マスタースオープンサーフィン選手権大会		
日時：令和元年6月14日(金)～6月16日(日)、22日(土)		
会場：静岡県磐田市豊浜海岸 出場選手合計：225名		
シニアマスター	鈴木藍策	
グランドマスター&カフナ	坂本應尚(グランドマスター)	
シニアウィメン	清永亜希子	
ロングボードマスター	尾崎賢	
敢闘賞	伊藤雅樹(ロングボードマスター)	

2018年度 第15回マスタースオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成30年6月15日(金)～6月17日(日)		
会場：千葉県南房総市千倉海岸 出場選手合計：183名		
シニアマスター	松倉円	
グランドマスター&カフナ	中村義浩	
シニアウィメン	大江なぎさ	
ロングボードマスター	岩田信彦	
敢闘賞	中村義浩(グランドマスター)	

2017年度 第14回マスタースオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成29年6月16日(金)～6月18日(日)		
会場：宮崎県宮崎市木崎浜海岸 出場選手合計：137名		
シニアマスター	松倉円	
グランドマスター	坂本應尚	
シニアウィメン	田上さくら	
ロングボードマスター	戸井田 雅秋	
敢闘賞	中村義浩(グランドマスター)	

2016年度 第13回マスタースオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成28年6月17日(金)～6月19日(日)		
会場：千葉県長生郡一宮町 釣ヶ崎海岸 出場選手合計：233名		
シニアマスター	鈴木重紀	
グランドマスター	中村義浩	
シニアウィメン	竹内恵子	
ロングボードマスター	岩田信彦	
敢闘賞	高橋誠	

2015年度 第12回マスタースオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成27年6月19日(金)～6月21日(日)		
会場：静岡県磐田市豊浜海岸 出場選手合計：234名		
シニアマスター	大世戸洋司	
グランドマスター	高橋誠	
シニアウィメン	大江なぎさ	
ロングボードマスター	渡辺晃	
磐田市体育協会会長賞	各クラス優勝選手	

2009年度 第17回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成21年7月19日(日)～7月20日(月)		
会場：茨城県日立市河原子北浜海岸 出場選手合計：120名		
キッズ	安井拓海	ガールズ 大村奈央
ボーイズ	塚本勇太	敢闘賞 西條司
ジュニア	加藤嵐	ベストライディング賞 安井拓海

2008年度 第16回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成20年7月19日(土)～7月20日(日)		
会場：静岡県牧之原市静波海岸 出場選手合計：101名		
キッズ	稲葉玲王	ガールズ 大村奈央
ボーイズ	新井洋人	敢闘賞 大森海夏人
ジュニア	田中海周	ベストライディング賞 加藤嵐

2007年度 第15回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成19年7月28日(土)～7月29日(日)		
会場：高知県四万十市平野海岸 出場選手合計：76名		
キッズ	仲村拓久末	ガールズ 大村奈央
ボーイズ	田中海周	ベストライディング賞 西地風太
ジュニア	中村光貴	ベストライディング賞 菜花卓也

2006年度 第14回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成18年4月1日(土)～4月2日(日)		
会場：高知県四万十市平野海岸 出場選手合計：74名		
U16-A	高橋健人	ガールズ 橋本小百合
U16-B	新井洋人	敢闘賞 西地風太
U18-A	間屋口峻英	ベストライディング賞 橋本小百合
U18-B	渡本将大	

2005年度 第13回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成17年4月2日(土)～4月3日(日)		
会場：高知県中村市平野海岸 出場選手合計：55名		
U16-A	松岡慧斗	ガールズ 今村カレン
U16-B	高橋優人	敢闘賞 武知美波
U18-A	高木勇二	ベストライディング賞 高木勇二
U18-B	大塚崇	

2004年度 第12回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成16年4月10日(土)～4月11日(日)		
会場：静岡県下田市白浜海岸 出場選手合計：83名		
U16-A	間屋口峻英	U18-B 白井雄三
U16-B	横野明弘	敢闘賞 大森海夏人
U18-A	高木勇二	ベストライディング賞 間屋口峻英

2003年度 第11回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成15年4月26日(土)～4月27日(日)		
会場：高知県東洋町生見海岸 出場選手合計：45名		
U16	間屋口峻英	ベストライディング
U18	田中譲	U16 高木勇二
		U18 杉原康幸

2002年度 第10回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成14年5月11日(土)～5月12日(日)		
会場：千葉県長生郡一宮町一宮海岸 出場選手合計：60名		
U16	関田秀俊	ベストライディング
U18	酒井正海	U16 中村昭太
		U18 仲野仁人

2001年度 第9回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成13年5月26日(土)～5月27日(日)		
会場：静岡県下田市白浜海岸 出場選手合計：60名		
U16	仲野仁人	ベストライディング
U18	林健太	U16 辻裕次郎
		U18 高梨直人

2000年度 第8回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成12年5月27日(土)～5月28日(日)		
会場：愛知県渥美郡赤羽根ロングビーチ・赤羽根ロコポイント		
U16	田嶋鉄兵	ベストライディング
U18	田中樹	U16 田嶋鉄兵
		U18 森哲太・田中樹

1999年度 第7回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成11年5月22日(土)～5月23日(日)		
会場：千葉県和町白濱海岸・千葉県神町夷風海岸 出場選手合計：45名		
U16	田嶋鉄兵	ベストライディング
U18	森哲太	U16 田中樹
		U18 森哲太

1998年度 第6回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成10年6月13日(土)～6月14日(日)		
会場：千葉県長生郡一宮町東浪見海岸・大東海岸 出場選手合計：82名		
U16	森哲太	ベストライディング
U18	土屋元	U16 田嶋鉄兵
		U18 山田裕介

1997年度 第5回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成9年5月25日(日)		
会場：千葉県千葉市千倉海岸		
U16	田中樹	U18 土屋元

1996年度 第4回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成8年6月9日(日)		
会場：千葉県長生郡一宮町一宮海岸・東浪見海岸		
U16	大野仙雅	U18 佐藤和也

1995年度 第3回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成7年5月21日(日)		
会場：千葉県長生郡一宮町一宮海岸		
U16	大野修聖	ベストライディング
U18	北岡光太郎	U16 大野修聖
		U18 鶴沢好敬

1994年度 第2回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成6年6月5日(日)		
会場：千葉県長生郡一宮町釣ヶ崎海岸		
U16	大野修聖	U18 小野嘉夫

1993年度 第1回ジュニアオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成5年5月30日(日)		
会場：神奈川県藤沢市鶴沼海岸		
U16	北岡光太郎	U18 牧野優介

※2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大により未開催

2010年度 第7回マスタースオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成22年7月18日(日)～7月19日(月)		
会場：宮城県気仙沼市小泉海岸 出場選手合計：75名		
シニアマスター	磯部康典	
グランドカフナ	高荷尚幸	
シニアウィメン	阿佐聡子	

2009年度 第6回マスタースオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成21年7月19日(日)～7月20日(月)		
会場：茨城県日立市河原子北浜海岸 出場選手合計：61名		
マスター	小林建一郎	

2008年度 第5回マスタースオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成20年7月19日(土)～7月20日(日)		
会場：静岡県牧之原市静波海岸 出場選手合計：63名		
マスター	磯部康典	

2007年度 第4回マスタースオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成19年7月28日(土)～7月29日(日)		
会場：高知県四万十市平野海岸 出場選手合計：31名		
マスター	磯部康典	
敢闘賞	原安澄	

2006年度 第3回マスタースオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成18年4月1日(土)～4月2日(日)		
会場：高知県四万十市平野海岸 出場選手合計：14名		
マスター	小林建一郎	

2005年度 第2回マスタースオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成17年4月2日(土)～4月3日(日)		
会場：高知県中村市平野海岸 出場選手合計：6名		
マスター	新谷信行	

2004年度 第1回マスタースオープンサーフィン選手権大会		
日時：平成16年4月10日(土)～4月11日(日)		
会場：静岡県下田市白浜海岸 出場選手合計：10名		
マスター	大沼潤一	

*のカテゴリはデモンストレーション競技になります。

東日本サーフィン選手権大会結果(1992～2006年)

2006年度 第15回東日本サーフィン選手権大会			
日時：平成18年8月24日(木)～8月27日(日)			
会場：宮城県名取市閑上海岸 出場選手合計：645名			
キッズ	大森海夏人	ロングボードマスター	安住真悦
ボーイズ	大橋海人	ロングボードウィメン	古市陽子
ジュニア	高貴佑麻	ボディボードメン	榎戸輝
メン	早稲田晩生	ボディボードウィメン	佐藤亜矢子
シニア	菅谷洋	ベストライディング	大森海夏人
マスター	青山雄一	敢闘賞	大森海夏人
グランドマスター	坂本鷹尚	ベストジャッジ	宮本篤
ウィメン	橋本小百合	バドルリレー	湘南藤沢支部
ロングボードメン	辻嶋司		

2005年度 第14回東日本サーフィン選手権大会			
日時：平成17年8月24日(木)～8月27日(土) 予備日28日(日)			
会場：福島県原町市北東海岸 出場選手合計：656名			

ボーイズ	松岡慧斗	ロングボードウィメン	橋本小百合
ジュニア	黒沢賢一	ボディボードメン	榎戸崇人
メン	関田秀俊	ボディボードウィメン	岸里美
シニア	山田ユウジ	ベストライディング	松岡慧斗
マスター	磯部康典	敢闘賞	橋本小百合
グランドマスター	松並和重	ベストジャッジ	小川文夫
ウィメン	熊澤友紀	バドルレース	湘南藤沢支部
ロングボードメン	辻嶋司		

2004年度 第13回東日本サーフィン選手権大会			
日時：平成16年8月25日(水)～8月29日(日)、10月12日(火)			
会場：東京都新島村羽伏湾海岸・福島県原町市北東海岸 出場選手合計：660名			

ボーイズ	松岡慧斗	ウィメン	中村恵子
ジュニア	深川達哉	ロングボードメン	辻嶋司
メン	金田輝士	ロングボードウィメン	小野春美
シニア	村上英介	ボディボードメン	相原友央
マスター	伊東勝彦	ボディボードウィメン	塚本昌代
グランドマスター	石館賢一	バドルレース	千葉東支部

2003年度 第12回東日本サーフィン選手権大会			
日時：平成15年8月20日(火)～8月23日(土)			
会場：東京都新島村羽伏湾海岸 出場選手合計：646名			

ボーイズ	中村昭太	ロングボード	鈴木剛
ジュニア	深川達哉	ロングボードメン	八千鶴一
メン	清水慈	ボディボードウィメン	熊谷真由美
シニア	田村隆之	ベストライディング	深川達哉
マスター	磯部康典	敢闘賞	新井陽子
グランドマスター	佐々木淳一	ベストジャッジ	岡島宏盛
ウィメン	新井陽子	バドルレース	千葉東支部

2002年度 第11回東日本サーフィン選手権大会			
日時：平成14年8月23日(金)～8月27日(火)			
会場：東京都新島村羽伏湾海岸 出場選手合計：701名			

ボーイズ	大沢伸幸	ロングボード	堀野珍
ジュニア	小川幸男	ボディボードメン	京谷雄策
メン	山本陽一	ボディボードウィメン	奥山千晶
シニア	加藤孝紀	ベストライディング	酒井正海
マスター	田村誠	敢闘賞	高橋誠
グランドマスター	細井隆	ベストジャッジ	城間祥夫
ウィメン	志賀美千代	バドルレース	千葉東支部

2001年度 第10回東日本サーフィン選手権大会			
日時：平成13年8月22日(水)～8月26日(日)			
会場：千葉県長生郡一宮町東浪見海岸 出場選手合計：700名			

ボーイズ	深川達哉	ロングボード	尾頭信弘
ジュニア	酒井正海	ボディボードメン	京谷雄策
メン	飛田剛	ボディボードウィメン	山本由美
シニア	中嶋武	ベストライディング	渡辺知
マスター	田村誠	敢闘賞	山田泰平
グランドマスター	高梨一夫	ベストジャッジ	平本利明
ウィメン	岡部亜紀		

2000年度 第9回東日本サーフィン選手権大会			
日時：平成12年10月27日(金)～10月29日(日)			
会場：茨城県波崎町波崎海岸 出場選手合計：358名			

ボーイズ	酒井正海	ロングボード	尾頭信弘
ジュニア	田中樹	ボディボードメン	山本雅春
メン・シニア	飛田剛	ボディボードウィメン	高野佳代子
マスター	豊田泰史	ベストライディング	酒井正海
グランドマスター	高梨一夫	敢闘賞	深川達哉
レディース	梅田光世	ベストジャッジ	廣瀬雅也

1999年度 第8回東日本サーフィン選手権大会			
日時：平成11年10月22日(金)～10月24日(日)			
会場：宮城県七ヶ浜町菟浦田浜海岸 出場選手合計：355名			

ボーイズ	中浦章	ロングボード	杉浦重喜
ジュニア	田中樹	ボディボードメン	清野浩之
メン・シニア	佐藤一徳	ボディボードウィメン	芝麻美
マスター	高梨一夫	ベストライディング	中浦章
グランドマスター	佐藤伸夫	敢闘賞	越後耕平
レディース	福谷周子	ベストジャッジ	安部長広

1998年度 第7回東日本サーフィン選手権大会			
日時：平成10年10月2日(金)～10月4日(日)			
会場：福島県いわき市豊間海岸 出場選手合計：352名			

ボーイズ	田中樹	ロングボード	土屋昌平
ジュニア	小川和之	ボディボードメン	柴田泰之
メン・シニア	吉川共久	ボディボードウィメン	杉山玲子
マスター	椎野睦彦	ベストライディング	小川和之
グランドマスター	高橋誠	敢闘賞	渡辺孝
レディース	福谷周子	ベストジャッジ	高岡好信

1997年度 第6回東日本サーフィン選手権大会			
日時：平成9年10月11日(土)～10月12日(日)			
会場：宮城県本吉郡小泉海岸			

ボーイズ	進士剛光	ロングボード	足名昭浩
ジュニア	土屋元	ボディボードメン	久根崎修
メン・シニア	河野重寿	ボディボードウィメン	高橋直美
マスター	高橋誠	ベストライディング	小山光男
グランドマスター	高梨一夫	ベストジャッジ	佐藤義郎
レディース	石井啓子		

1996年度 第5回東日本サーフィン選手権大会			
日時：平成8年10月26日(土)～10月27日(日)			
会場：千葉県長生郡一宮町東浪見海岸 出場選手合計：170名			

ボーイズ	渡辺将人	ロングボード	相良進
ジュニア	佐藤和也	ボディボードメン	柴田泰之
メン・シニア	加藤孝紀	ボディボードウィメン	長沢佳代子
マスター	高橋誠	ベストライディング	牧野優介
グランドマスター	高田賢示	ベストジャッジ	備前貴晶
レディース	高橋すみえ		

1995年度 第4回東日本サーフィン選手権大会			
日時：平成7年9月30日(土)～10月1日(日)			
会場：北海道恵山町日の浜海岸 出場選手合計：170名			

ボーイズ・ジュニア	吉井祐吾	ボディボードメン	高木聖岳
メン・シニア	市村清	ボディボードウィメン	小池葵
マスター・グランドマスター	高橋誠	ベストライディング	市村清
レディース	佐々木貴巳	ベストジャッジ	田中敏之
ロングボード	高木聖岳		

1994年度 第3回東日本サーフィン選手権大会			
日時：平成6年10月29日(土)～10月30日(日)			
会場：宮城県亘理町荒浜海岸 出場選手合計：235名			

ボーイズ・ジュニア	小野嘉夫	ロングボード	山崎市朗
メン・シニア	高梨一夫	ボディボードメン	友田曉司
マスター・グランドマスター	高梨一夫	ボディボードウィメン	小池葵
レディース	杉田悦子	ベストライディング	佐藤和也

1993年度 第2回東日本サーフィン選手権大会			
日時：平成5年11月13日(土)～11月14日(日)			
会場：茨城県日立市河原子海岸 出場選手合計：235名			

ボーイズ・ジュニア	小野嘉夫	ロングボード	宮内謙至
メン・シニア	市村清	ボディボードメン	野崎久司
マスター・グランドマスター	清水裕之	ボディボードウィメン	小池葵
レディース	増田和美		

1992年度 第1回東日本サーフィン選手権大会			
日時：平成4年11月22日(日)～11月23日(月)			
会場：千葉県鴨川市前原海岸 出場選手合計：361名			

ボーイズ	大野修聖	グランドマスター	福岡義一
ジュニア	桜井達彦	レディース	蓮田泰子
メン	市村清	ロングボード	宮内謙至
シニア	三輪真一	ボディボードメン	加藤勝典
マスター	高橋誠	ボディボードウィメン	磯沢和弥

西日本サーフィン選手権大会結果(1992～2006年)

2006年度 第18回西日本サーフィン選手権大会			
日時：平成18年8月24日(木)～8月27日(日)			
会場：静岡県御前崎市御前崎海岸 出場選手合計：408名			

キッズ	仲村拓久未	ロングボードマスター	野田雅生
ボーイズ	田中海周	ロングボードウィメン	吉田このみ
ジュニア	栗須樺	ボディボードメン	曾根進吾
メン	高木勇二	ボディボードウィメン	渡辺明
シニア	相馬盛行	ベストライディング	小橋嶋人
マスター	大沼潤一	敢闘賞	安田玲香
グランドマスター	久野孝	ベストジャッジ	高木好則
ウィメン	強力音乃	バドルリレー	徳島支部
ロングボードメン	那須憲治		

2005年度 第17回西日本サーフィン選手権大会			
日時：平成17年8月24日(水)～8月27日(土) 予備日28日(日)			
会場：高知県東洋町生見海岸 出場選手合計：419名			

ボーイズ	田中海周	ロングボードウィメン	玉木里津子
ジュニア	小山渚	ボディボードメン	曾根進吾
メン	鈴木勝大	ボディボードウィメン	渡辺明
シニア	黒木雄一	ベストライディング	渡辺明
マスター	和田英明	敢闘賞	渡辺寛
グランドマスター	B.Backland	ベストジャッジ	奈須信夫
ウィメン	増田弘美	バドルレース	徳島支部
ロングボードメン	秋本祥平		

2004年度 第16回西日本サーフィン選手権大会			
日時：平成16年8月25日(水)～8月27日(金)			
会場：宮崎県宮崎市木崎浜海岸・青島海岸 出場選手合計：455名			

ボーイズ	栗須樺	ロングボード	阿隣寛典
ジュニア	栗須樺	ロングボードウィメン	稲垣真木子
メン	切詰英利	ボディボードメン	小林経史
シニア	金指清尚	ボディボードウィメン	京谷佳奈
マスター	金指清尚	ベストライディング	切詰英利
グランドマスター	森泉徳彦	敢闘賞	柳川美智子
ウィメン	松本裕子	ベストジャッジ	西川久美

2003年度 第15回西日本サーフィン選手権大会			
日時：平成15年8月21日(木)～8月24日(日)			
会場：静岡県相良町片浜海岸・御前崎町御前崎海岸 出場選手合計：447名			

ボーイズ	間屋口峻英	ロングボード	阿隣寛典
ジュニア	川越章吾	ボディボードメン	名高佑樹
メン	樋口賢	ボディボードウィメン	二宮千津
シニア	黒木雄一	ベストライディング	中田嘉直
マスター	中田嘉直	敢闘賞	平野武
グランドマスター	三輪真一	ベストジャッジ	浅井賢治
ウィメン	松尾理映	バドルレース	鹿児島支部

2002年度 第14回西日本サーフィン選手権大会			
日時：平成14年8月24日(土)～8月27日(火)			
会場：高知県東洋町生見海岸 出場選手合計：464名			

ボーイズ	林亨	ロングボード	鈴木康弘
ジュニア	碓山勇生	ボディボードメン	川越太一
メン	久木田亮太	ボディボードウィメン	二宮千津
シニア	上村徹	ベストライディング	上村徹
マスター	西川徹	敢闘賞	新居美保
グランドマスター	瀬野岳	ベストジャッジ	井本文文
ウィメン	萩原水紀	バドルレース	鹿児島支部

2001年度 第13回西日本サーフィン選手権大会			
日時：平成13年8月23日(木)～8月26日(日)			
会場：愛知県赤羽根町赤羽根海岸 出場選手合計：499名			

ボーイズ	栗栖聖	ロングボード	高良直三
ジュニア	林健太	ボディボードメン	柴田英人
メン	鈴木章浩	ボディボードウィメン	二宮千津
シニア	松下清	ベストライディング	林健太
マスター	阪田栄一	敢闘賞	浜国康
グランドマスター	内藤直樹	ベストジャッジ	金森寛
ウィメン	川崎茜		

2000年度 第12回西日本サーフィン選手権大会			
日時：平成12年11月10日(金)～11月12日(日)			
会場：島根県浜田市国府海岸 出場選手合計：264名			

ボーイズ	辻裕次郎	ロングボード	高良直三
ジュニア	林健太	ボディボードメン	池田雄一
メン	黒木雄一	ボディボードウィメン	一栗梨世
シニア	外立徹一郎	ベストライディング	黒木雄一
マスター	西川徹	敢闘賞	竹内猛
グランドマスター	新谷信行	ベストジャッジ	谷口比呂志
レディース	松本典子		

1999年度 第11回西日本サーフィン選手権大会			
日時：平成11年11月12日(金)～11月14日(日)			
会場：宮崎県日向市お倉ヶ浜海岸 出場選手合計：571名			

ボーイズ	林健太	ロングボード	浦和直俊
ジュニア	森若太	ボディボードメン	宮脇賢行
メン	黒木雄一	ボディボードウィメン	渡井幸子
シニア	森見崑	ベストライディング	森見崑
マスター	B.Backland	敢闘賞	赤木秀幸
グランドマスター	藤井辰緒	ベストジャッジ	廣田健志
レディース	岩田弘子		

1998年度 第10回西日本サーフィン選手権大会			
日時：平成10年10月9日(金)～10月11日(日)			
会場：三重県阿児町国府の浜海岸 出場選手合計：530名			

ボーイズ	仲野仁人	ロングボード	藤井辰緒
ジュニア	森哲太	ボディボードメン	池田雄一
メン	黒木雄一	ボディボードウィメン	梅田知香子
シニア	森見崑	ベストライディング	森哲太
マスター	塚本芳久	敢闘賞	川村史郎
グランドマスター	内藤直樹	ベストジャッジ	松本公宏
レディース	杉浦麻里衣		

1997年度 第9回西日本サーフィン選手権大会			
日時：平成9年9月27日(土)～9月28日(日)			
会場：鹿児島県南種子町竹崎海岸			

ボーイズ	仲野仁人	レディース	谷口絵里葉
ジュニア	甲斐俊作	ロングボード	板垣光雄
メン	三木正行	ボディボードメン	杉山展行
シニア	中田嘉直	ボディボードウィメン	甲斐貴美子
マスター	鈴木弘章	ベストライディング	中田嘉直
グランドマスター	小林隆	ベストジャッジ	竹中省悟

||
||
||

1994年度 第6回西日本サーフィン選手権大会			
日時：平成6年11月12日(土)～11月13日(日)			
会場：鳥取県浜田市国府海岸 出場選手合計：310名			
ボーイズ	木村悠	ロングボード	鈴木多島
ジュニア	水元公志	ボディボードメン	明松輝社
メン	森見三	ボディボードレディーズ	平山理恵
シニア	テレビ・バウソ	ベストライディング	出水淳一
マスター	猪塚弘史	ベストジャッジ	新居昌也
グランドマスター	内藤直樹		
レディーズ	谷口絵里菜		

1993年度 第5回西日本サーフィン選手権大会			
日時：平成5年11月13日(土)～11月14日(日)			
会場：鳥取県泊村石脇海岸 出場選手合計：258名			
ボーイズ	木村悠	グランドマスター	内藤直樹
ジュニア	原田正規	レディーズ	菊川佳子
メン	久保英明	ロングボード	竹尾壮平
シニア	渡辺勝幸	ボディボードメン	明松輝社
マスター	小島正司	ボディボードレディーズ	ヴィヴィアネ・V

1992年度 第4回西日本サーフィン選手権大会			
日時：平成4年11月22日(日)～11月23日(月)			
会場：宮崎県宮崎市木崎浜海岸 出場選手合計：252名			
ボーイズ	北岡光太郎	グランドマスター	吉田和幸
ジュニア	吉田武士	レディーズ	多貝里美
メン	東海二郎	ロングボード	浅川裕之
シニア	中井利幸	ボディボードメン	豊川勝俊
マスター	小林隆	ボディボードレディーズ	V.B.シルベラ

派遣大会

世界選手権大会・日本人選手順位

第32回 日本(宮崎県)(2019年)	第31回 日本(愛知県)(2018年)	第30回 フランス(2017年)	第29回 コスタリカ(2016年)	第28回 ニカラガ(2015年)	第27回 (ISA50周年記念 ペルー)(2014年)	第26回 パナマ(2013年)	第25回 パナマ(2011年)
オープンメン	オープンメン	メンズオープン	メンズオープン	メンズオープン	メンズオープン	メンズオープン	メンズオープン
4位 村上舜	2位 五十嵐カノア	17位 小笠原由織	7位 仲村拓久未	37位 堀越力	25位 松下 諒大	31位 大橋海人	61位 鈴木智喜
11位 大原洋人	4位 村上舜	17位 田中大貴	8位 新井洋人	49位 中塩裕貴	31位 村上舜	61位 村上達貴	61位 井上達貴
13位 五十嵐カノア	9位 大原洋人	33位 大音凛太	19位 大野修聖	49位 田中大貴	49位 大世戸洋司	49位 大世戸洋司	ウィメンズオープン
オープンウィメン	オープンウィメン	33位 堀越力	37位 石川拳太	61位 中川雅崇	43位 渡邊寛	73位 仲村一智	25位 阿佐聡子
15位 松田詩野	11位 黒川日菜子	ウィメンズオープン	ウィメンズオープン	ウィメンズオープン	43位 河谷佐助	ウィメンズオープン	37位 清水亜希子
21位 前田マヒナ穂乃香	13位 橋本恋	7位 大村奈央	16位 田代風沙	13位 大村奈央	61位 大世戸洋司	5位 大村奈央	ロングボードオープン
41位 脇田紗良	17位 川合美乃里	17位 野中美波	19位 大村奈央	25位 鈴木姫七	ウィメンズオープン	25位 森敬恵	25位 岡崎生水
国別 3位	国別 1位	国別 5位	国別 7位	団体 12位	5位 大村奈央	団体 14位	37位 中山祐樹
ALOHA CUP(TEAM RELAY)	ALOHA CUP(TEAM RELAY)				9位 黒川日菜子		団体 20位
4位	2位				団体 9位		

第24回 ベルー(2010年)	第23回 コスタリカ(2009年)	第22回 ポルトガル(2008年)	第21回 アメリカ(2006年)	第20回 エクアドル(2004年)	第19回 南アフリカ(2002年)	第18回 ブラジル(2000年)	第17回 ポルトガル(1998年)
メンズオープン	メンズオープン	メンズオープン	メンズオープン	メンズ	メンズ	メンズ	メンズ
49位 田中謙	57位 小嶋海生	33位 大世戸洋司	57位 高津敏幸	49位 椎葉順	29位 高梨直人	49位 吉岡温三	21位 吉川共久
57位 齊藤要	65位 加藤周平	49位 井上達貴	65位 福島竜也	61位 中村昭太	41位 飛田剛	65位 進士剛光	29位 石川秀樹
65位 田中樹	81位 大世戸洋司	57位 小嶋海生	81位 高木勇二	73位 酒井正海	49位 村上英令	65位 小川和之	49位 林究
113位 磯部康典	81位 小林祐樹	81位 増山裕亮	97位 井上達貴	73位 沼田裕一	49位 黒木雄一	65位 土屋元	65位 加藤孝紀
ウィメンズオープン	ウィメンズオープン	ウィメンズオープン	ウィメンズオープン	ウィメン	ジュニア	ジュニア	ジュニア
17位 田代風沙	13位 大村奈央	13位 山田宏美	11位 熊澤友紀	31位 松尾理映	8位 林健太	13位 森哲太	11位 渡辺将人
33位 庵原美穂	29位 高橋みなと	31位 金子藍	21位 小柳江梨	31位 小池美紀子	17位 仲野仁人	17位 田嶋鉄兵	21位 田中樹
ロングボードオープン	オープンロングボード	BBメン	BBメン	ロングボード	25位 酒井正海	21位 高梨直人	29位 進士剛光
21位 尾崎信弘	33位 岡崎生水	8位 榎戸崇人	17位 榎戸崇人	13位 阿隅寛典	31位 中浦章	29位 田中樹	33位 小川和之
41位 中山祐樹	33位 森本雄大	13位 加治賢和	29位 榎戸輝	BBメン	ウィメン	ウィメン	ウィメン
団体 18位	団体 18位	BBウィメン	BBウィメン	19位 相原法央	11位 間屋口香	17位 杉浦麻里衣	21位 谷口絵里菜
		6位 夾間康子	5位 渡辺萌	25位 嶋田綱吉	16位 萩原水紀	16位 福谷周子	21位 佐々木粧由美
		ロングボード	ロングボード	BBレディーズ	ロングボード	ニード	ニード
		11位 辻嶋司	11位 辻嶋司	8位 西村優花	17位 尾崎信弘	17位 飯野秀文	11位 飯野秀文
		団体 12位	団体 17位	団体 16位	BBメン	ロングボード	ロングボード
					25位 柴田英人	17位 藤井辰緒	15位 山崎市朗
					33位 京谷雄策	BBメン	BBメン
					BBウィメン	17位 近藤義忠	13位 山口幸平
					3位 奥山千晶	33位 山田亨	15位 前山剛志
					団体 9位	BBウィメン	BBウィメン
						6位 角田恵	11位 高橋直美
						団体 11位	団体 9位

第16回 アメリカ(1996年)	第15回 ブラジル(1994年)	第14回 フランス(1992年)	第13回 日本(1990年)	第12回 プエルトリコ(1988年)	第11回 イギリス(1986年)	第10回 アメリカ(1984年)
メンズ	メンズ	メンズ	メンズ	メンズ	メンズ	メンズ
8位 堀地孝行	33位 松本克也	9位 脇田貴之	7位 堀地孝行	33位 小畑智昭	32位 沼尻和則	33位 遠藤隆久
27位 牧野優介	41位 酒井邦彦	17位 辻浩二	27位 鈴木敏	38位 河野正和	37位 鈴木直人	37位 鈴木康弘
48位 小川直久	49位 池村佳紀	21位 上條将美	28位 小川直久	42位 沼尻和則	61位 工藤吉尚	58位 栗原昭二
48位 西田弘人	57位 樋口高之	33位 安藤恵太	53位 鈴木一也	52位 西井浩治	68位 平山孝継	67位 本荘睦
75位 北岡光太郎	ジュニア	ジュニア	61位 緒方平八	53位 鈴木直人	70位 栗原昭二	ジュニア
92位 小野嘉夫	15位 原田正規	4位 渡辺広樹	95位 新野剛	69位 小野寺裕幸	74位 久田友彦	15位 遠藤隆久
ジュニア	25位 小野嘉夫	21位 小川啓	ジュニア	ジュニア	78位 森孝也	ウィメン
15位 大野修聖	29位 牧野優介	57位 金指清尚	15位 渡辺広樹	22位 進藤晃	90位 鈴木秀哉	17位 山田絵里
21位 大野仙雅	65位 大野仙雅	65位 松本克也	16位 上條将美	22位 小野寺裕幸	ジュニア	ニード
33位 土屋元	ウィメン	ウィメン	ウィメン	ウィメン	9位 沼尻和則	10位 川南正
65位 佐藤和也	21位 矢野順子	13位 蓮田泰子	7位 上塩恭子	7位 細谷照美	20位 鈴木秀哉	団体 7位
ウィメン	21位 岡田深雪	25位 藤沼由紀	19位 細谷照美	14位 山本孝子	ウィメン	
17位 高橋すみえ	ニード	ニード	ニード	ニード	11位 佐久間三枝	
21位 谷口絵里菜	21位 前川純	7位 前川純	7位 前川純	12位 前川純	12位 藤沼由紀	
ニード	ロングボード	ロングボード	ロングボード	ロングボード	ニード	
11位 前川純	9位 宮内謙至	13位 山崎一朗	11位 佐久間等	7位 佐久間等	22位 川南正	
ロングボード	BBメン	BBメン	BBメン	BBメン	22位 斉藤雅章	
5位 真木蔵人	41位 野崎久司	33位 加藤勝典	9位 作道雅明	10位 作道雅明	団体 9位	
BBメン	BBウィメン	33位 新井徹	団体 6位	団体 9位		
15位 高木聖岳	21位 小池葵	団体 8位				
21位 松田真穂	団体 11位					
BBウィメン						
4位 小池葵						
団体 9位						

世界ジュニア選手権大会・日本人選手順位

※第12回南アフリカ(2003年)大会は情勢不安により日本選手団不参加。

第28回 アメリカ(2019年)	第27回 アメリカ(2018年)	第26回 日本(宮崎県)(2017年)	第25回 ポルトガル(2016年)	第24回 アメリカ(2015年)	第23回 エクアドル(2014年)	第22回 ニカラガ(2013年)	第21回 パナマ(2012年)	第20回 ベルー(2011年)
U16ボーイズ	U16ボーイズ	U16ボーイズ	U16ボーイズ	U16	U16	U16	U16	U16
6位 松原渚生	4位 伊東李安瑠	1位 安室丈	3位 森友二	17位 都筑百斗	19位 安室丈	4位 稲葉玲王	2位 仲村拓久未	16位 仲村拓久未
8位 石見天獅	11位 金沢昌偉	3位 山崎マツタ・久里	4位 西優司	21位 伊東李安瑠	22位 中塩裕貴	25位 安井拓海	29位 安井拓海	61位 稲葉玲王
21位 矢作絢乃丞	29位 平原颯馬	8位 鈴木仁	10位 伊東李安瑠	21位 西優司	37位 西優司	33位 野呂海利	49位 村上舜	73位 佐藤聡
U18ボーイズ	U18ボーイズ	17位 伊東李安瑠	37位 藤沼佳太郎	33位 安室丈	37位 野呂海利	41位 西優司	81位 野呂海利	U18
4位 安室丈	1位 山崎マツタ・久里	U18ボーイズ	U18ボーイズ	U18	U18	U18	U18	41位 山中海輝
13位 上山キアヌ・久里	2位 安室丈	9位 三輪紘也	13位 田中大貴	4位 村上舜	6位 仲村拓久未	7位 新井洋人	6位 新井洋人	41位 大森海夏人
33位 金沢昌偉	11位 森友二	13位 小笠原由織	25位 黒川楓海都	15位 稲葉玲王	16位 大原洋人	16位 小林直海	17位 小林直海	41位 渡邊藍
U16ガールズ	U16ガールズ	25位 大音凛太	25位 中塩裕貴	21位 中塩裕貴	37位 西修司	31位 仲村拓久未	17位 山中海輝	57位 松野陽人
9位 中塩佳那	2位 松田詩野	25位 西優司	49位 西慶司郎	57位 田中大貴	61位 河谷佐助	49位 西修司	41位 笹子夏輝	U18Girls
19位 都築虹帆	3位 脇田紗良	U16ガールズ	U16ガールズ	U16ガールズ	U16ガールズ	U16ガールズ	U16ガールズ	43位 水野亜彩子
61位 松岡亜香	13位 中塩佳那	7位 野中美波	5位 野中美波	5位 川合美乃里	16位 川合美乃里	11位 田代風沙	16位 野呂玲花	43位 野呂玲花
U18ガールズ	U18ガールズ	9位 中塩佳那	17位 川合美乃里	17位 野中美波	19位 大矢ひいな	13位 小山みなみ	19位 黒川日菜子	49位 高橋みなと
2位 野中美波	3位 野中美波	U18ガールズ	6位 川合美乃里	9位 鈴木姫七	U18ガールズ	U18ガールズ	31位 田代風沙	61位 村松梨香
4位 脇田紗良	9位 西元ジュリ梨乃	6位 川合美乃里	33位 松田詩野	11位 田代風沙	11位 田代風沙	11位 黒川日菜子	13位 宮坂桃子	団体 13位
5位 松田詩野	16位 川合美乃里	国別 3位	国別 4位	団体 5位	13位 黒川日菜子	団体 7位	43位 岡本愛葉	
国別 3位	国別 1位	ALOHA CUP(TEAM RELAY)	ALOHA CUP(TEAM RELAY)	ALOHA CUP(TEAM RELAY)	ALOHA CUP(TEAM RELAY)	ALOHA CUP(TEAM RELAY)		
ALOHA CUP(TEAM RELAY)	ALOHA CUP(TEAM RELAY)	1位	4位	2位	2位	5位		
3位	3位							

CONTEST ARCHIVE

第19回ニュージーランド (2010年) U16 4位 新井洋人 31位 榎子夏輝 46位 小林直海 46位 佐藤彰 U18 37位 高橋優人 37位 加藤嵐 55位 湯川正人 64位 金尾玲生 U18Girls 17位 大村奈央 33位 武知実波 33位 田村風沙 33位 村松爽香 団体 10位	第18回エクアドル (2009年) U16 31位 新井洋人 31位 石田銀二 49位 加藤嵐 61位 大森海夏人 U18 33位 黒越太気 41位 小嶋海生 49位 田中海周 65位 高橋優人 U18Girls 31位 高橋みなと 43位 大村奈央 43位 武知実波 49位 水野亜彩子 団体 12位	第17回フランス (2008年) U16 31位 金尾玲生 31位 小嶋海生 49位 小嶋暁人 49位 田中海周 U18 37位 黒越太気 37位 中村光貴 43位 井上達貴 43位 菜花早也 U18Girls 25位 大村奈央 31位 強力音乃 49位 武知実波 団体 11位	第16回ポルトガル (2007年) U16 11位 大橋海人 22位 加藤嵐 25位 小嶋海生 37位 菜浩平 U18 22位 中村光貴 22位 加藤周平 37位 小嶋翼 37位 井上達貴 U18Girls 22位 大村奈央 37位 橋本小百合 37位 武知実波 団体 9位	第15回ブラジル (2006年) U16 19位 高橋健人 25位 井上達貴 31位 田中海周 37位 黒越太気 U18 31位 黒澤賢一 31位 関本海渡 49位 小山浩 73位 横野明弘 U18Girls 31位 今村カレン 37位 橋本小百合 団体 12位	第14回アメリカ (2005年) U16 19位 高橋健人 19位 松岡慧斗 25位 萩原周 49位 栗須弾 補欠 和光大 U18 31位 林亨 37位 横野明弘 37位 高木勇二 61位 黒澤賢一 補欠 関本海渡 U18Girls 31位 今村カレン 団体 12位	第13回タヒチ (2004年) U16 17位 中村昭太 33位 松岡慧斗 41位 高貴祐麻 49位 間屋口峻英 補欠 小山浩 U18 28位 鈴木勝大 33位 梅野鉦聖 40位 高木勇二 40位 関田秀俊 補欠 増山裕亮 団体 14位	第11回オーストラリア (2002年) U18 仲野仁人 岩田隆二 酒井正洋 酒井正海 U16 深川達哉 中村昭太 関田秀俊 山田恭平 U19 Girls 萩原水紀	第10回オーストラリア (2001年) U18 林健太 一楽弘徳 中浦直人 高梨仁人 仲野仁人 辻裕次郎 深川達哉 中村昭太 U19 Girls 間屋口香 萩原水紀
第9回バリ (2000年) U18 森哲太 進士剛光 田中樹 今田敬介 U16 林健太 田嶋鉄兵 田中英義 仲野仁人 補欠 辻裕次郎 U19 萩原水紀 Girls 植村未来	第8回オーストラリア (1999年) U18 森哲太 進士剛光 佐藤正一郎 渡辺学 U16 田嶋鉄兵 田中樹 渡辺将人 川畑匠平	第7回バリ (1998年) U18 土屋元 山田裕介 西村博之 吉井祐吾 補欠 吉田忠左 U16 森哲太 田嶋鉄兵 田中樹 渡辺将人	第6回バリ (1997年) U18 土屋元 吉井祐吾 小川和之 北浦裕也 U16 田中樹 進士剛光 西村博之 堀口真平	第5回バリ (1996年) U18 佐藤和也 田中信也 林究 山室昌平 U16 大野仙雅 大野修聖 吉井祐吾 小川和之	第4回バリ (1995年) U18 北岡光太郎 橋沢好敬 東川泰明 脇祐史 U16 大野修聖 大野仙雅 土屋元 小川和之	第3回バリ (1994年) U18 小野嘉夫 牧野優介 増田章司 吉田武士 U16 大野修聖 大野仙雅 土屋元 林究	第2回バリ (1993年) U18 牧野優介 相原吾郎 大木新次 大石昌和 U16 北岡光太郎 小野嘉夫 大野修聖 佐藤和也	第1回バリ (1992年) U18 松本克也 本田竜児 U16 北岡光太郎 橋沢好敬 Girls 大城美和子

世界ボディボード選手権大会・日本人選手順位

第24回チリ (2015年) メンズオープン 8位 榎戸崇人 22位 近藤義忠 31位 高橋広俊 ウィメンズオープン 4位 鈴木彩加 U18 9位 経間拓斗 U18ガールズ 優勝 岡澤紫織 ドロップニー 5位 富田和麻 団体 5位	第2回ベネゼエラ (2012年) メンズオープン 13位 榎戸崇人 16位 遠山純 19位 柳瀬憲治 ウィメンズオープン 優勝 大原沙莉 U18ガールズ 優勝 岡澤紫織 ドロップニー 8位 榎戸崇人	第1回スペイン (2011年) メンズオープン 6位 近藤義忠 16位 榎戸崇人 ウィメンズオープン 9位 佐藤亜矢子 U18 11位 糸総一郎 ドロップニー 9位 川名祐介 団体 8位
---	--	--

世界マスター・日本人選手順位

第6回エクアドル (2013年) マスター 13位 渡辺広樹 25位 寺門剛 グランドマスター 9位 鈴木克己 19位 古賀政信 カフナ 19位 豊田泰史 25位 坂本應尚 グランドカフナ 9位 高橋誠 ウィメンズマスター 7位 清永亜希子 団体 11位	第5回ニカラグア (2012年) マスター 9位 渡辺広樹 16位 石田佳央 グランドマスター 11位 磯部康典 25位 原安澄 カフナ 9位 坂本應尚 11位 中村義浩 グランドカフナ 11位 三橋敬一 ウィメンズマスター 7位 清永亜希子
--	---

世界ロングボード選手権大会

第3回 フランス (2019年) オープンメン 17位 浜瀬海 29位 北村健一 オープンウィメン 5位 田岡なつみ 31位 柗沢実里 国別 7位 ALOHA CUP (TEAM RELAY) 2位	第2回 中国 (2018年) オープンメン 6位 浜瀬海 22位 権守賢治 オープンウィメン 4位 田岡なつみ 29位 叶多和子 国別 7位	第1回ペルー (2013年) メンズオープン 31位 西崎公彦 37位 中山祐樹 ウィメンズオープン 11位 岡澤紫穂 団体 15位
---	--	---

世界 SUP 選手権大会・日本人選手順位

第8回エルサルバドル (2019年) SUP サーフィンメン 4位 堀越力 25位 野村颯 SUP テクニカルレースメン 8位 田口類 SUP ディスタンスレースメン 9位 田口類 14位 村田暁 SUP スプリントレースメン 5位 田口類 /ノルボードテクニカルレースメン 5位 山尾良寛 /ノルボードディスタンスレースメン 5位 山尾良寛 ジュニアテクニカルレースボーイズ 2位 田口類	第7回中国 (2018年) SUP サーフィンメン 6位 堀越優輝 19位 横山貴代 SUP テクニカルレースウィメン 3位 奥秋李果 10位 横山貴代 SUP ディスタンスレースウィメン 3位 奥秋李果 SUP スプリントレースウィメン 7位 奥秋李果 /ノルボードテクニカルレースウィメン 2位 三井結里花 ジュニアテクニカルレースガールズ 8位 米村風夏 国別 6位 TEAM RELAY 4位	第6回デンマーク (2017年) SUP サーフィンメン 7位 堀越弘修 17位 原田俊広 SUP テクニカルレースメン 16位 金子ケニー 26位 吉田竜平 SUP ディスタンスレースメン 12位 金子ケニー 20位 吉田竜平 /ノルボードテクニカルレースメン 8位 菊池 遼太郎 /ノルボードディスタンスレースメン 8位 菊池 遼太郎	第5回フィジー (2016年) SUP サーフィンメン 19位 原田俊広 25位 秋山健次郎 SUP テクニカルレースメン 11位 金子ケニー SUP ディスタンスレースメン 8位 金子ケニー /ノルボードテクニカルレースメン 12位 小林海 17位 落合慶二 /ノルボードディスタンスレースメン 12位 落合慶二 13位 小林海	第5回アメリカ (2020年) SATAND 1 7位 奈良優 SATAND 2 5位 伊藤建史郎 7位 山本力也 SATAND 3 3位 勝倉直道 KNEEL 7位 小林征都 PRONE 1 13位 小嶋好宏 VISUALLY IMPAIRED 2 4位 藤崎滋 国別 8位	第4回アメリカ (2018年) AS-1 オープン 9位 伊藤建史郎 13位 山本力也 AS-1 ウィメン 1位 内田一音 AS-2 オープン 4位 小林征都 7位 勝倉直道 AS-4 ウィメン 10位 鈴木志穂 AS-5 オープン 7位 藤原智貴 AS-VI オープン 12位 蔭原滋男 国別 8位	第3回アメリカ (2017年) メンズ AS-1 9位 伊藤建史郎 24位 本田博之 ウィメン AS-1 1位 内田一音 メン AS-2 7位 小林征都 10位 勝倉直道 メン AS-5 4位 藤原智貴 国別 9位	第2回アメリカ (2016年) メンズ AS-1 4位 伊藤建史郎 メンズ AS-2 7位 小林征都 国別 13位	第1回中国 (2019) メンズショートボードオープン 1位 上山キアヌ里朱 2位 松原渚生 メンズU20ショートボードオープン 1位 上山キアヌ里朱 2位 松原渚生 ウィメンズショートボードオープン 1位 中塩佳那 2位 松岡亜音 ウィメンズU20ショートボードオープン 1位 中塩佳那 2位 松岡亜音 メンズロングボードオープン 2位 浜瀬海 ウィメンズロングボードオープン 1位 田岡なつみ
--	--	---	---	---	--	---	---	---

世界パラ(アダプティブ)サーフィン
選手権大会・日本人選手順位

第5回アメリカ (2020年) SATAND 1 7位 奈良優 SATAND 2 5位 伊藤建史郎 7位 山本力也 SATAND 3 3位 勝倉直道 KNEEL 7位 小林征都 PRONE 1 13位 小嶋好宏 VISUALLY IMPAIRED 2 4位 藤崎滋 国別 8位	第4回アメリカ (2018年) AS-1 オープン 9位 伊藤建史郎 13位 山本力也 AS-1 ウィメン 1位 内田一音 AS-2 オープン 4位 小林征都 7位 勝倉直道 AS-4 ウィメン 10位 鈴木志穂 AS-5 オープン 7位 藤原智貴 AS-VI オープン 12位 蔭原滋男 国別 8位	第3回アメリカ (2017年) メンズ AS-1 9位 伊藤建史郎 24位 本田博之 ウィメン AS-1 1位 内田一音 メン AS-2 7位 小林征都 10位 勝倉直道 メン AS-5 4位 藤原智貴 国別 9位	第2回アメリカ (2016年) メンズ AS-1 4位 伊藤建史郎 メンズ AS-2 7位 小林征都 国別 13位	第1回中国 (2019) メンズショートボードオープン 1位 上山キアヌ里朱 2位 松原渚生 メンズU20ショートボードオープン 1位 上山キアヌ里朱 2位 松原渚生 ウィメンズショートボードオープン 1位 中塩佳那 2位 松岡亜音 ウィメンズU20ショートボードオープン 1位 中塩佳那 2位 松岡亜音 メンズロングボードオープン 2位 浜瀬海 ウィメンズロングボードオープン 1位 田岡なつみ
---	--	---	---	---

アジアサーフィン
チャンピオンシップ

目指せ、自然

GO
NATURE®

株式会社皇漢薬品研究所



株式会社皇漢薬品研究所は、
日本サーフィン連盟の
オフィシャルパートナーです。



株式会社皇漢薬品研究所は、
日本サーフィン連盟
サーフィンスクールを
応援しています。

伝えたい、海のこと 自然のこと。

REEF SAFE

SAVE THE OCEAN

UV PRO SPF 50+/PA++++
サンスクリーンクリーム



安心安全設計
アレルギーテスト済



お肌に優しい
植物エキスを配合



信頼の品質
日本製

海とサンゴ
を守る!



サンゴに有害な化学物質
「オキシベンゾン」「オクチノキサート」
を含みません。

皇漢薬品研究所が開発した
ハワイで使える
安全設計! ※

保湿美容クリームとしても使える

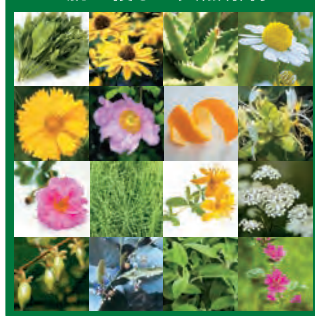
日焼け止め

人と自然への優しさを科学した **安全設計**

ノンケミカル処方 + サラッと伸びがいい! 自然環境への優しさを追求し、使用感にも妥協せず、体への負担を最小限に留めるよう最良の組み合わせを考え抜いて作り上げました。皇漢薬品研究所が独自に設計した、最高品質の日焼け止めです。

- パラベン(防腐剤) 不使用
- 合成着色料 不使用
- エタノール 不使用
- 鉱物油 不使用
- 香料 不使用

16種類の植物エキス
肌に優しい天然素材



水と汗に強い!

UVカット・ノンケミカル (UV吸収剤フリー)

べたつかない! 肌になじむ、サラッと伸びる軽い質感。

白浮きにくい! 化粧下地としてご利用いただけます。

うるおい美肌! 保湿・美肌成分で透明感のある肌に。

※ハワイでは、海やサンゴの保全のために、一部化学物質を含む日焼け止めの販売が禁止となる法案が可決されました。「GO NATURE® サンスクリーン・クリーム」は、サンゴに有害な化学物質を含みません。



製品本体価格: 3,300円 (税込)

株式会社 皇漢薬品研究所

本社 / 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-1-3 TEL.03(3861)3843(代) FAX.03-3861-3716
E-mail: watanabe@kohkan.co.jp URL: http://www.kohkan.co.jp/



商品詳細
はこちら





Surf & Shape *Tad Suzuki*



www.goddess.co.jp





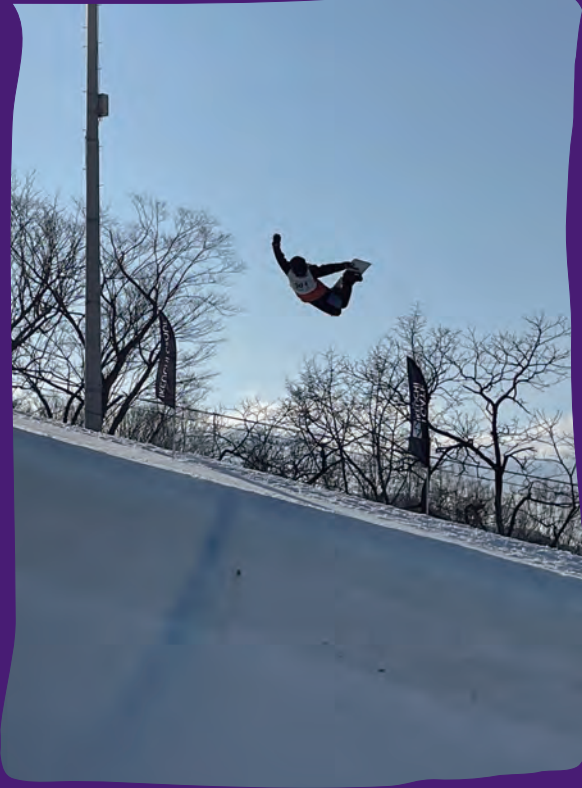
We support Haine Hata.



We build all the control technology with the evolution.

<http://www.craftwork-co.com/>

TEST SNOWBOARD



**日本スノーボード協会は
すべての“ヨコノリスト”を応援します！**

JSBA 会員特典

- ◆JSBA パートナースHIPに加盟のスノーリゾート、ショップ、レストラン、治療院、宿泊施設等でJSBA 会員 / 資格割引サービスを受ける事ができます！
- ◆スノーボード賠償責任保険に自動的に加入されます！（対人対物賠償最高 500 万円まで、免責 1 万円）
- ◆会報誌「雪坊主」（年 2 回）と「JSBA YEARBOOK」（年 1 回）をお届けします！（Web 会員登録の方には雪坊主は送付されません）
- ◆スノーボードパジテストを 2 級から受験する事ができます！
- ◆スノーボードの公認資格（インストラクター等）を受験する事ができます！（各種受験資格有り）
- ◆会員登録をして公認大会に参加すると JSBA ポイントランキングに名前が記載されます！



@JSBA_Yukibouzu
Twitterにて最新ニュース等をお伝えしています。



日本スノーボード協会
www.facebook.com/jsba.official



「スノーボーダーの、スノーボーダーによる、スノーボーダーのための団体」
日本スノーボード協会 JAPAN SNOWBOARDING ASSOCIATION (JSBA)

170-0002 東京都豊島区巣鴨 5-14-6 TEL:03-5980-7245

日本スノーボード協会会員登録はこちら www.jsba.or.jp



それはひっそりとあった
百十余年つづく老舗の旅館『茅ヶ崎館』
その日本庭園にベンチとして
ひっそりと休んでいた。
ある時は巨匠と呼ばれた
監督の思案に付き添い、
ある時は旅人の想い出に
ひとコマを添えた。
ある日ベンチは
日本最古の
サーフボードと讃えられ
長いベンチの役割を終えた。



湘南名物 江の島タコせんべい

湘南ちがさき屋

十六

協力：茅ヶ崎館 五代目 森氏

その昔 異国の故郷をあとにして
この茅ヶ崎にやってきた時
その役割は波乗り板であった。
時の赴くままに
腰掛けとして姿を変えたが
彼は老いてもレールを守抜いた。
新しい板が生まれてくる世を
老木はひっそりと
その変遷を見てきたに違いない。
彼は忘れずにいるだろう。
波のり文化のなかった時代の日本で
はじめて茅ヶ崎の波を
味わった時のことを・・・
そう・・・
今から八十年以上前の事を・・・

有限会社 湘南ちがさき屋 十六 神奈川県茅ヶ崎市浜見平17-11 〒253-0062



0120-82-6708

URL <http://www.chigasakiya.co.jp>



JAPAN WETSUITS MANUFACTURERS ASSOCIATION

日本ウエットスーツ工業会

～ ウエットスーツの進化を目指し日本の技術に拘り続けるJWMA ～



【正会員】アイウエオ順

泉フィルター 株式会社	ヌーベルバーグ・int'l・ジャパン株式会社
株式会社 イナボリ・トレーディング	株式会社 福岡潜水
株式会社 サンコー	株式会社 ホットライン
シンギー 株式会社	有限会社 マインドエイク
株式会社 シ・ワールド	株式会社 モビーディック
株式会社 セロ	有限会社 モアモスト
有限会社 トシズマリプロジェクト	有限会社 レイトフォーラップ
株式会社 ネクストレベル	ワールドダイブ 株式会社
	XCEL JAPAN

【賛助会員】アイウエオ順

有限会社 明石印刷	東ソー 株式会社
株式会社 アサヒレイテックス	ナショナル護謄 株式会社
エイブロス 株式会社	南海合機 株式会社
株式会社 キヌガワ	日本アクアラング 株式会社
株式会社 山陽化成	ノーテプ工業 株式会社
株式会社 シーサー	株式会社 バディ・アジア・パシフィック・ジャパン
株式会社 ダイブウェイズ	有限会社 フィールド
ダイバー 株式会社	平和 株式会社
株式会社 タバタ	株式会社 マルカツ
株式会社 トータス	山本化学工業 株式会社
	YKK 株式会社

新型コロナウイルス感染症対策 採寸に関するガイドライン

● 推奨する感染防止対策（三つの密を回避、消毒、会話の抑制）

- (1) 人と人との距離の維持（採寸時以外は、2M、最低でも1M以上空ける）
- (2) マスクまたはフェイスシールド着用
- (3) 入店時（体調不良有無、37.5℃以上の発熱）の確認
- (4) こまめな手洗い、および、消毒
- (5) メジャー、採寸治具、筆記用具など、採寸作業に必要な道具の消毒
- (6) 定期的な換気
- (7) 咳エチケットへの注意喚起 印刷物の掲示
- (8) 必要最小限の会話（特に採寸作業時には注意）

● 採寸作業者の準備

- (1) 採寸する場所の環境、空間の用意（十分な広さと換気可能な環境）
- (2) 消毒液の用意（採寸道具、メジャー・採寸治具は、使用ごとに消毒）
- (3) 採寸時の会話抑制
- (4) 採寸時の手袋用意（使い捨て手袋を使用することが望ましい）

ウエットスーツ採寸時のお願い



マスク



検温



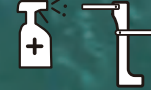
換気



手洗い



手の消毒



道具の消毒



JAPAN WETSUITS MANUFACTURERS ASSOCIATION

名 称：日本ウエットスーツ工業会

英文名：Japan Wetsuits Manufacturers Association

略 称：JWMA

事務局：〒152-0004 東京都目黒区鷹番1-11-5

TEL 03-5721-2108 FAX 03-5721-2108

http://www.jwma.gr.jp email: headoffice@jwma.gr.jp

がんばろう
日本の海

JWMA



 アドバンス マーケティング株式会社 advance-j.com ※ P.097掲載	 伊藤忠ファッションシステム株式会社 http://airwalk-jp.com/ ※ P.075掲載	 伊藤忠ファッションシステム株式会社 https://bodyglove.jp ※ P.051掲載	 株式会社イナボリトレーディング www.rashwetsuits.com ※ P.004掲載	 株式会社 with Ocean www.westsuits-japan.com ※ P.082掲載
 株式会社オッシュマンズ・ジャパン www.oshmans.co.jp ※ P.067掲載	 有限会社ガンプ http://www.fullon-sg.com ※ P.074掲載	 株式会社クラフトワーク http://www.craftwork-co.com/ ※ P.125掲載	 株式会社皇漢薬品研究所 http://www.kohkan.co.jp/ ※ P.123掲載	 ゴッデスインターナショナル株式会社 www.goddess.co.jp ※ P.124掲載
 株式会社サンコー www.bpd21.com ※ P.080掲載	 株式会社大香 gonesh.jp ※ P.076掲載	 有限会社 ダブサーフィングウェットスーツ www.dovewet.com ※ P.032掲載	 株式会社東京文化総業 nmdboardco.com ※ P.089掲載	 ニッキー株式会社 https://www.op-japan.com/ ※ P.069掲載
 日本ウェットスーツ工業会 www.jwma.gr.jp ※ P.128掲載	 パタゴニア・ インターナショナル・インク日本支社 www.patagonia.jp ※ P.066掲載	 FOUR SEVENTH www.galesurf.com ※ P.077掲載	 ブックオフコーポレーション株式会社 www.bookoff.co.jp ※ P.098掲載	 ボードライダーズジャパン株式会社 www.quicksilver.co.jp ※ P.073掲載
 ボードライダーズジャパン株式会社 billabongstore.jp/billabong/ ※ P.052掲載	 マルハニチロ株式会社 www.maruha-nichiro.co.jp ※ P.002掲載	 株式会社マニューバーライン www.maneuverline.co.jp ※ P.068掲載	 株式会社ムラサキスポーツ www.murasaki.co.jp ※ P.044掲載	 株式会社室原サーフボード製作所 www.msp-japan.com ※ P.053掲載
 有限会社モアームスト www.maxim-craft.com ※ P.006掲載	 株式会社ライズシステム www.bcm-surfpatrol.com ※ P.081掲載	 株式会社来夢 http://www.ezup.co.jp ※ P.096掲載	 有限会社ラス オラス www.luvsurf.co.jp ※ P.088掲載	 株式会社リッコー https://i-ricoh.com ※ P.026掲載
 有限会社レイトフォーラップ www.latewrap.com ※ P.095掲載	 株式会社ワイティース dontpanic.tokyo ※ P.050掲載	 株式会社ワンワールド http://1world.co.jp ※ P.094掲載	発行：一般社団法人 日本サーフィン連盟 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 10階 TEL. 03-6434-7341 FAX. 03-6434-7795 E-MAIL : info@nsa-surf.org HP: http://www.nsa-surf.org 制作：イヤーブック制作委員会 Art Direction & Design: 伊藤デザイン 印刷：図書印刷株式会社、株式会社エス・アイ・ピー	



つなげています スポーツへの想い

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。

スポーツくじ  